

# 函館市日常生活圏域高齢者ニーズ調査について

函館市

平成 23 年 11 月

## 目次

1. 調査概要 .....	1
1 - 1. 調査の目的 .....	1
1 - 2. 調査の実施 .....	1
1 - 3. 報告書の見方 .....	2
2. 回答者の属性 .....	3
3. 評価項目別集計 .....	4
3 - 1. 身体機能について .....	4
3 - 2. 日常生活について .....	20
3 - 3. 社会参加について .....	26
3 - 4. 要支援・要介護の認定者における状況について .....	31
4. 結果のまとめ .....	33
5. 設問別の集計結果 .....	34
問1. あなたのご家族や生活状況について .....	34
問2. 運動・閉じこもりについて .....	57
問3. 転倒予防について .....	72
問4. 口腔・栄養について .....	77
問5. 物忘れについて .....	87
問6. 日常生活について .....	93
問7. 社会参加について .....	110
問8. 健康について .....	127
問9. 生きがいについて .....	145
問10. 函館市の老人福祉センターについて .....	150
6. 各種サービスの対象者数の推計 .....	156
6 - 1. 介護サービスについて .....	156
6 - 2. 認定者・非認定者における日常生活動作（ADL）の状況について .....	158
6 - 3. 非認定者における二次予防事業について .....	159
7. 参考 .....	161
7 - 1. 函館市における日常生活圏域の設定 .....	161
7 - 2. 地域包括支援センターについて .....	162
7 - 3. 老人福祉センターについて .....	162
7 - 4. 調査票 .....	163

# 1. 調査概要

## 1-1. 調査の目的

函館市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、3年に一度「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、各種高齢者施策を推進し事業の運営に努めているところであります。

今回の調査は、平成24年度から26年度までを計画期間とする「第6次函館市高齢者保健福祉計画・第5期函館市介護保険事業計画」を策定するにあたり、地域の課題や高齢者のニーズを今まで以上により詳細に把握するとともに、日常生活圏域ごとに必要なサービスの種類や量、サービス提供基盤の整備や地域支援事業の構築等を検討するための基礎資料を収集することを目的として実施しました。

### 調査の観点

- ・ 介護予防の充実に向け、市内の高齢者の状況を把握するための基礎調査
- ・ 地域包括ケアの基盤となる日常生活圏域ごとの傾向の違いを把握すること
- ・ 国の示す調査方針に準拠しつつ、市独自に社会参加等に関する設問を追加

## 1-2. 調査の実施

### 調査の設計

本調査は全数調査ではなく、無作為抽出の標本調査（サンプリング調査）として実施しました。

基本的な設計は以下のとおりです。

調査地域： 函館市全域

調査対象者： 平成23年6月1日現在、65歳以上で  
・ 要支援・要介護認定を受けていない方  
・ 在宅の要支援1、2および要介護1、2の方  
（施設入所者等を除く）  
を対象にした、4,400人

調査期間： 平成23年8月1日（月）～8月31日（水）

調査方法： 調査票による本人記入方式  
（本人が記入できない場合は家族等）  
郵送による配布・回収

調査結果： 個人結果アドバイス表を作成し、個別返送

## 配布数と回収数

回収数は 2,924 票（回収率 66.5%）となりました。

地区ごとの回収率は以下のとおりです。

	高齢者人口*	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）
西部地区	7,908	720	520	72.2%
中央部地区	16,218	740	521	70.4%
東央部地区	17,735	740	507	68.5%
北東部地区	23,800	760	533	70.1%
北部地区	5,778	720	487	67.6%
東部地区	4,968	720	356	49.4%
全圏域合計	76,407	4,400	2,924	66.5%

\*平成 23 年 4 月末現在の 65 歳以上人口（住民基本台帳）

## 1-3. 報告書の見方

- ・ 回答結果は有効サンプル数に対して、実数と構成比（それぞれの回答の占める割合）を示しています。構成比については、小数第 2 位で四捨五入しているため、「1 つ選択」の設問であっても表示された合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本文および、表・グラフにおいても同様です。
- ・ 「複数選択可」の設問では、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。そのため、合計値が 100.0%を超える場合があります。
- ・ 調査票の記入で、回答が示されていないものや、判別の困難なものは「無回答」として整理しています。
- ・ 設問の選択肢は、一部表現を簡略にして記載しているところもあります。
- ・ グラフ上、各項目ごとの構成比を計算する母数については、それぞれ N=2,924 等で表記しています。
- ・ 評価項目別集計では、
  - 市で把握している要介護認定者（要介護 1，要介護 2）の方を「要介護」
  - 市で把握している要支援認定者（要支援 1，要支援 2）の方を「要支援」
  - それ以外の方を「非認定」と表記しています。
- ・ 身体機能については、各項目ごとに複数の設問の回答結果から、機能低下のリスクに相当する選択肢を選んだ回答数を評価し、基準点以上の機能低下が見られる方を「リスク該当者」と表記しています。

## 2. 回答者の属性

### (1) 年齢構成

単位 上段：人，下段：（％）

	65～69歳	70～74歳	75～80歳	81～84歳	85歳～	総数
男性	303 (26.4)	288 (25.1)	263 (22.9)	183 (16.0)	110 (9.6)	1,147 (100.0)
女性	411 (23.1)	416 (23.4)	395 (22.2)	325 (18.3)	230 (12.9)	1,777 (100.0)
総数	714 (24.4)	704 (24.1)	658 (22.5)	508 (17.4)	340 (11.6)	2,924 (100.0)

### (2) 認定状況

単位 上段：人，下段：（％）

	非認定	要支援		要介護			総数	
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2			
男性	1,051 (91.6)	58 (5.1)	36 (3.1)	22 (1.9)	38 (3.3)	20 (1.7)	18 (1.6)	1,147 (100.0)
女性	1,475 (83.0)	205 (11.5)	115 (6.5)	90 (5.1)	97 (5.5)	60 (3.4)	37 (2.1)	1,777 (100.0)
総数	2,526 (86.4)	263 (9.0)	151 (5.2)	112 (3.8)	135 (4.6)	80 (2.7)	55 (1.9)	2,924 (100.0)

### (3) 地区別構成

単位 上段：人，下段：（％）

	西部地区	中央部地区	東部地区	北東部地区	北部地区	東部地区	総数
男性	193 (16.8)	183 (16.0)	206 (18.0)	224 (19.5)	214 (18.7)	127 (11.1)	1,147 (100.0)
女性	327 (18.4)	338 (19.0)	301 (16.9)	309 (17.4)	273 (15.4)	229 (12.9)	1,777 (100.0)
総数	520 (17.8)	521 (17.8)	507 (17.3)	533 (18.2)	487 (16.7)	356 (12.2)	2,924 (100.0)

### (4) 住宅の所有関係（問1Q7）

単位 上段：人，下段：（％）

	持家	借家・借間	その他	無回答	総数
男性	916 (79.9)	194 (16.9)	26 (2.3)	11 (1.0)	1,147 (100.0)
女性	1,332 (75.0)	363 (20.4)	48 (2.7)	34 (1.9)	1,777 (100.0)
総数	2,248 (76.9)	557 (19.0)	74 (2.5)	45 (1.5)	2,924 (100.0)

### (5) 世帯構成（問1Q1）

単位 上段：人，下段：（％）

	一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	同居（三人以上）	その他	無回答	総数
男性	143 (12.5)	626 (54.6)	51 (4.4)	289 (25.2)	6 (0.5)	32 (2.8)	1,147 (100.0)
女性	540 (30.4)	493 (27.7)	217 (12.2)	464 (26.1)	23 (1.3)	40 (2.3)	1,777 (100.0)
総数	683 (23.4)	1,119 (38.3)	268 (9.2)	753 (25.8)	29 (1.0)	72 (2.5)	2,924 (100.0)

### 3. 評価項目別集計

本調査では、国の生活支援ソフト(ニーズ調査結果を分析するツール)を用いて、複数の設問から、回答者の健康に関する様々な評価項目を集計しました。

#### 3-1. 身体機能について

##### (1) 運動器

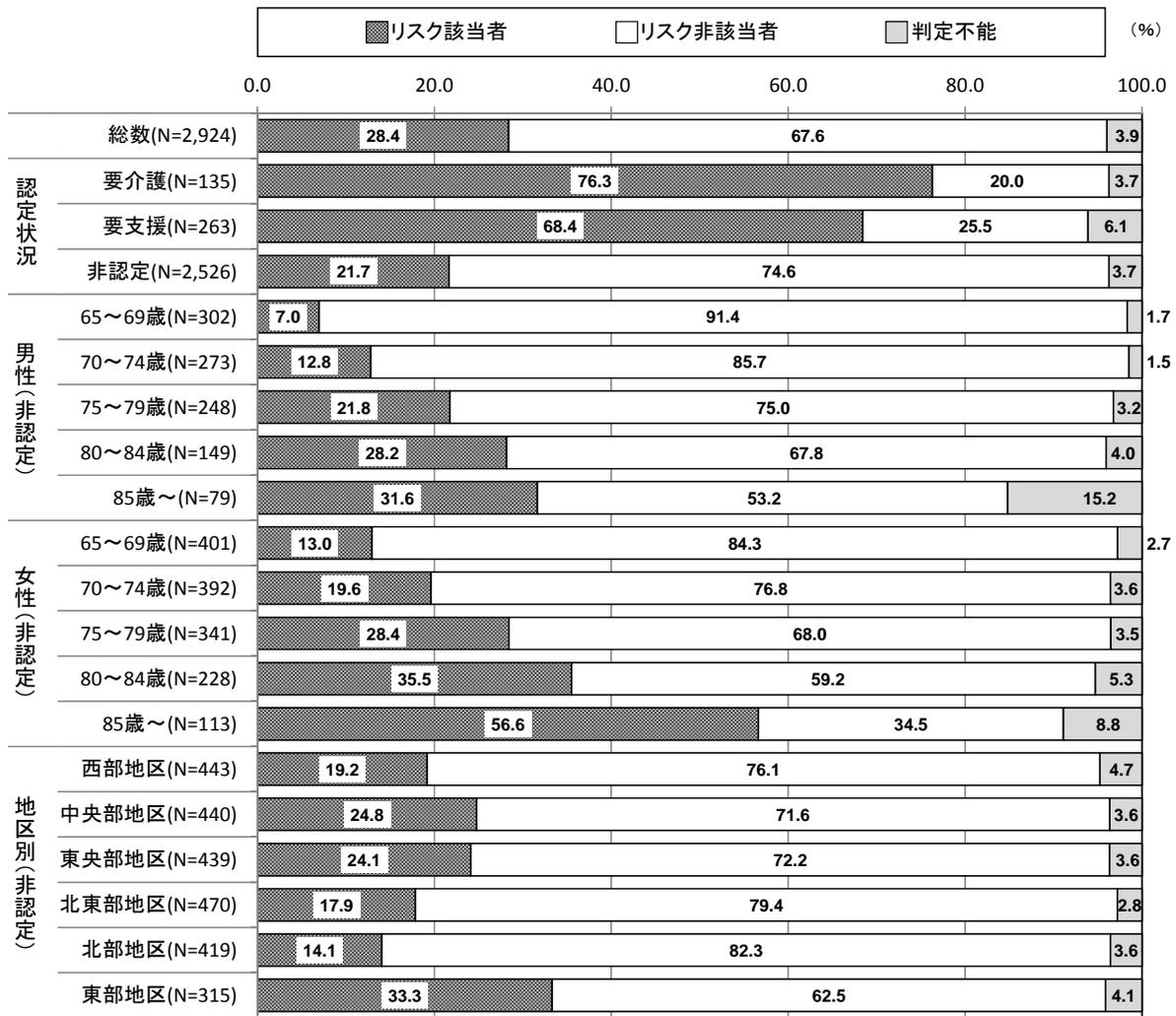
---

筋肉や関節などが衰えてくると、日常生活の中で、立ち上がったたり歩いたりする普段の動作が困難になってきます。こうした運動器の機能低下のおそれがある人を把握するため、調査票では後述の 5 つの設問を用意し、リスクに該当する回答の合計が 3 点以上の方をリスク該当者としました(以降の評価項目についても、それぞれの対象となる設問への回答状況からリスク該当者かどうかを判定しています)。

市全体で見ると、運動器のリスク該当者の割合が 28.4%となっています。要介護・要支援の非認定者(以下、非認定者とする)の中では、リスク該当者の割合が 21.7%となっています。

非認定者について、年齢別に見ると、年齢が上がるにつれ、リスク該当者の割合が高くなっています。地区別に見ると、東部地区ではリスク該当者の割合が 33.3%と比較的高くなっています。

身体機能(1) 運動器(総数; 2,924人)



運動器... 骨，関節，筋肉，靭帯，神経といった人間のからだの動きに関わる組織・器官のことを指す。

評価に用いた設問と点数評価

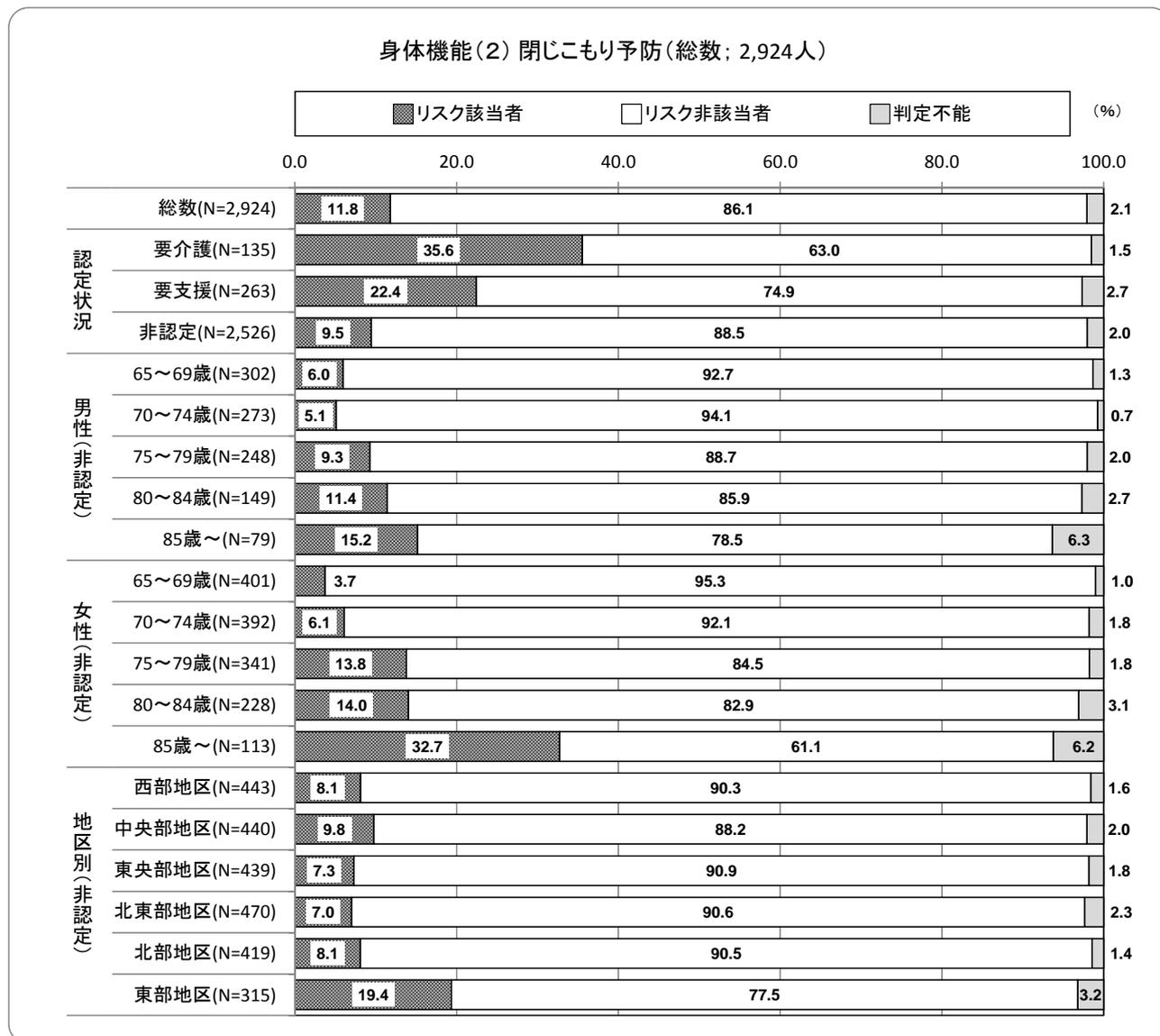
設問		該当項目	認定状況別該当割合(%)		
			要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	非認定 (N=2,526)
問2Q1.	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	いいえ(1点)	76.3	79.1	38.4
問2Q2.	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	いいえ(1点)	70.4	65.0	17.9
問2Q3.	15分位続けて歩いていますか	いいえ(1点)	68.1	52.1	18.0
問3Q1.	(雪のない時期)この1年間に転んだことがありますか	はい(1点)	47.4	36.9	20.2
問3Q2.	転倒に対する不安は大きいですか	はい(1点)	85.9	87.1	48.5

リスク該当者判定: 3点以上

## (2) 閉じこもり

外出しなくなり，閉じこもりがちになると，運動機能の低下，口腔機能の低下，低栄養などの原因となり，うつや認知症などのリスクも高くなります。こうした閉じこもりになるおそれについて，市全体で見ると，リスク該当者の割合が 11.8%となっています。非認定者の中では，リスク該当者の割合が 9.5%となっています。

非認定者について，年齢別に見ると，全体的には年齢が上がるにつれ，リスク該当者の割合が高くなる傾向になっています。地区別に見ると，東部地区ではリスク該当者の割合が 19.4%と比較的高くなっています。



### 評価に用いた設問と点数評価

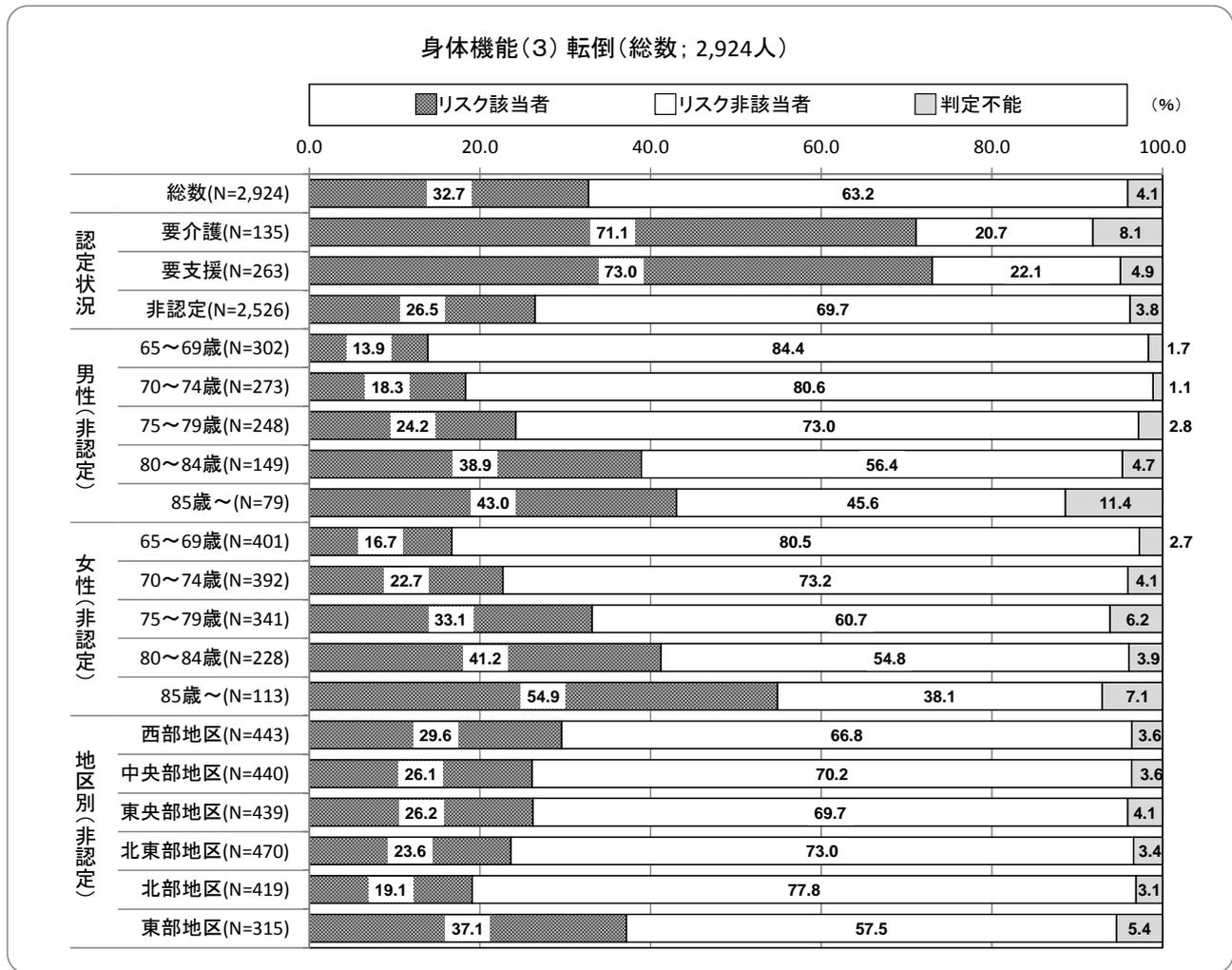
設問	該当項目	認定状況別該当割合(%)		
		要介護(N=135)	要支援(N=263)	非認定(N=2,526)
問2Q5. 週に1回以上は外出していますか	いいえ(1点)	35.6	22.4	9.5

リスク該当者判定: 1点

### (3) 転倒

転倒に対する不安が強いと、閉じこもりがちになる傾向が強くなり、また転倒による骨折は身体機能を大きく低下させ、寝たきりになるおそれがあります。こうした転倒の不安について、市全体で見ると、リスク該当者の割合が32.7%となっています。非認定者の中では、リスク該当者の割合が26.5%となっています。

非認定者について、年齢別に見ると、年齢が上がるにつれ、リスク該当者の割合が高くなっています。地区別に見ると、東部地区ではリスク該当者の割合が37.1%と比較的高くなっています。



### 評価に用いた設問と点数評価

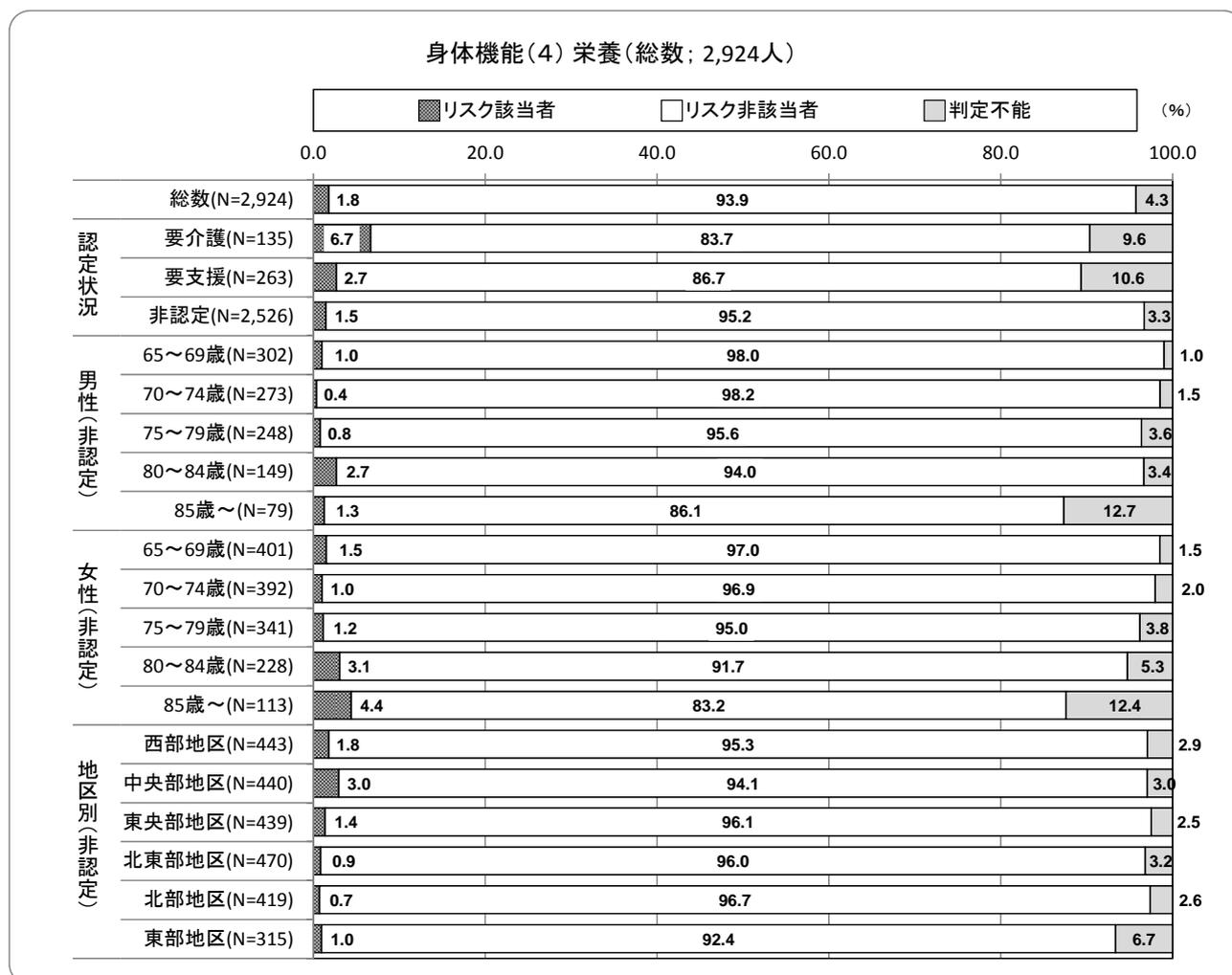
設問	該当項目	認定状況別該当割合(%)		
		要介護(N=135)	要支援(N=263)	非認定(N=2,526)
問3Q1. (雪のない時期)この1年間に転んだことがありますか	はい(5点)	47.4	36.9	20.2
問3Q3. 背中が丸くなってきましたか	はい(2点)	59.3	54.4	32.3
問3Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	はい(2点)	85.9	95.1	66.0
問3Q5. 杖を使っていますか	はい(2点)	54.8	59.3	9.4
問8Q3. 医師の処方した薬を何種類飲んでありますか	5種類以上(2点)	48.1	57.4	24.0

リスク該当者判定: 6点以上

#### (4) 栄養

からだを動かすことや外出の機会が減ると、食欲が減退します。食事の量が減ると水分の摂取も不足がちになり、体重の低下、筋肉の衰えや病状の悪化につながるおそれがあります。こうした栄養不足のおそれについて、市全体で見ると、リスク該当者の割合が 1.8%となっています。非認定者の中では、リスク該当者の割合が 1.5%となっています。

非認定者について、年齢別・地区別に見て、顕著な違いは見られませんでした。



#### 評価に用いた設問と点数評価

設問	該当項目	認定状況別該当割合(%)			
		要介護(N=135)	要支援(N=263)	非認定(N=2,526)	
問4Q1.	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	はい(1点)	28.1	27.8	15.1
問4Q2.	身長と体重を教えてください	BMI18.5未満(1点)	14.1	11.8	6.1

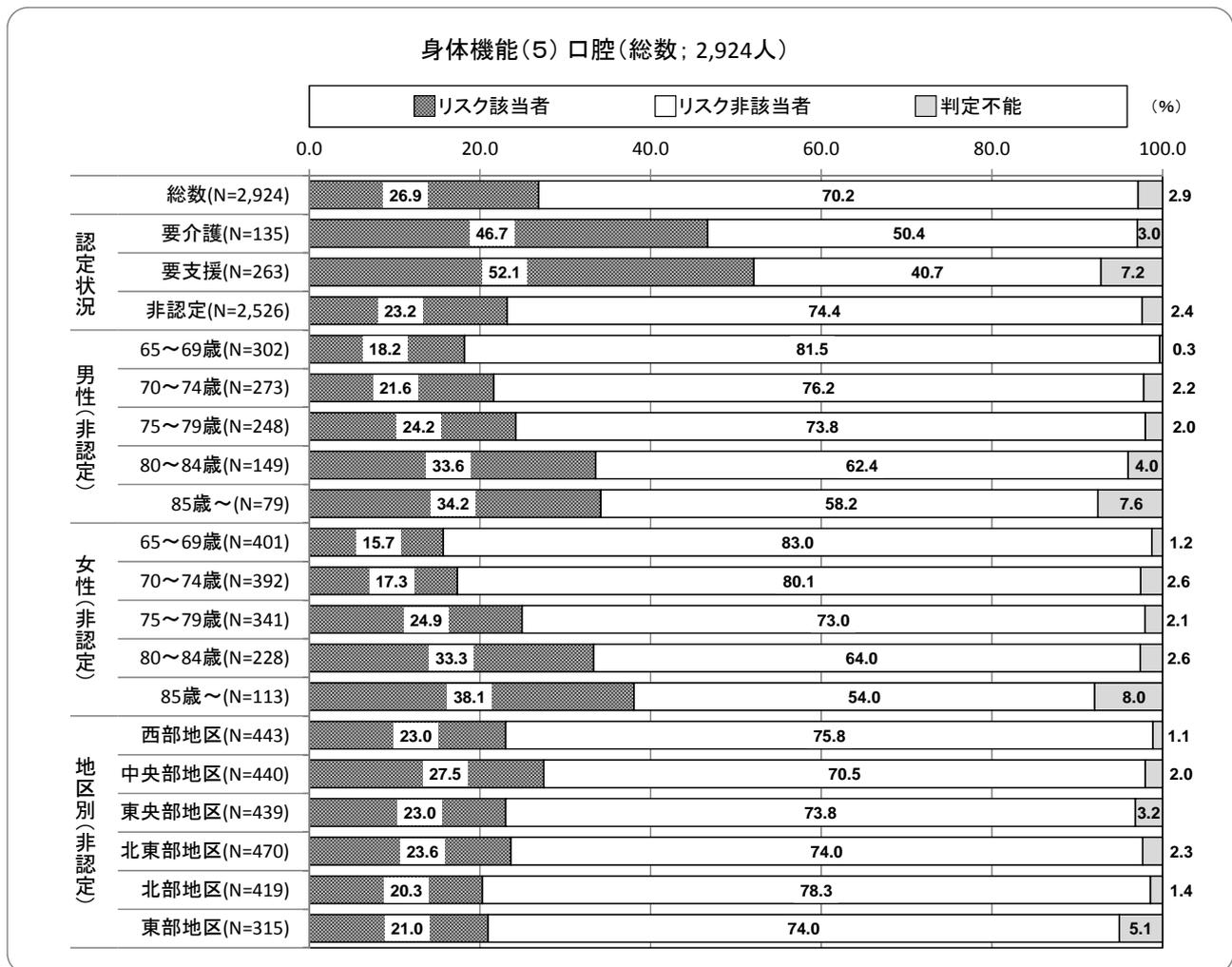
リスク該当者判定: 2点以上

体格指数(BMI: Body Mass Index).....身長からみた体重の割合を示し、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で導き出す。この数値の標準値は22.0で、18.5未満となる場合は「低体重」(やせている)と判断される。

(5) 口腔

そしゃく（噛み砕く）、嚥下（飲み込む）、だ液の分泌などの口腔機能が低下すると、食べられる物の種類が制限され、栄養の偏り、免疫力の低下から病気にかかりやすくなるおそれがあります。こうした口腔機能の低下のおそれについて、市全体で見ると、リスク該当者の割合が 26.9%となっています。非認定者の中では、リスク該当者の割合が 23.2%となっています。

非認定者について、年齢別に見ると、年齢が上がるにつれ、リスク該当者の割合が高くなっています。地区別に見ると、リスク該当者の割合は地区によって異なりますが、顕著な違いは見られませんでした。



評価に用いた設問と点数評価

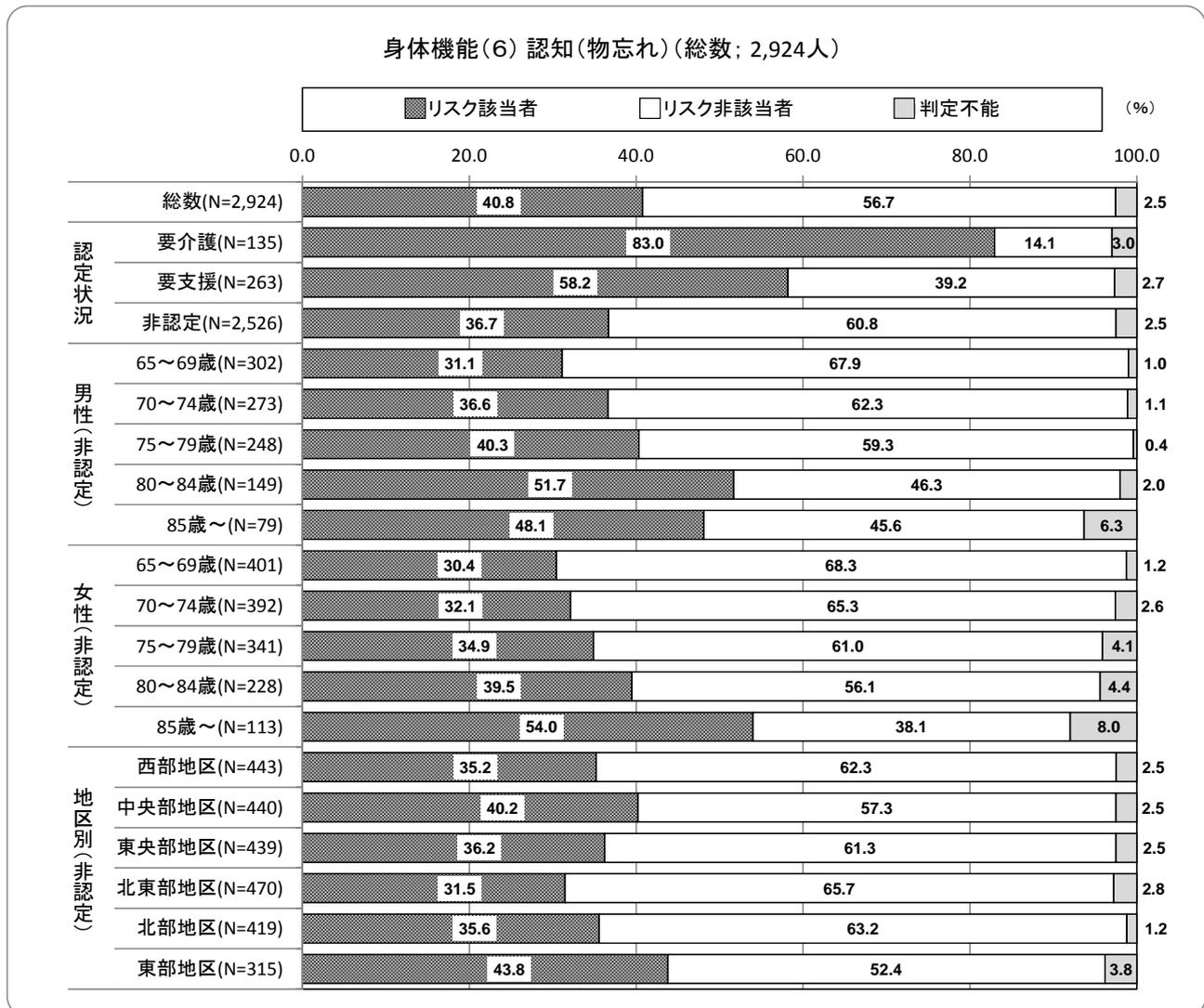
設問	該当項目	認定状況別該当割合(%)		
		要介護(N=135)	要支援(N=263)	非認定(N=2,526)
問4Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい(1点)	61.5	59.3	35.0
問4Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか	はい(1点)	44.4	46.4	24.2
問4Q5. 口の渴きが気になりますか	はい(1点)	43.7	46.8	25.2

リスク該当者判定: 2点以上

## (6) 認知（物忘れ）

物忘れや記憶力の低下は、認知症の初期症状とも疑われるものであり、進行すると自立した日常生活が困難になるおそれがあります。こうした物忘れの有無について、市全体で見ると、リスク該当者の割合が40.8%となっています。非認定者の中では、リスク該当者の割合が36.7%となっています。

非認定者について、年齢別に見ると、全体的には年齢が上がるにつれ、リスク該当者の割合が高くなる傾向になっています。地区別に見ると、リスク該当者の割合は地区によって異なりますが、顕著な違いは見られませんでした。



### 評価に用いた設問と点数評価

設問		該当項目	認定状況別該当割合(%)		
			要介護(N=135)	要支援(N=263)	非認定(N=2,526)
問5Q1.	周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるとされますか	はい(1点)	65.2	36.9	19.5
問5Q2.	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	いいえ(1点)	54.1	13.7	9.9
問5Q3.	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい(1点)	63.7	38.4	20.7

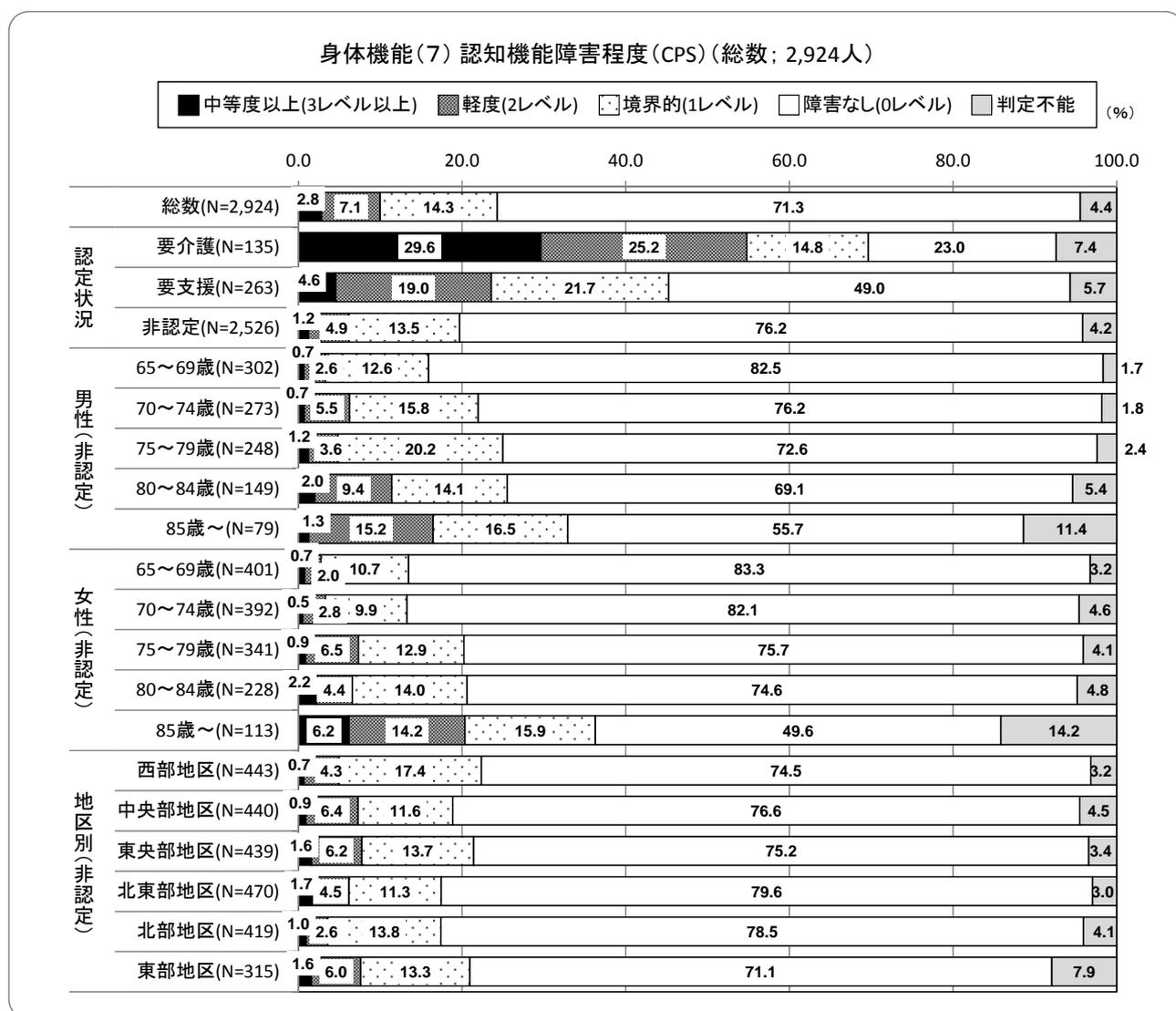
リスク該当者判定: 1点以上

## (7) 認知機能障害程度（CPS）

認知機能の障害程度の指標であるCPS（次ページ参照）について，市全体で見ると，何らかの障害があるおそれのある人の割合は24.2%（「中等度以上（3レベル以上）」（2.8%），「軽度（2レベル）」（7.1%），「境界的（1レベル）」（14.3%））となっています。

非認定者の中では，何らかの障害があるおそれのある人の割合は19.6%（「中等度以上（3レベル以上）」（1.2%），「軽度（2レベル）」（4.9%），「境界的（1レベル）」（13.5%））となっています。

非認定者について，年齢別に見ると，全体的には年齢が上がるにつれ，何らかの障害があるおそれのある人の割合が高くなる傾向になっています。地区別に見ると，顕著な違いは見られませんでした。

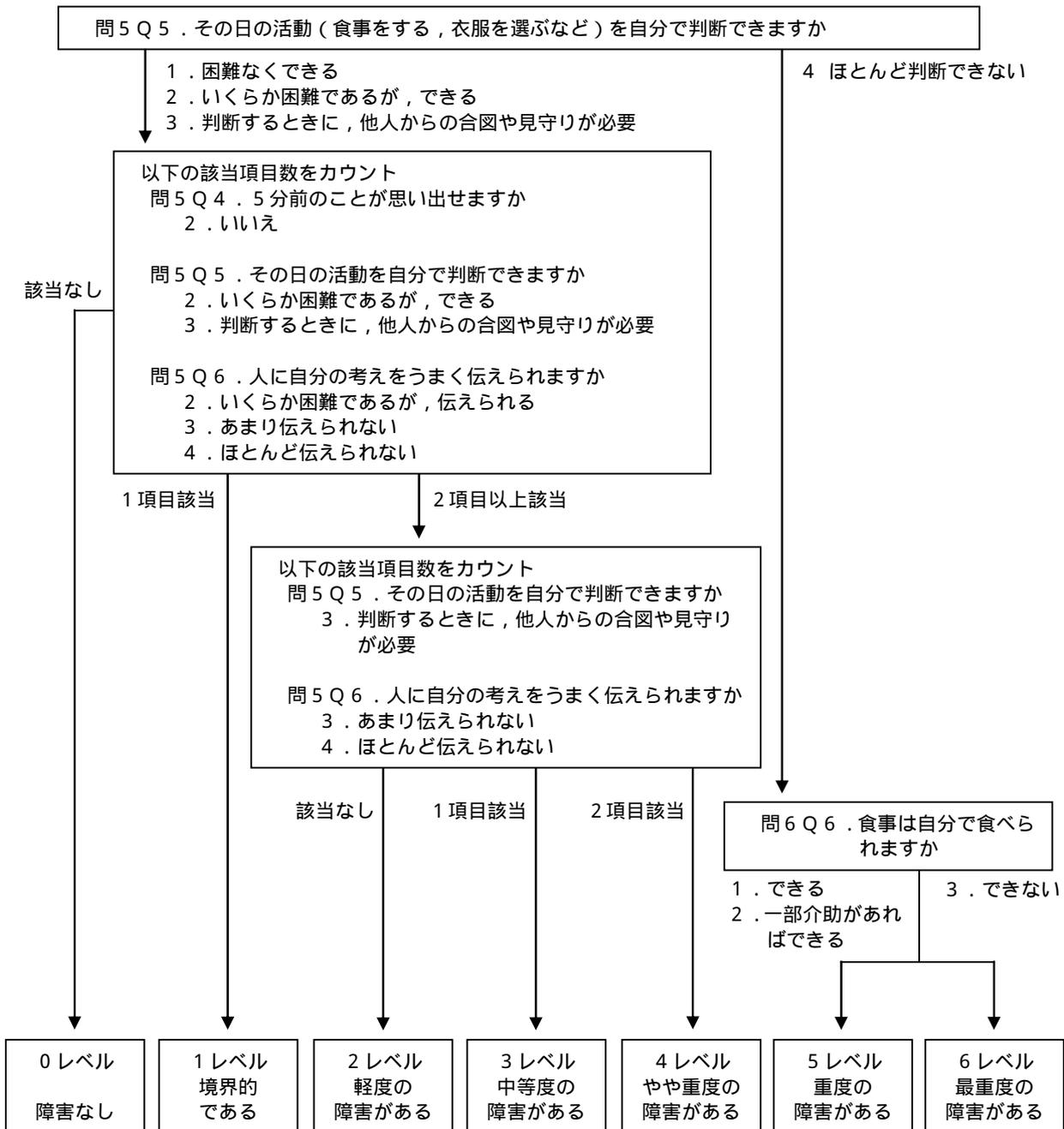


## 認知機能障害程度（CPS）評価方法

認知機能障害程度（CPS：Cognitive Performance Scale）は、認知機能の尺度であり、介護や支援を必要とする高齢者を把握するための評価手法により、認知機能評価を行う方法です。

下図のとおり、設問に対する回答内容により、0レベル（障害なし）から6レベル（最重度の障害がある）に分類し評価しました。

### 評価に用いた設問と点数評価



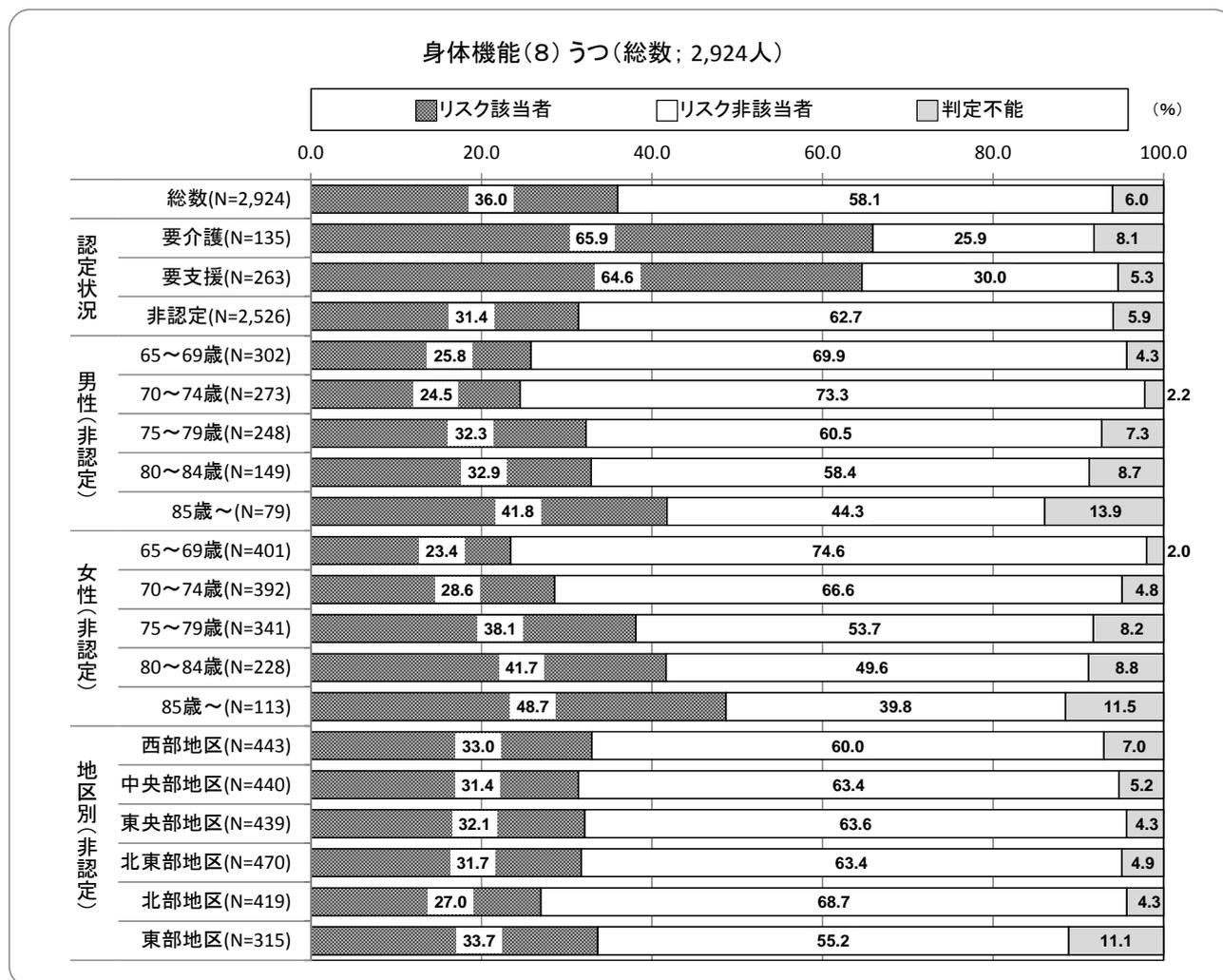
## 各分類ごとの点数状況

	函館市 全体	認定状況			男性(非認定)					女性(非認定)					地区別(非認定)					
		要介護	要支援	非認定	65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85 歳~	65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85 歳~	西部 地区	中央部 地区	東北部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
総数(人)	2,924	135	263	2,526	302	273	248	149	79	401	392	341	228	113	443	440	439	470	419	315
■実数(人)																				
最重度(6レベル)	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0
重度(5レベル)	25	12	2	11	1	2	2	0	0	1	0	2	2	1	1	0	3	4	1	2
やや重度(4レベル)	18	12	1	5	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	0
中等度(3レベル)	37	15	9	13	0	0	0	2	0	2	2	1	2	4	1	2	3	2	2	3
軽度(2レベル)	209	34	50	125	8	15	9	14	12	8	11	22	10	16	19	28	27	21	11	19
境界的(1レベル)	418	20	57	341	38	43	50	21	13	43	39	44	32	18	77	51	60	53	58	42
障害なし(0レベル)	2,084	31	129	1,924	249	208	180	103	44	334	322	258	170	56	330	337	330	374	329	224
判定不能	130	10	15	105	5	5	6	8	9	13	18	14	11	16	14	20	15	14	17	25
■構成比(%)																				
最重度(6レベル)	0.1	0.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
重度(5レベル)	0.9	8.9	0.8	0.4	0.3	0.7	0.8	0.0	0.0	0.2	0.0	0.6	0.9	0.9	0.2	0.0	0.7	0.9	0.2	0.6
やや重度(4レベル)	0.6	8.9	0.4	0.2	0.3	0.0	0.4	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.5	0.2	0.2	0.2	0.0
中等度(3レベル)	1.3	11.1	3.4	0.5	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.5	0.5	0.3	0.9	3.5	0.2	0.5	0.7	0.4	0.5	1.0
軽度(2レベル)	7.1	25.2	19.0	4.9	2.6	5.5	3.6	9.4	15.2	2.0	2.8	6.5	4.4	14.2	4.3	6.4	6.2	4.5	2.6	6.0
境界的(1レベル)	14.3	14.8	21.7	13.5	12.6	15.8	20.2	14.1	16.5	10.7	9.9	12.9	14.0	15.9	17.4	11.6	13.7	11.3	13.8	13.3
障害なし(0レベル)	71.3	23.0	49.0	76.2	82.5	76.2	72.6	69.1	55.7	83.3	82.1	75.7	74.6	49.6	74.5	76.6	75.2	79.6	78.5	71.1
判定不能	4.4	7.4	5.7	4.2	1.7	1.8	2.4	5.4	11.4	3.2	4.6	4.1	4.8	14.2	3.2	4.5	3.4	3.0	4.1	7.9

## (8) うつ

うつ傾向があると、生きがいや物事に対する興味の喪失から、活動性や意欲が低下し、様々な身体的症状の悪化につながるおそれがあります。こうしたうつのおそれについて、市全体で見ると、リスク該当者の割合が36.0%となっています。非認定者の中では、リスク該当者の割合が31.4%となっています。

非認定者について、年齢別に見ると、全体的には年齢が上がるにつれ、リスク該当者の割合が高くなる傾向になっています。地区別に見ると、リスク該当者の割合は地区によって異なりますが、顕著な違いは見られませんでした。



## 評価に用いた設問と点数評価

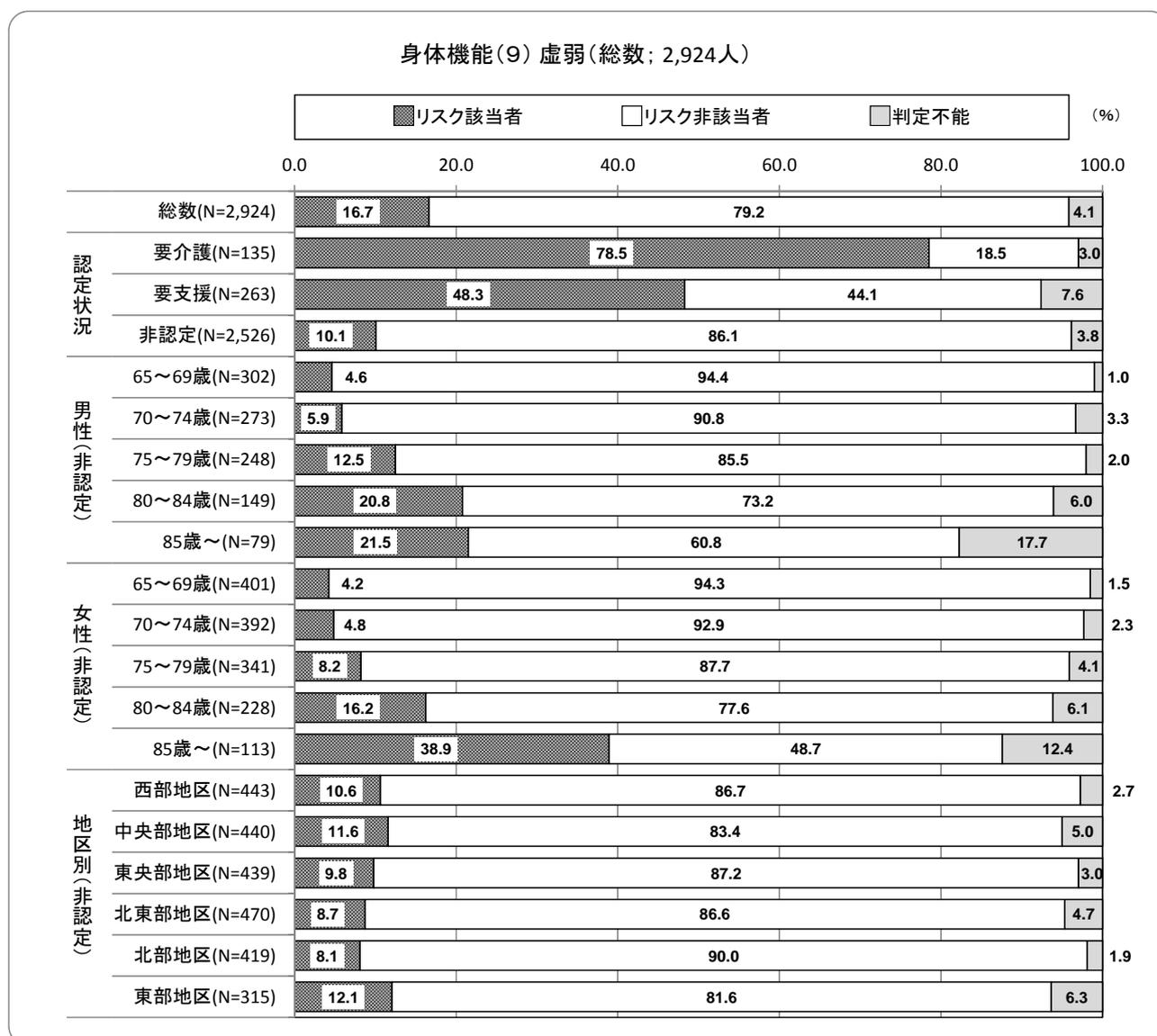
設問	該当項目	認定状況別該当割合(%)		
		要介護(N=135)	要支援(N=263)	非認定(N=2,526)
問8Q8. (ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	はい(1点)	44.4	36.9	19.0
問8Q9. (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	はい(1点)	40.7	35.7	16.1
問8Q10. (ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	はい(1点)	68.9	65.4	33.2
問8Q11. (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	はい(1点)	49.6	39.2	20.8
問8Q12. (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	はい(1点)	54.1	60.1	29.3

リスク該当者判定: 2点以上

## (9) 虚弱

虚弱により，歩行や移動，食事，更衣，入浴，排泄，洗面・歯磨きなどの基本動作ができなくなってくると，自立した日常生活が困難になり，介護や介助の必要性が生じてきます。こうした虚弱に伴う生活機能低下のおそれについて，市全体で見ると，リスク該当者の割合が 16.7%となっています。非認定者の中では，リスク該当者の割合が 10.1%となっています。

非認定者について，年齢別に見ると，年齢が上がるにつれ，リスク該当者の割合が高くなっています。地区別に見ると，リスク該当者の割合は地区によって異なりますが，顕著な違いは見られませんでした。



## 評価に用いた設問と点数評価

設問		該当項目	認定状況別該当割合(%)		
			要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	非認定 (N=2,526)
問2Q1.	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	いいえ(1点)	76.3	79.1	38.4
問2Q2.	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	いいえ(1点)	70.4	65.0	17.9
問2Q3.	15分位続けて歩いていますか	いいえ(1点)	68.1	52.1	18.0
問2Q5.	週に1回以上は外出していますか	いいえ(1点)	35.6	22.4	9.5
問2Q6.	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	はい(1点)	73.3	72.2	35.4
問3Q1.	(雪のない時期)この1年間に転んだことがありますか	はい(1点)	47.4	36.9	20.2
問3Q2.	転倒に対する不安は大きいですか	はい(1点)	85.9	87.1	48.5
問4Q1.	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい(1点)	28.1	27.8	15.1
問4Q2.	身長と体重を教えてください	BMI18.5未満(1点)	14.1	11.8	6.1
問4Q3.	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい(1点)	61.5	59.3	35.0
問4Q4.	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい(1点)	44.4	46.4	24.2
問4Q5.	口の渇きが気になりますか	はい(1点)	43.7	46.8	25.2
問5Q1.	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	はい(1点)	65.2	36.9	19.5
問5Q2.	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	いいえ(1点)	54.1	13.7	9.9
問5Q3.	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい(1点)	63.7	38.4	20.7
問6Q1.	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	できるけどしていない・ できない(1点)	83.7	52.5	14.6
問6Q2.	日用品の買物をしていますか	できるけどしていない・ できない(1点)	83.0	46.4	13.8
問6Q5.	預貯金の出し入れをしていますか	できるけどしていない・ できない(1点)	76.3	32.7	20.7
問7Q5.	友人の家を訪ねていますか	いいえ(1点)	84.4	61.6	39.7
問7Q6.	家族や友人の相談にのっていますか	いいえ(1点)	73.3	37.3	20.0

リスク該当者判定:

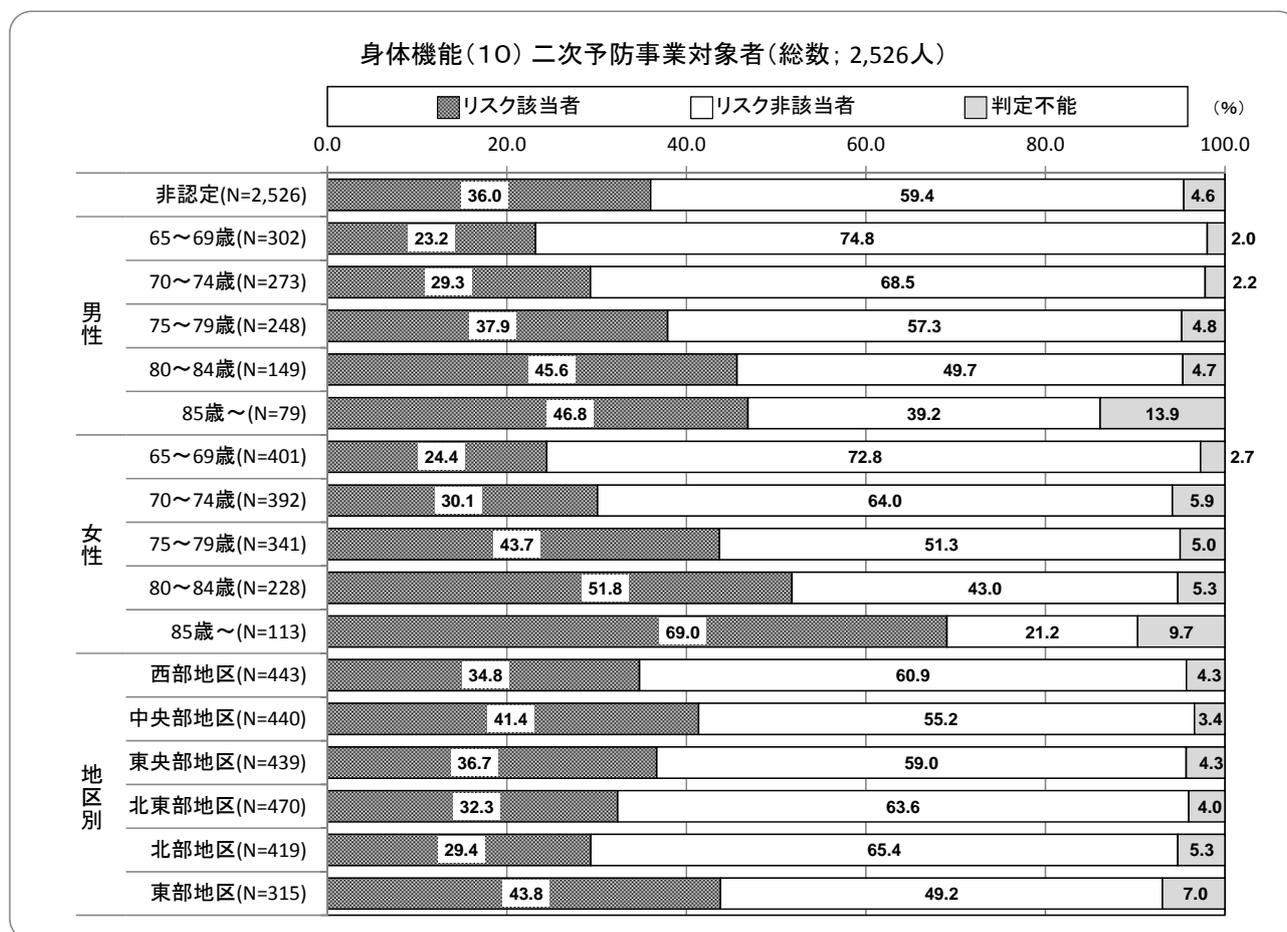
10点以上

## (10) 二次予防事業対象者（運動器・栄養・口腔・虚弱）

非認定者のうち，前述の運動器・栄養・口腔・虚弱のいずれかに該当する方については，要支援・要介護状態になるおそれがあります。こうした要支援・要介護状態になるおそれについて，市全体で見ると，リスク該当者の割合が 36.0%となっています。

年齢別に見ると，年齢が上がるにつれ，リスク該当者の割合が高くなっています。地区別に見ると，リスク該当者の割合は地区によって異なりますが，顕著な違いは見られませんでした。

以下，非認定者のうちリスク該当者を「二次予防事業対象者」とし，「二次予防事業対象者」を除く非認定者を「一般高齢者」とします。



### 評価に用いた指標と判定方法

設問	該当項目	認定状況別該当割合(%)		
		要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	非認定 (N=2,526)
身体機能(1) 運動器	該当	76.3	68.4	21.7
身体機能(4) 栄養	該当	6.7	2.7	1.5
身体機能(5) 口腔	該当	46.7	52.1	23.2
身体機能(9) 虚弱	該当	78.5	48.3	10.1

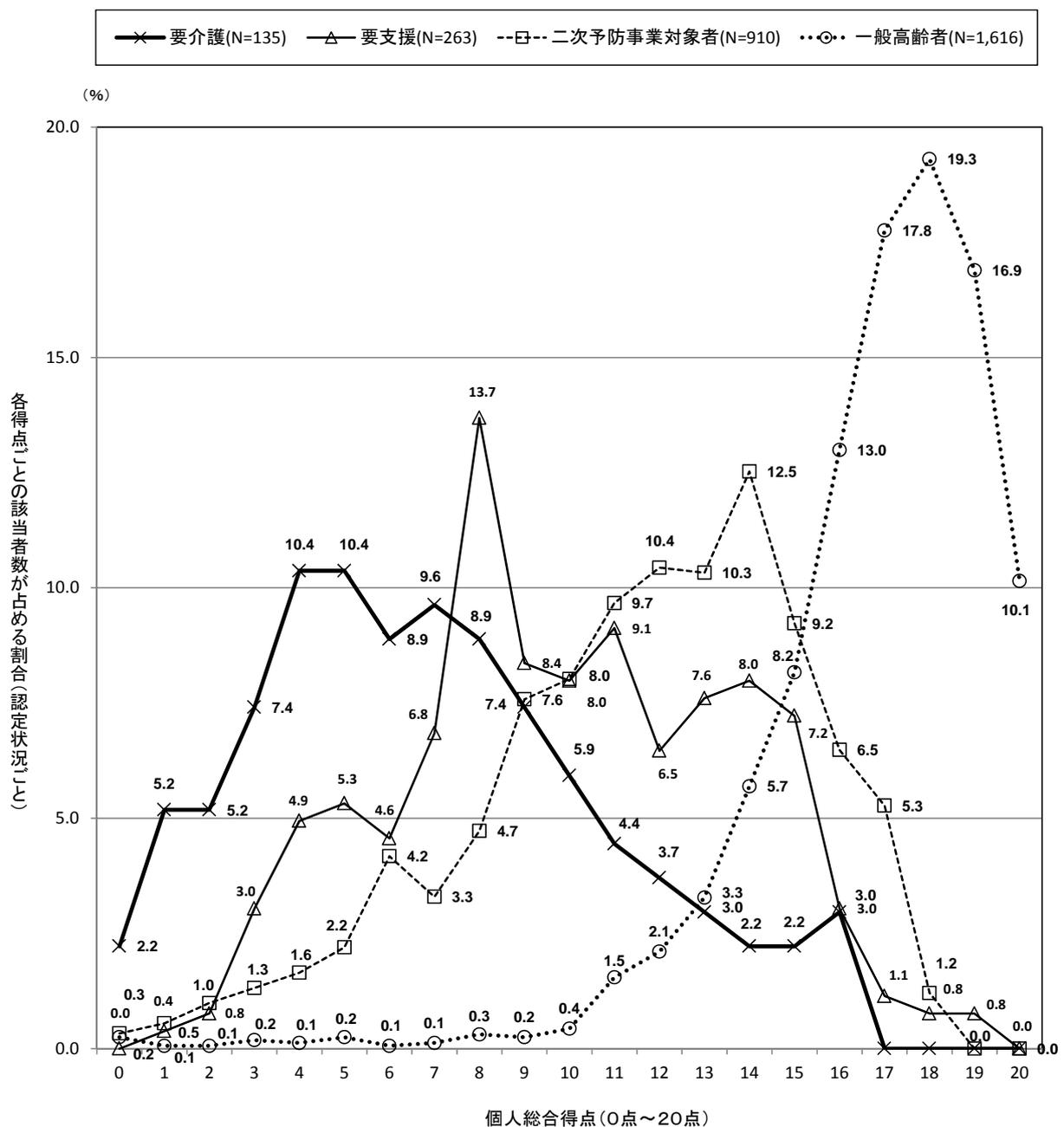
リスク該当者判定:「該当」(いずれか1つ以上に該当),「非該当」(該当項目なし),「判定不能」(該当項目がなく,判定不能項目がある)

(11) 総合指標（個人基本得点）

基本チェックリストのうつ予防に関する設問を除く 20 項目について，リスク非該当となる選択肢を 1 点とした合計得点（20 点満点）を総合指標（個人基本得点）とし，集計結果を相対度数分布で示しました。「一般高齢者」の分布は 18 点をピークにした曲線となりますが，「要介護」の分布は 4～5 点をピークにした低い点数に分布する曲線となっています。

「二次予防事業対象者」の分布を見ると，比較的健康的な「一般高齢者」の分布と，「要支援」の分布の間にあります。

個人総合得点相対度数分布(総数; 2,924人)



## 評価に用いた設問と点数評価

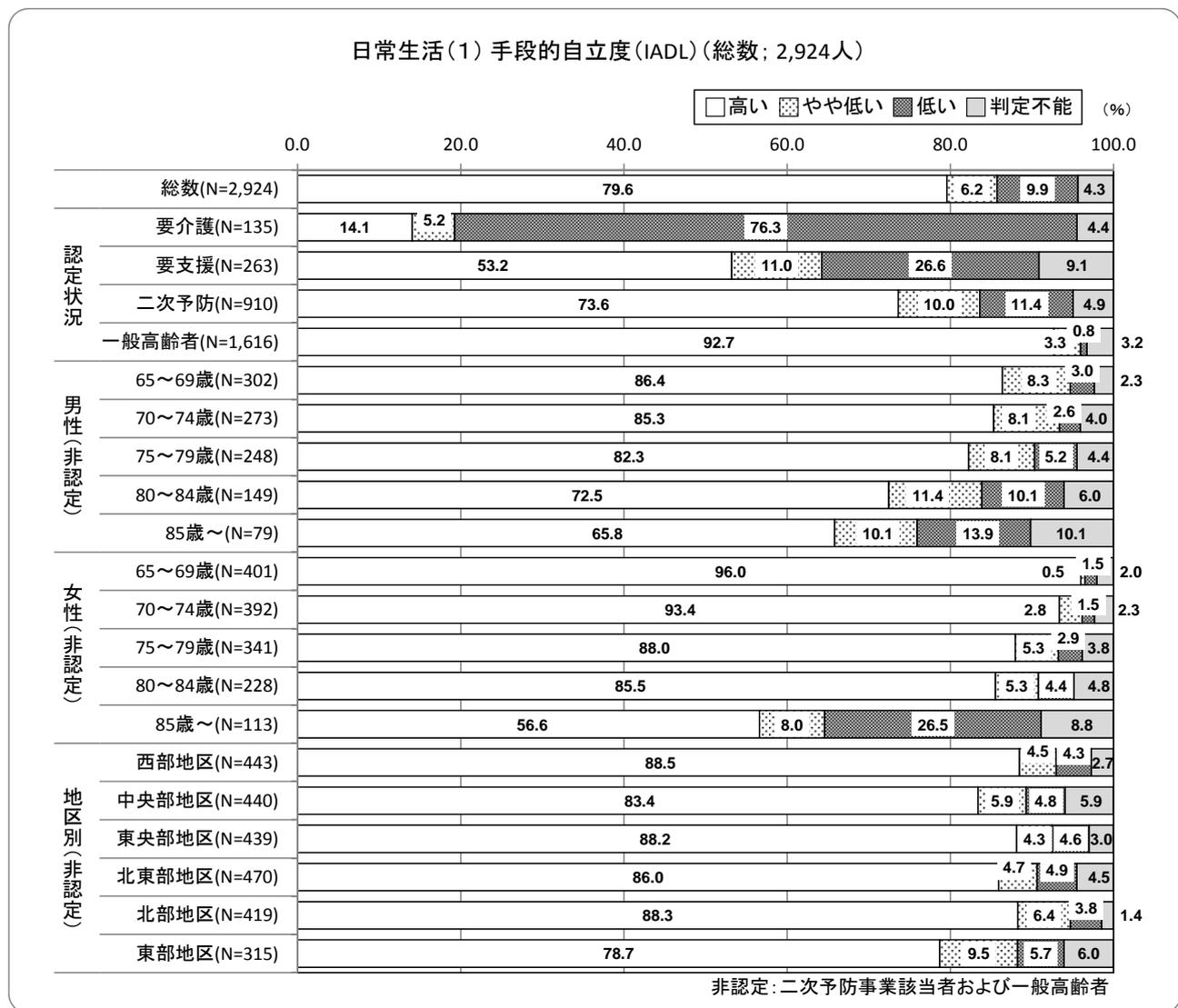
設問		該当項目	認定状況別該当割合(%)			
			要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	二次予防 (N=910)	一般 (N=1,616)
問2Q1.	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	はい(1点)	19.3	14.8	31.5	71.4
問2Q2.	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	はい(1点)	26.7	31.9	55.3	93.7
問2Q3.	15分位続けて歩いていますか	はい(1点)	28.9	44.9	62.3	89.3
問2Q5.	週に1回以上は外出していますか	はい(1点)	63.0	74.9	79.2	93.8
問2Q6.	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	いいえ(1点)	24.4	27.0	39.7	74.1
問3Q1.	(雪のない時期)この1年間に転んだことがありますか	いいえ(1点)	47.4	58.6	58.9	87.9
問3Q2.	転倒に対する不安は大きいですか	いいえ(1点)	10.4	9.5	18.9	63.3
問4Q1.	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	いいえ(1点)	63.7	60.8	65.7	81.8
問4Q2.	身長と体重を教えてください	BMI18.5以上(1点)	72.6	74.5	82.7	90.6
問4Q3.	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	いいえ(1点)	36.3	36.9	33.1	79.7
問4Q4.	お茶や汁物等でむせることがありますか	いいえ(1点)	54.8	50.6	48.8	88.1
問4Q5.	口の渇きが気になりますか	いいえ(1点)	50.4	47.5	43.6	87.7
問5Q1.	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	いいえ(1点)	30.4	57.8	62.9	86.1
問5Q2.	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	はい(1点)	44.4	85.9	82.9	92.5
問5Q3.	今日が何月何日かわからない時がありますか	いいえ(1点)	31.9	60.5	67.4	83.7
問6Q1.	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している(1点)	14.8	43.7	71.1	91.2
問6Q2.	日用品の買物をしていますか	できるし、している(1点)	14.1	52.1	72.6	91.5
問6Q5.	預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している(1点)	21.5	64.3	68.8	83.3
問7Q5.	友人の家を訪ねていますか	はい(1点)	13.3	35.7	44.0	66.5
問7Q6.	家族や友人の相談にのっていますか	はい(1点)	23.7	58.6	64.1	84.8

## 3-2. 日常生活について

### (1) 手段的自立度 (IADL)

活動的な日常生活を送るための動作（バスに乗って買い物に行く，食事の支度をする，電話をかけるなど）の能力を指す，手段的自立度（IADL）について，市全体で見ると，「やや低い」の割合が 6.2%，「低い」の割合が 9.9%となっています。二次予防事業対象者の中では，「やや低い」の割合が 10.0%，「低い」の割合が 11.4%となっています。一般高齢者の中では，「やや低い」の割合が 3.3%，「低い」の割合が 0.8%となっています。

二次予防事業対象者と一般高齢者をあわせた，非認定者について，年齢別に見ると，全体的には年齢が上がるにつれ，「やや低い」および「低い」の割合が高くなっています。地区別に見ると，リスク該当者の割合は地区によって異なりますが，顕著な違いは見られませんでした。



手段的自立度 ( I A D L : Instrumental Activities of Daily Living ) ..... 高次の生活機能の評価を行うことを目的として東京都老人総合研究所により開発された，老研式活動能力指標の3つの尺度の中の1つ。

## 評価に用いた設問と点数評価

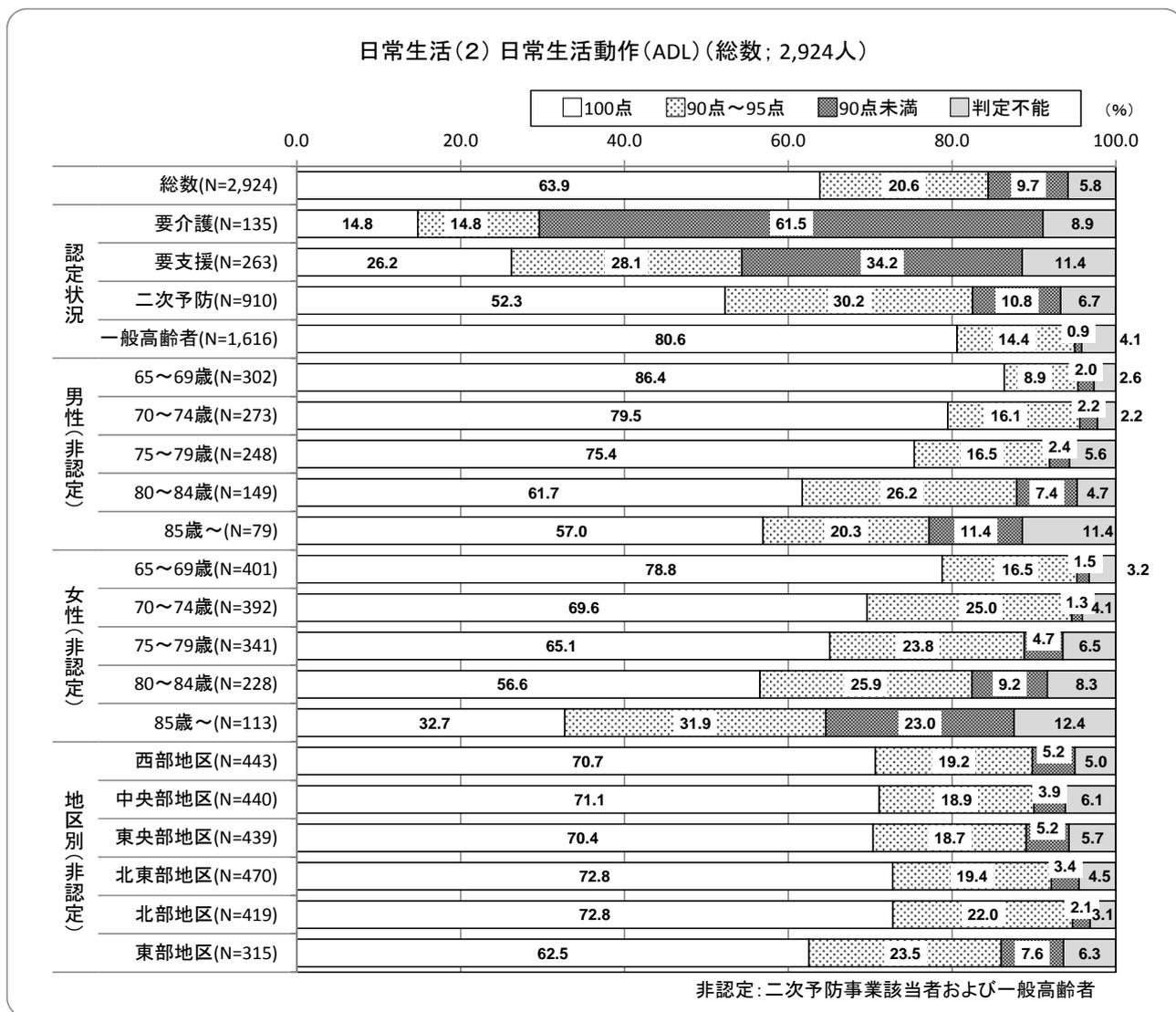
設問		該当項目	認定状況別該当割合(%)			
			要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	二次予防 (N=910)	一般 (N=1,616)
問6Q1.	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している(1点)	14.8	43.7	16.2	91.2
問6Q2.	日用品の買物をしていますか	できるし、している(1点)	14.1	52.1	72.6	91.5
問6Q3.	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している(1点)	20.0	63.9	66.9	75.2
問6Q4.	請求書の支払いをしていますか	できるし、している(1点)	25.9	72.2	72.4	84.7
問6Q5.	預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している(1点)	21.5	64.3	68.8	83.3

判定: 「低い」(3点以下), 「やや低い」(4点), 「高い」(5点)

## (2) 日常生活動作（ADL）

日常生活を送るために必要な様々な基本動作や活動（食事，排泄，着脱衣，入浴，移動，寝起きなど）についての能力を指す，日常生活動作（ADL）について，市全体で見ると，「100点」の割合が63.9%，「90点～95点」の割合が20.6%，「90点未満」の割合が9.7%となっています。二次予防事業対象者の中では，「100点」の割合が52.3%，「90点～95点」の割合が30.2%，「90点未満」の割合が10.8%となっています。一般高齢者の中では，「100点」の割合が80.6%，「90点～95点」の割合が14.4%，「90点未満」の割合が0.9%となっています。

二次予防事業対象者と一般高齢者をあわせた，非認定者について，年齢別に見ると，全体的には年齢が上がるにつれ，「90点～95点」および「90点未満」の割合が高くなっています。地区別に見ると，リスク該当者の割合は地区によって異なりますが，顕著な違いは見られませんでした。

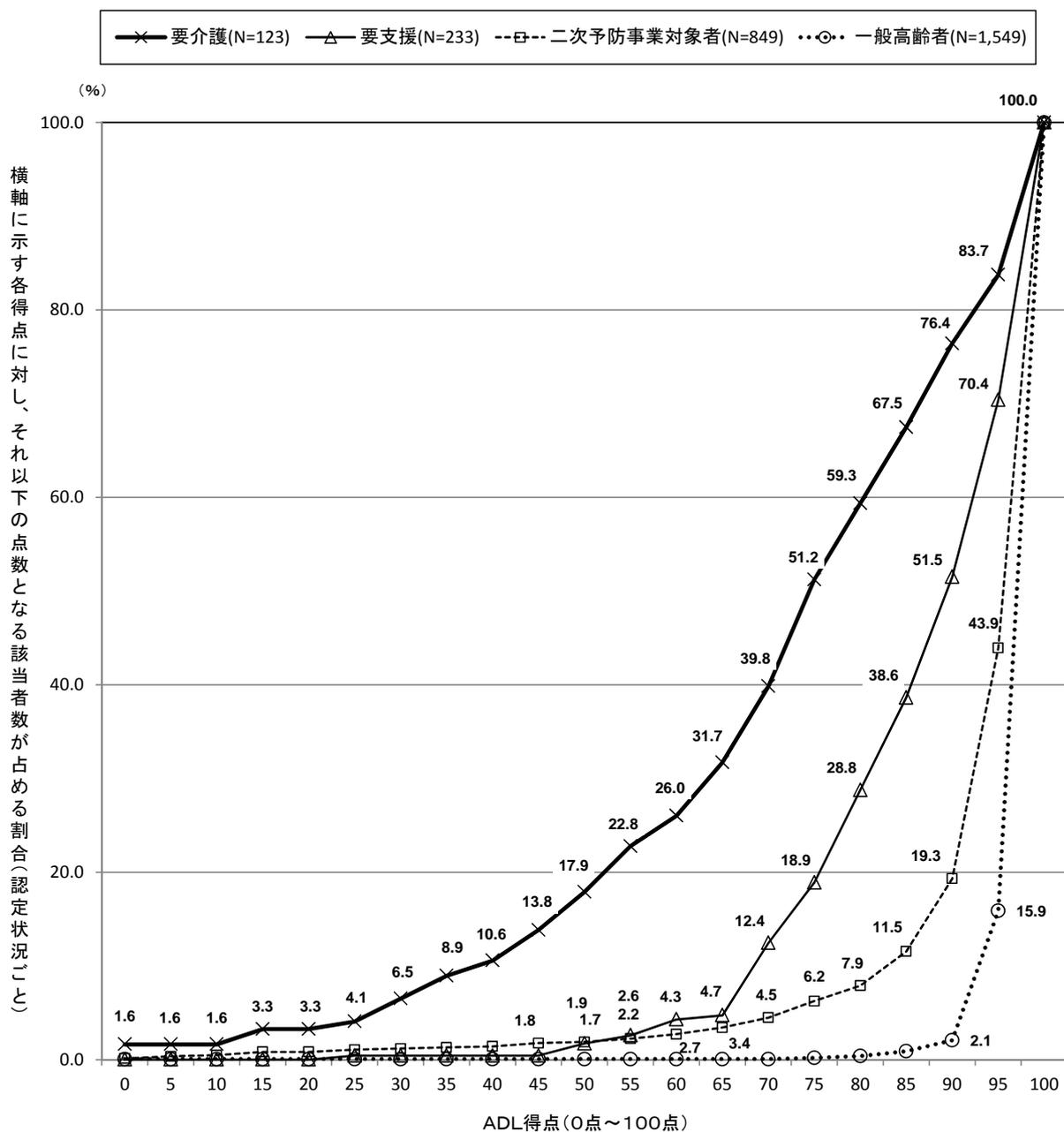


日常生活動作（ADL: Activities of Daily Living）……人が毎日の生活を送るために各人が共通に繰り返す，様々な基本的かつ具体的な活動のことを指し，高齢者の身体活動能力や障害の程度を測るための指標となっている。

また、ADL の判定不能者を除く回答者を対象に、累積相対度数分布を作成しました。「一般高齢者」の分布は逆 L 字型の曲線となりますが、「要介護」の分布は全体的に高い数字となり、なだらかな曲線となっています。

「二次予防事業対象者」の分布を見ると、比較的健康な「一般高齢者」の分布と、「要支援」の分布の間にあります。

ADL累積相対度数分布(総数; 2,754人)



数字は1.5%以上を表記した。

## 評価に用いた設問と点数評価

設問・項目			配点	認定状況別該当割合(%)			
				要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	二次予防 (N=910)	一般 (N=1,616)
問6Q6.	食事は自分で食べられますか	「できる」	10点	77.8	93.9	96.4	99.2
		「一部介助があればできる」	5点	17.8	3.4	1.9	0.1
		「できない」	0点	2.2	0.8	0.5	0.1
問6Q7.	寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	「受けない」	15点	72.6	93.9	94.4	98.4
		「一部介助があればできる」	10点	20.7	3.8	2.6	0.1
		「全面的な介助が必要」 (問6Q8の着座の回答が「できる」、「支えが必要」の場合)	5点	2.2	0.4	0.8	0.1
		「全面的な介助が必要」 (問6Q8の着座の回答が「できない」の場合)	0点	1.5	0.0	0.4	0.1
問6Q9.	自分で洗面や歯磨きができますか	「できる」	5点	80.0	97.0	95.8	99.1
		「一部介助があればできる」、「できない」	0点	17.8	1.9	2.9	0.1
問6Q10.	自分でトイレができますか	「できる」	10点	86.7	97.3	96.6	98.9
		「一部介助があればできる」	5点	8.9	0.8	1.0	0.1
		「できない」	0点	3.0	0.0	1.2	0.1
問6Q11.	自分で入浴ができますか	「できる」	5点	41.5	76.4	92.7	99.1
		「一部介助があればできる」、「できない」	0点	57.0	20.5	5.7	0.2
問6Q12.	50m以上歩けますか	「できる」	15点	45.2	60.1	85.8	98.1
		「一部介助があればできる」	10点	18.5	19.8	5.4	0.3
		「できない」	0点	33.3	16.0	6.3	0.8
問6Q13.	階段を昇り降りできますか	「できる」	10点	40.7	52.5	84.3	98.0
		「介助があればできる」	5点	25.9	26.6	6.9	0.5
		「できない」	0点	29.6	16.3	6.0	0.4
問6Q14.	自分で着替えができますか	「できる」	10点	72.6	94.7	95.4	99.1
		「介助があればできる」	5点	14.8	4.2	1.8	0.0
		「できない」	0点	10.4	0.0	1.4	0.1
問6Q15.	大便の失敗がありますか	「ない」	10点	54.1	82.1	88.6	97.6
		「ときどきある」	5点	31.9	14.8	7.9	1.1
		「よくある」	0点	11.9	1.1	1.4	0.1
問6Q16.	尿もれや尿失禁がありますか	「ない」	10点	39.3	54.0	61.5	84.2
		「ときどきある」	5点	36.3	40.3	33.3	14.4
		「よくある」	0点	21.5	4.9	3.2	0.4

平成22年度日常生活圏域二一ズ調査モデル事業全国担当者会議 資料より

100点 : 自立

60点以下 : 起居移動に介助が必要

40点以下 : ほぼすべてに介助が必要

## 各分類ごとの点数状況

	函館市 全体	介護区分				男性(非認定)					女性(非認定)					地区別(非認定)					
		要介護	要支援	二次予防	一般高齢者	65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85 歳~	65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85 歳~	西部 地区	中央部 地区	東北部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
総数(人)	2,924	135	263	910	1,616	302	273	248	149	79	401	392	341	228	113	443	440	439	470	419	315
■実数(人)																					
100点	1,868	20	69	476	1,303	261	217	187	92	45	316	273	222	129	37	313	313	309	342	305	197
90点~95点	601	20	74	275	232	27	44	41	39	16	66	98	81	59	36	85	83	82	91	92	74
80点~85点	122	20	46	45	11	4	2	4	7	5	5	2	5	14	8	12	9	12	5	4	14
70点~75点	83	24	33	24	2	0	0	1	2	3	0	2	8	2	8	3	5	5	4	3	6
60点~65点	26	11	5	10	0	0	3	1	1	0	0	0	0	2	3	4	2	3	0	1	0
50点~55点	20	11	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	2
5点~45点	30	15	1	14	0	2	1	0	1	1	1	1	1	3	3	3	1	3	4	1	2
0点	4	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0
判定不能	170	12	30	61	67	8	6	14	7	9	13	16	22	19	14	22	27	25	21	13	20
■構成比(%)																					
100点	63.9	14.8	26.2	52.3	80.6	86.4	79.5	75.4	61.7	57.0	78.8	69.6	65.1	56.6	32.7	70.7	71.1	70.4	72.8	72.8	62.5
90点~95点	20.6	14.8	28.1	30.2	14.4	8.9	16.1	16.5	26.2	20.3	16.5	25.0	23.8	25.9	31.9	19.2	18.9	18.7	19.4	22.0	23.5
80点~85点	4.2	14.8	17.5	4.9	0.7	1.3	0.7	1.6	4.7	6.3	1.2	0.5	1.5	6.1	7.1	2.7	2.0	2.7	1.1	1.0	4.4
70点~75点	2.8	17.8	12.5	2.6	0.1	0.0	0.0	0.4	1.3	3.8	0.0	0.5	2.3	0.9	7.1	0.7	1.1	1.1	0.9	0.7	1.9
60点~65点	0.9	8.1	1.9	1.1	0.0	0.0	1.1	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	2.7	0.9	0.5	0.7	0.0	0.2	0.0
50点~55点	0.7	8.1	1.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.6
5点~45点	1.0	11.1	0.4	1.5	0.0	0.7	0.4	0.0	0.7	1.3	0.2	0.3	0.3	1.3	2.7	0.7	0.2	0.7	0.9	0.2	0.6
0点	0.1	1.5	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
判定不能	5.8	8.9	11.4	6.7	4.1	2.6	2.2	5.6	4.7	11.4	3.2	4.1	6.5	8.3	12.4	5.0	6.1	5.7	4.5	3.1	6.3

### 3-3. 社会参加について

#### (1) 知的能動性

余暇や創作など生活を楽しむ能力を図る指標である知的能動性については、高次の生活機能として、役所の書類を書くことができるかどうか、新聞や本などの読書、健康情報への関心などについて把握することにより評価しました。市全体で見ると、「やや低い」の割合が17.5%、「低い」の割合が18.5%となっています。二次予防事業対象者の中では、「やや低い」の割合が21.4%、「低い」の割合が25.3%となっています。一般高齢者の中では、「やや低い」の割合が15.3%、「低い」の割合が8.3%となっています。

二次予防事業対象者と一般高齢者をあわせた、非認定者について、年齢別に見ると、全体的には年齢が上がるにつれ、「やや低い」および「低い」の割合が高くなる傾向になっています。地区別に見ると、東部地区では「やや低い」(21.3%)と「低い」(28.6%)をあわせて49.9%と比較的高い割合となっています。



知的能動性……高次の生活機能の評価を行うことを目的として開発された、老研式活動能力指標の3つの尺度の内の1つ。余暇や創作など、生活を楽しむ能力を指す。

## 評価に用いた設問と点数評価

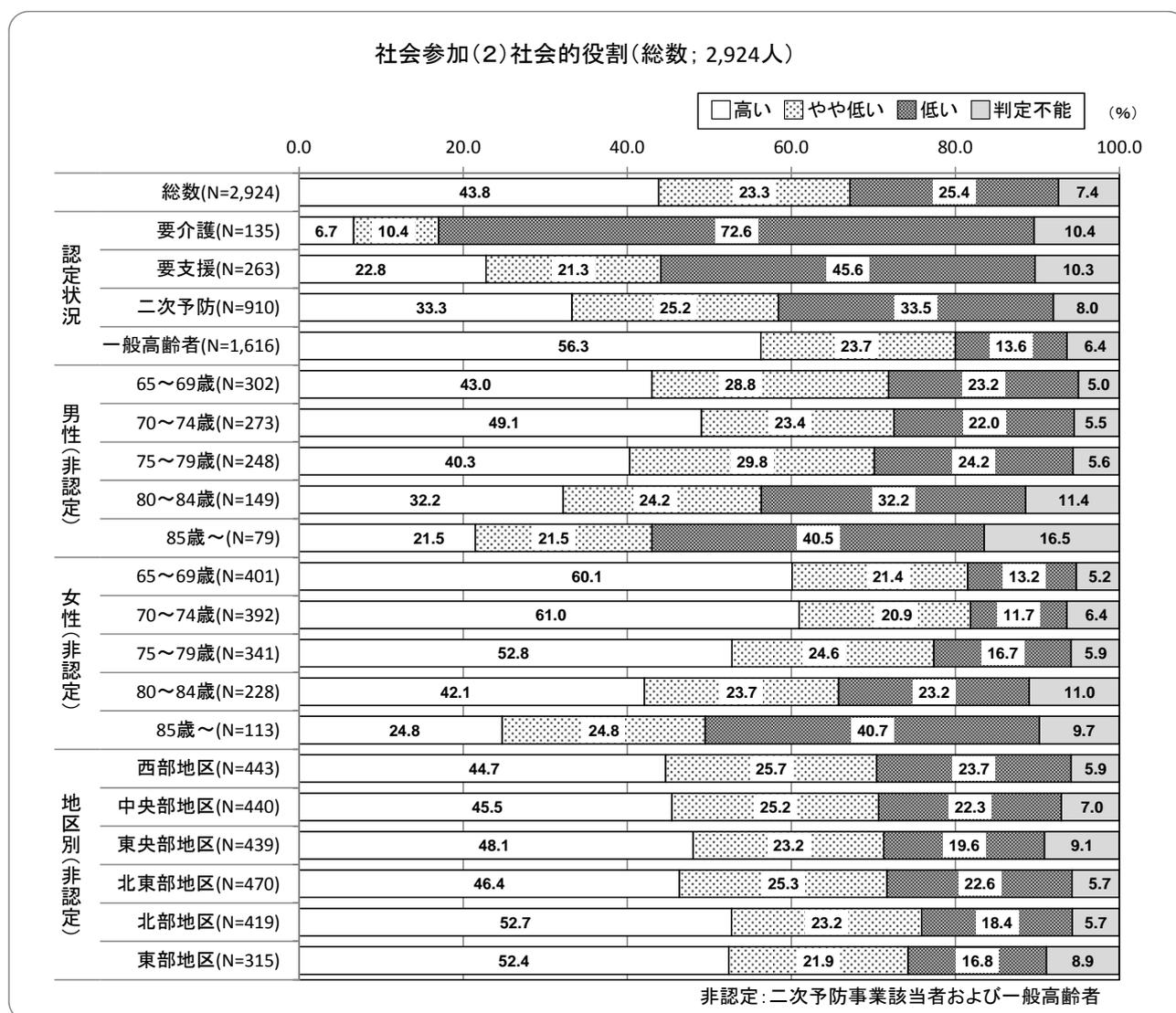
設問		該当項目	認定状況別該当割合(%)			
			要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	二次予防 (N=910)	一般 (N=1,616)
問7Q1.	(役所や病院などに出す)年金などの書類が書けますか	はい(1点)	25.9	56.7	69.9	91.2
問7Q2.	新聞を読んでいますか	はい(1点)	60.0	75.7	81.9	93.1
問7Q3.	本や雑誌を読んでいますか	はい(1点)	39.3	58.9	63.8	81.4
問7Q4.	健康についての記事や番組に関心がありますか	はい(1点)	49.6	86.7	84.1	92.1

判定: 「低い」(2点以下), 「やや低い」(3点), 「高い」(4点)

## (2) 社会的役割

地域で社会的役割をはたす能力を図る指標である社会的役割については、高次の生活機能として、友人宅へ訪問しているかどうか、他人の相談にのっているのかなどについて把握することにより評価しました。市全体で見ると、「やや低い」の割合が23.3%、「低い」の割合が25.4%となっています。二次予防事業対象者の中では、「やや低い」の割合が25.2%、「低い」の割合が33.5%となっています。一般高齢者の中では、「やや低い」の割合が23.7%、「低い」の割合が13.6%となっています。

二次予防事業対象者と一般高齢者をあわせた、非認定者について、年齢別に見ると、全体的には年齢が上がるにつれ、「やや低い」および「低い」の割合が高くなる傾向になっています。地区別に見ると、顕著な違いは見られませんでした。



社会的役割……高次の生活機能の評価を行うことを目的として開発された、老研式活動能力指標の3つの尺度の内の1つ。地域で社会的な役割(家族や友達の相談にのる、病人を見舞うなど)をはたす能力を指す。

## 評価に用いた設問と点数評価

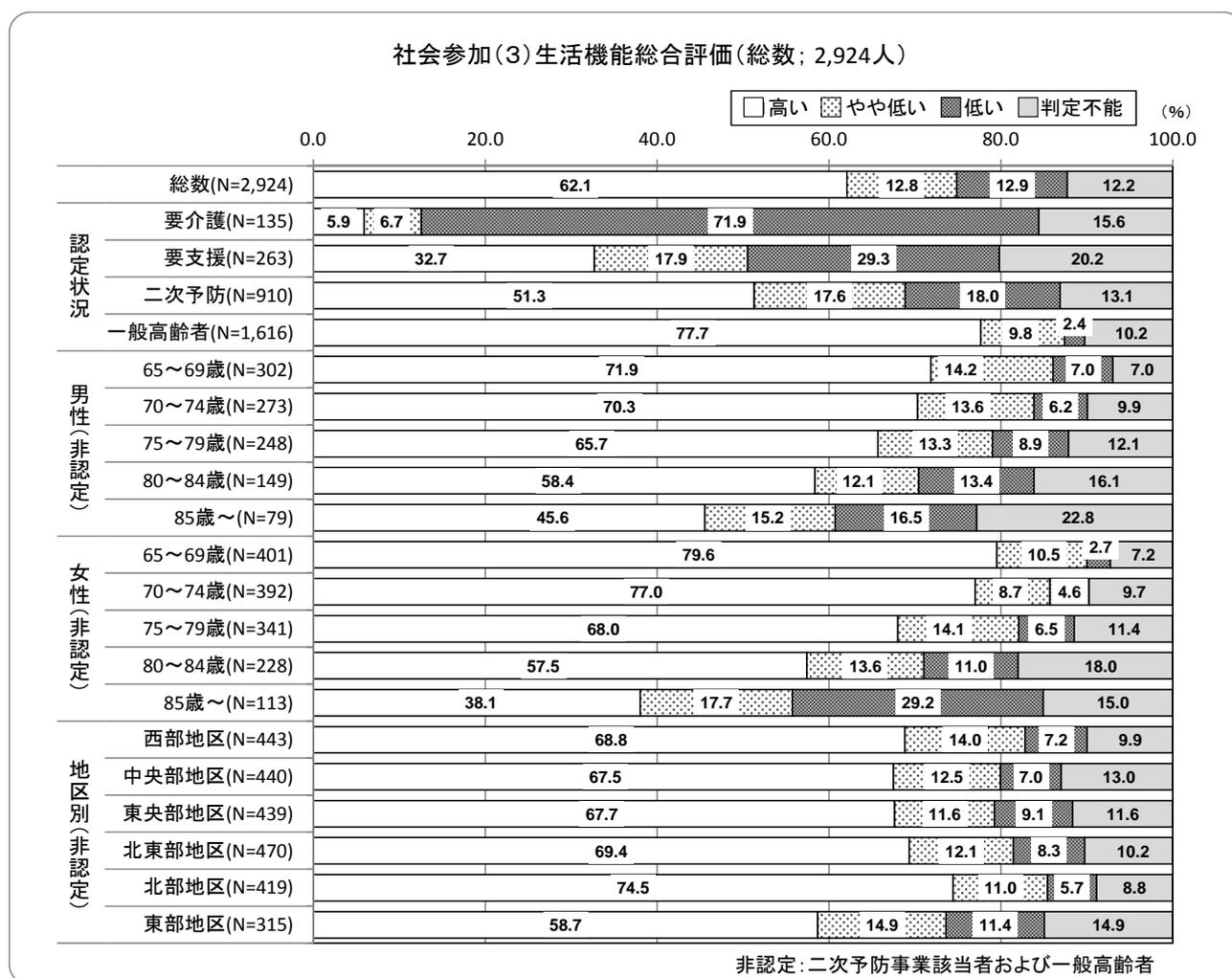
設問		該当項目	認定状況別該当割合(%)			
			要介護 (N=135)	要支援 (N=263)	二次予防 (N=910)	一般 (N=1,616)
問7Q5.	友人の家を訪ねていますか	はい(1点)	13.3	35.7	44.0	66.5
問7Q6.	家族や友人の相談にのっていますか	はい(1点)	23.7	58.6	64.1	84.8
問7Q8.	病人を見舞うことができますか	はい(1点)	33.3	59.3	79.8	94.1
問7Q9.	若い人に自分から話しかけることがありますか	はい(1点)	54.8	71.9	72.5	86.0

判定: 「低い」(2点以下), 「やや低い」(3点), 「高い」(4点)

### (3) 生活機能総合評価（手段的自立度・知的能動性・社会的役割）

生活機能総合評価については，市全体で見ると，「やや低い」の割合が 12.8%，「低い」の割合が 12.9%となっています。二次予防事業対象者の中では，「やや低い」の割合が 17.6%，「低い」の割合が 18.0%となっています。一般高齢者の中では，「やや低い」の割合が 9.8%，「低い」の割合が 2.4%となっています。

二次予防事業対象者と一般高齢者をあわせた，非認定者について，年齢別に見ると，全体的には年齢が上がるにつれ，「やや低い」および「低い」の割合が高くなっています。地区別に見ると，リスク該当者の割合は地区によって異なりますが，顕著な違いは見られませんでした。



#### 評価に用いた指標と判定方法

設問	点数
日常生活(1) 手段的自立度(IADL)	0点～5点
社会参加(1) 知的能動性	0点～4点
社会参加(2) 社会的役割	0点～4点

判定: 「低い」(8点以下), 「やや低い」(9～10点), 「高い」(11点以上)

### 3-4. 要支援・要介護の認定者における状況について

#### (1) 要支援の認定者における状況

市全体で見ると、要支援 1・2 の認定者の中で「認知症有り」の割合は 45.6%、「認知症無し」の割合は 54.4%となっています。「認知症無し」のうち、「日常生活自立度低い」の割合は 14.4%となっています。

区分	函館市 全体	男性					女性					地区別					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
要支援1・2該当者(人)	263	0	8	11	20	19	8	18	40	71	68	48	54	45	39	48	29
■実数(人)																	
認知症有り	120	0	5	6	11	12	1	9	20	28	28	22	24	23	17	19	15
認知症無し	143	0	3	5	9	7	7	9	20	43	40	26	30	22	22	29	14
日常生活自立度高い	87	0	3	4	4	3	3	7	13	29	21	19	17	15	13	15	8
日常生活自立度低い	38	0	0	1	5	2	1	0	5	10	14	4	7	6	7	10	4
判定不能者	18	0	0	0	0	2	3	2	2	4	5	3	6	1	2	4	2
■構成比(%)																	
認知症有り	45.6	0.0	62.5	54.5	55.0	63.2	12.5	50.0	50.0	39.4	41.2	45.8	44.4	51.1	43.6	39.6	51.7
認知症無し	54.4	0.0	37.5	45.5	45.0	36.8	87.5	50.0	50.0	60.6	58.8	54.2	55.6	48.9	56.4	60.4	48.3
日常生活自立度高い	33.1	0.0	37.5	36.4	20.0	15.8	37.5	38.9	32.5	40.8	30.9	39.6	31.5	33.3	33.3	31.3	27.6
日常生活自立度低い	14.4	0.0	0.0	9.1	25.0	10.5	12.5	0.0	12.5	14.1	20.6	8.3	13.0	13.3	17.9	20.8	13.8
判定不能者	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	37.5	11.1	5.0	5.6	7.4	6.3	11.1	2.2	5.1	8.3	6.9

#### (2) 要介護の認定者における状況

市全体で見ると、要介護 1・2 の認定者の中で、「認知症有り」の割合は 57.0%、うち「医療ニーズ高い」の割合は 3.7%となっています。「認知症無し」の割合は 43.0%、うち「医療ニーズ高い」の割合は 0.7%、「医療ニーズ低い」の中で、「日常生活自立度低い」の割合は 23.0%となっています。

区分	函館市 全体	男性					女性					地区別					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
要介護1・2該当者(人)	135	1	7	4	14	12	2	6	14	26	49	29	27	23	24	20	12
■実数(人)																	
認知症有り	77	0	6	4	9	7	0	3	6	18	24	19	11	14	18	10	5
医療ニーズ高い	5	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	2	0	1	1	0	1
医療ニーズ低い	72	0	6	3	9	7	0	3	5	17	22	17	11	13	17	10	4
認知症無し	58	1	1	0	5	5	2	3	8	8	25	10	16	9	6	10	7
医療ニーズ高い	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
医療ニーズ低い	57	1	1	0	5	5	2	3	8	8	24	10	15	9	6	10	7
日常生活自立度高い	21	1	0	0	1	3	1	1	3	4	7	2	7	3	3	4	2
日常生活自立度低い	31	0	0	0	4	1	1	2	5	2	16	7	7	6	3	5	3
判定不能者	5	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	1	2
■構成比(%)																	
認知症有り	57.0	0.0	85.7	100.0	64.3	58.3	0.0	50.0	42.9	69.2	49.0	65.5	40.7	60.9	75.0	50.0	41.7
医療ニーズ高い	3.7	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	3.8	4.1	6.9	0.0	4.3	4.2	0.0	8.3
医療ニーズ低い	53.3	0.0	85.7	75.0	64.3	58.3	0.0	50.0	35.7	65.4	44.9	58.6	40.7	56.5	70.8	50.0	33.3
認知症無し	43.0	0.0	14.3	0.0	35.7	41.7	100.0	50.0	57.1	30.8	51.0	34.5	59.3	39.1	25.0	50.0	58.3
医療ニーズ高い	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
医療ニーズ低い	42.2	0.0	14.3	0.0	35.7	41.7	100.0	50.0	57.1	30.8	49.0	34.5	55.6	39.1	25.0	50.0	58.3
日常生活自立度高い	15.6	0.0	0.0	0.0	7.1	25.0	50.0	16.7	21.4	15.4	14.3	6.9	25.9	13.0	12.5	20.0	16.7
日常生活自立度低い	23.0	0.0	0.0	0.0	28.6	8.3	50.0	33.3	35.7	7.7	32.7	24.1	25.9	26.1	12.5	25.0	25.0
判定不能者	3.7	0.0	14.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	7.7	2.0	3.4	3.7	0.0	0.0	5.0	16.7

評価に用いた指標と判定方法

- ・ 認知症度合いについては、以下のいずれかの場合に「認知症有り」、それ以外の場合に「認知症無し」としました。
  - 問 1 Q 2 - 1 , 問 8 Q 2 で、要介護・介助の原因または現在治療中・後遺症として「認知症（アルツハイマー病等）」と回答した場合
    - 問 1 Q 2 - 1 (介護・介助が必要な方のみ)介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(複数選択可)
    - 問 8 Q 2 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(複数選択可)
  - 認知機能障害程度区分(CPS)で、要支援では「境界的(1レベル)」以上、要介護では「軽度(2レベル)」以上に該当した場合
- ・ 日常生活自立度については、ADL得点が90点以上は「日常生活自立度 高い」とし、90点未満は「日常生活自立度 低い」としました。
- ・ 医療ニーズについては、問 8 Q 5 で、以下のいずれかを利用している場合に「医療ニーズ 高い」とし、それ以外を「医療ニーズ 低い」としました。
  - 問 8 Q 5 以下の在宅サービスを利用していますか(複数選択可)  
(医療ニーズが高いと判断される選択肢)
    - 「1. 訪問診療(医師の訪問)」
    - 「5. 訪問看護」
    - 「12. 医師や薬剤師など療養上の指導(居宅療養管理指導)」

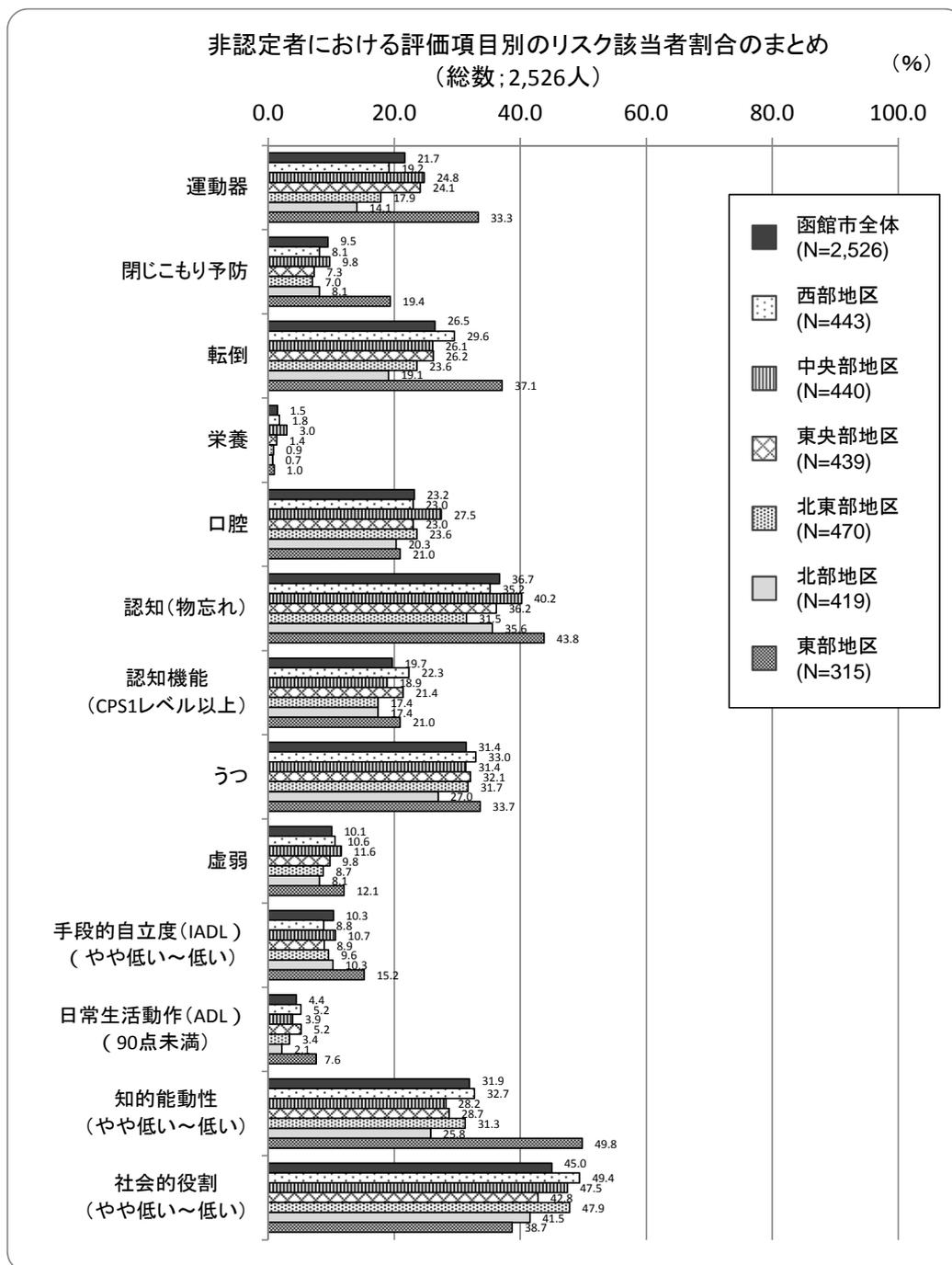
## 4. 結果のまとめ

評価項目別に集計した結果，現在，要介護・要支援の非認定者の中にも，身体機能や生活機能の低下が見られることが明らかとなり，地区別に二次予防事業の対象者割合などを把握できました。

男女別に見ると，男性よりも女性の方が機能の低下傾向が見られます。

年齢別に見ると，高齢化が進むにつれて身体機能の低下等が見られます。

地区別に見ると，運動器，閉じこもり，転倒および知的能動性の4つの項目について，東部地区のリスク該当者の割合が他の地区と比較して高くなっていました。そのほかの項目についてはリスク該当者の割合が異なる地区が見られるものの，顕著な違いはありませんでした。



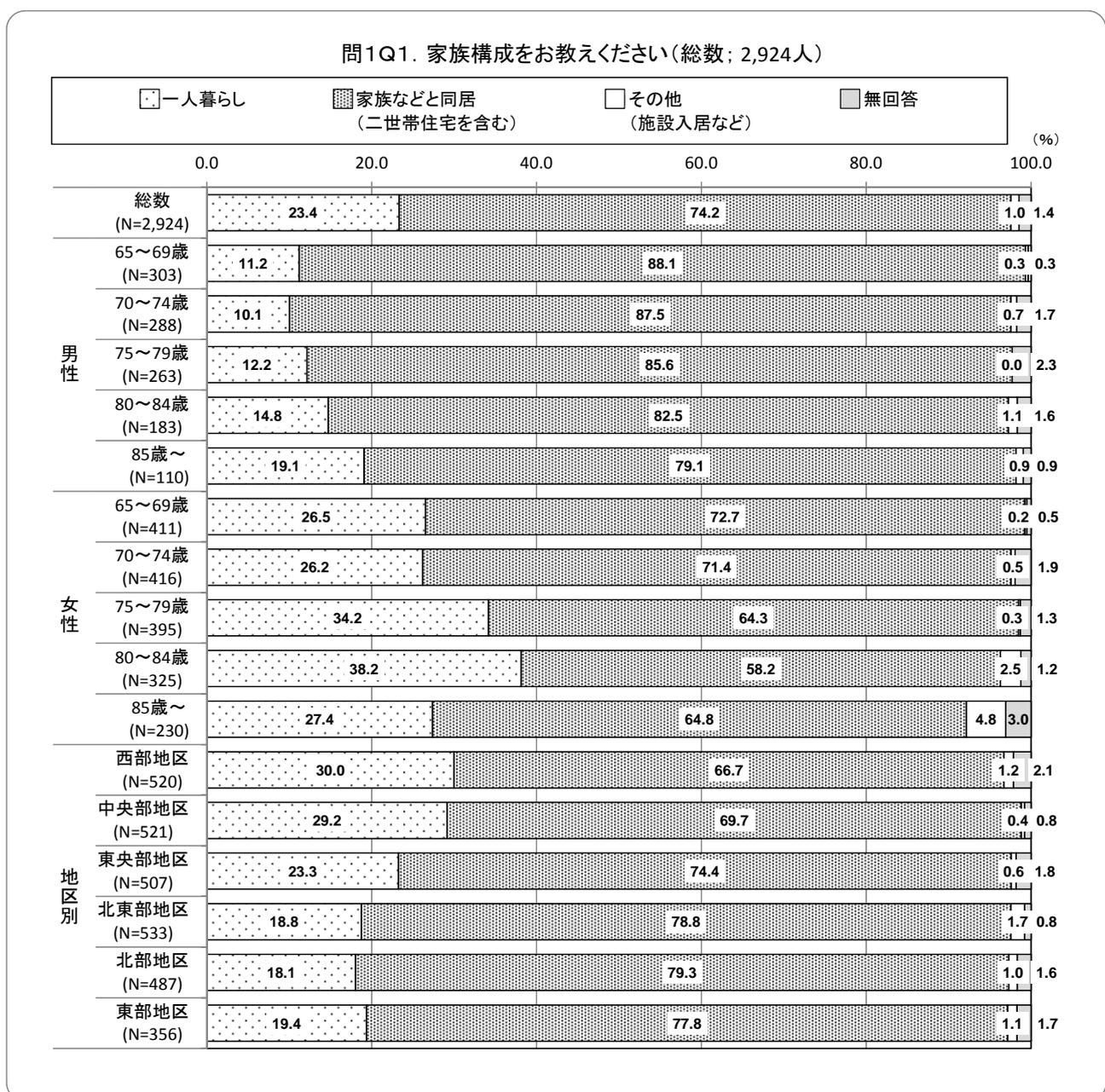
## 5. 設問別の集計結果

アンケートのそれぞれの設問別の集計結果を以下に示します。それぞれについてのコメントは、市全体で見た時に割合の高い選択肢，評価項目別集計の各項目で該当する選択肢，設問に対してリスクとなる選択肢などに着目して記述しています。

### 問1 あなたのご家族や生活状況について

#### 問1 Q1. 家族構成をお教えてください

市全体で見ると、「家族など同居(二世帯住宅を含む)」の割合が74.2%と最も高くなっています。



**問1** Q1-1. (家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか

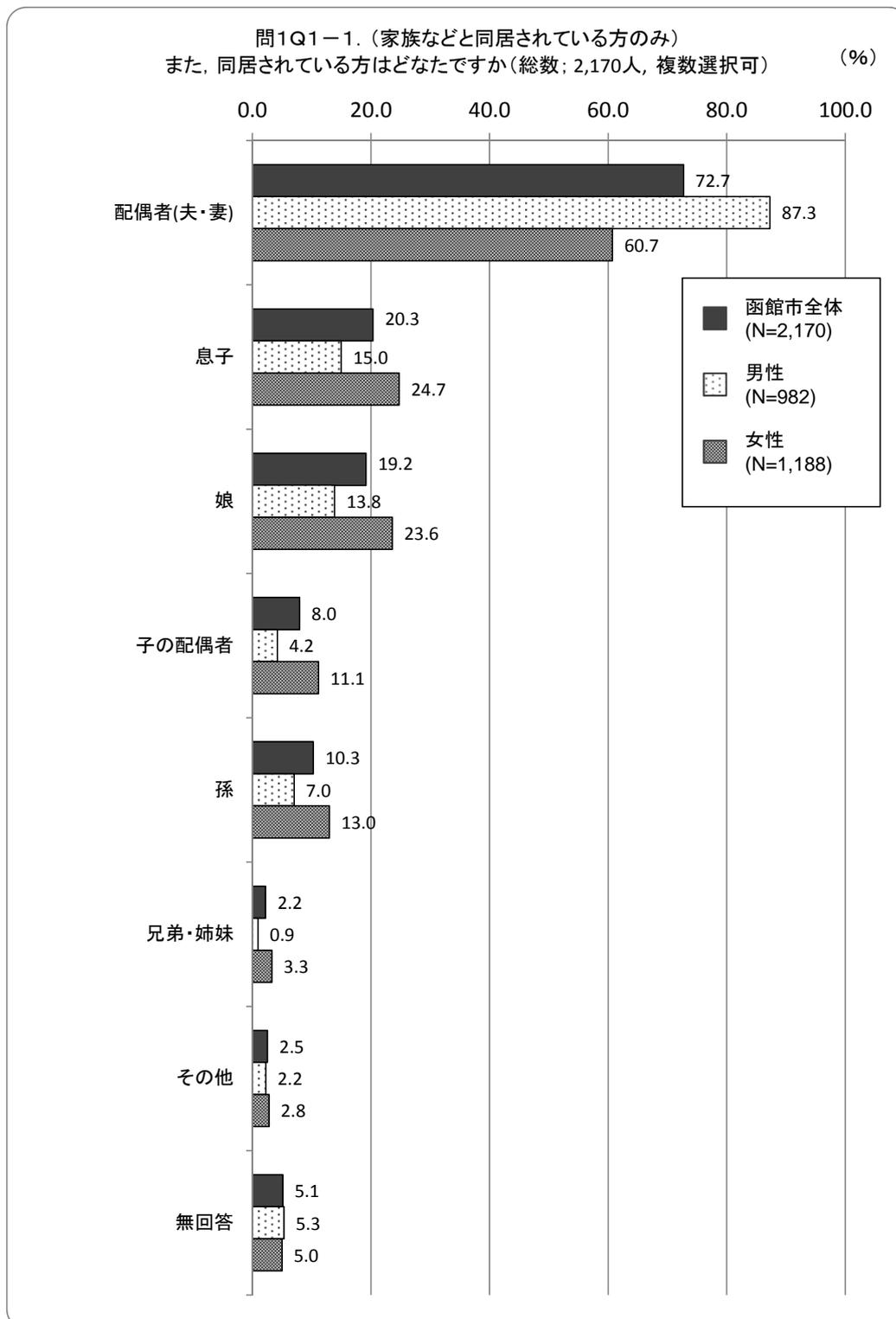
回答者の属性を詳細に見るため、「一人暮らし」を含めた世帯構成の集計を行いました。市全体で見ると、「配偶者と二人暮らし」の割合が38.3%と最も高くなっています。



**問1** Q1-1. (家族など同居されている方のみ) また、同居されている方はどなたですか(複数選択可)

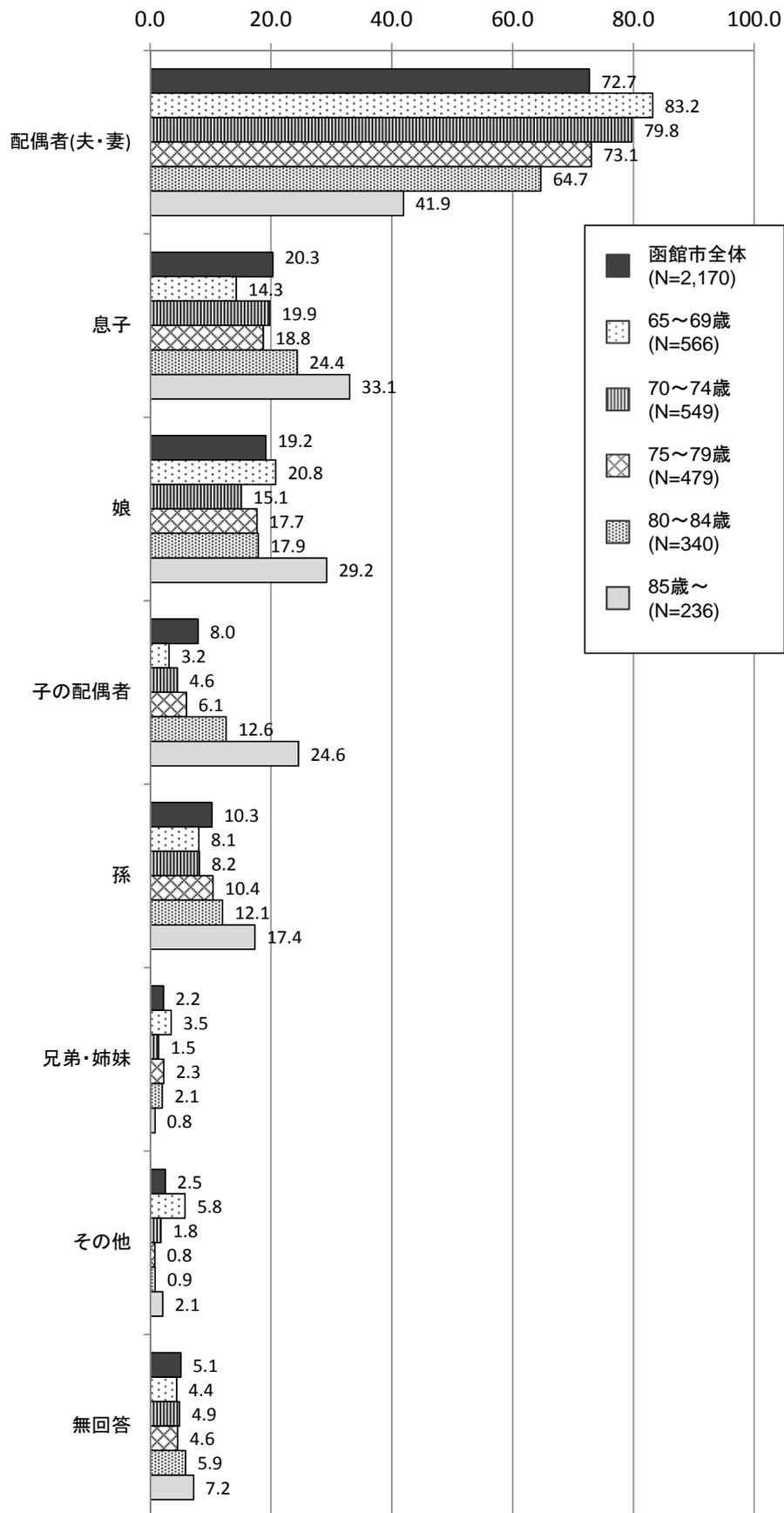
市全体で見ると、「配偶者(夫・妻)」との同居の割合が72.7%と最も高くなっています。次いで、「息子」(20.3%)、および「娘」(19.2%)の割合が高くなっています。

(性別)

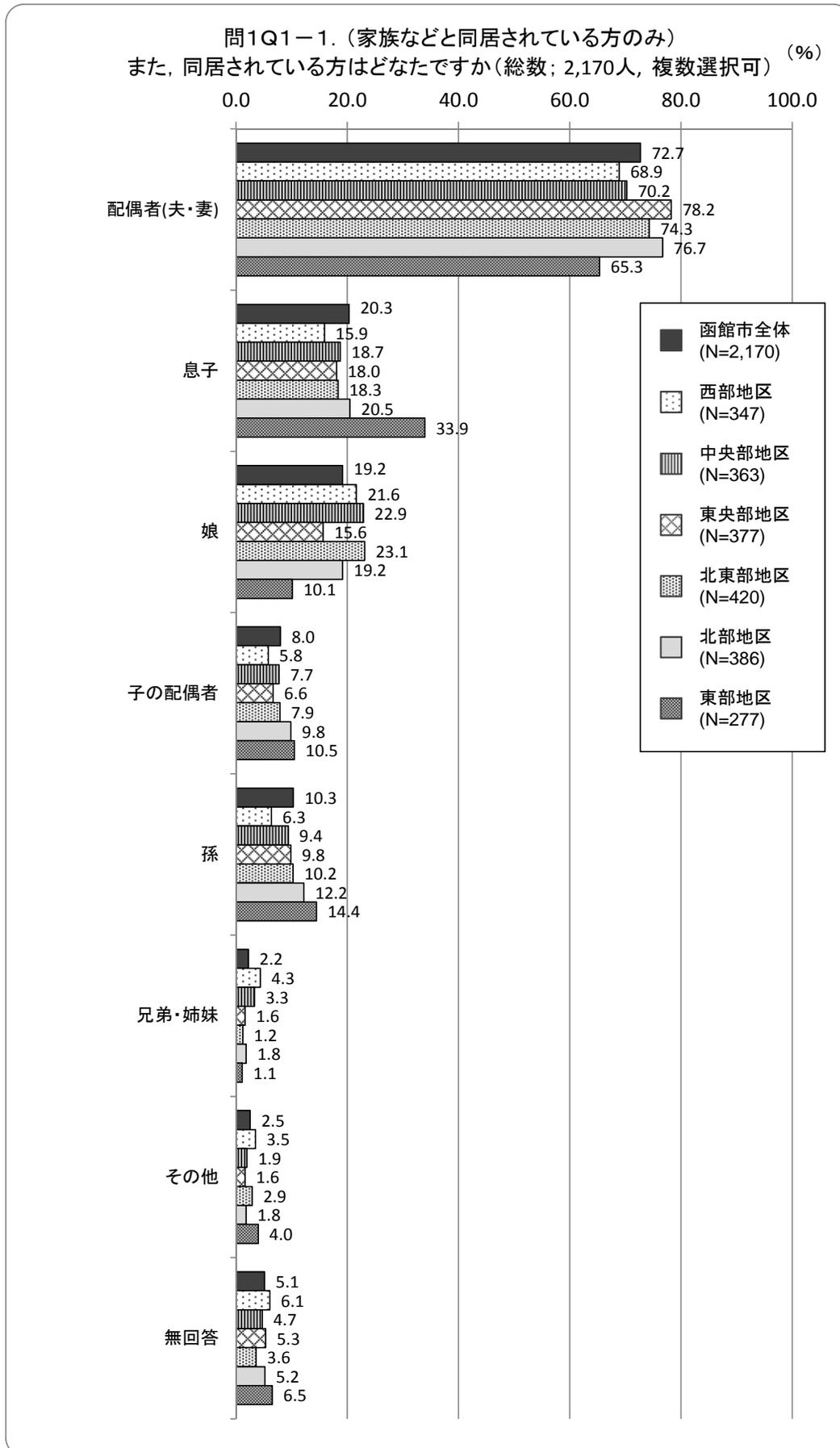


( 年齢別 )

問1Q1-1. (家族など同居されている方のみ)  
 また、同居されている方はどなたですか(総数; 2,170人, 複数選択可) (%)

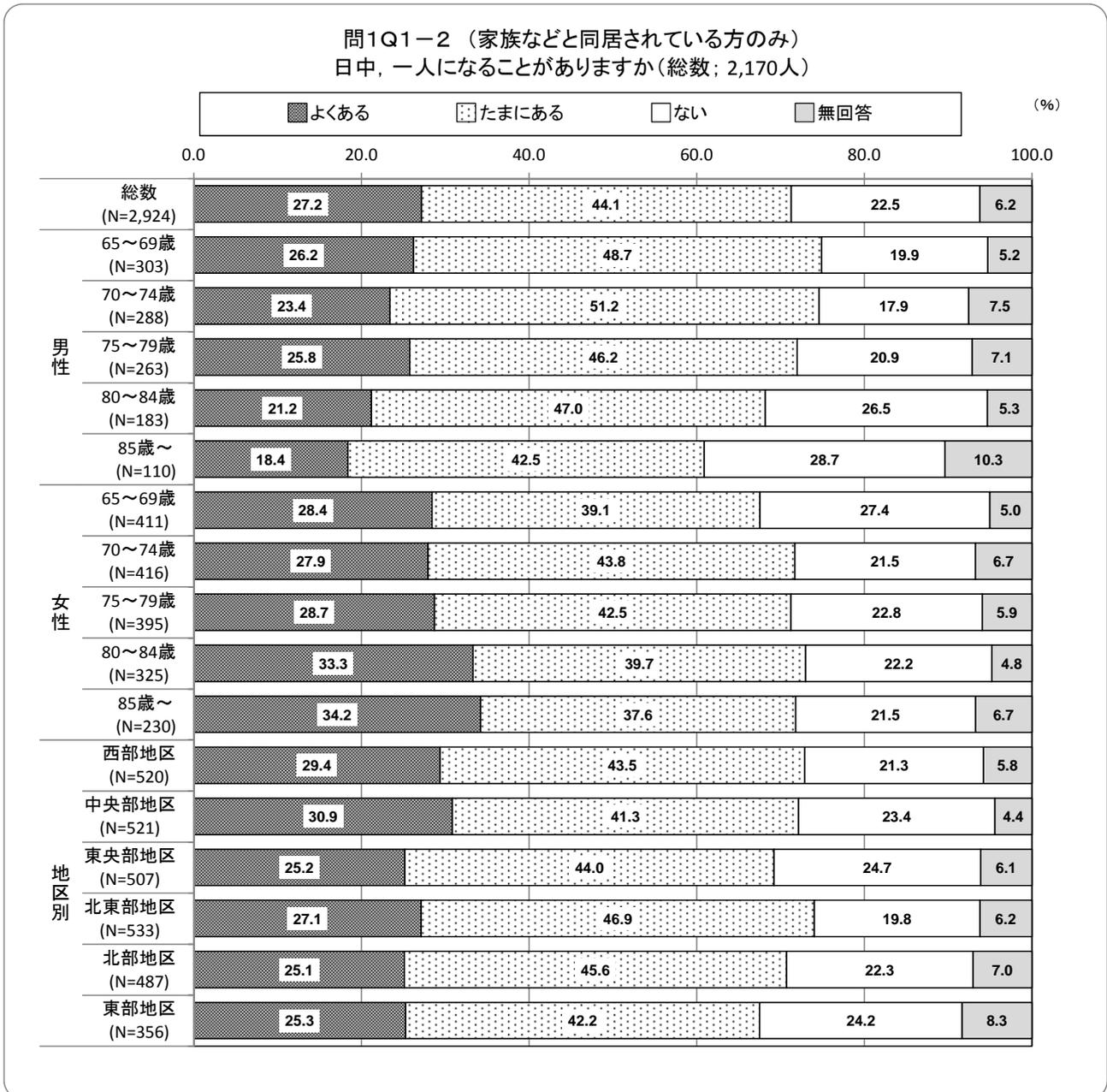


( 地区別 )



**問1** Q1-2. (家族など同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか

市全体で見ると、「たまにある」の割合が44.1%と最も高く、「よくある」(27.2%)と合わせると71.3%となっています。

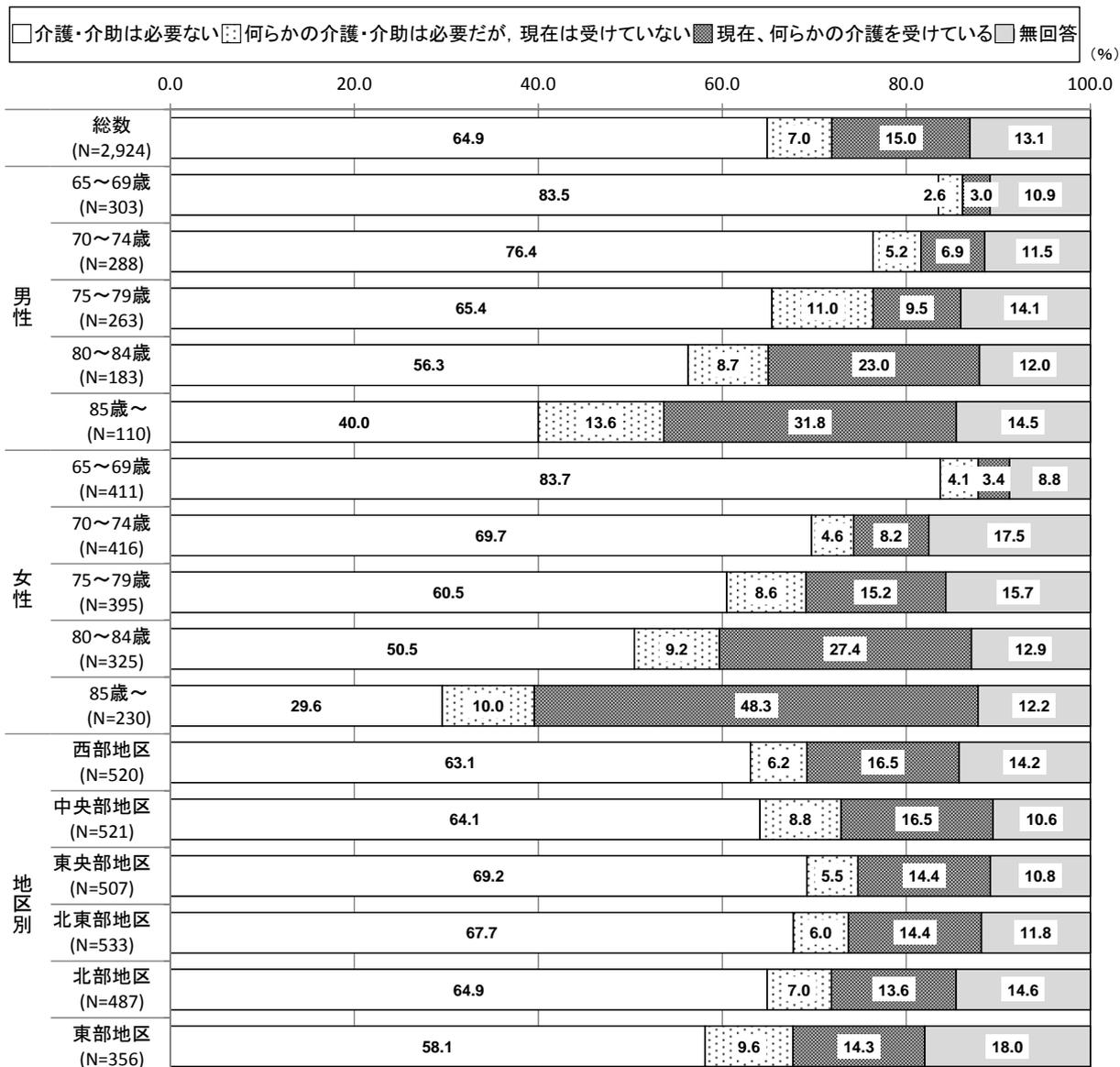


**問1 Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか**

市全体で見ると、「介護・介助は必要ない」の割合が64.9%と最も高くなっています。

また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が7.0%、「現在何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が15.0%となっています。

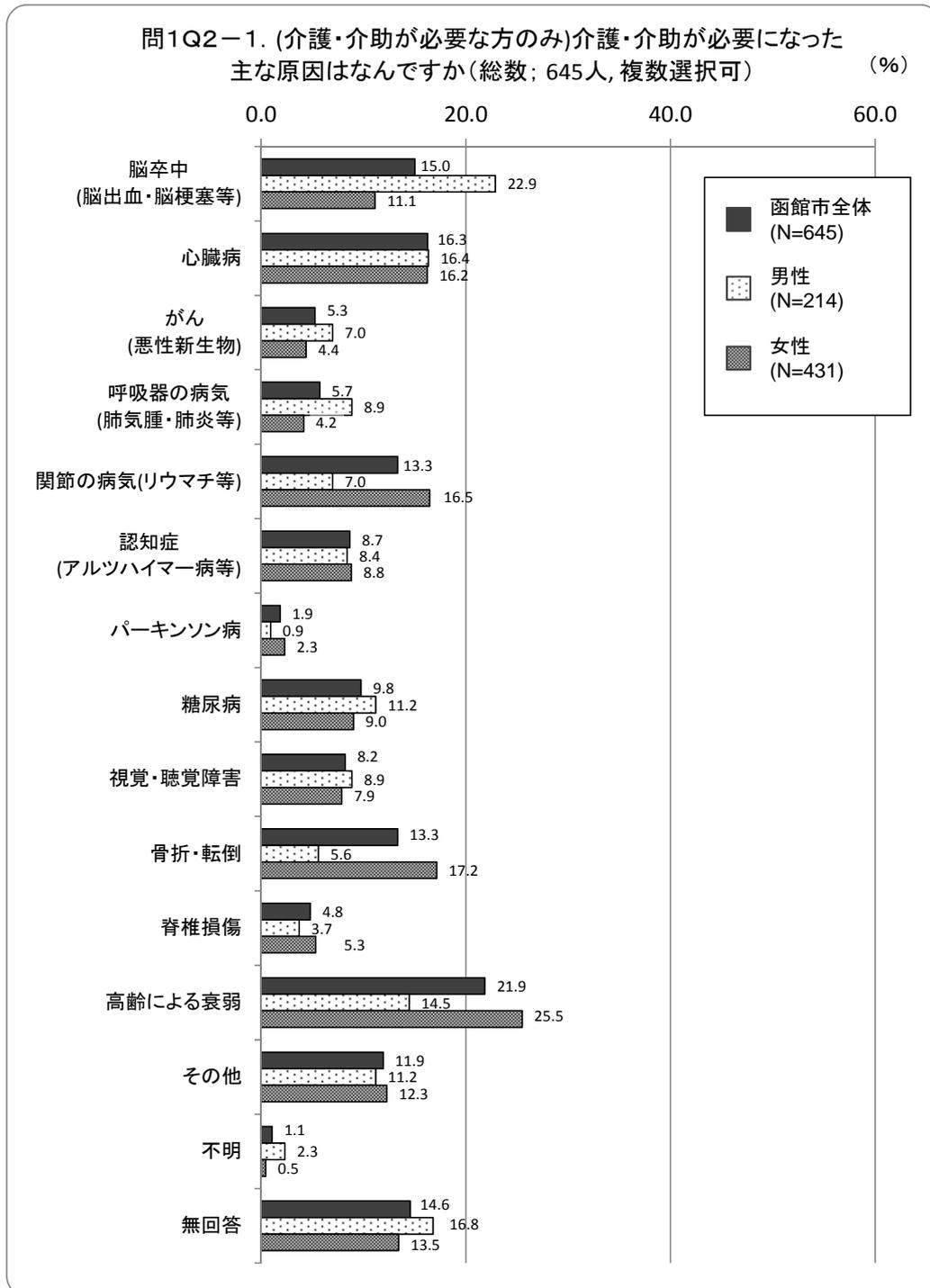
問1Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか  
(総数; 2,924人)



**問1 Q2-1. (介護・介助が必要な方のみ)介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(複数選択可)**

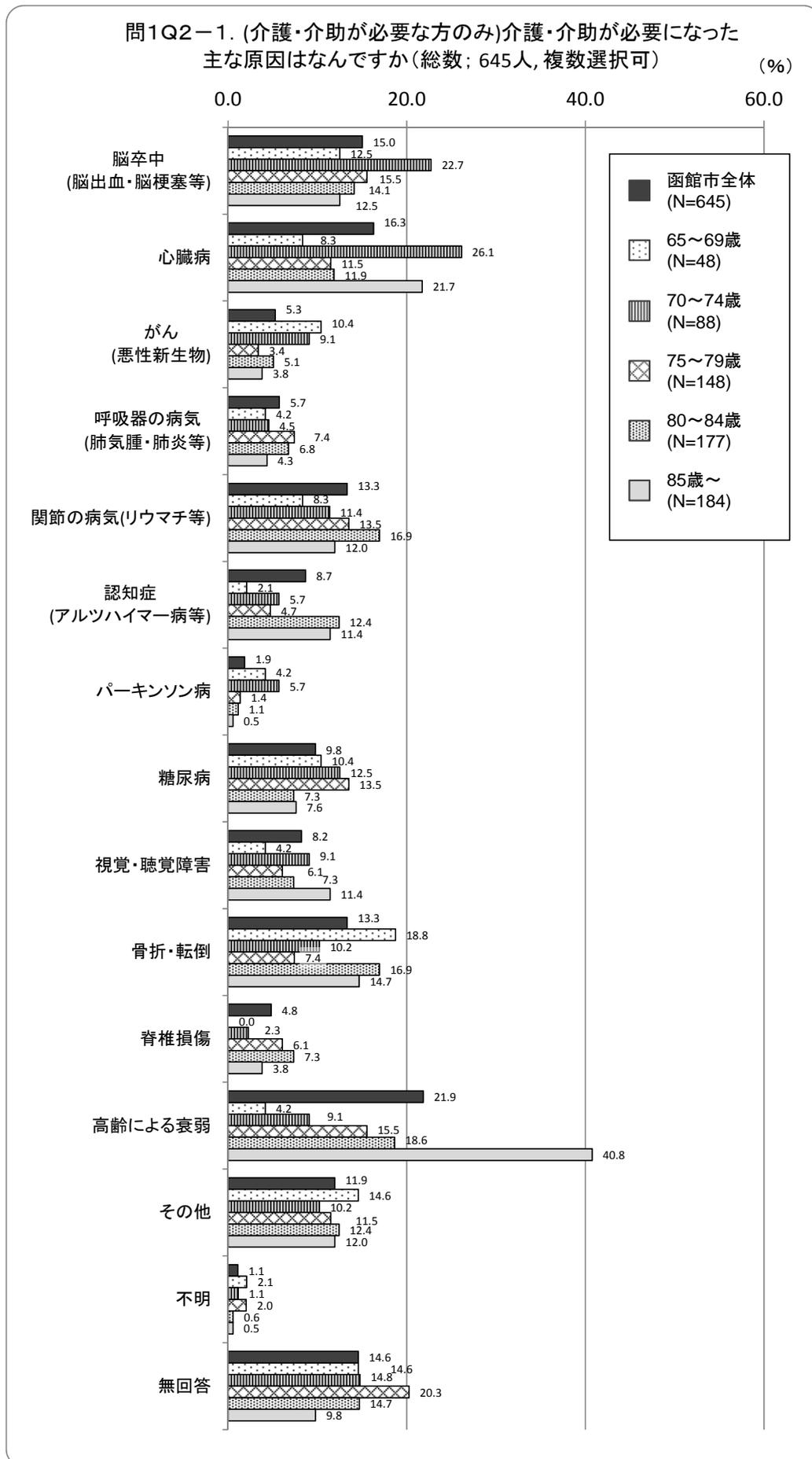
市全体で見ると、「高齢による衰弱」の割合が21.9%と最も高くなっています。次いで、「心臓病」(16.3%)、および「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(15.0%)等の割合が高くなっています。また、「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が8.7%となっています。

(性別)

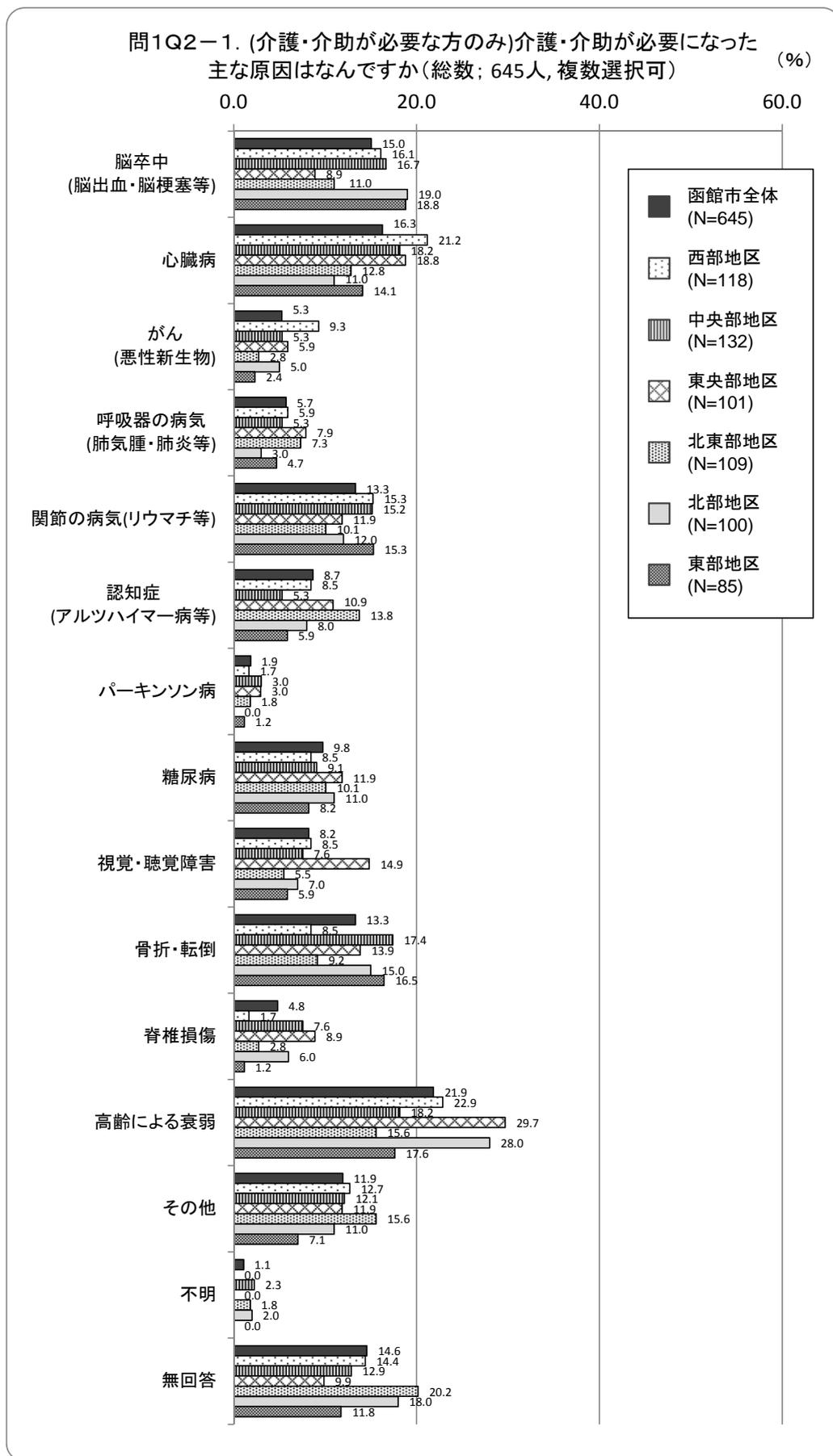


その他は「高血圧」、「足腰の痛み」、「うつ病」、「メニエル病」などとなっています。

(年齢別)



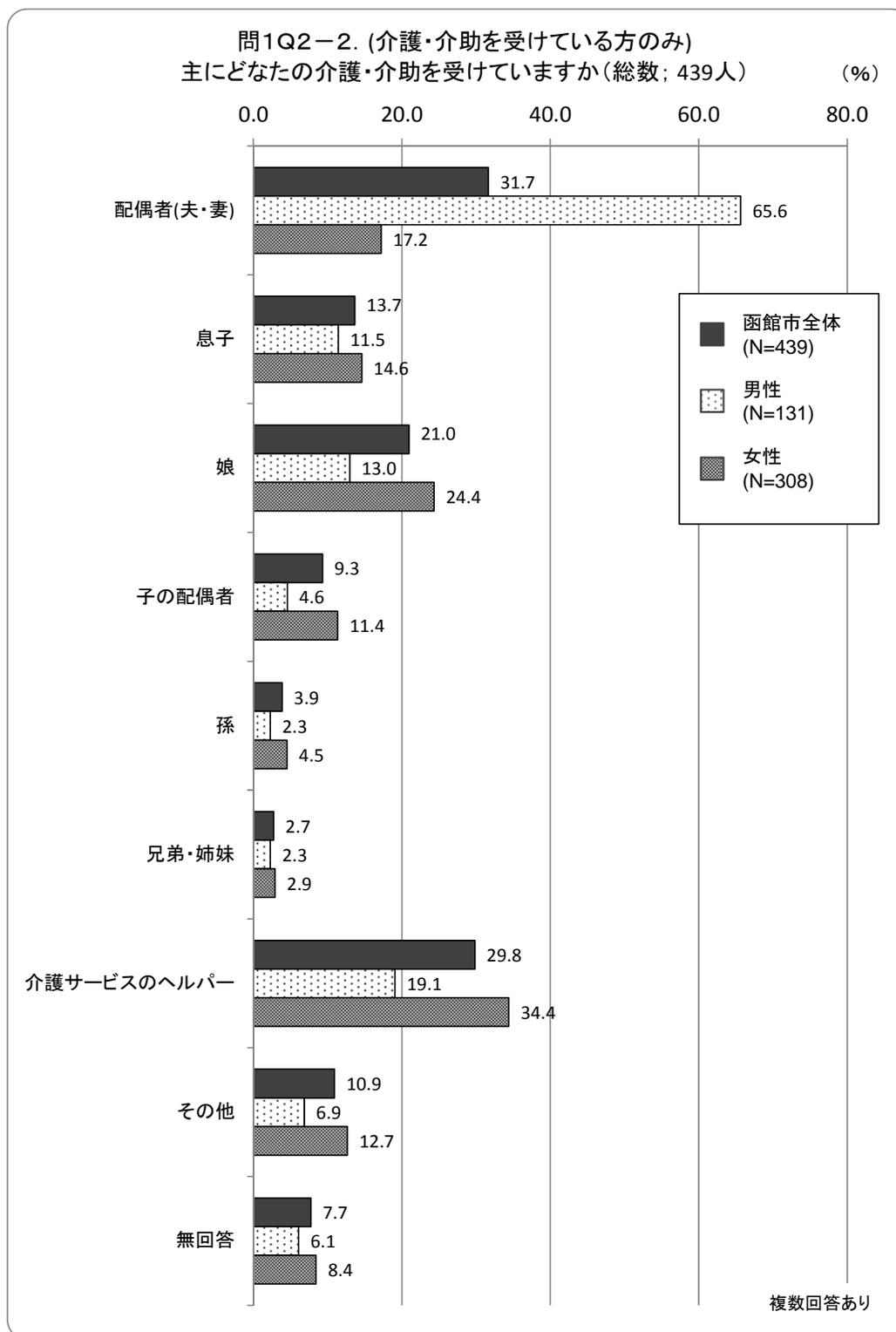
( 地区別 )



**問1** Q2-2. (介護・介助を受けている方のみ)主にどなたの介護・介助を受けていますか

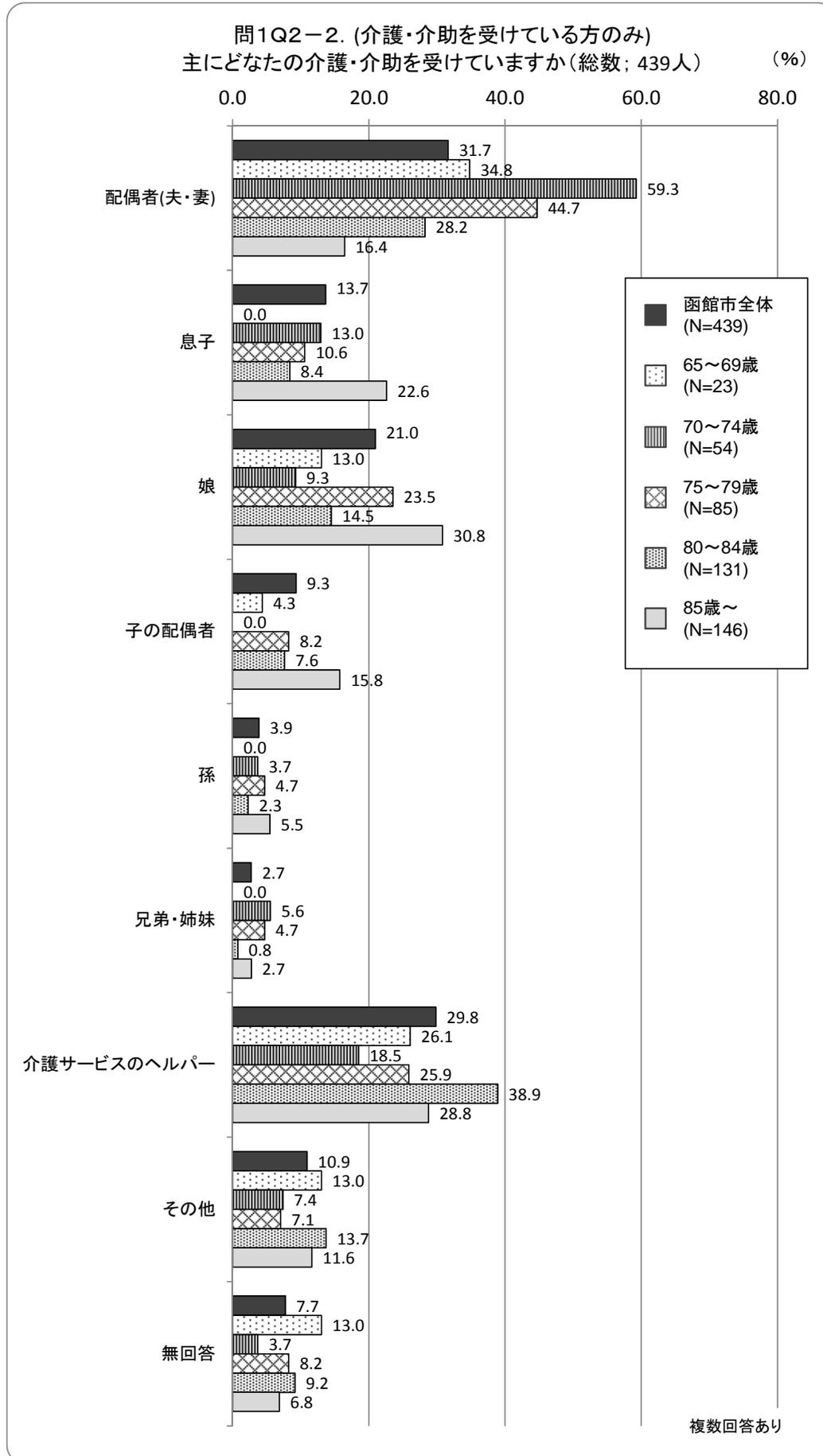
市全体で見ると、「配偶者(夫・妻)」(31.7%),および「介護サービスのヘルパー」(29.8%)の割合が高くなっています。

(性別)

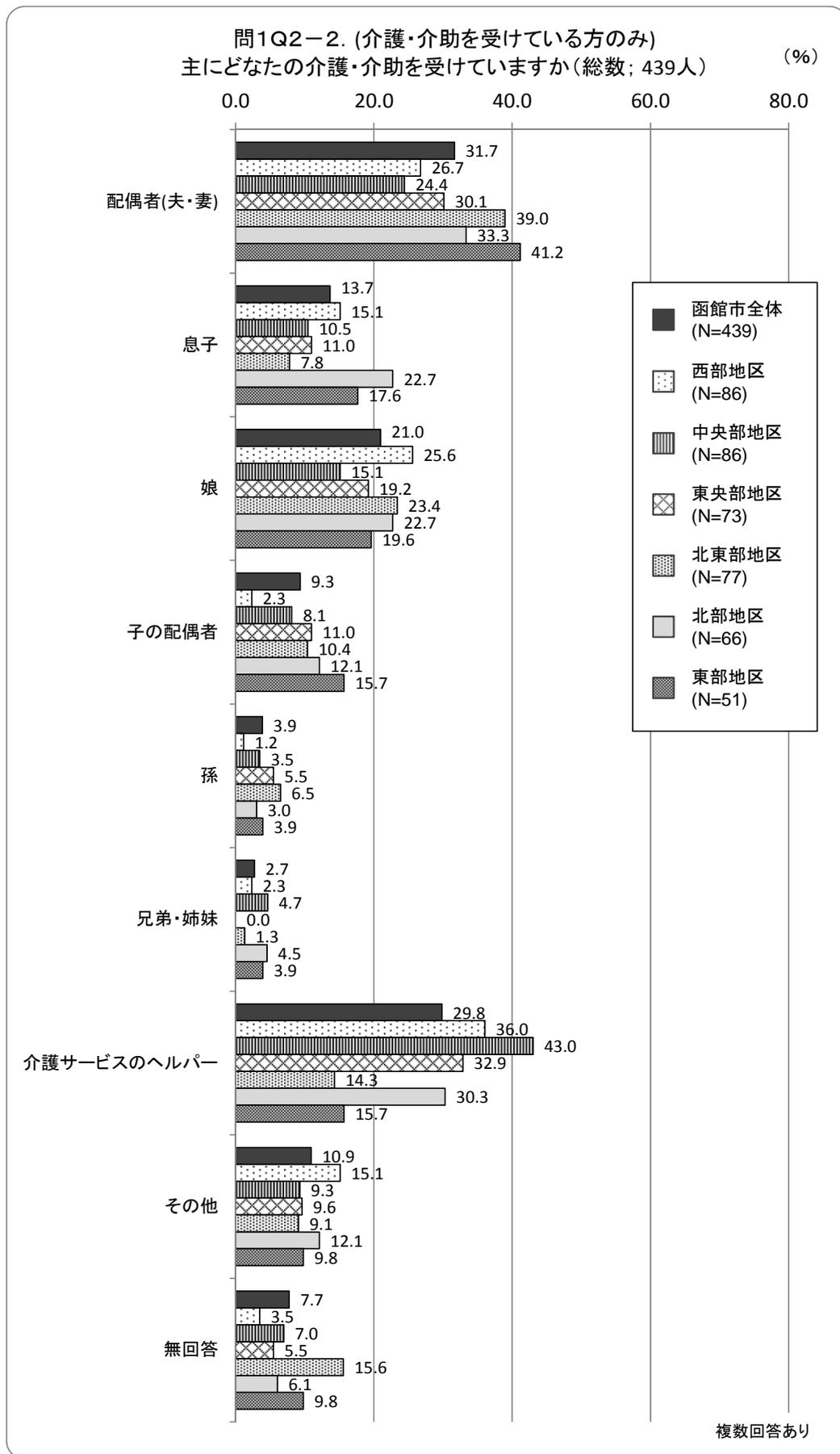


その他は「病院,入院中」,「デイサービス」,「甥」,「知人」などとなっています。

(年齢別)



( 地区別 )



**問1** Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ)主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

市全体で見ると、「65歳未満」の割合が37.6%と最も高くなっています。

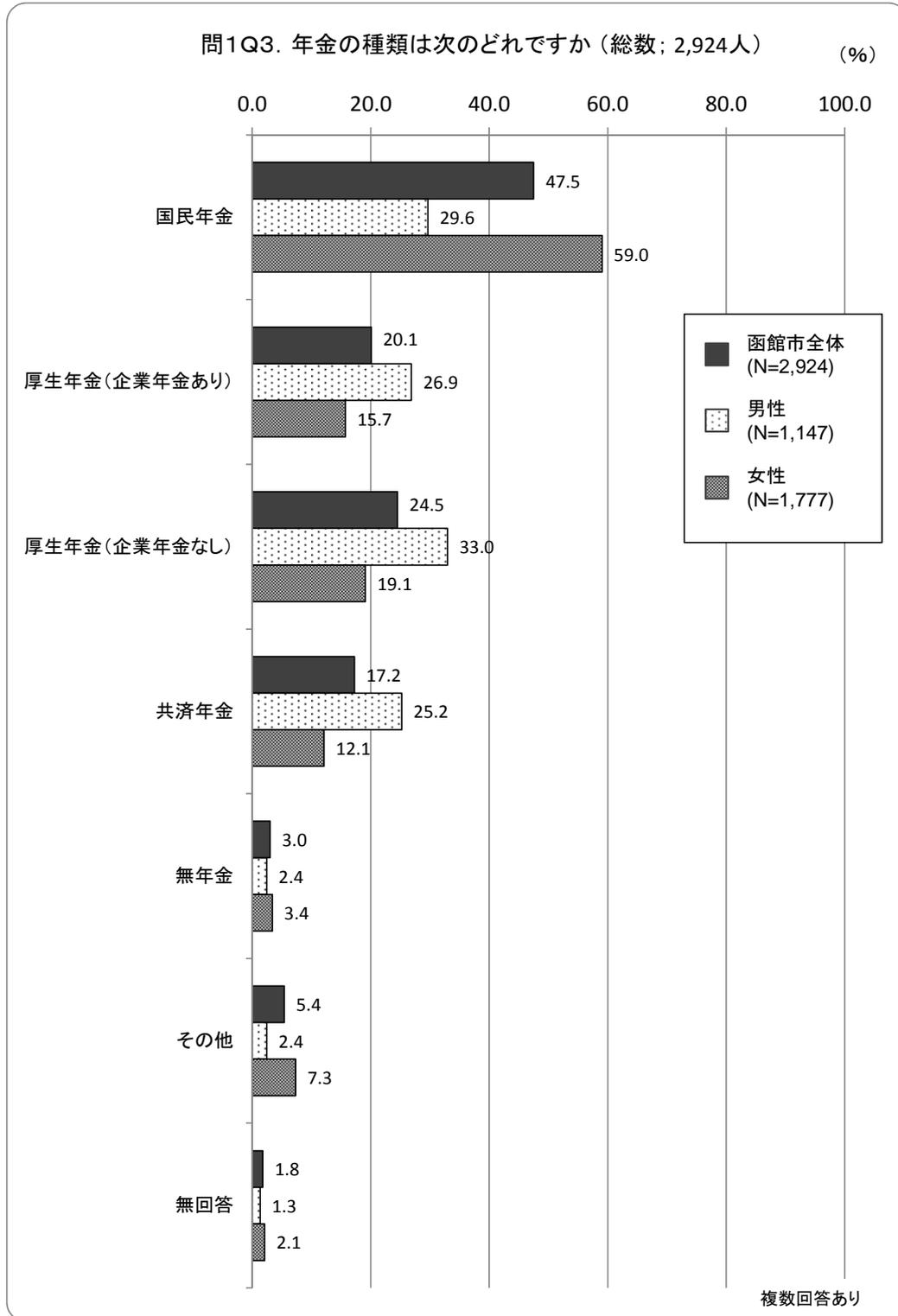
問1Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ)  
主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか(総数: 439人)



**問1 Q3. 年金の種類は次のどれですか**

市全体で見ると、「国民年金」の割合が 47.5%となっています。また、「厚生年金（企業年金なし）」（24.5%）、「厚生年金（企業年金あり）」（20.1%）等の割合となっています。

（性別）

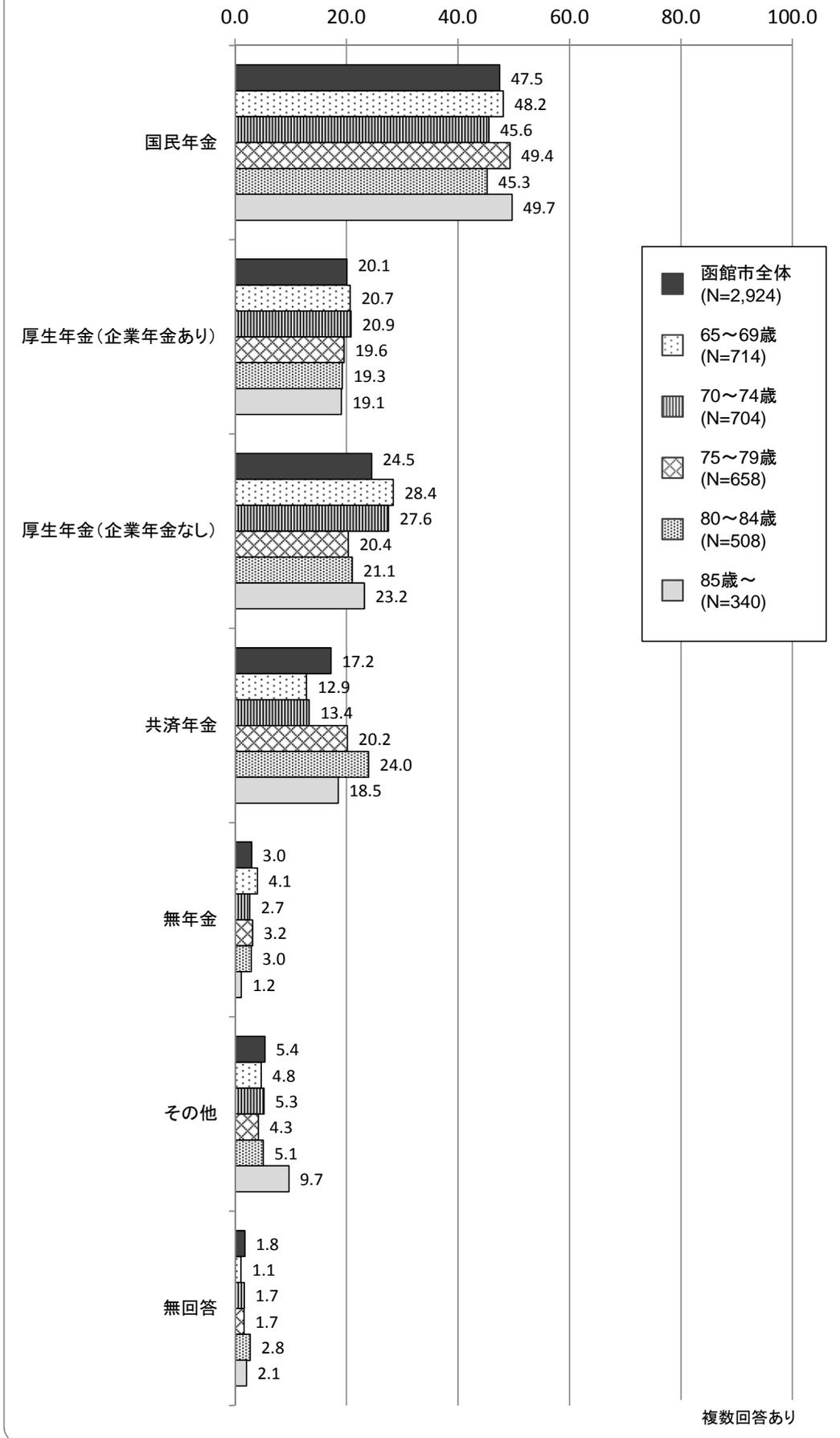


その他は「遺族年金」, 「障害年金」, 「個人年金」, 「船員保険」, 「農林年金」などとなっています。

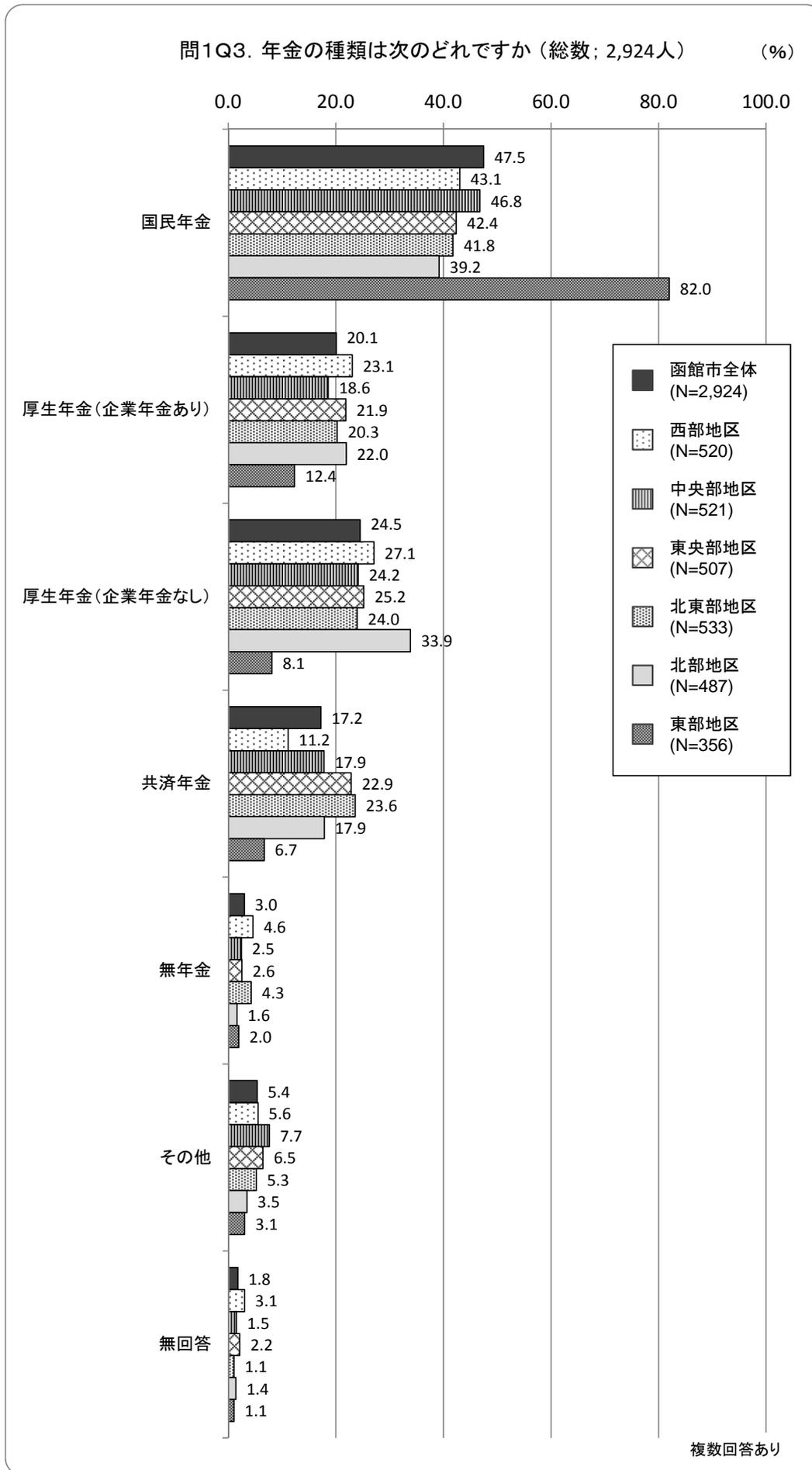
(年齢別)

問1Q3. 年金の種類は次のどれですか (総数; 2,924人)

(%)



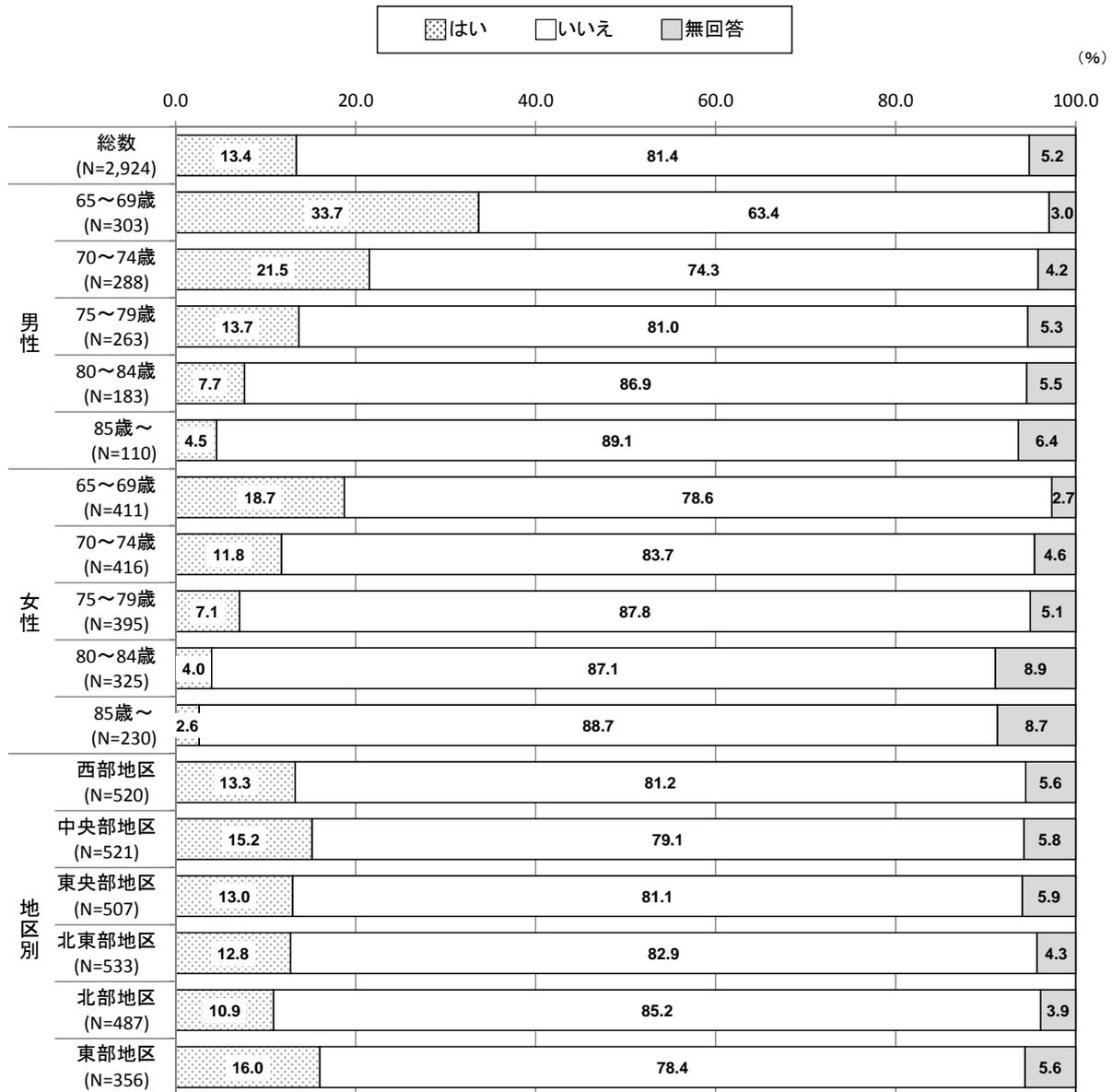
( 地区別 )



**問1** Q4. 現在、収入のある仕事をしていますか

市全体で見ると、「いいえ」の割合が81.4%となっています。

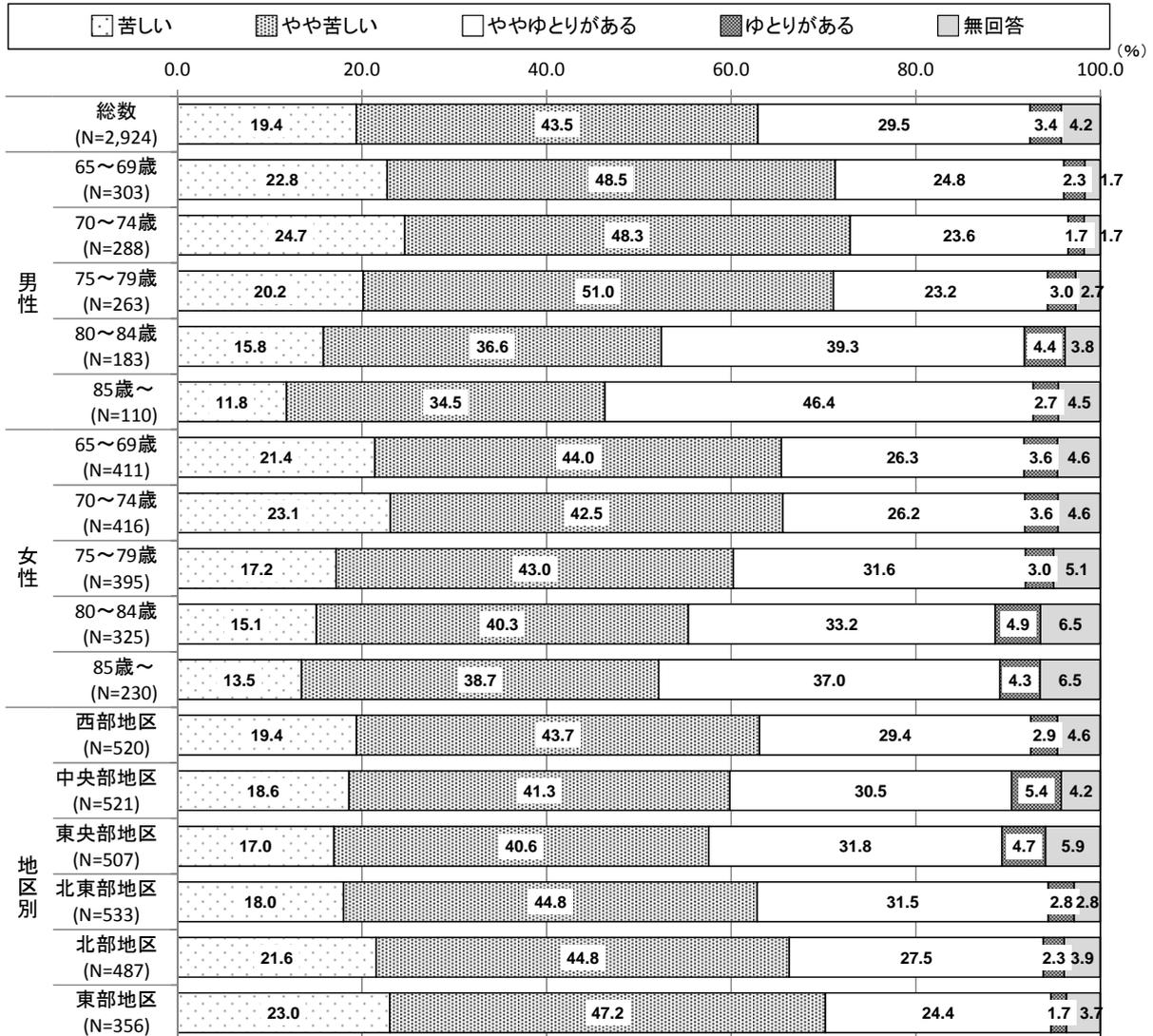
問1Q4. 現在、収入のある仕事をしていますか(総数; 2,924人)



問1 Q5. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

市全体で見ると、「やや苦しい」の割合が43.5%となっており、「苦しい」(19.4%)とあわせて62.9%となっています。

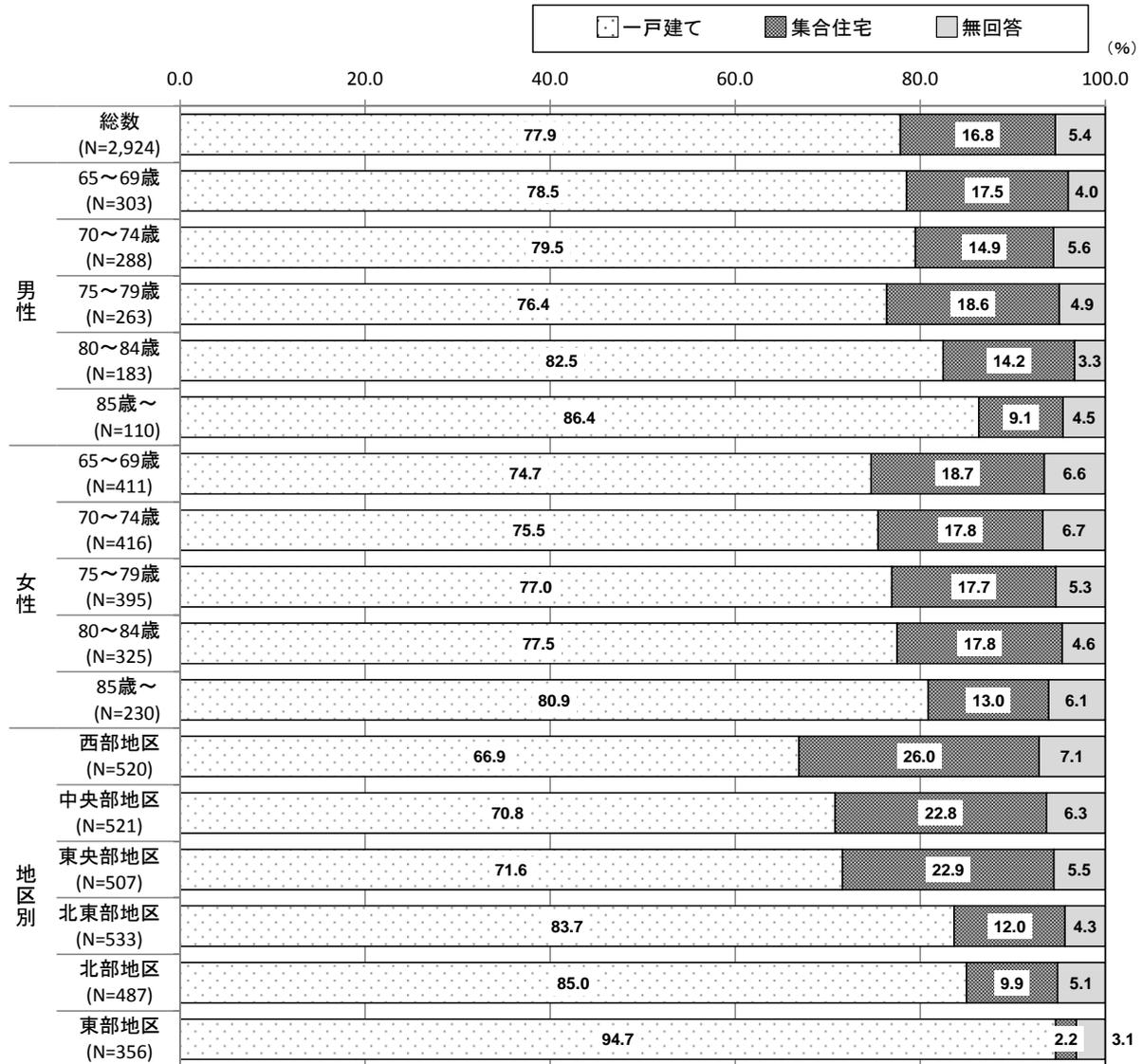
問1Q5. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか  
(総数; 2,924人)



問1 Q6. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

市全体で見ると、「一戸建て」の割合が77.9%と最も高くなっています。

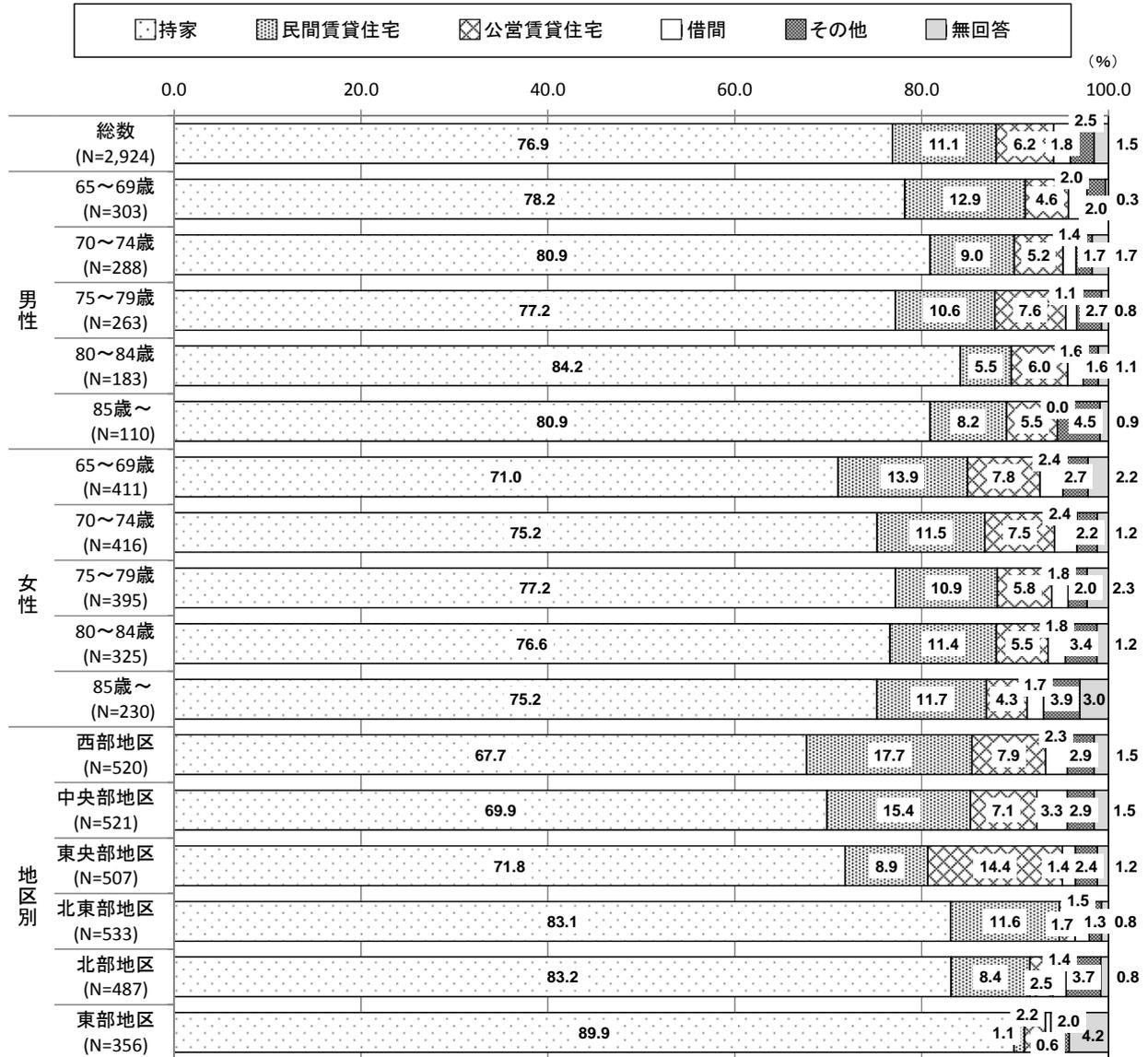
問1Q6. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか  
(総数; 2,924人)



問1 Q7. お住まいは、次のどれにあたりますか

市全体で見ると、「持家」の割合が76.9%と最も高くなっています。

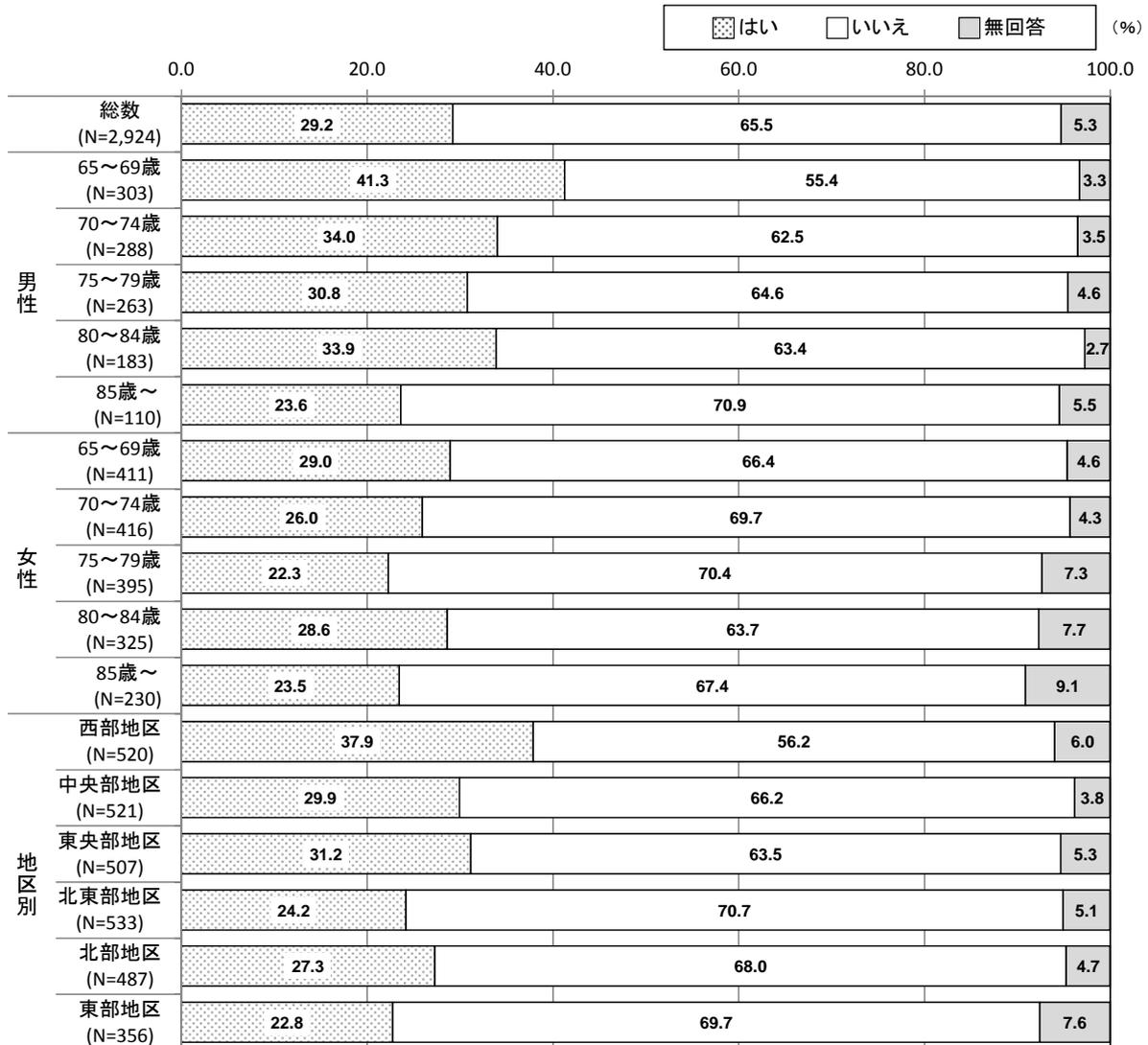
問1Q7. お住まいは、次のどれにあたりますか(総数; 2,924人)



**問1 Q8. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか**

市全体で見ると、「いいえ」の割合が65.5%と高くなっています。「はい」の割合は29.2%となっています。

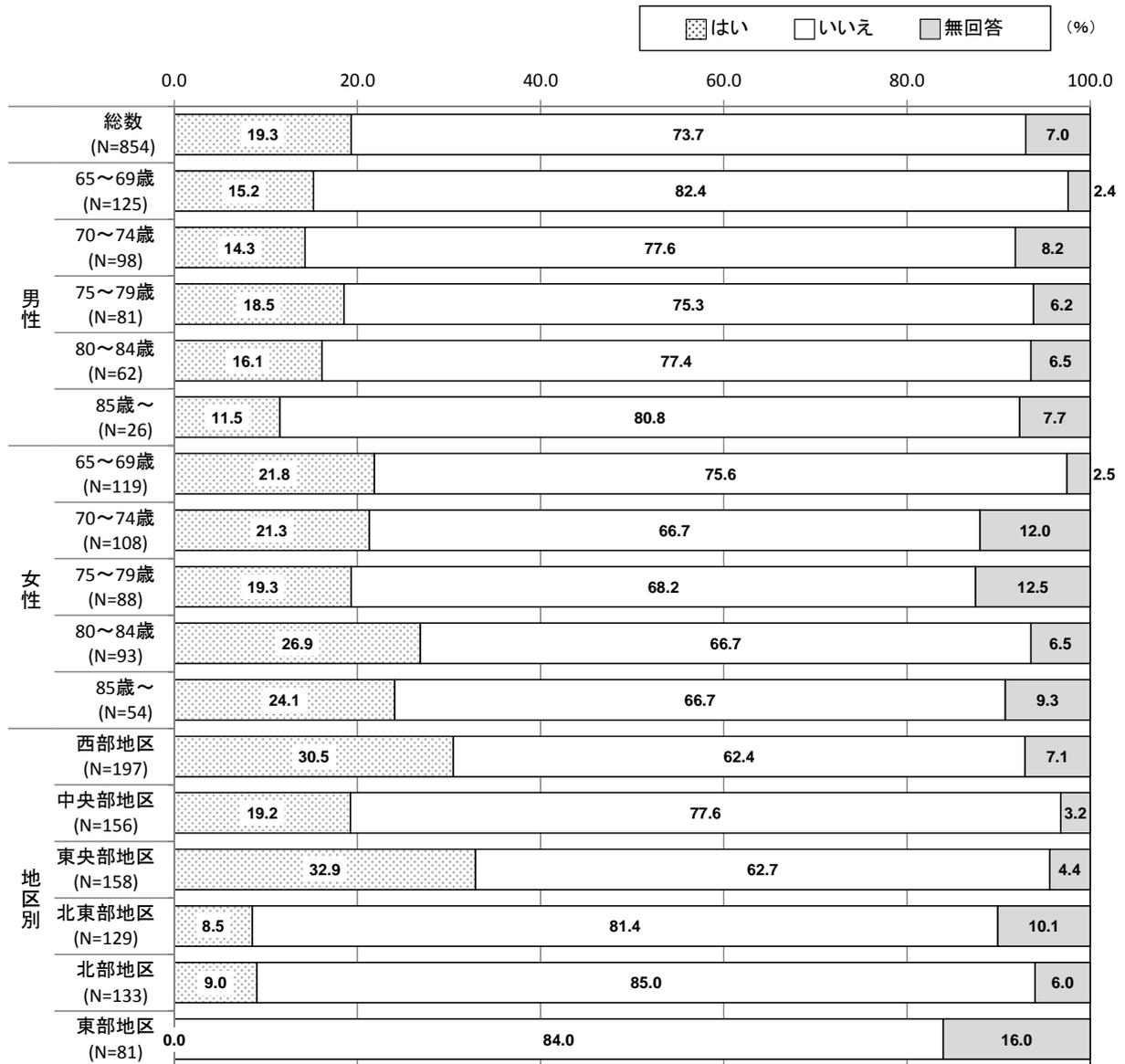
問1Q8. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか  
(総数; 2,924人)



**問1** Q8-1. (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか  
市全体で見ると、「いいえ」の割合が73.7%となっています。

問1Q8-1. (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか

(総数; 854人)

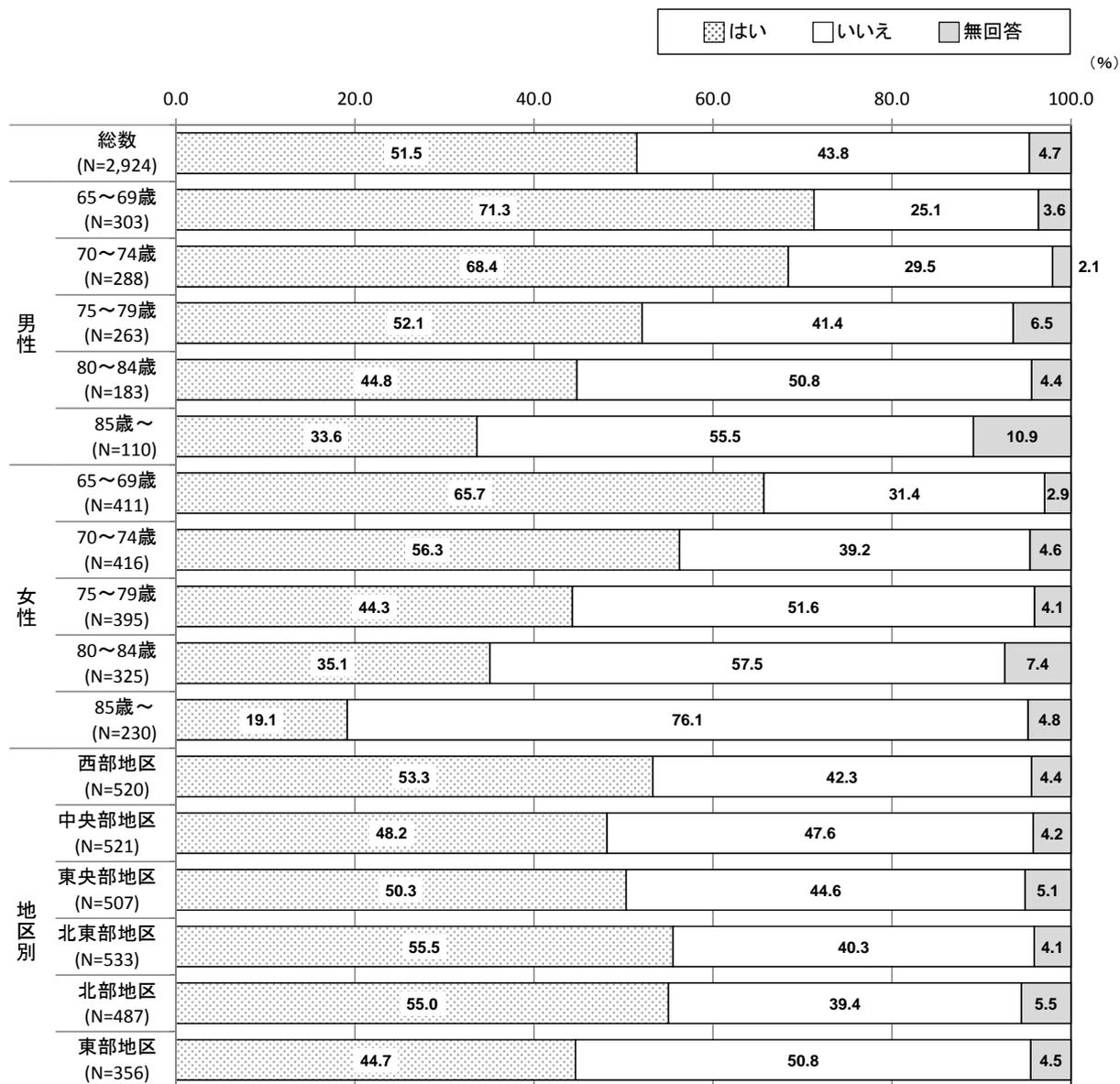


## 問2 運動・閉じこもりについて

### 問2Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

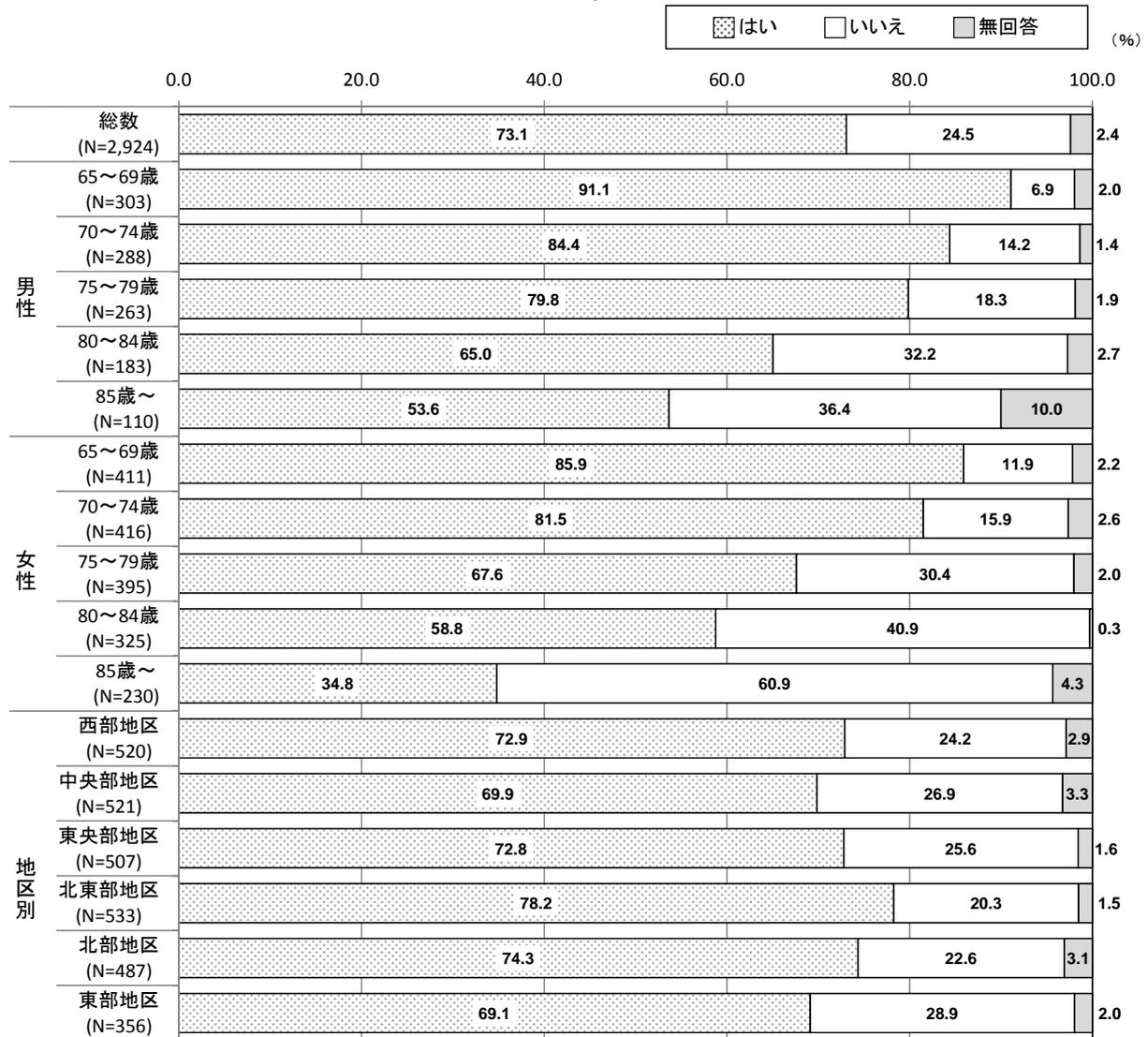
市全体で見ると、「いいえ」の割合が43.8%となっています。

問2Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(総数; 2,924人)



**問2** Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか  
 市全体で見ると、「いいえ」の割合が24.5%となっています。

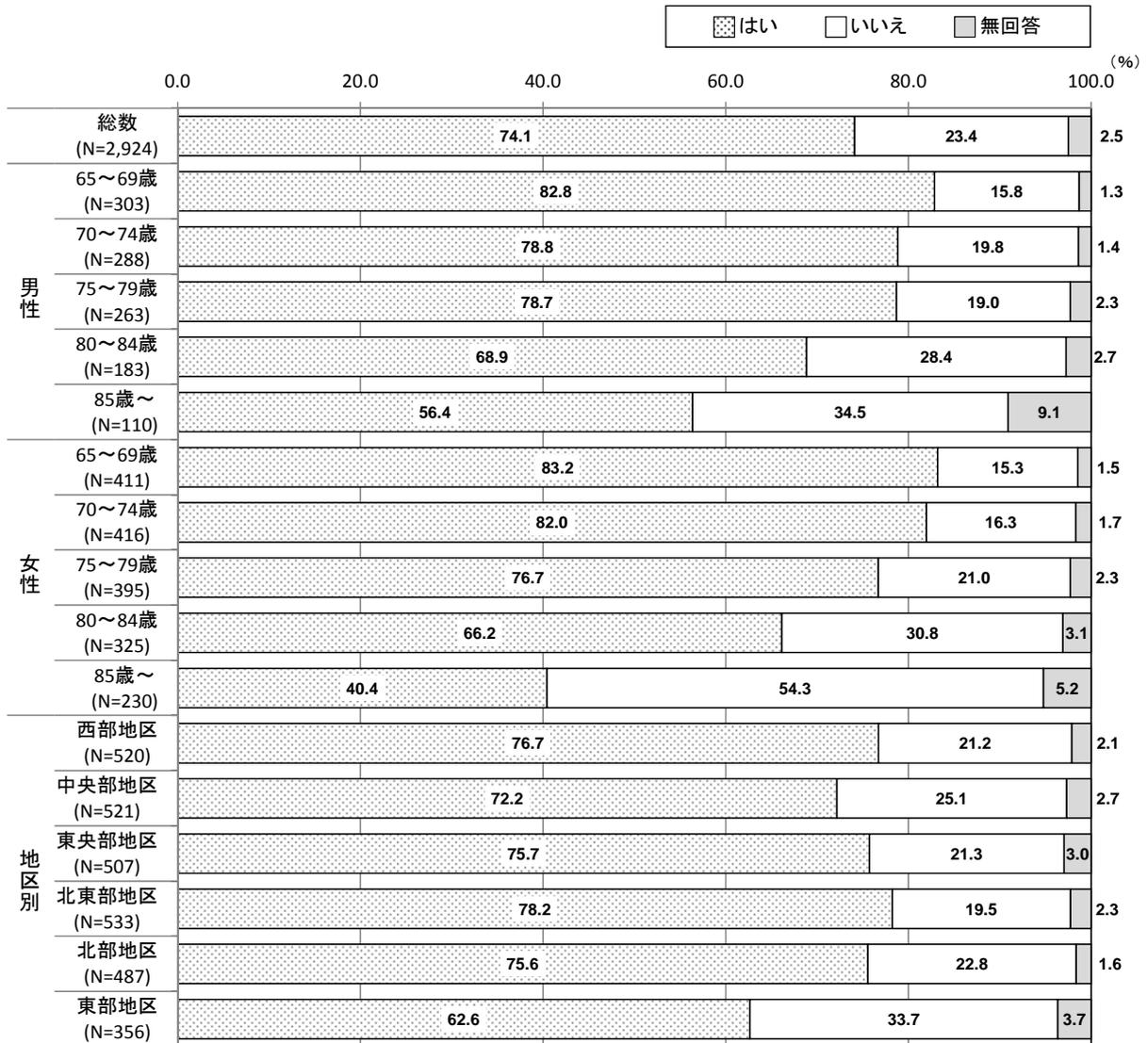
問2Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか  
 (総数: 2,924人)



問2 Q3. 15分位続けて歩いていますか

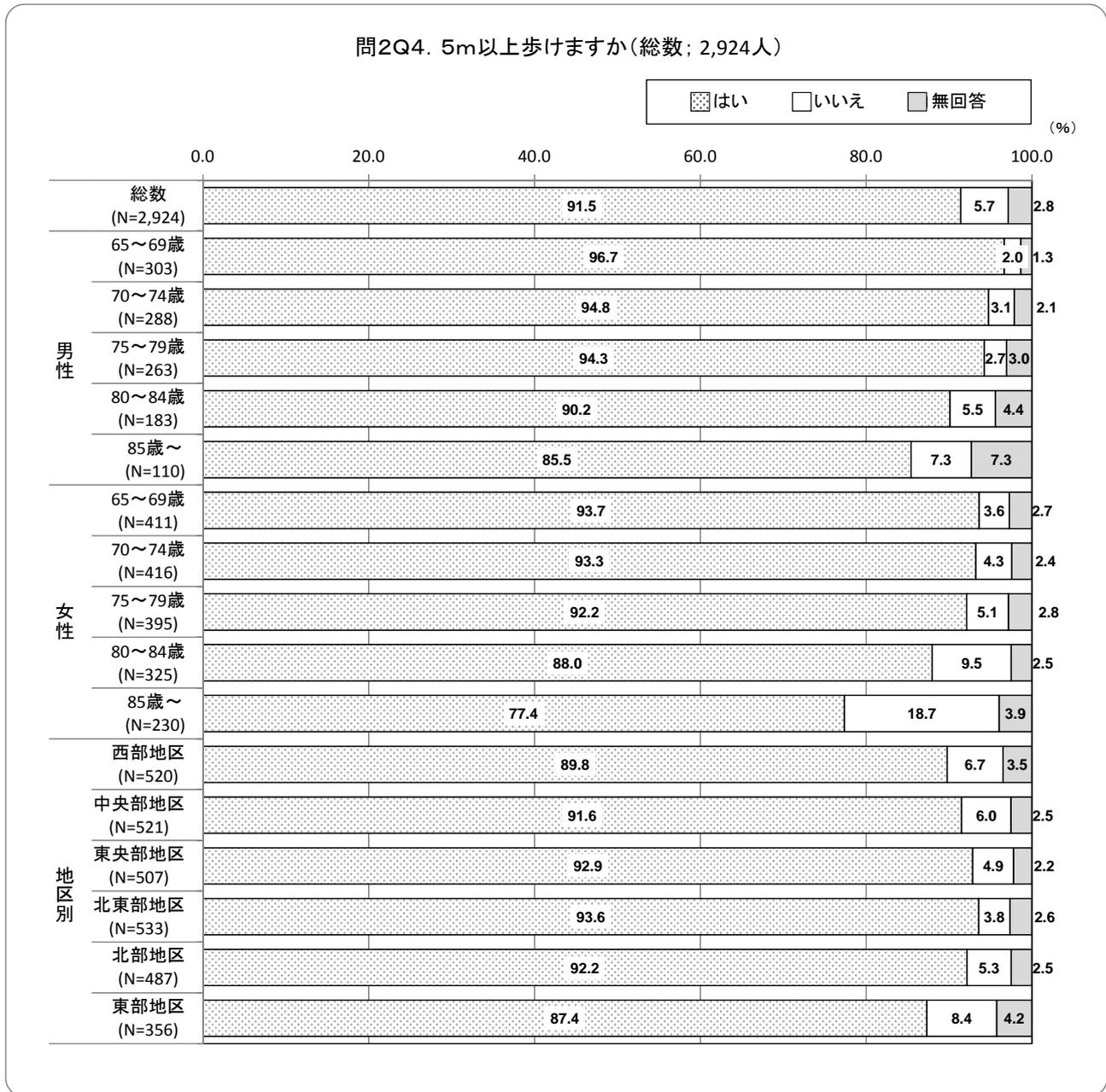
市全体で見ると、「いいえ」の割合が23.4%となっています。

問2Q3. 15分位続けて歩いていますか(総数; 2,924人)



問2 Q4. 5m以上歩けますか

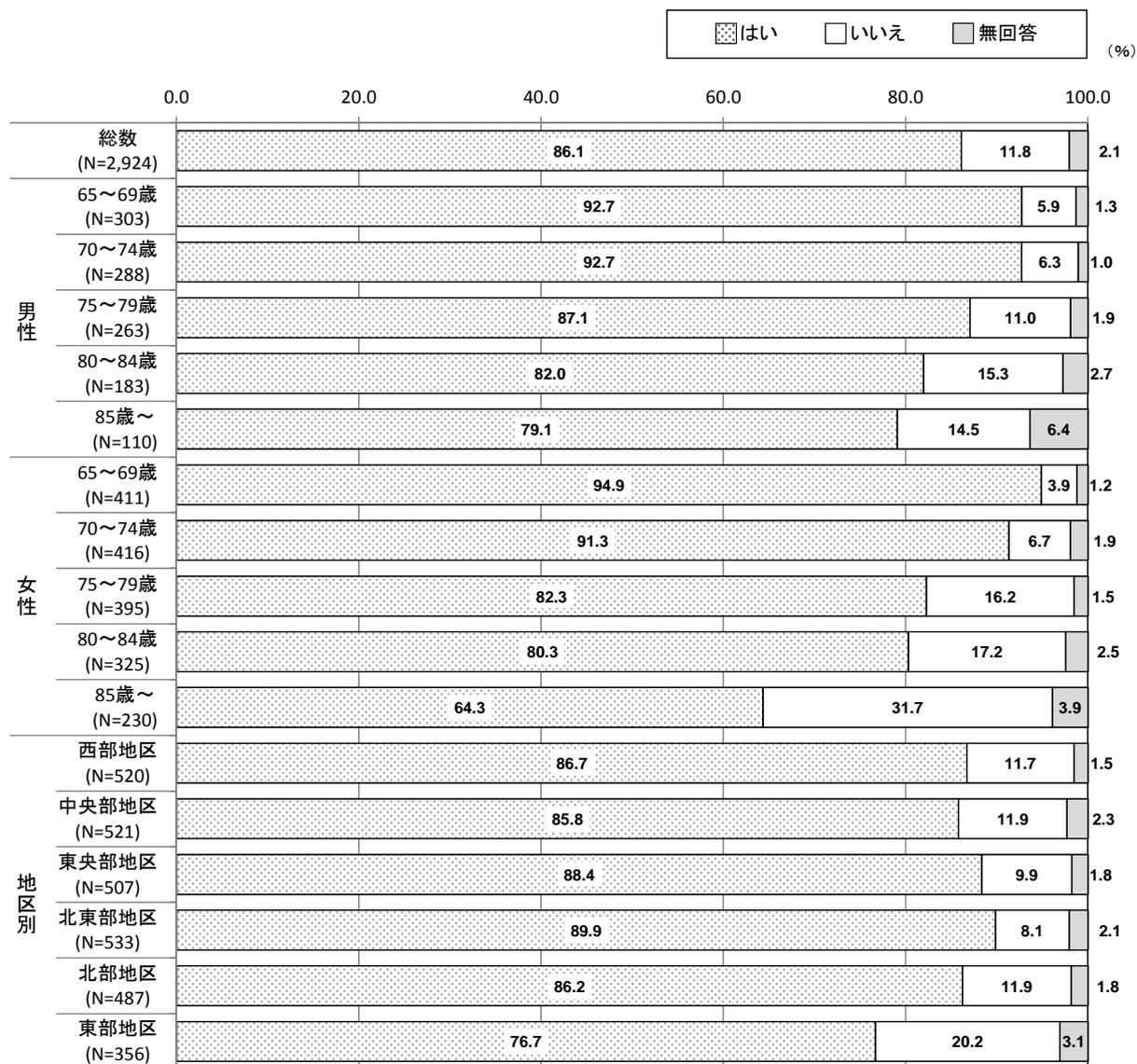
市全体で見ると、「いいえ」の割合が5.7%となっています。



問2 Q5. 週に1回以上は外出していますか

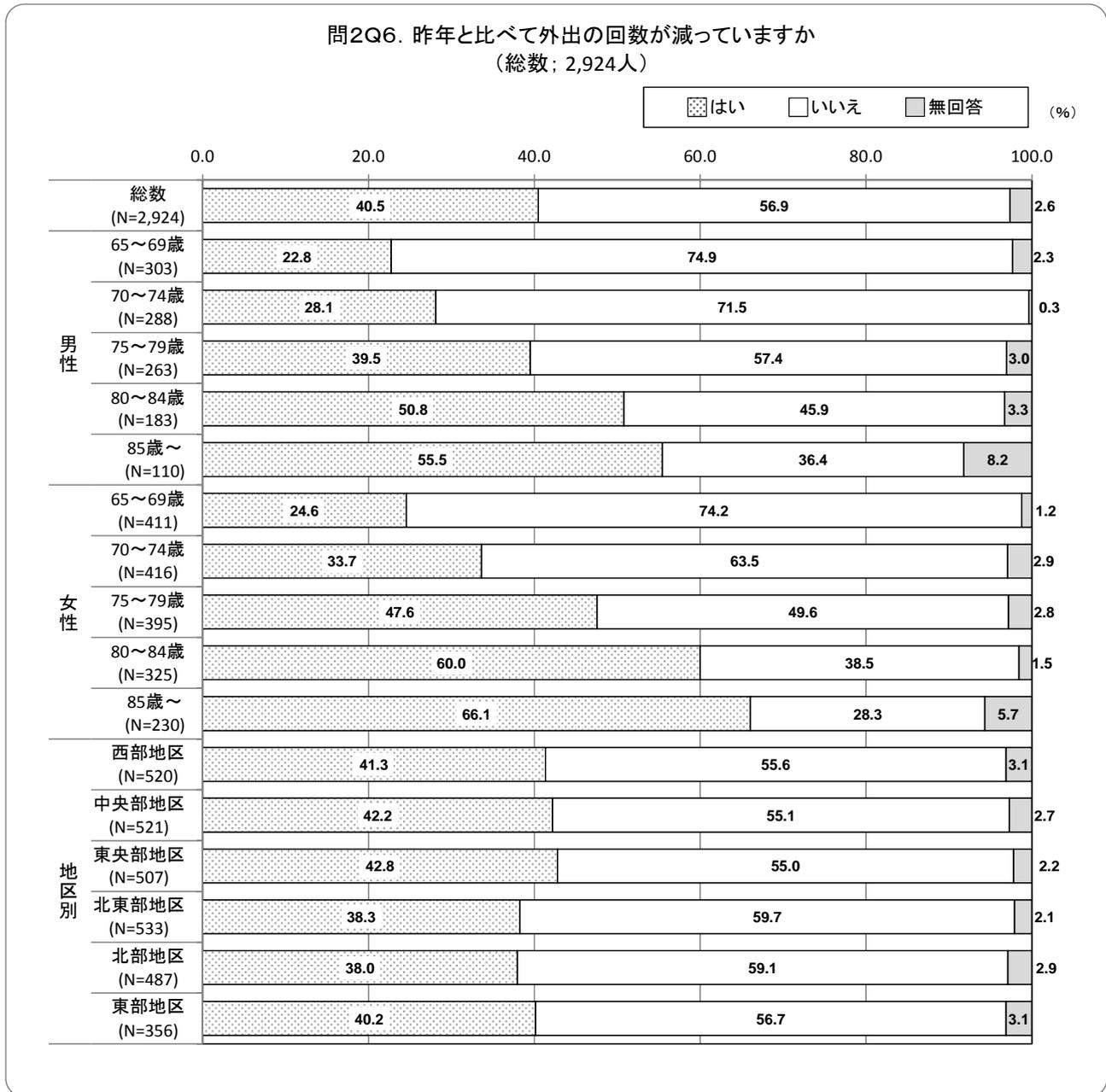
市全体で見ると、「いいえ」の割合が11.8%となっています。

問2Q5. 週に1回以上は外出していますか(総数: 2,924人)



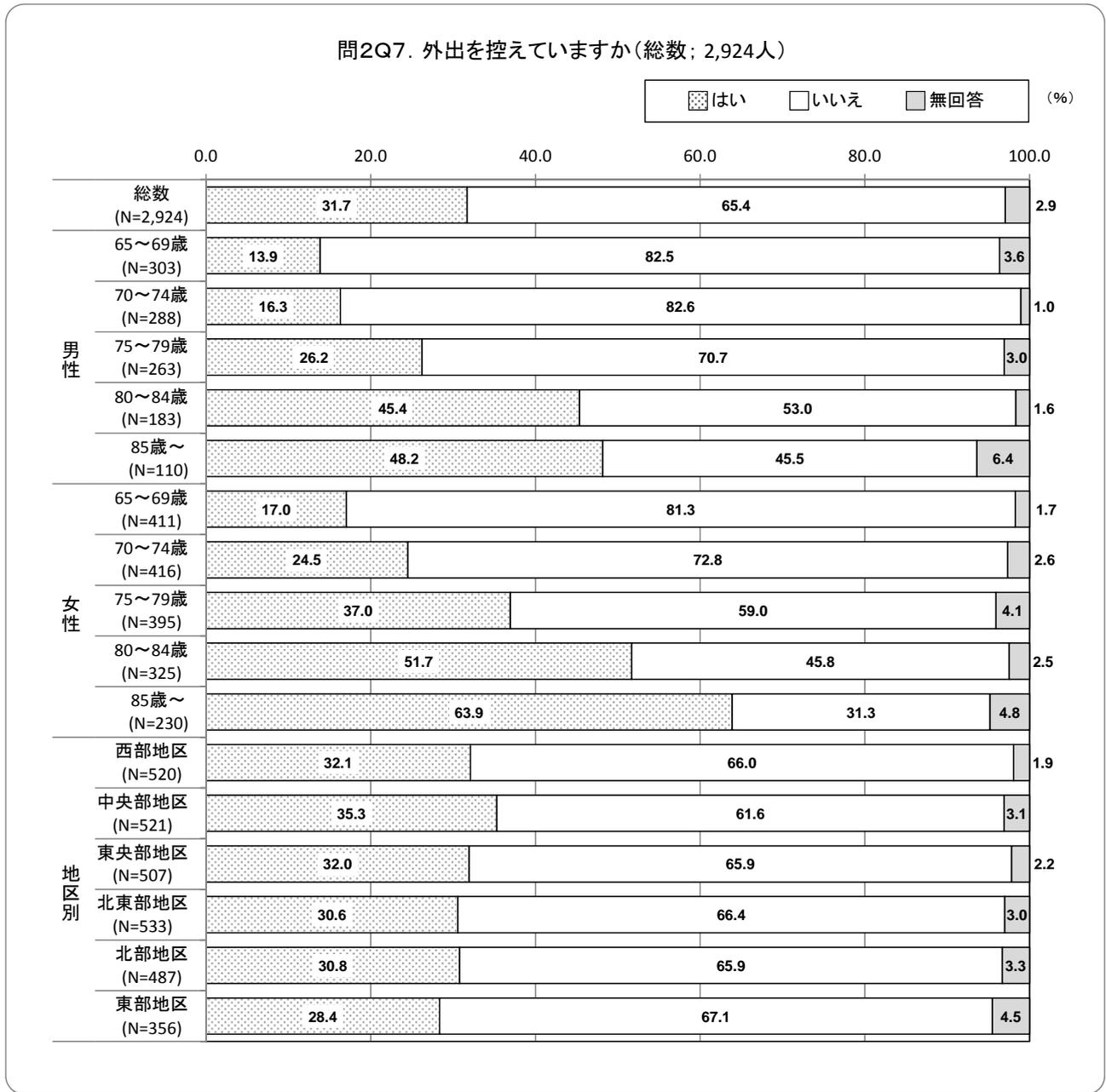
問2 Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

市全体で見ると、「はい」の割合が40.5%となっています。



**問2** Q7. 外出を控えていますか

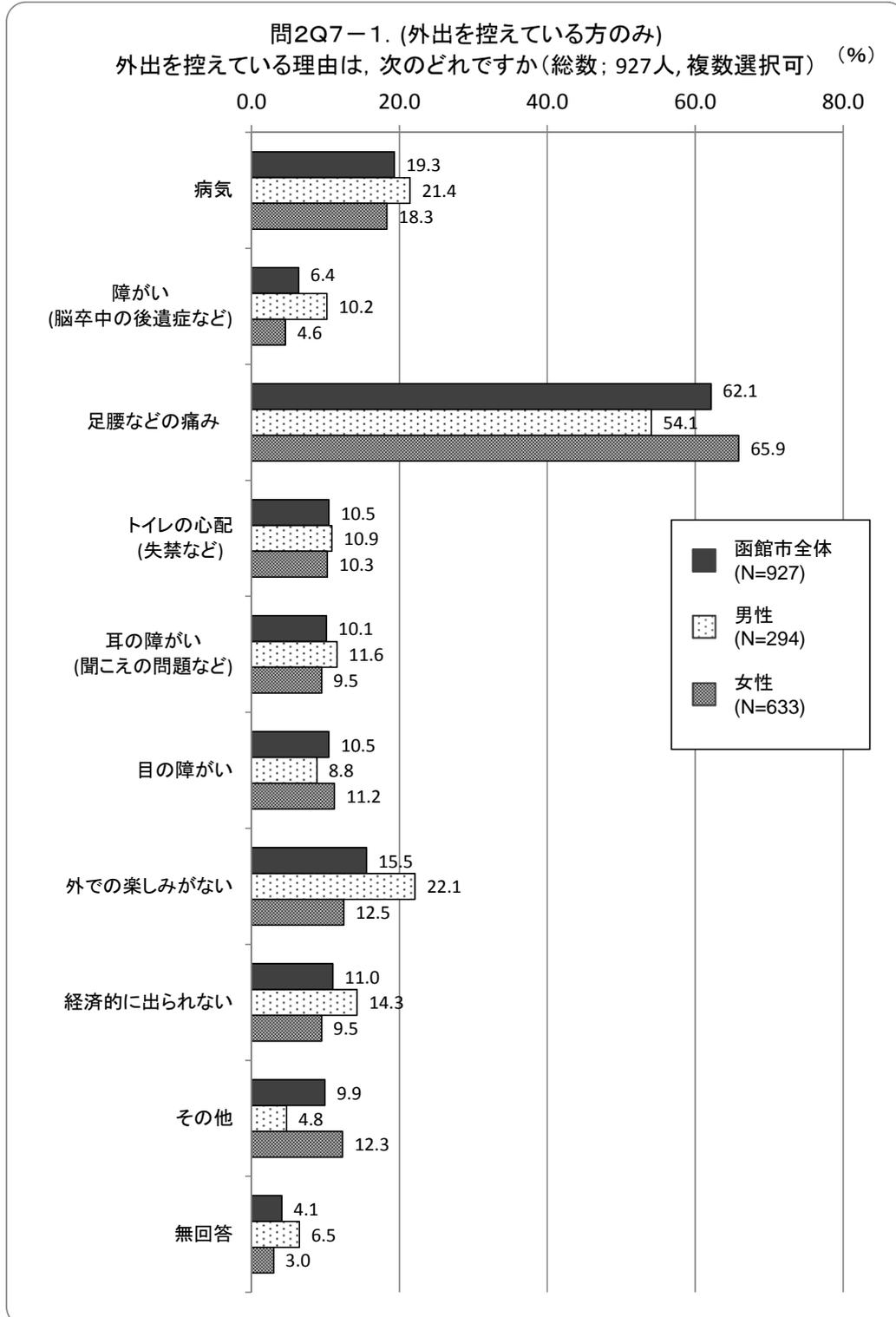
市全体で見ると、「はい」の割合が31.7%となっています。



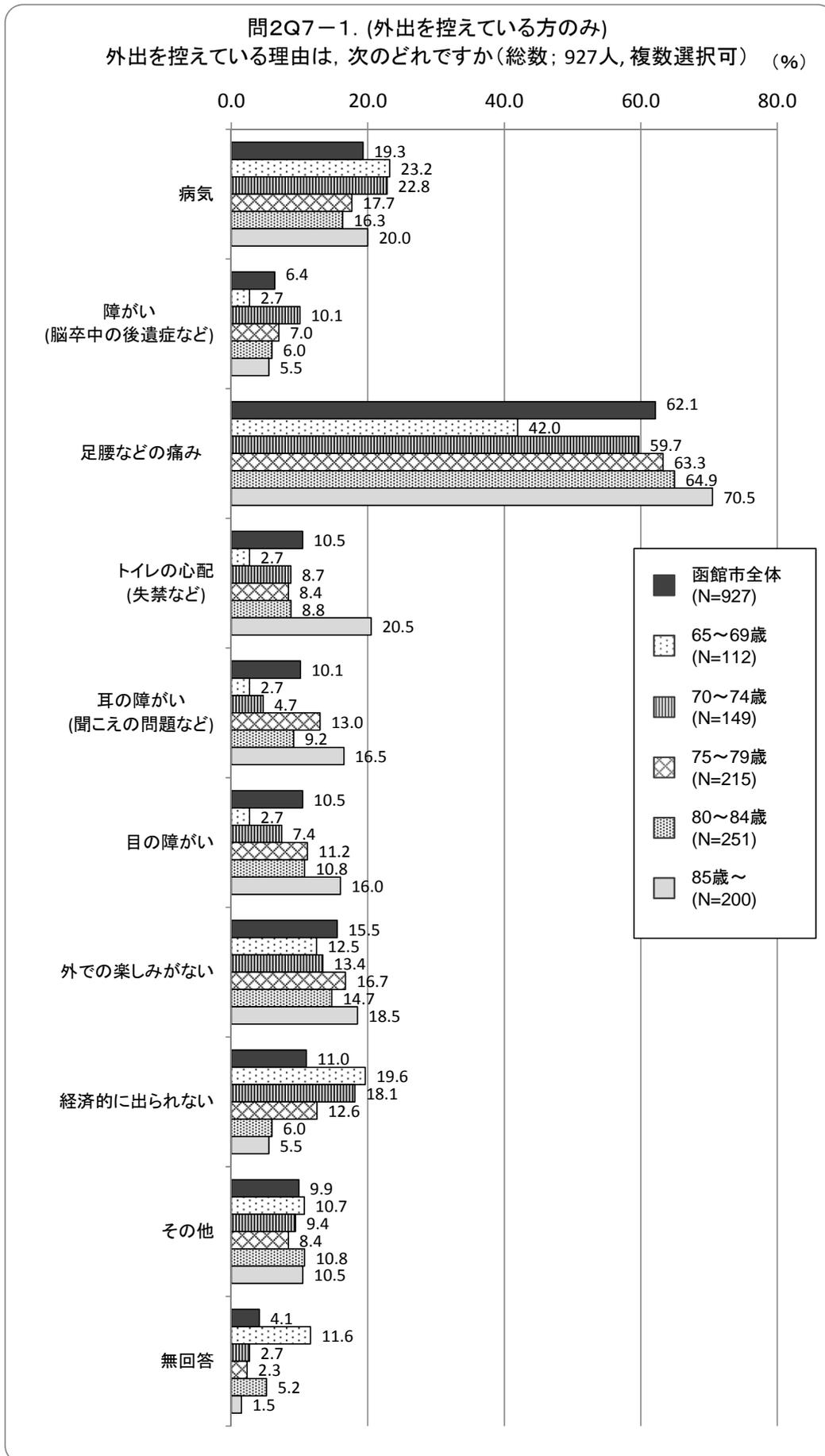
**問2** Q7-1. (外出を控えている方のみ)外出を控えている理由は、次のどれですか(複数選択可)

市全体で見ると、「足腰などの痛み」の割合が62.1%と最も高くなっています。次いで「病気」(19.3%)、および「外での楽しみがない」(15.5%)等の割合が高くなっています。

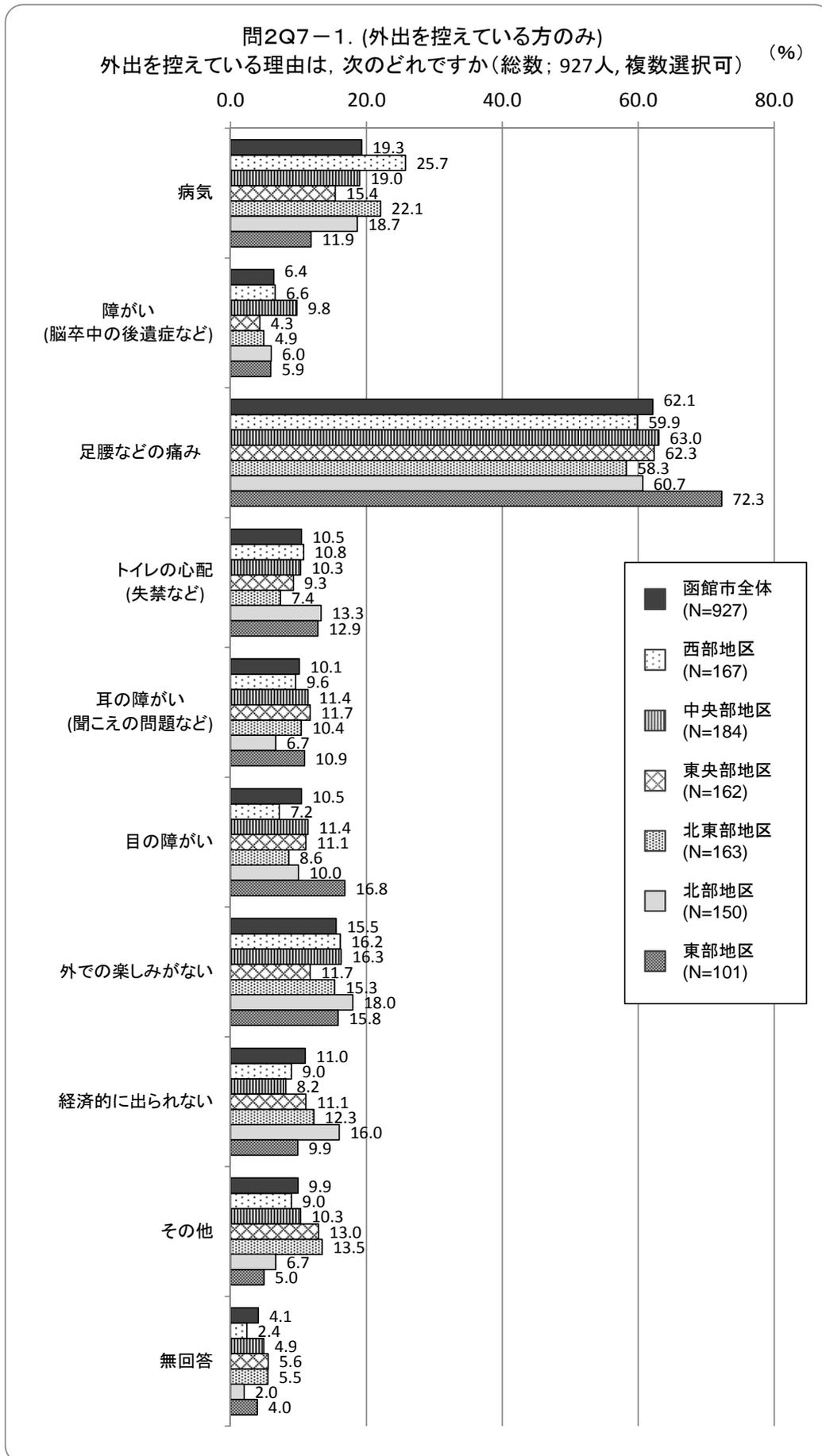
(性別)



(年齢別)



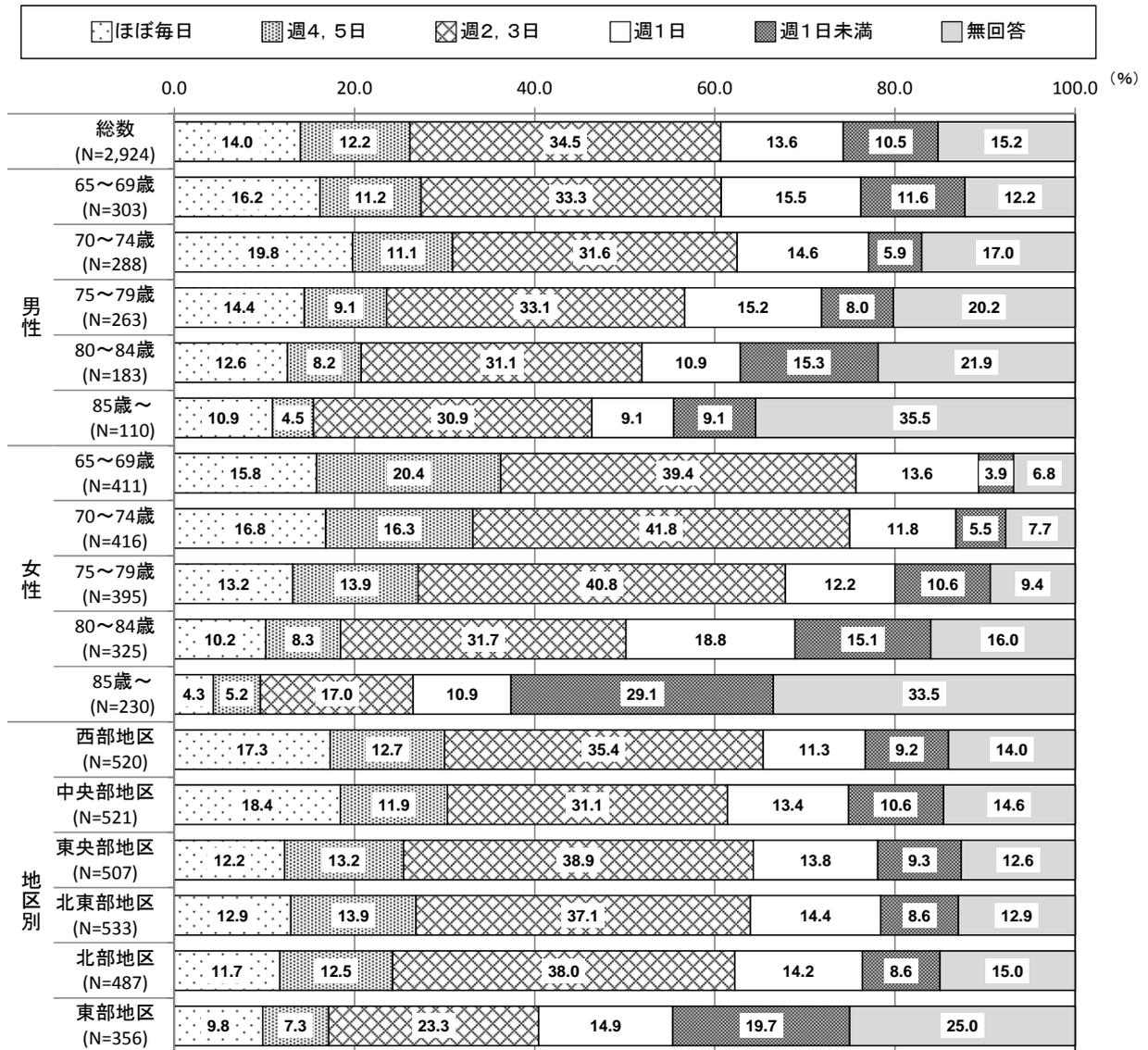
( 地区別 )



問2 Q8A. 買物で外出する頻度はどのくらいですか

市全体で見ると、「週1日未満」の割合が10.5%となっています。

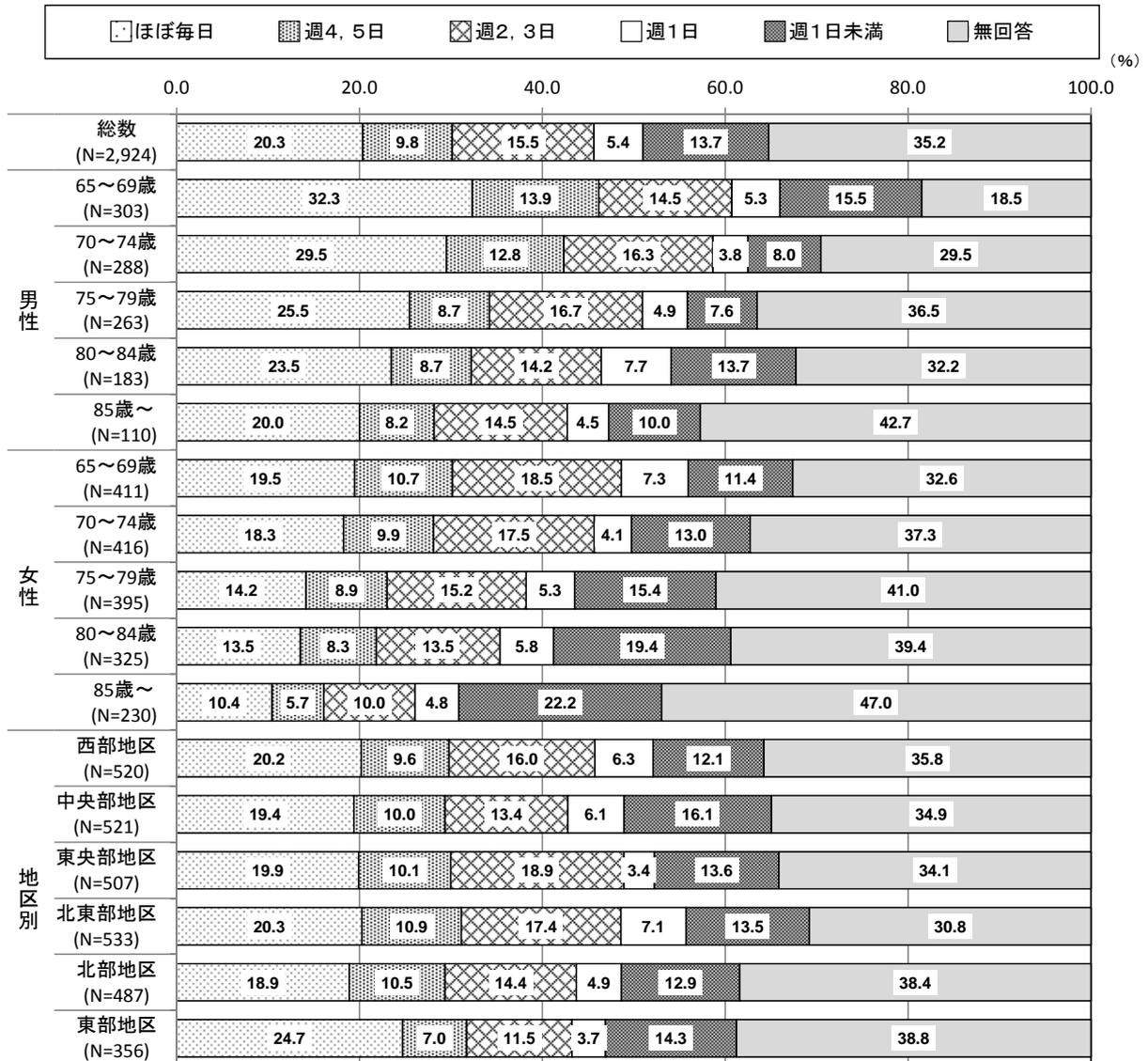
問2Q8A. 買物で外出する頻度はどのくらいですか(総数: 2,924人)



問2 Q8B. 散歩で外出する頻度はどのくらいですか

市全体で見ると、「週1日未満」の割合が13.7%となっています。

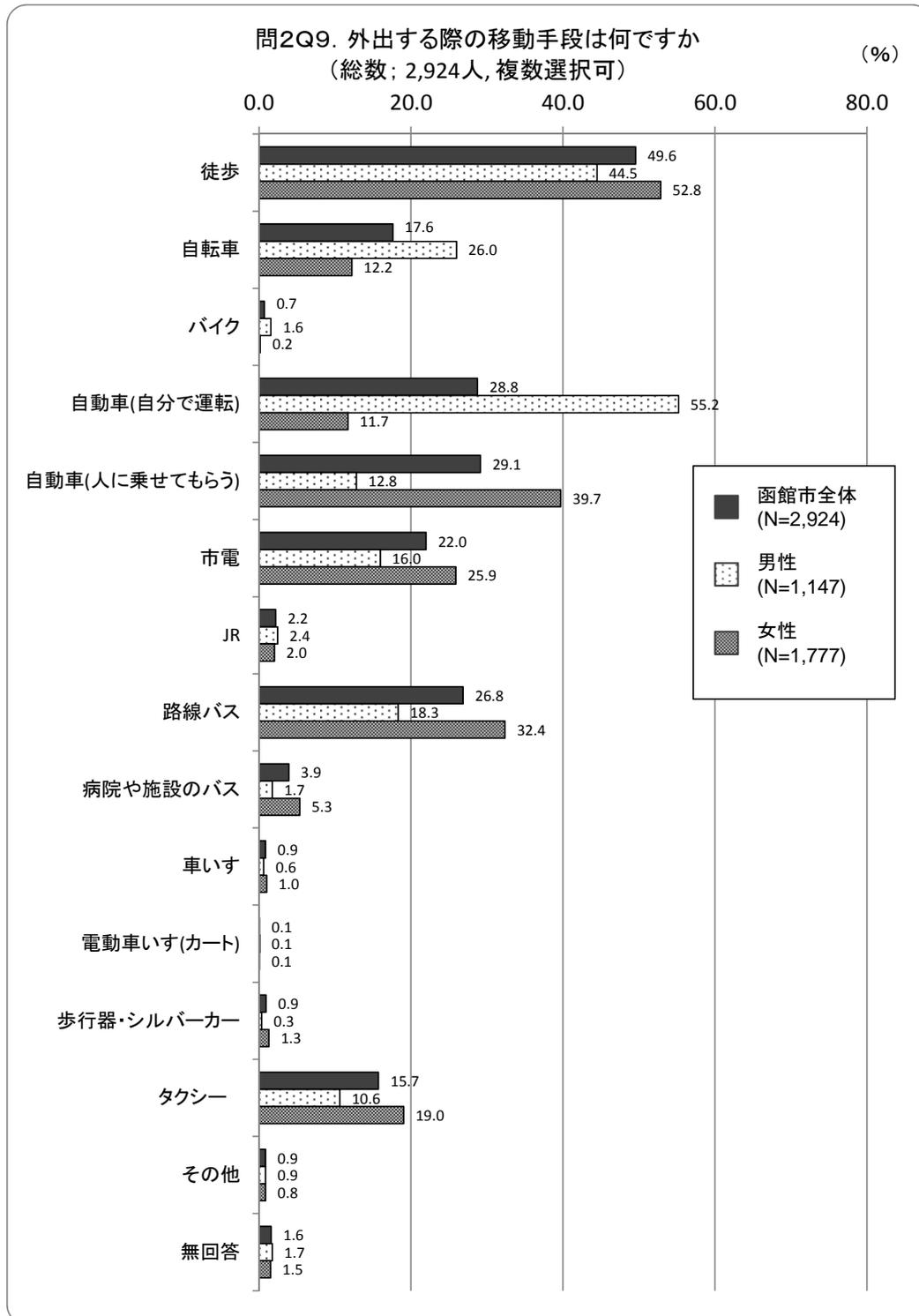
問2Q8B. 散歩で外出する頻度はどのくらいですか(総数; 2,924人)



**問2** Q9. 外出する際の移動手段は何ですか(複数選択可)

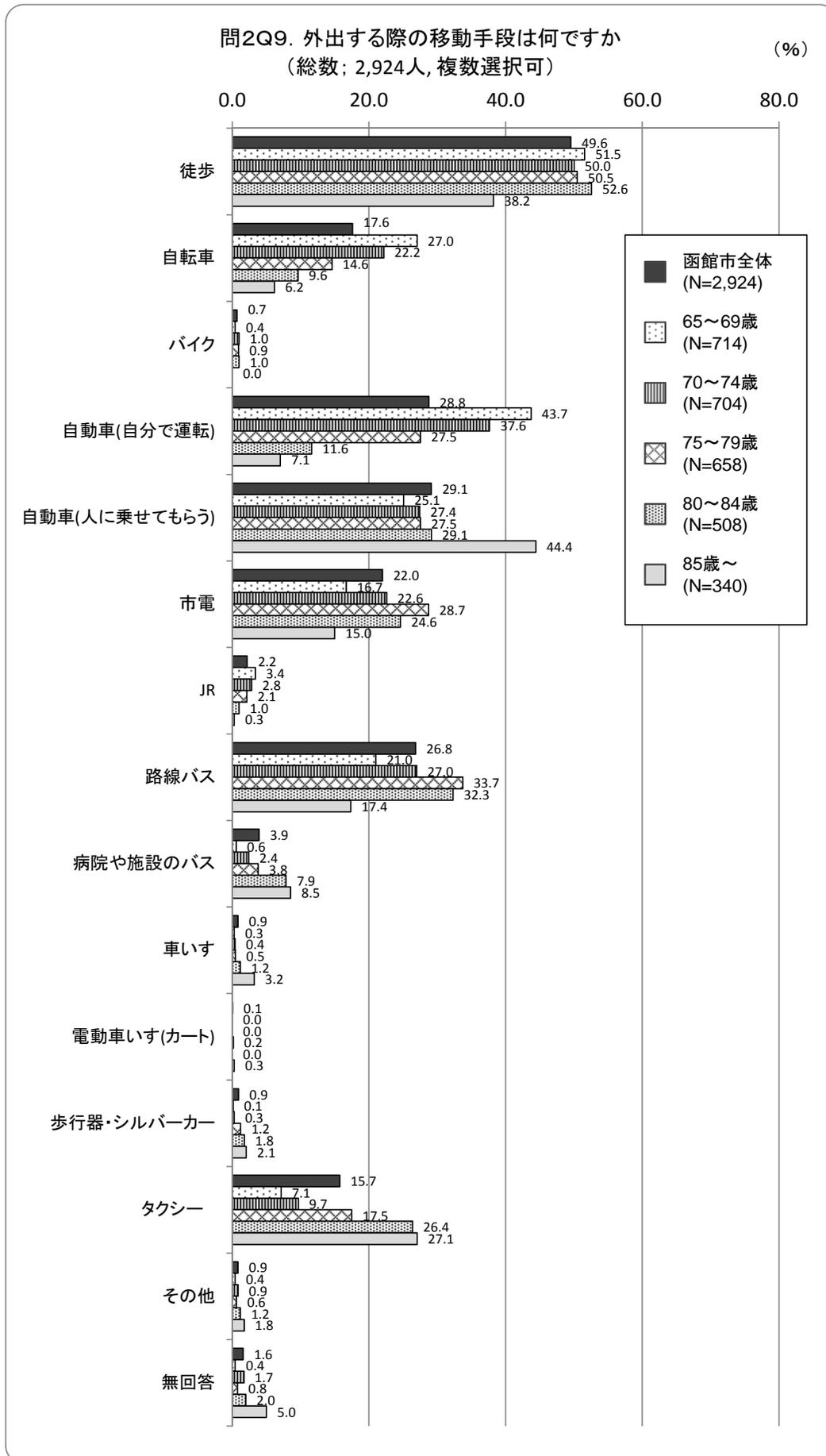
市全体で見ると、「徒歩」の割合が49.6%と最も高くなっています。次いで「自動車(人に乗せてもらう)」(29.1%)、および「自動車(自分で運転)」(28.8%)等の割合が高くなっています。

(性別)

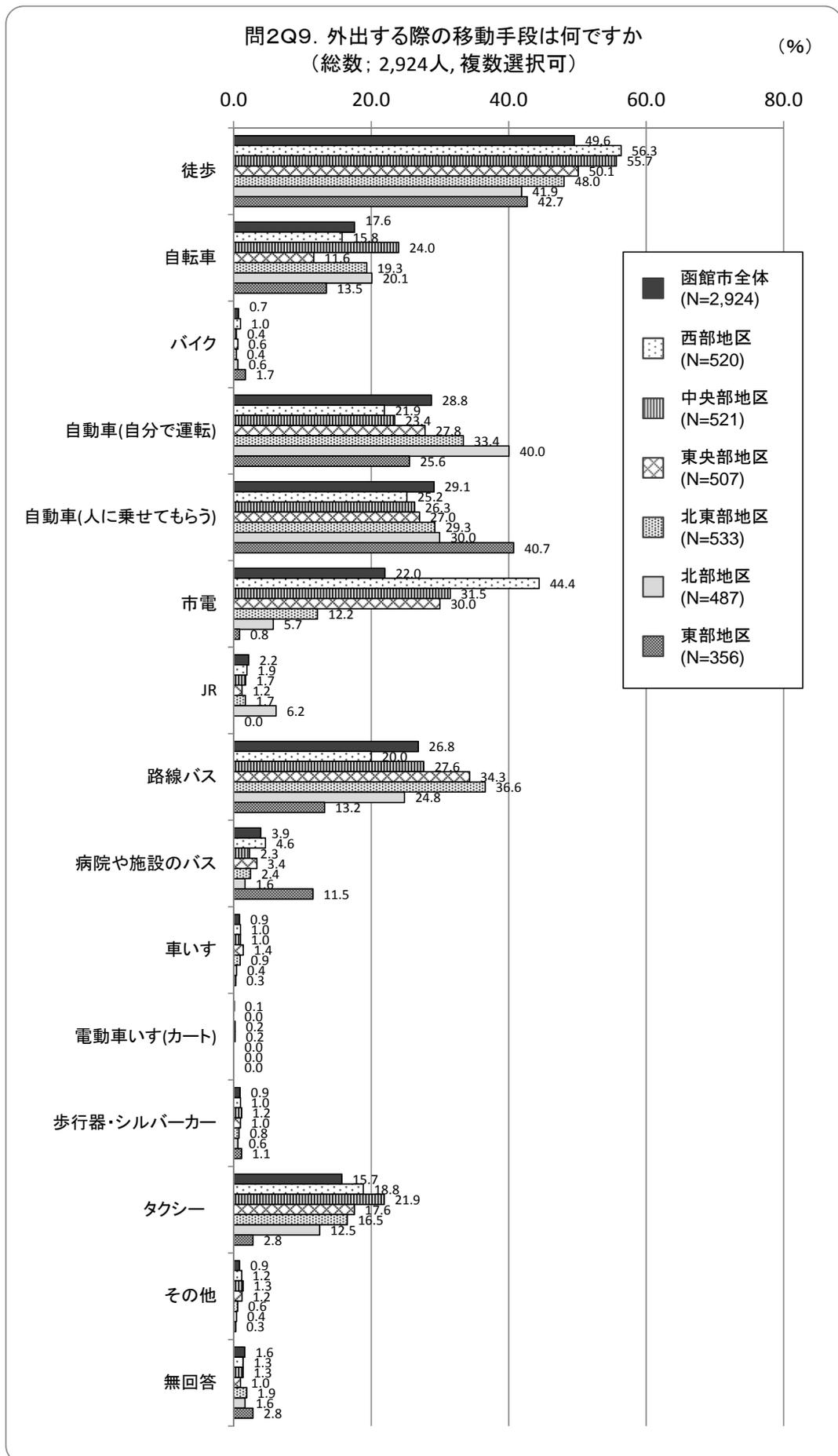


その他は「松葉づえ」, 「介護タクシー, 送迎の車」などとなっています。

(年齢別)



( 地区別 )

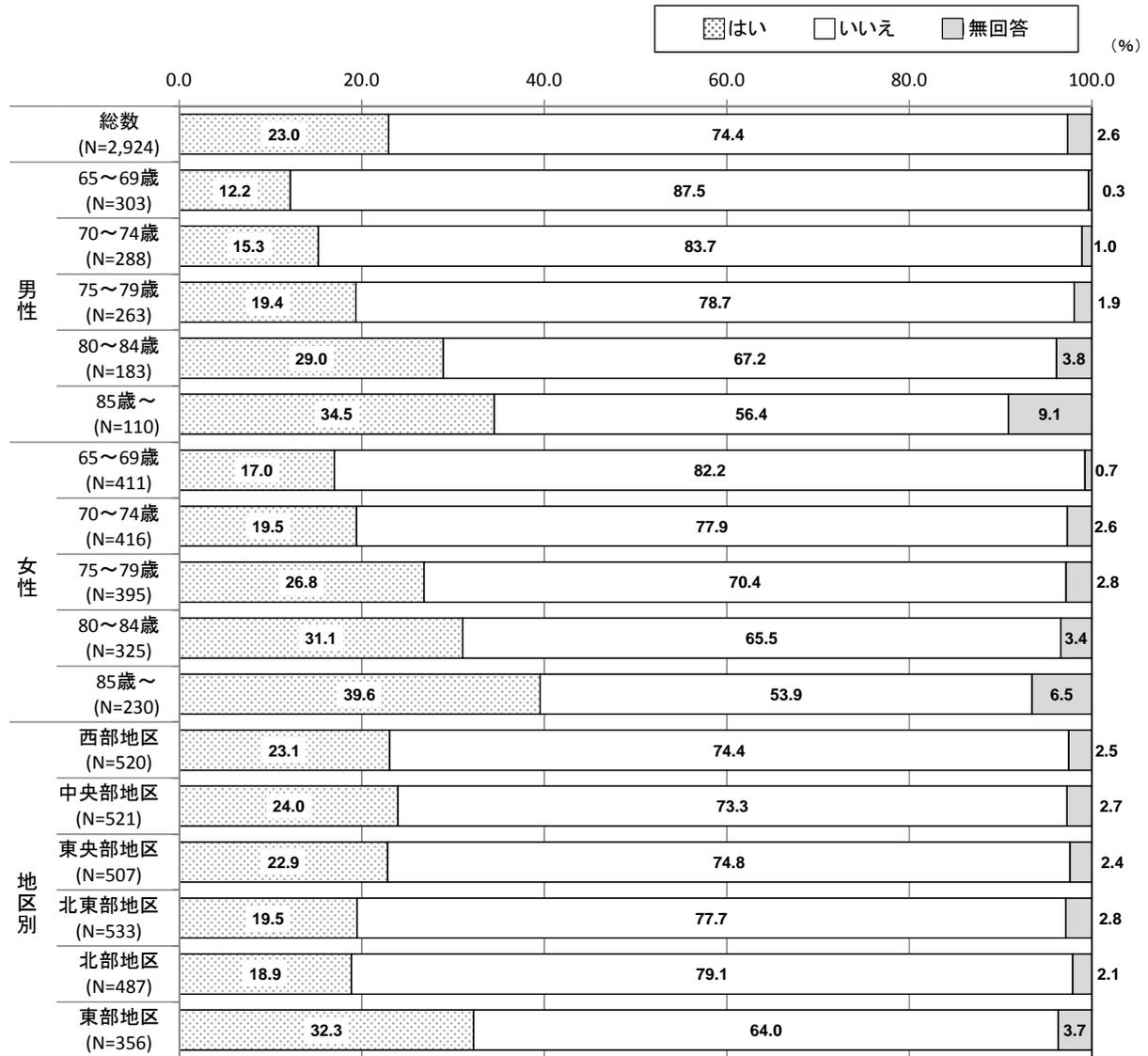


### 問3 転倒予防について

問3 Q1. (雪のない時期) この1年間に転んだことがありますか

市全体で見ると、「はい」の割合が23.0%となっています。

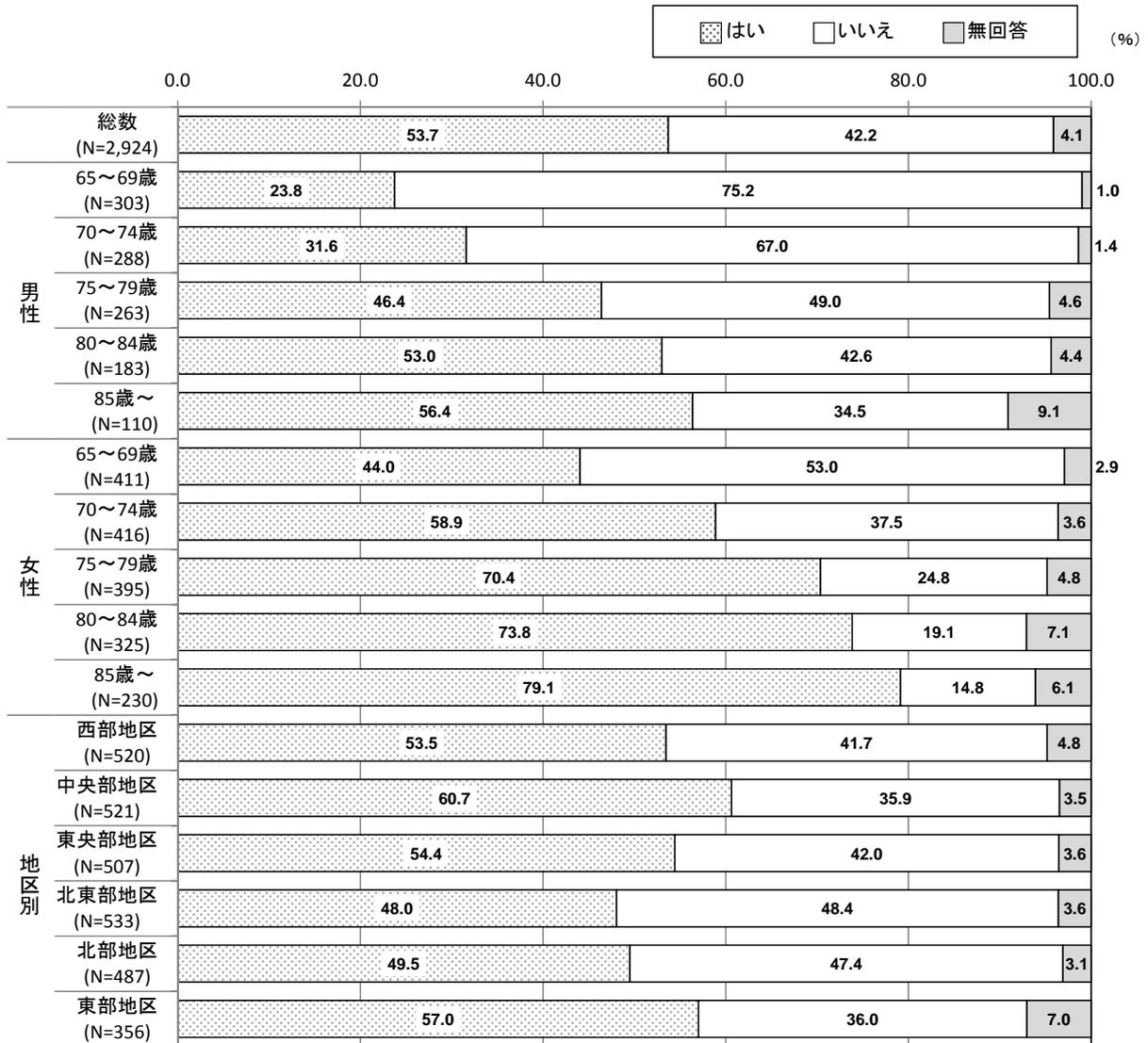
問3Q1. (雪のない時期)この1年間に転んだことがありますか  
(総数; 2,924人)



問3 Q2. 転倒に対する不安は大きいですか

市全体で見ると、「はい」の割合が53.7%となっています。

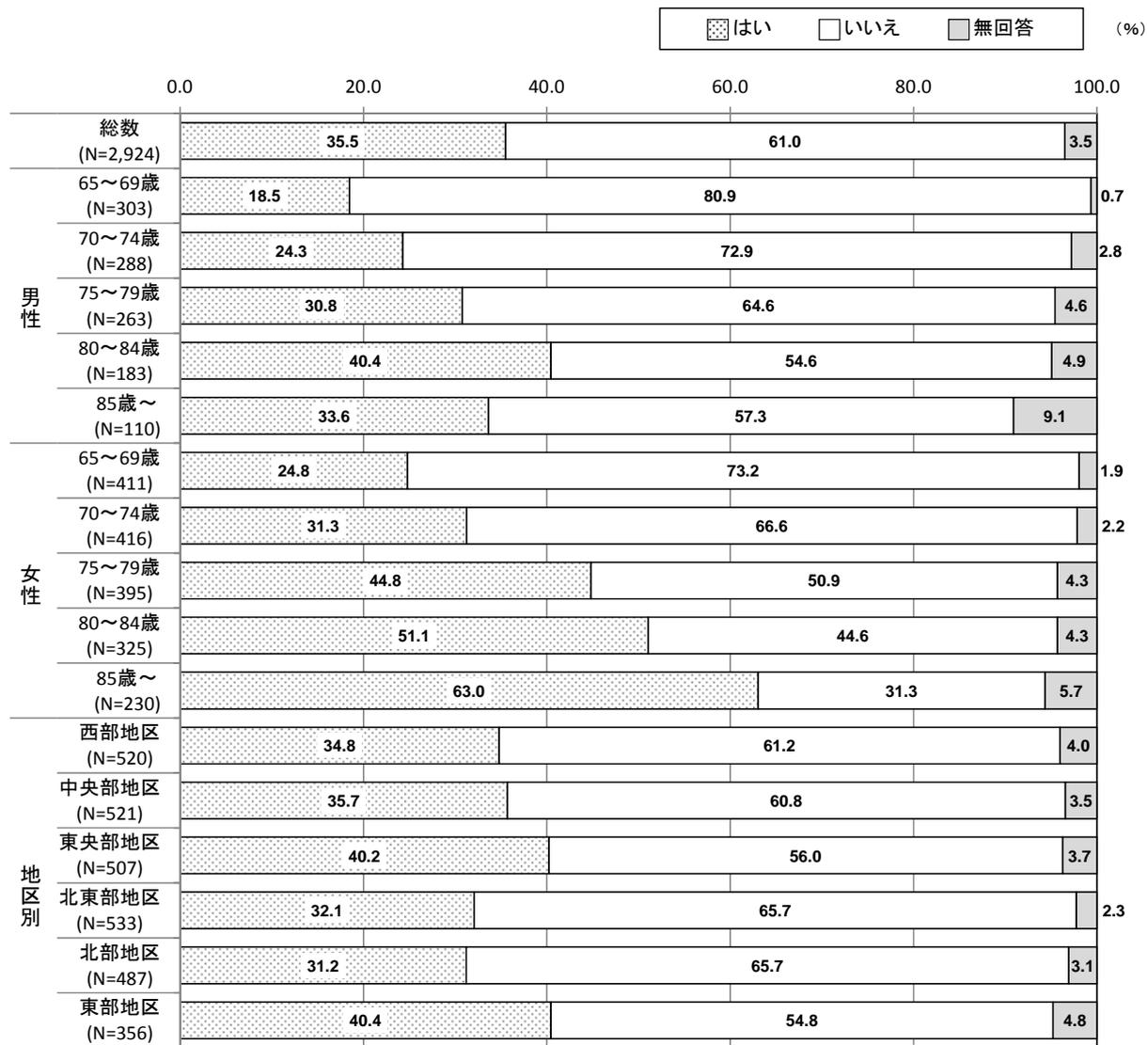
問3Q2. 転倒に対する不安は大きいですか(総数; 2,924人)



### 問3 Q3. 背中が丸くなってきましたか

市全体で見ると、「はい」の割合が35.5%となっています。

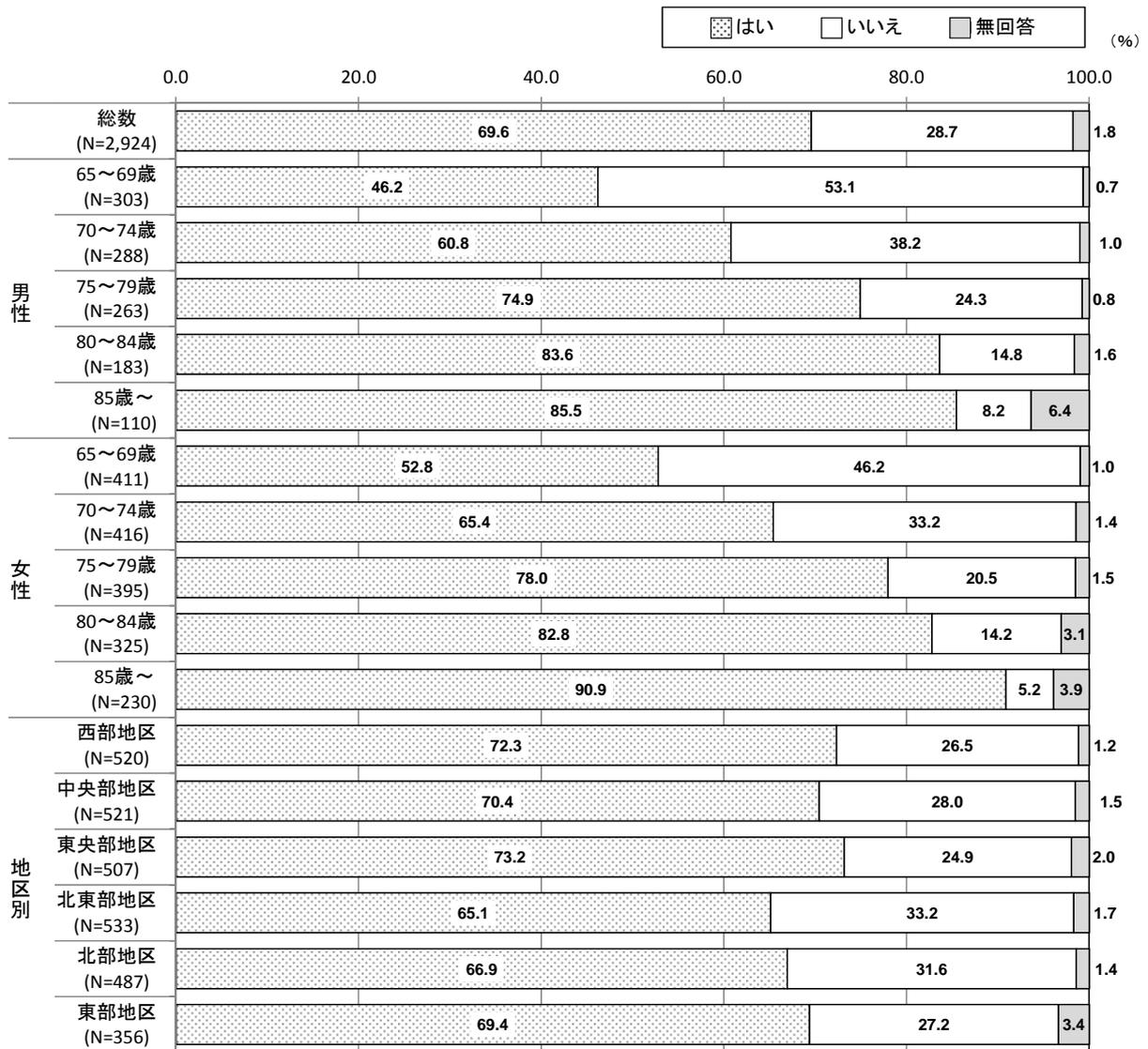
問3Q3. 背中が丸くなってきましたか(総数; 2,924人)



**問3** Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

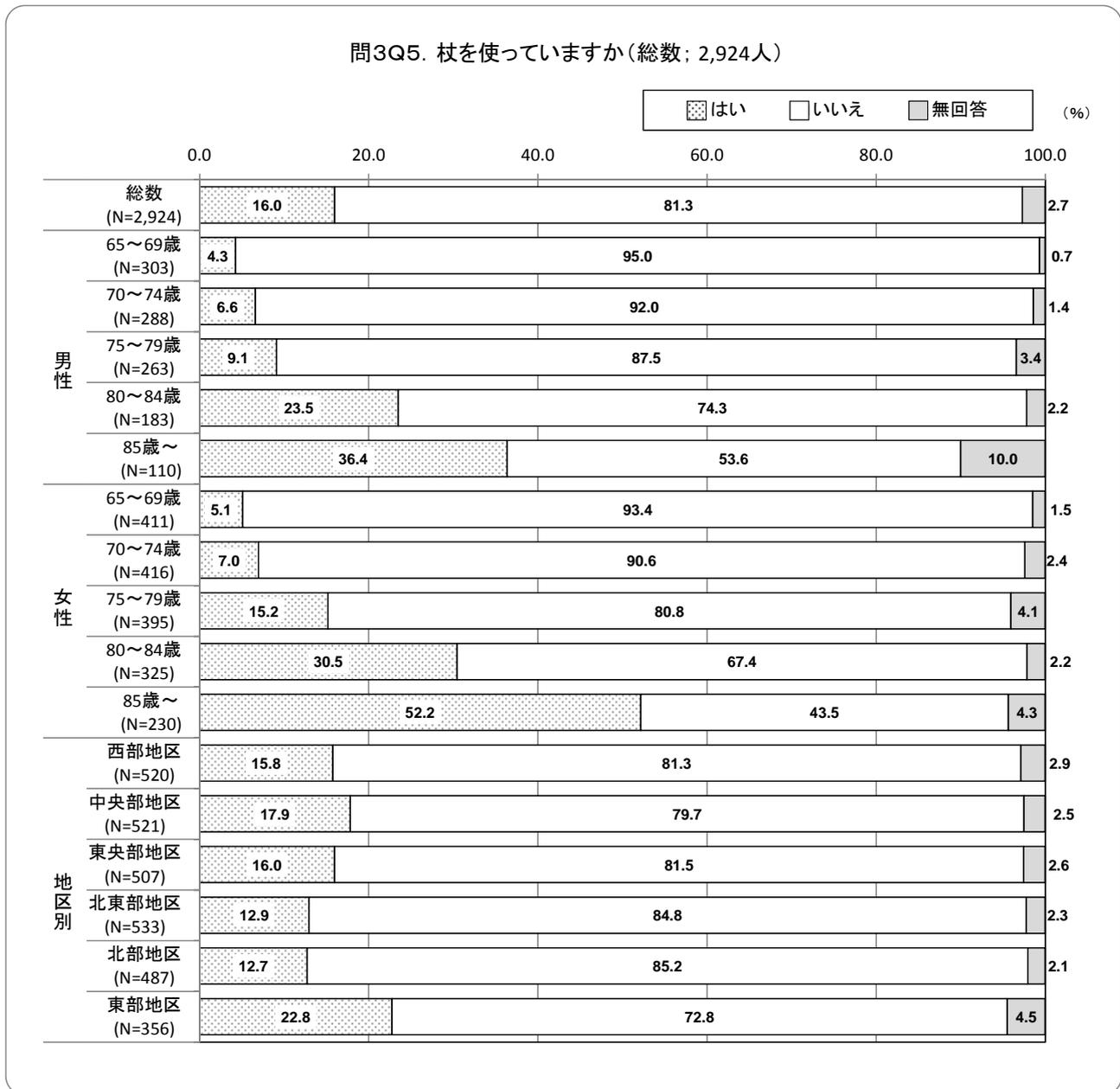
市全体で見ると、「はい」の割合が69.6%となっています。

問3Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか(総数; 2,924人)



**問3** Q5. 杖を使っていますか

市全体で見ると、「はい」の割合が16.0%となっています。

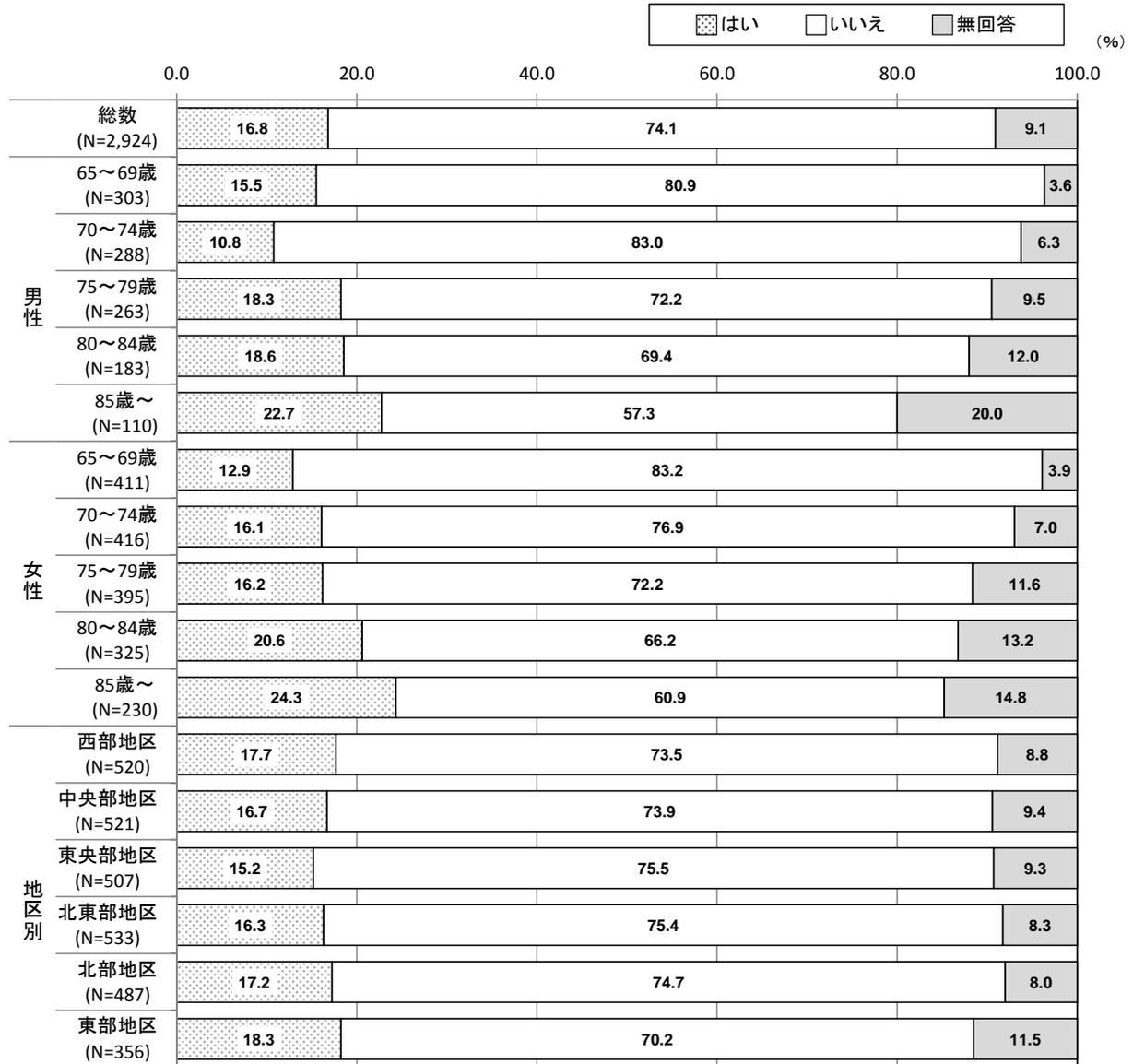


## 問4 口腔・栄養について

### 問4 Q1. 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

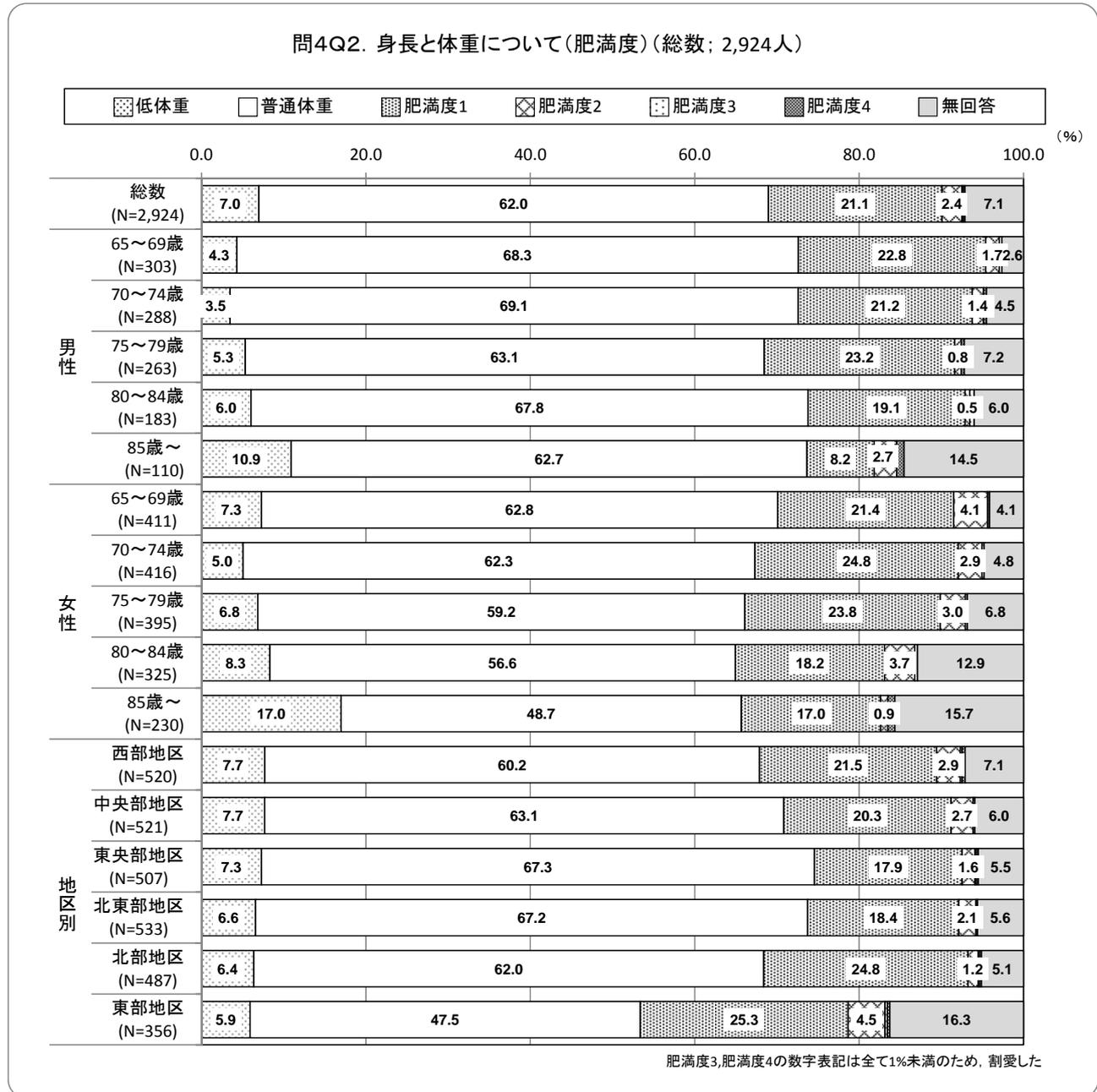
市全体で見ると、「はい」の割合が16.8%となっています。

問4Q1. 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか  
(総数; 2,924人)



#### 問4 Q2. 身長と体重について

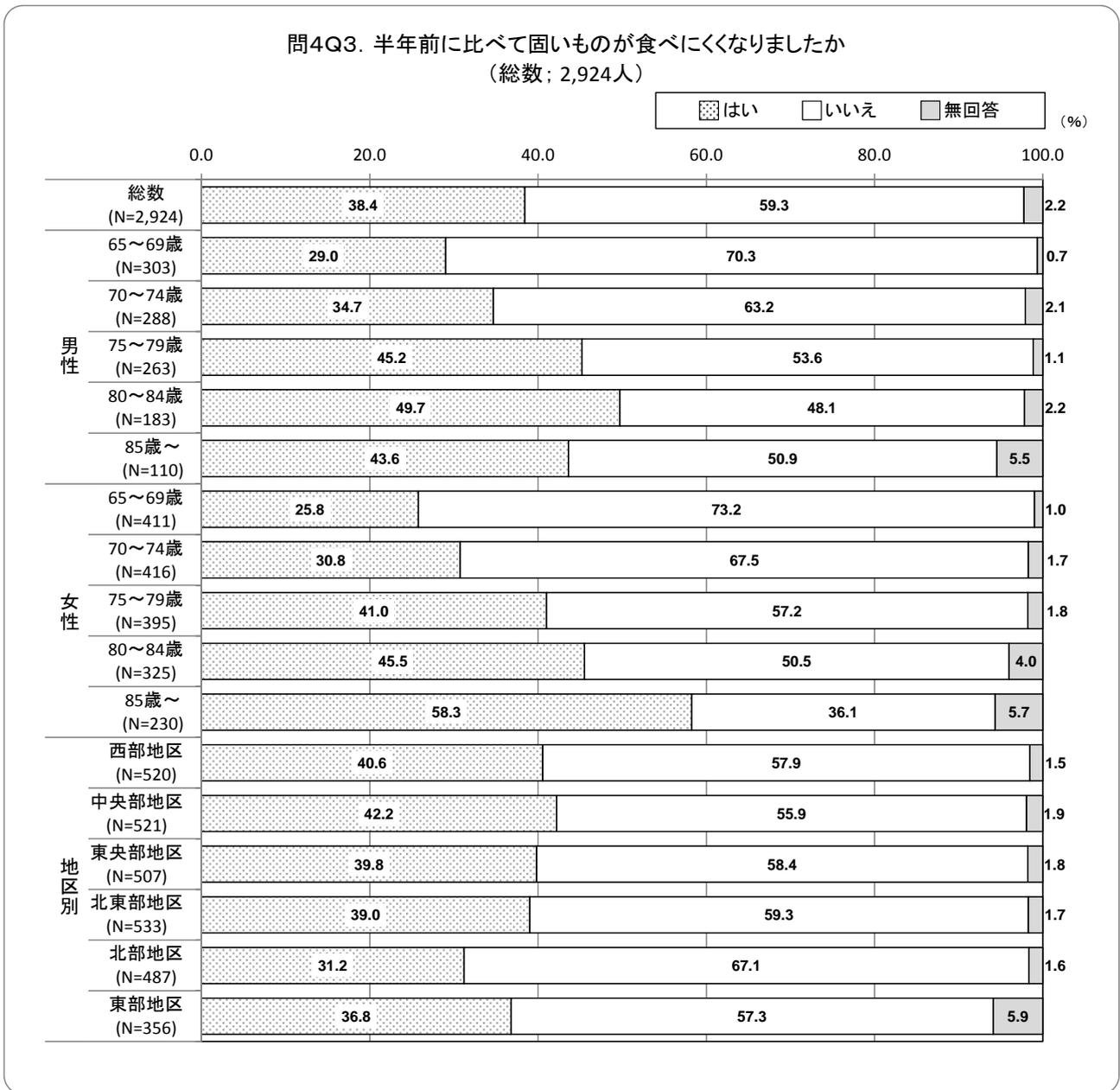
身長と体重により算出される BMI (=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m), Body Mass Index) という体格指数を用いて, 肥満度を判定しました。市全体で見ると, 低体重 (BMI が 18.5 未満) の割合が 7.0% となっています。



BMI	肥満度判定
18.5未満	低体重
18.5以上25.0未満	普通体重
25.0以上30.0未満	肥満度1
30.0以上35.0未満	肥満度2
35.0以上40.0未満	肥満度3
40.0以上	肥満度4

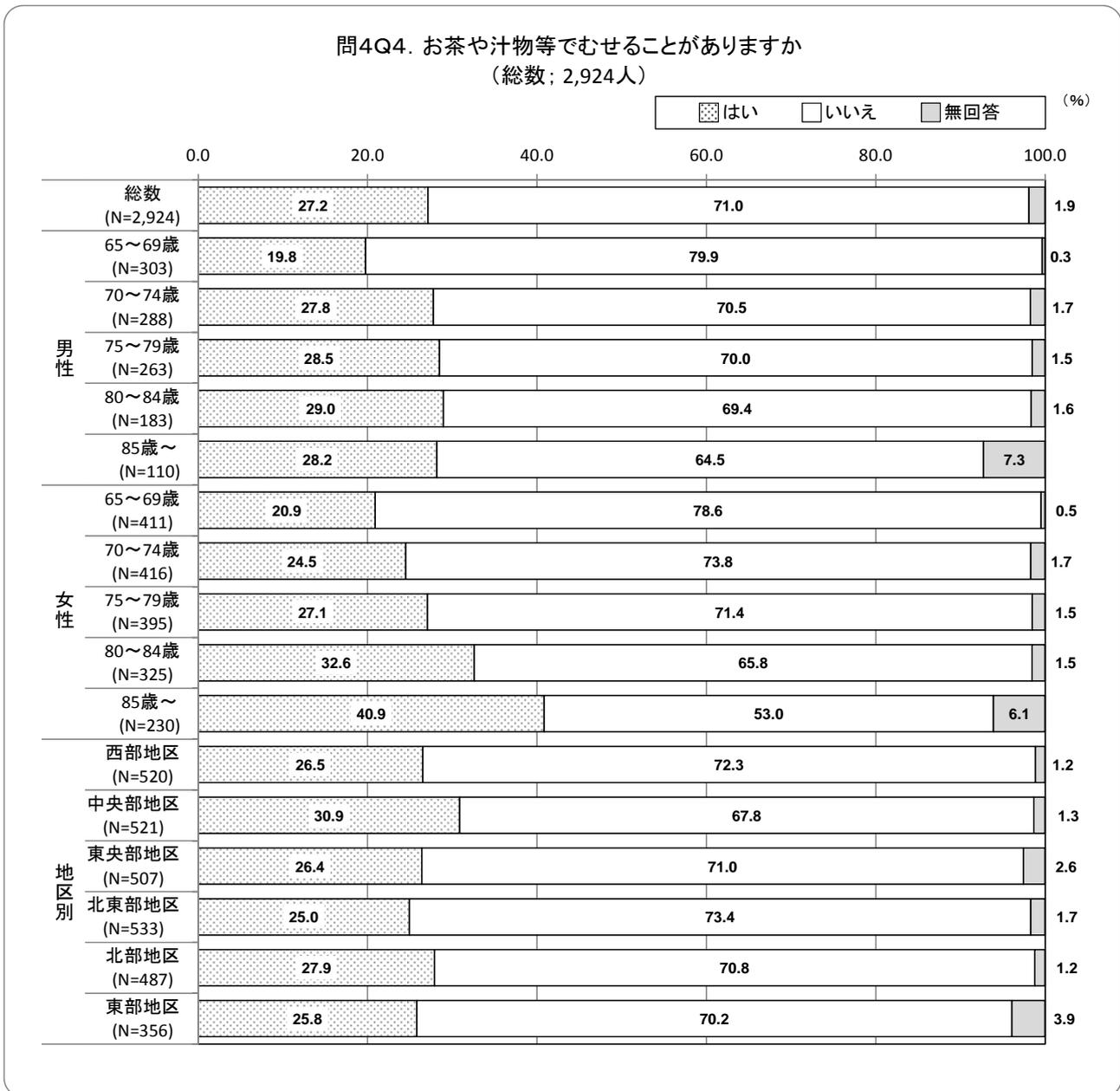
**問4** Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

市全体で見ると、「はい」の割合が38.4%となっています。



**問4** Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか

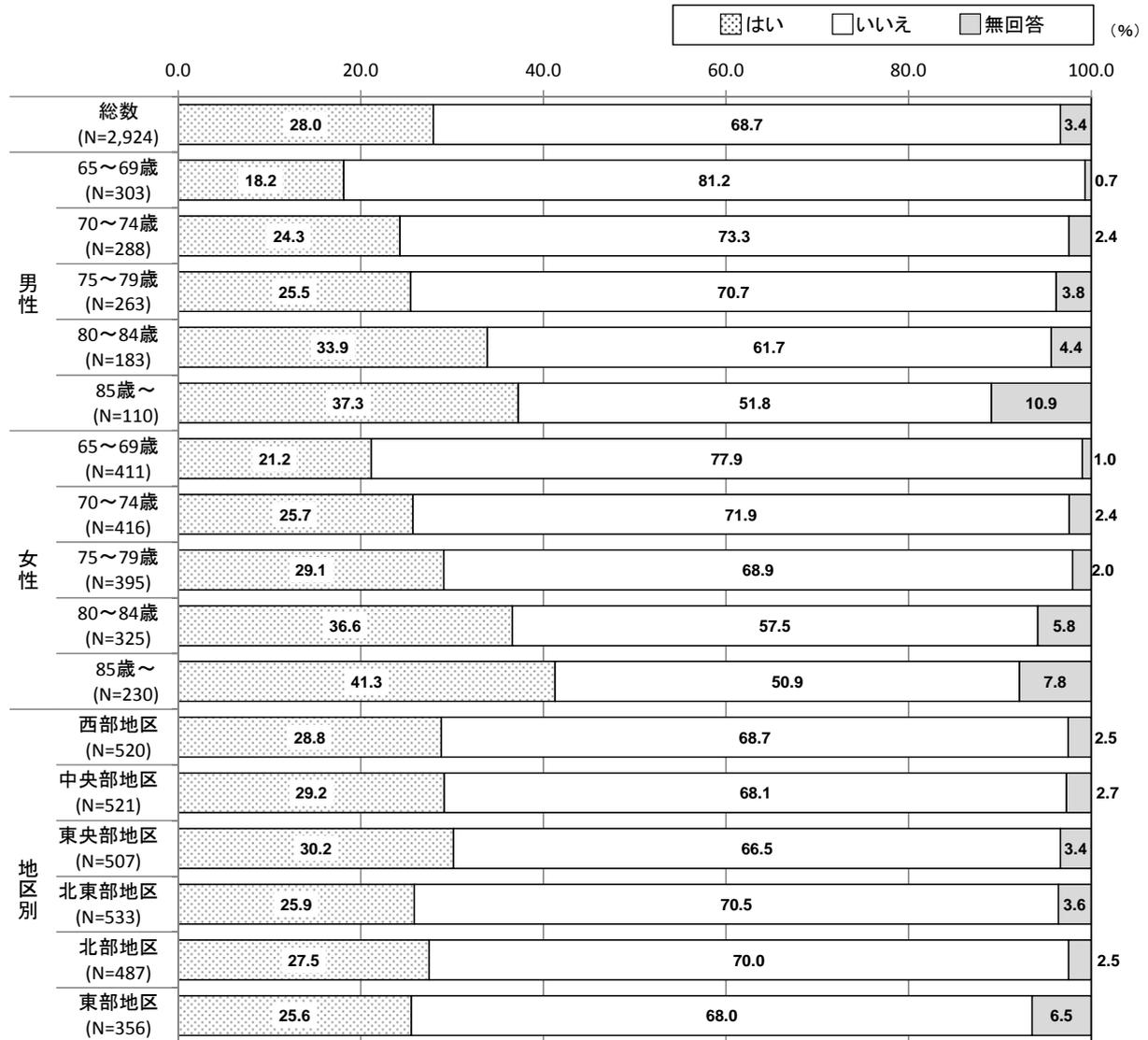
市全体で見ると、「はい」の割合が27.2%となっています。



**問4** Q5. 口の渇きが気になりますか

市全体で見ると、「はい」の割合が28.0%となっています。

問4Q5. 口の渇きが気になりますか(総数; 2,924人)

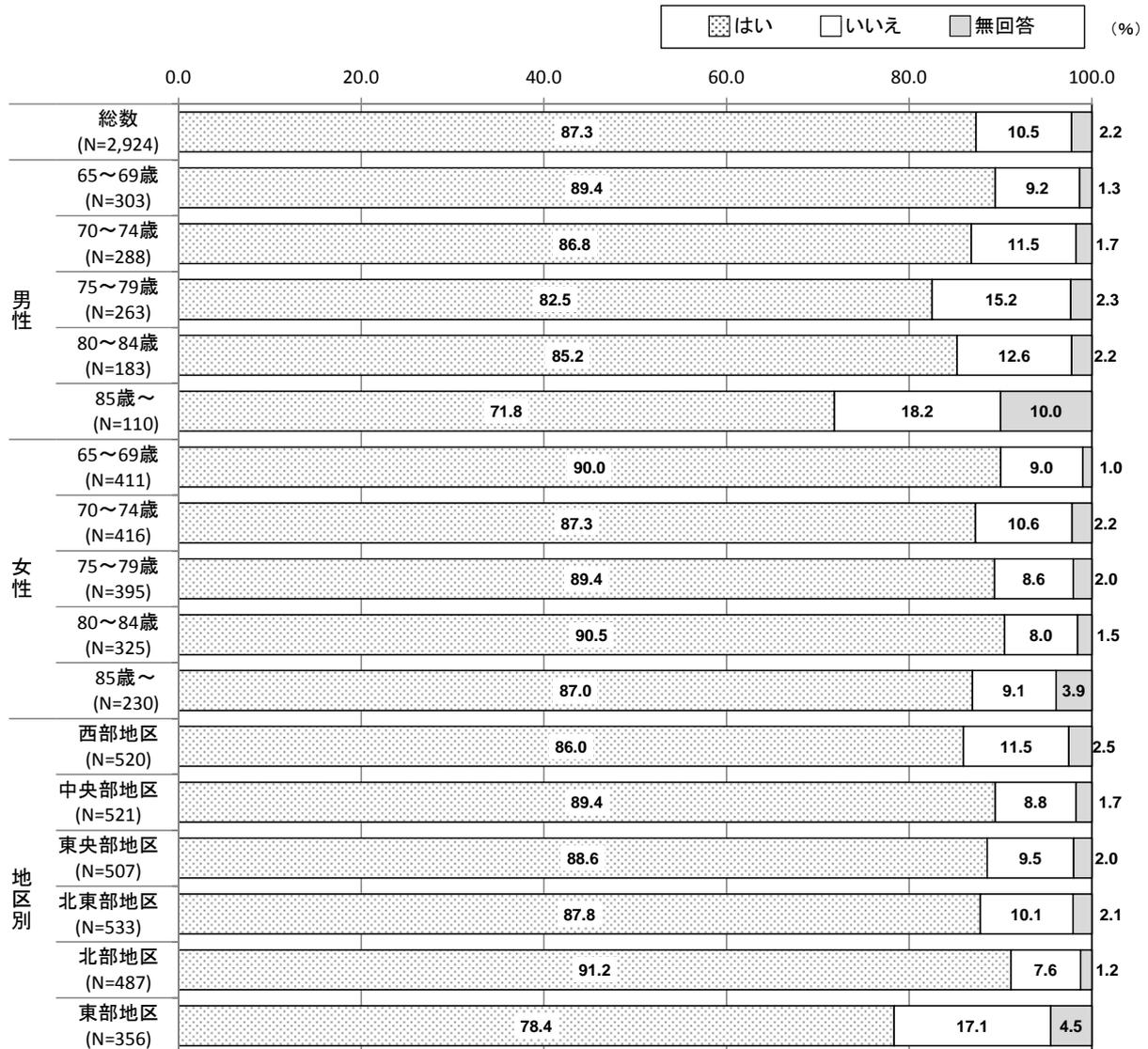


問4 Q6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

市全体で見ると、「いいえ」の割合が 10.5%となっています。

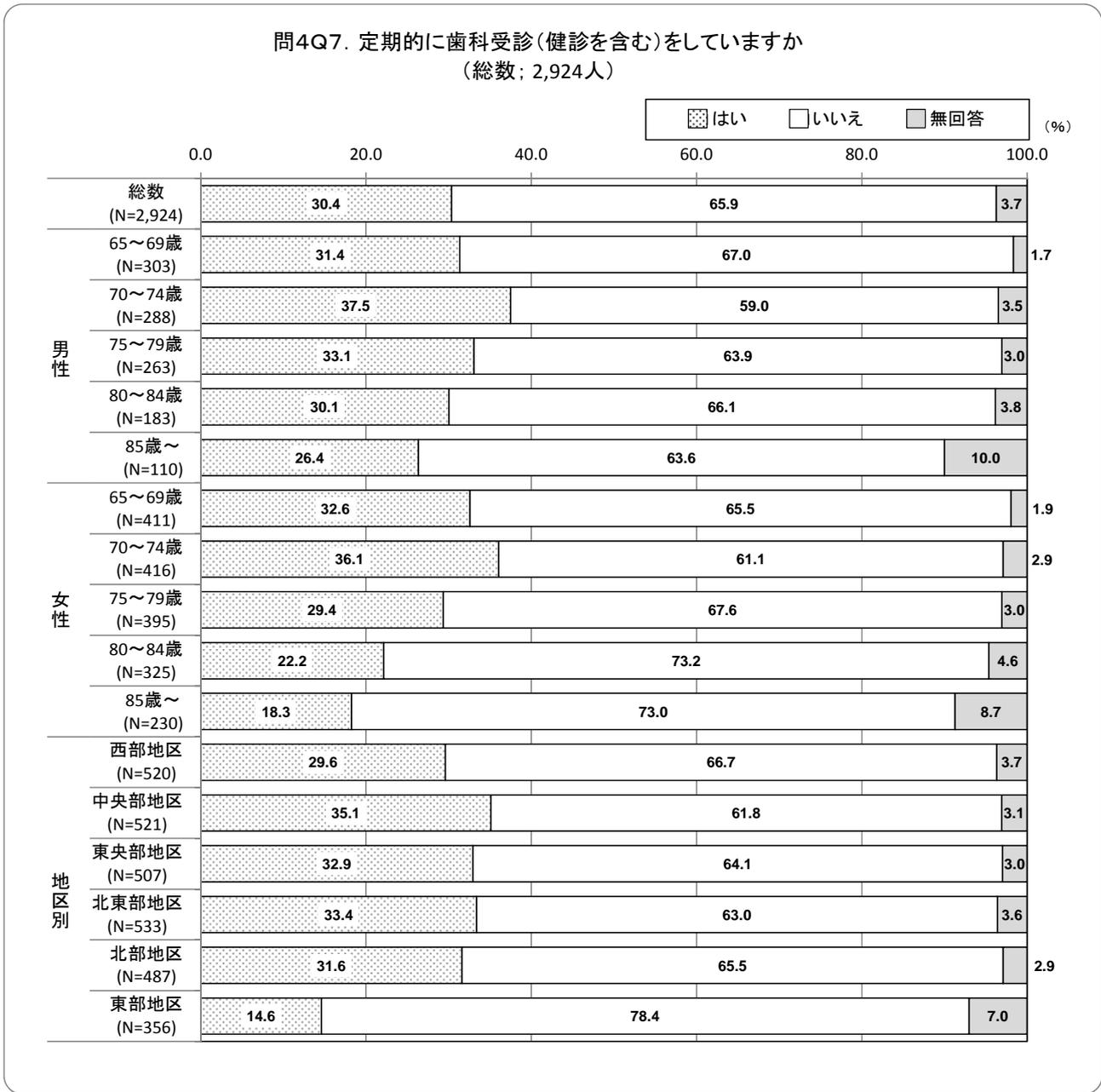
問4Q6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

（総数；2,924人）



**問4** Q7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか

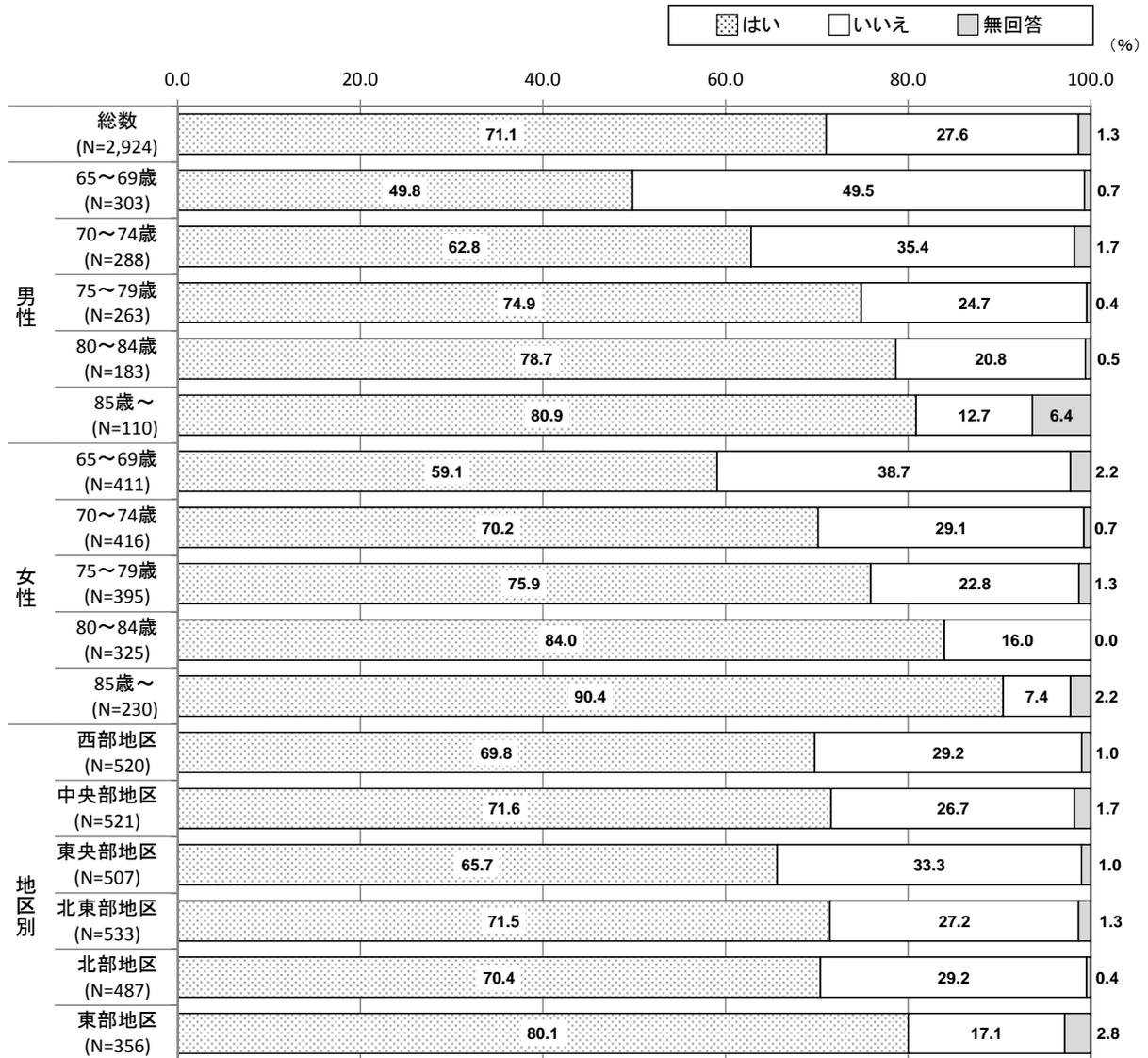
市全体で見ると、「いいえ」の割合が65.9%となっています。



**問4** Q8. 入れ歯を使用していますか

市全体で見ると、「はい」の割合が71.1%となっています。

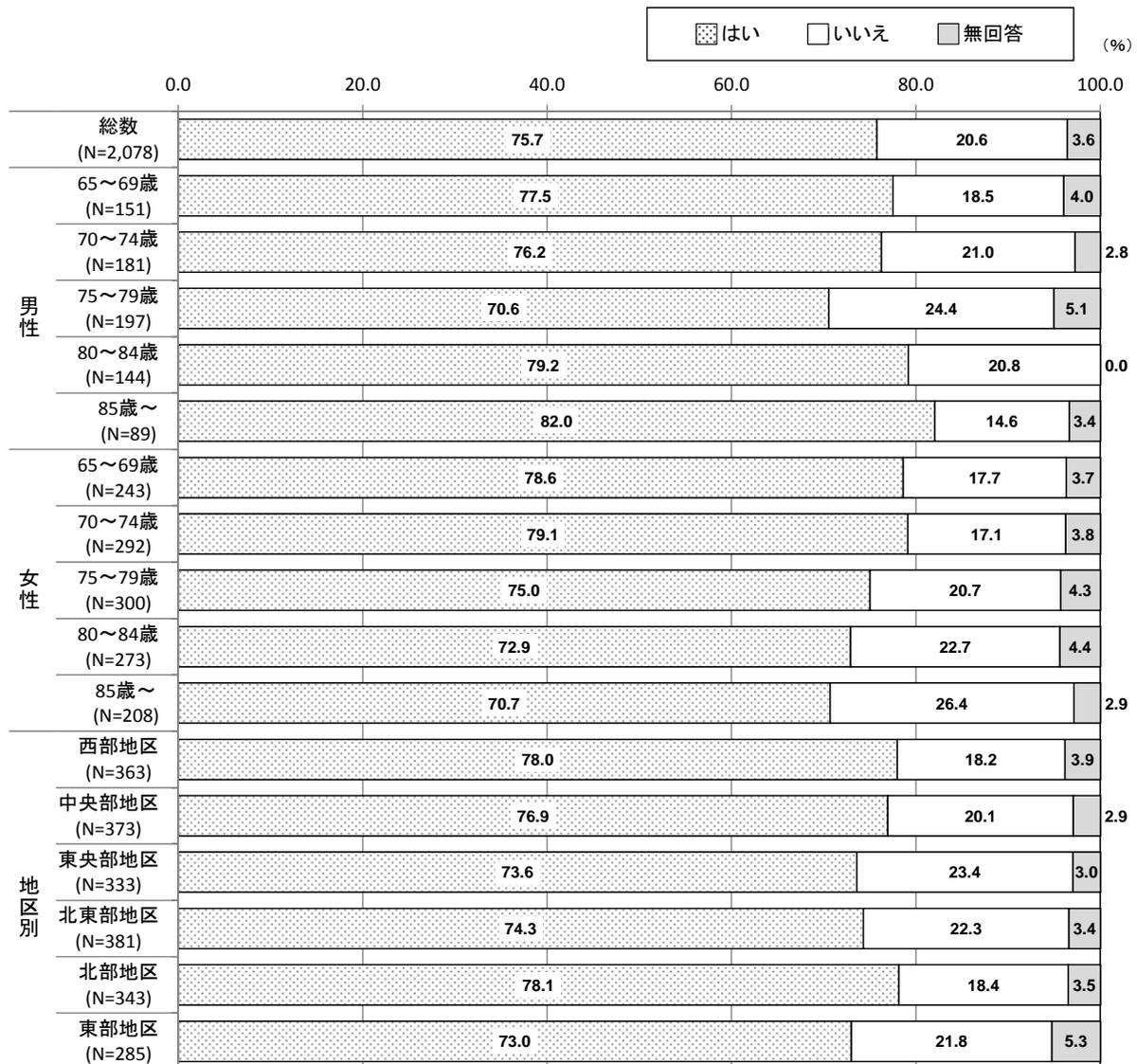
問4Q8. 入れ歯を使用していますか(総数; 2,924人)



問4 Q8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか

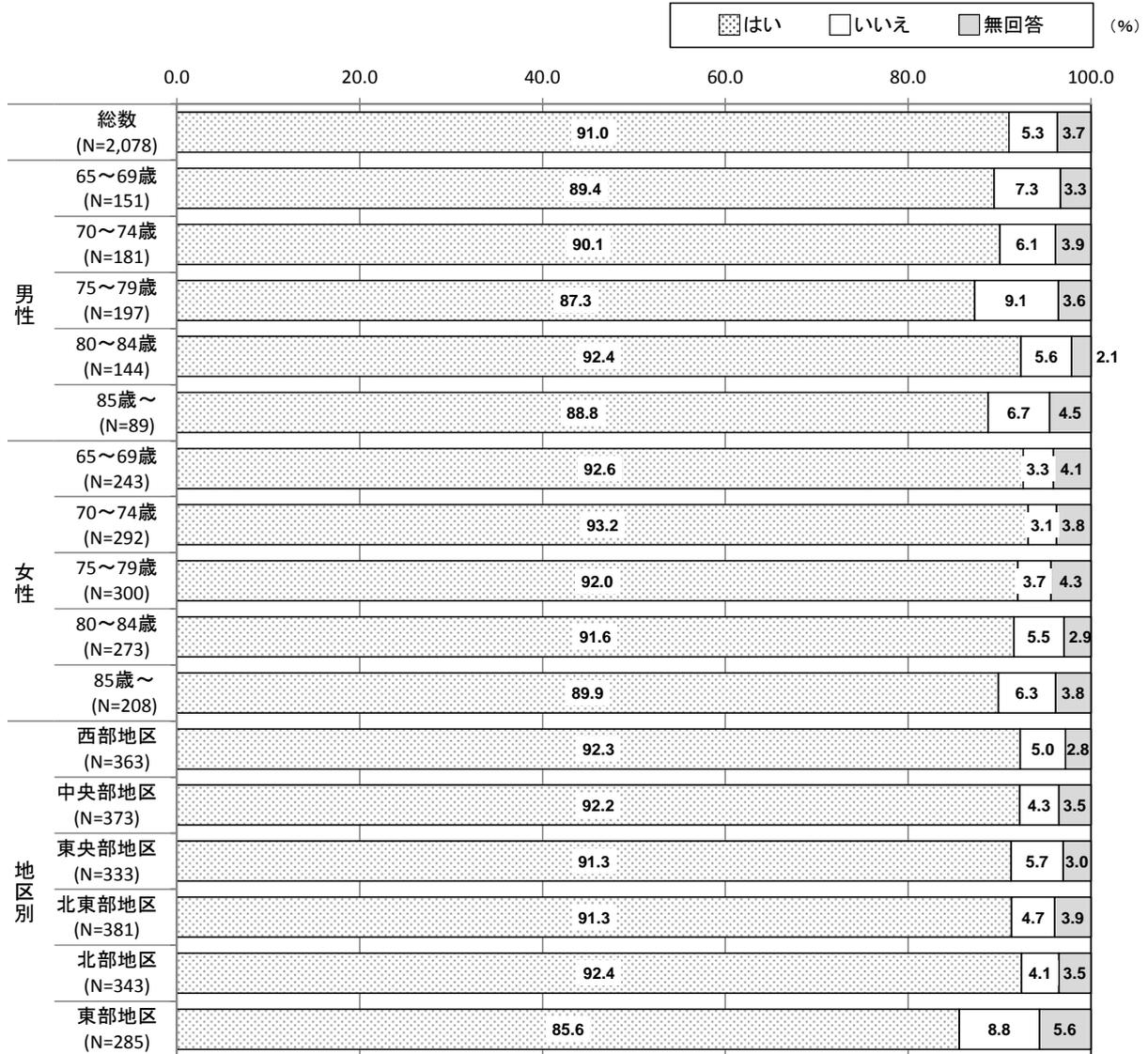
市全体で見ると、「いいえ」の割合が 20.6%となっています。

問4Q8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか  
(総数; 2,078人)



**問4** Q8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか  
 市全体で見ると、「いいえ」の割合が5.3%となっています。

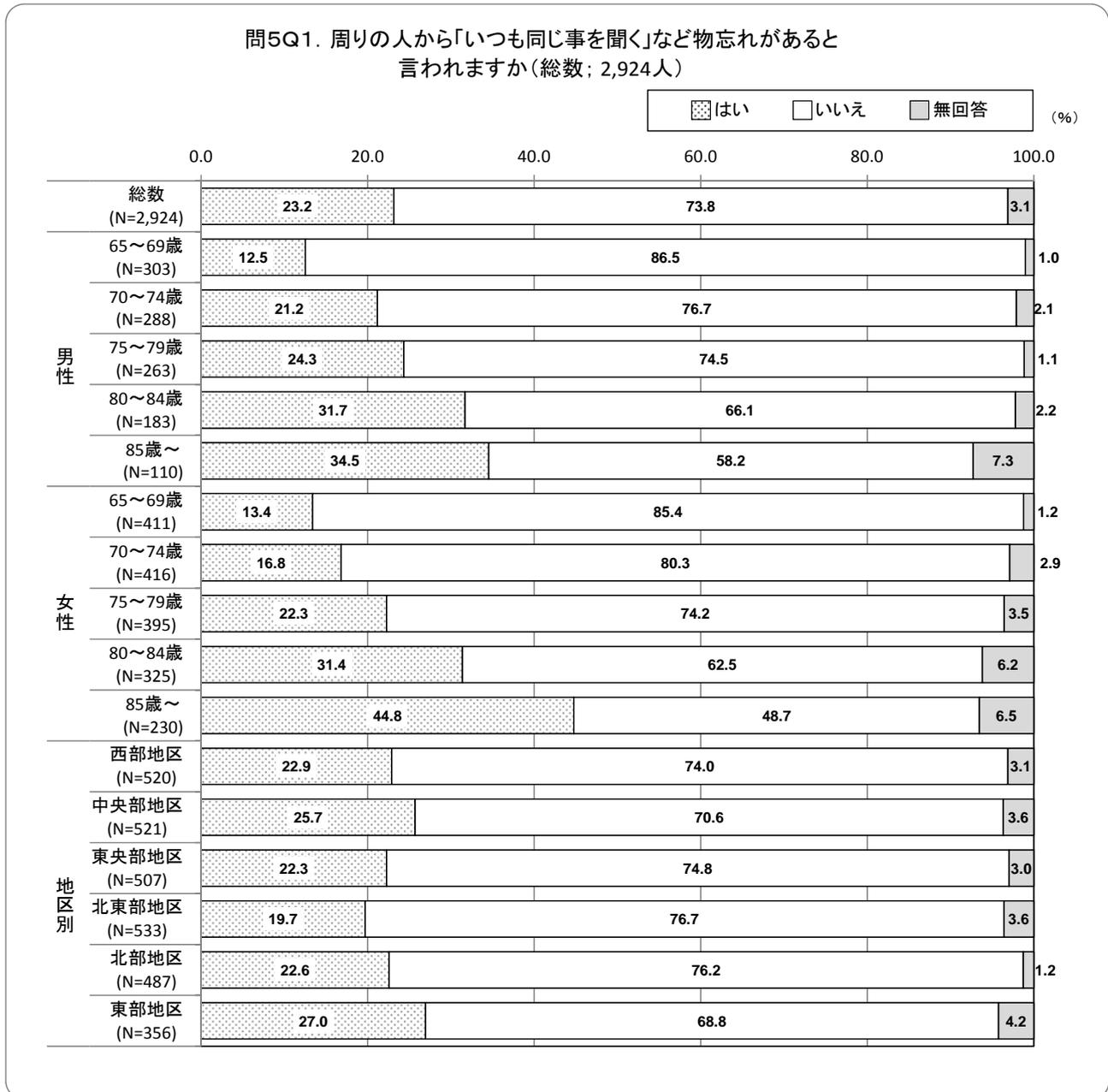
問4Q8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか  
 (総数; 2,078人)



## 問5 物忘れについて

問5 Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるとされますか

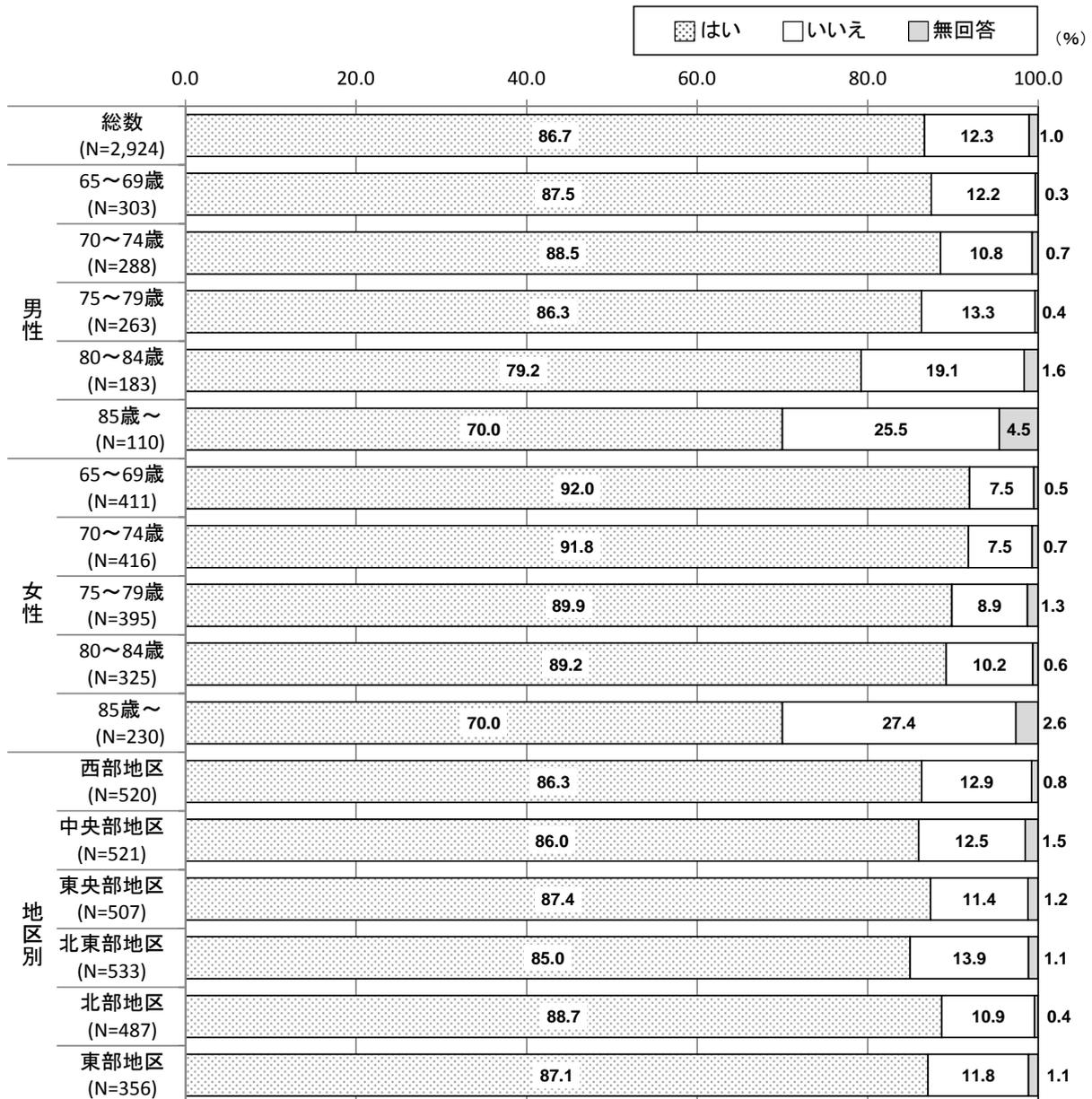
市全体で見ると、「はい」の割合が23.2%となっています。



**問5** Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

市全体で見ると、「いいえ」の割合が12.3%となっています。

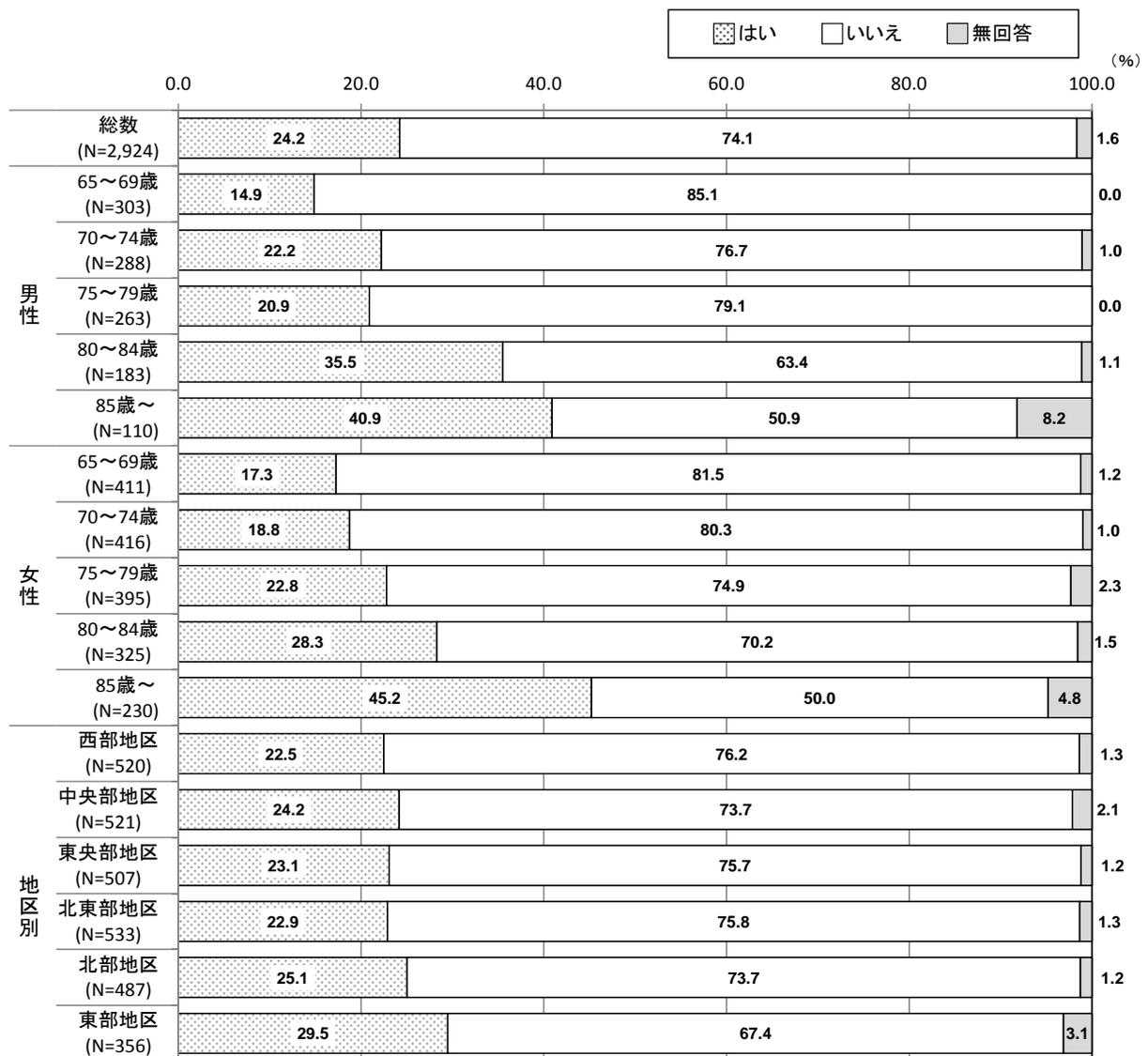
問5Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか  
(総数; 2,924人)



**問5** Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか

市全体で見ると、「はい」の割合が24.2%となっています。

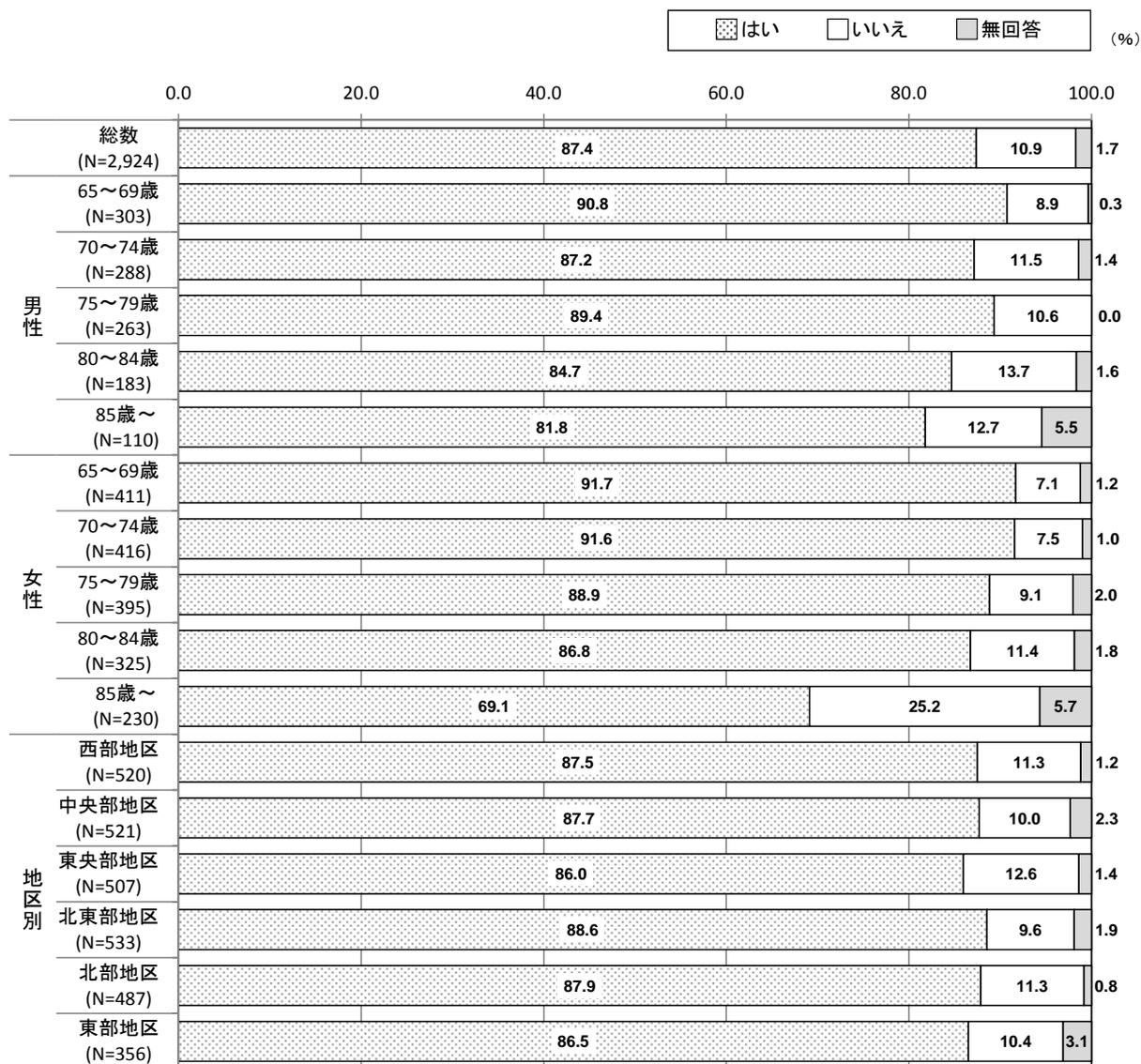
問5Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか(総数; 2,924人)



問5 Q4. 5分前のことが思い出せますか

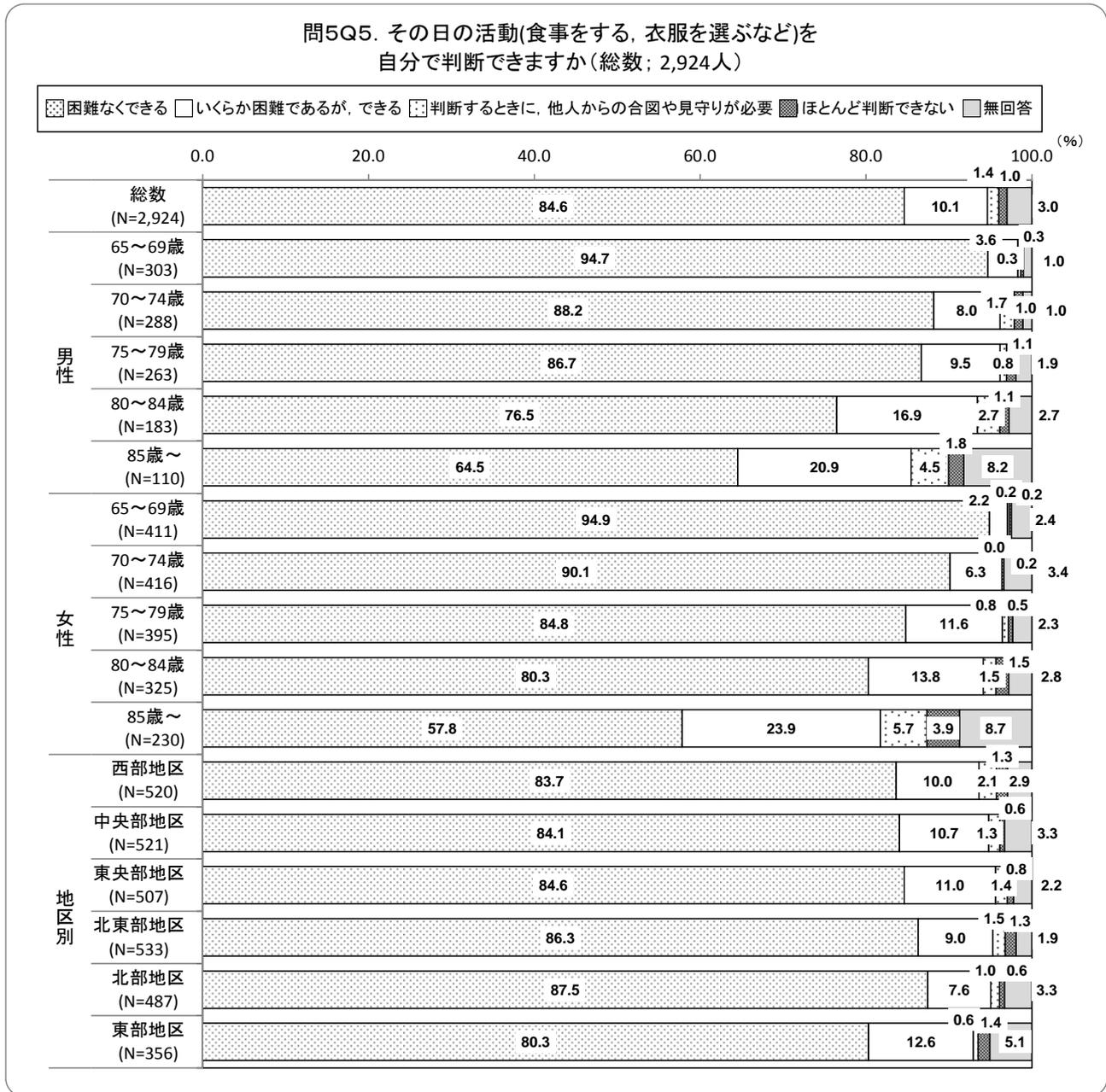
市全体で見ると、「いいえ」の割合が10.9%となっています。

問5Q4. 5分前のことが思い出せますか(総数; 2,924人)



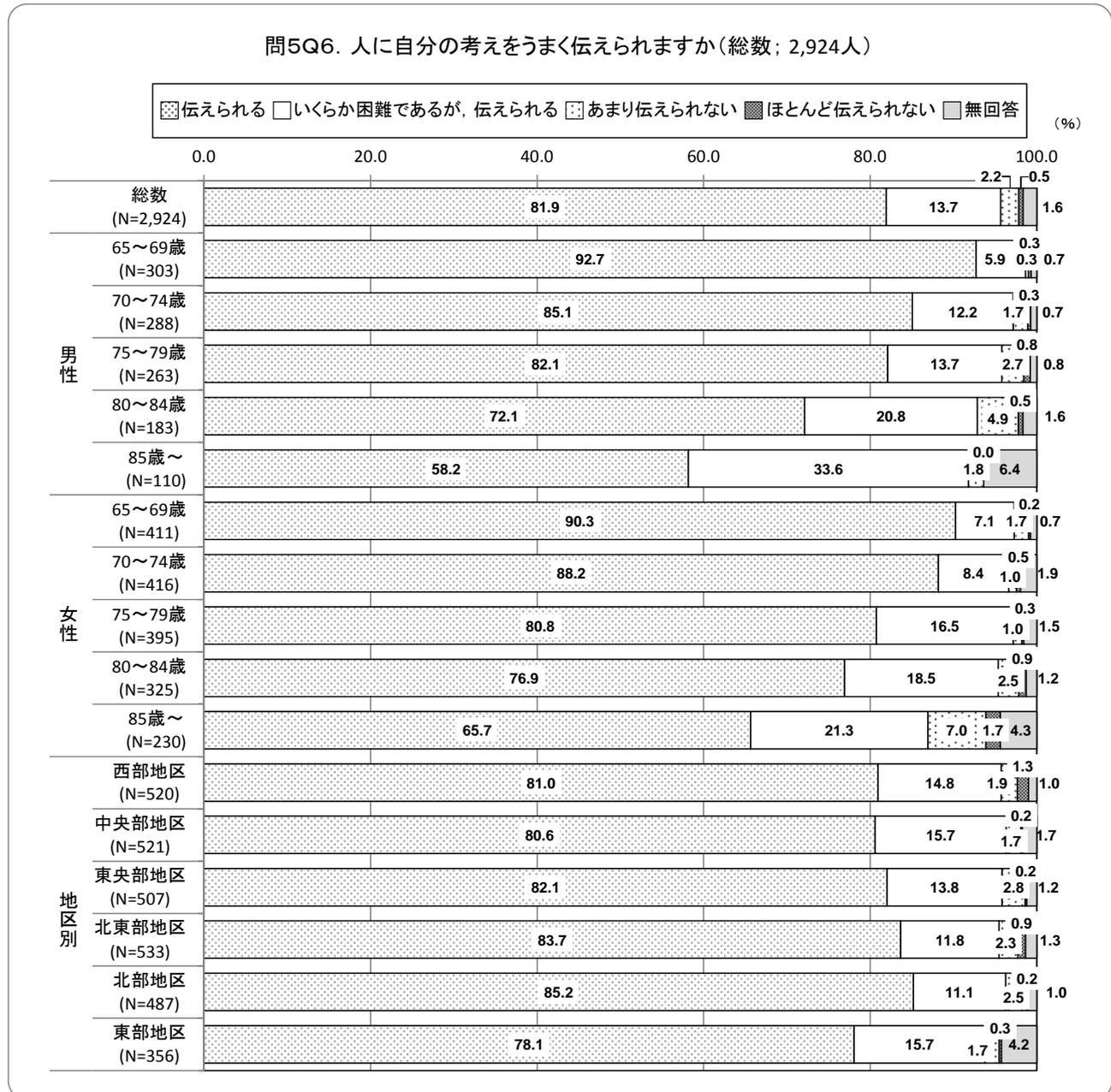
**問5** Q5. その日の活動(食事をする, 衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか

市全体で見ると,「いづらか困難であるが, できる」の割合が 10.1%, 「判断するときに, 他人からの合図や見守りが必要」の割合が 1.4%, 「ほとんど判断できない」の割合が 1.0%となっています。



**問5 Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか**

市全体で見ると、「いくらか困難であるが、伝えられる」の割合が 13.7%、「あまり伝えられない」の割合が 2.2%、「ほとんど伝えられない」の割合が 0.5%となっています。



## 問6 日常生活について

### 問6 Q1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

市全体で見ると、「できるし、している」の割合が 77.2%、「できるけどしていない」の割合が 10.4%、「できない」の割合が 10.8%となっています。

問6Q1. バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)  
(総数; 2,924人)



**問6** Q2. 日用品の買い物をしていますか

市全体で見ると、「できるし、している」の割合が 78.5%、「できるけどしていない」の割合が 11.9%、「できない」の割合が 8.0%となっています。

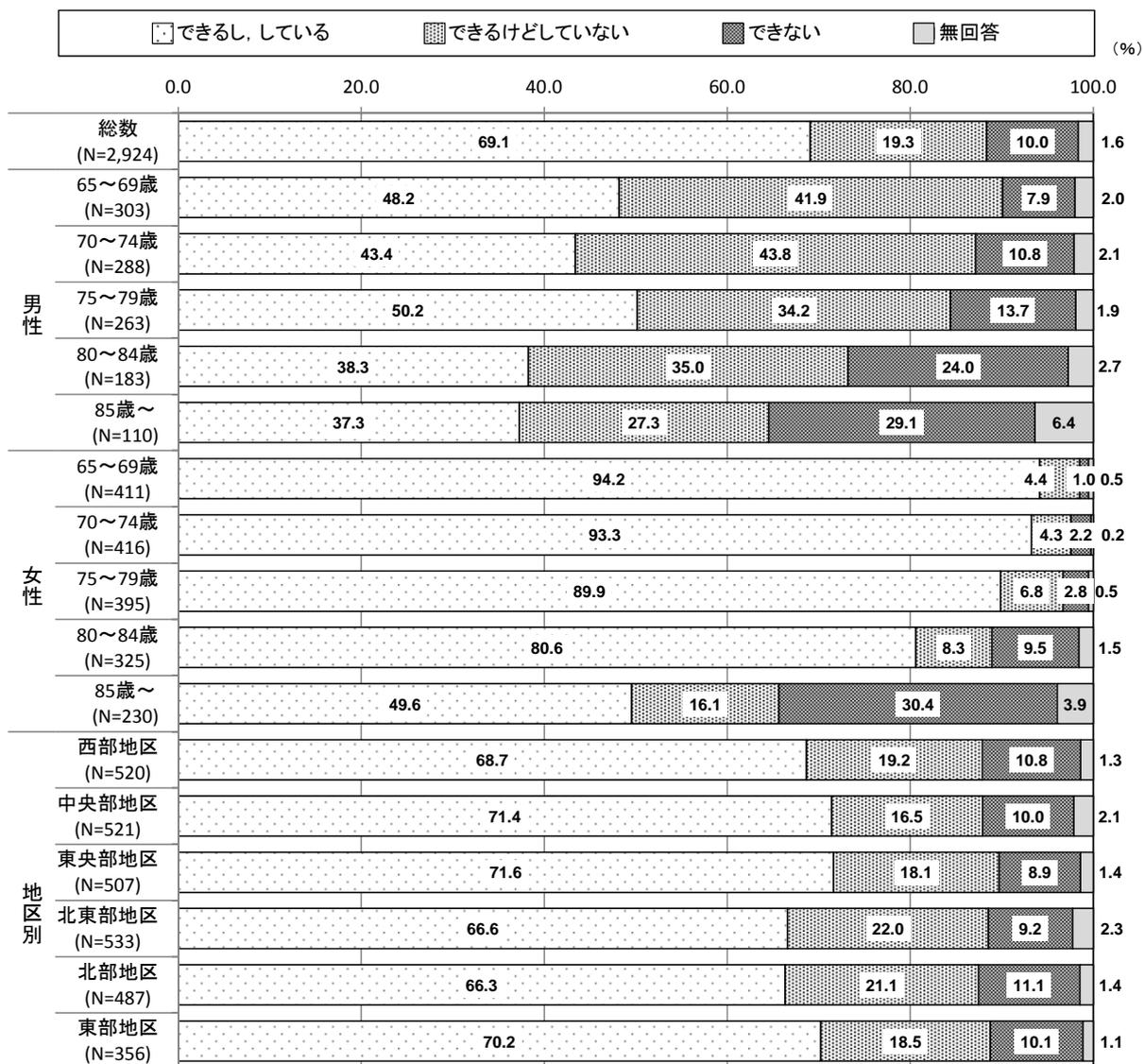
問6Q2. 日用品の買い物をしていますか(総数; 2,924人)



問6 Q3. 自分で食事の用意をしていますか

市全体で見ると、「できるし、している」の割合が 69.1%、「できるけどしていない」の割合が 19.3%、「できない」の割合が 10.0%となっています。

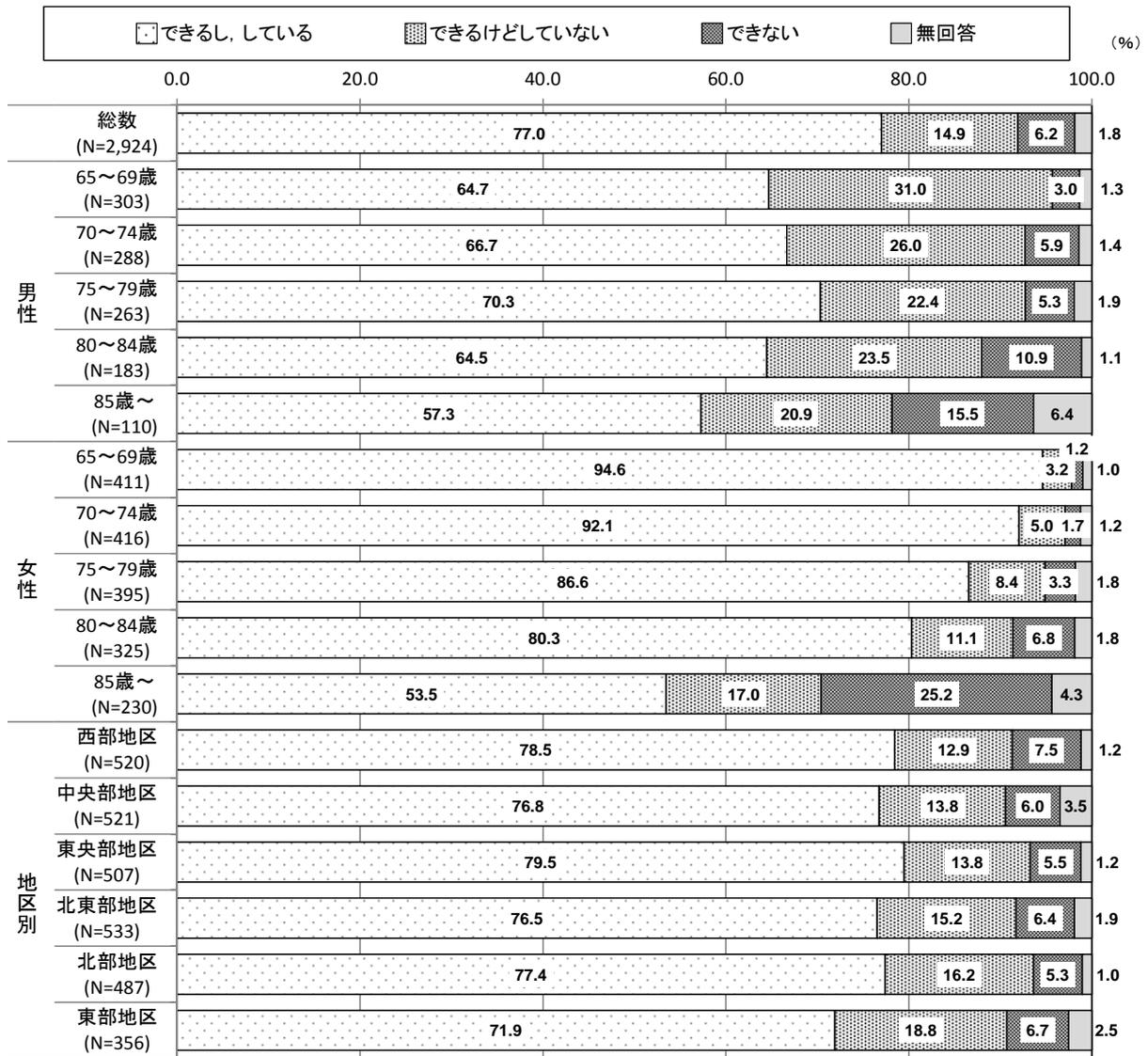
問6Q3. 自分で食事の用意をしていますか(総数; 2,924人)



**問6** Q4. 請求書の支払いをしていますか

市全体で見ると、「できるし、している」の割合が 77.0%、「できるけどしていない」の割合が 14.9%、「できない」の割合が 6.2%となっています。

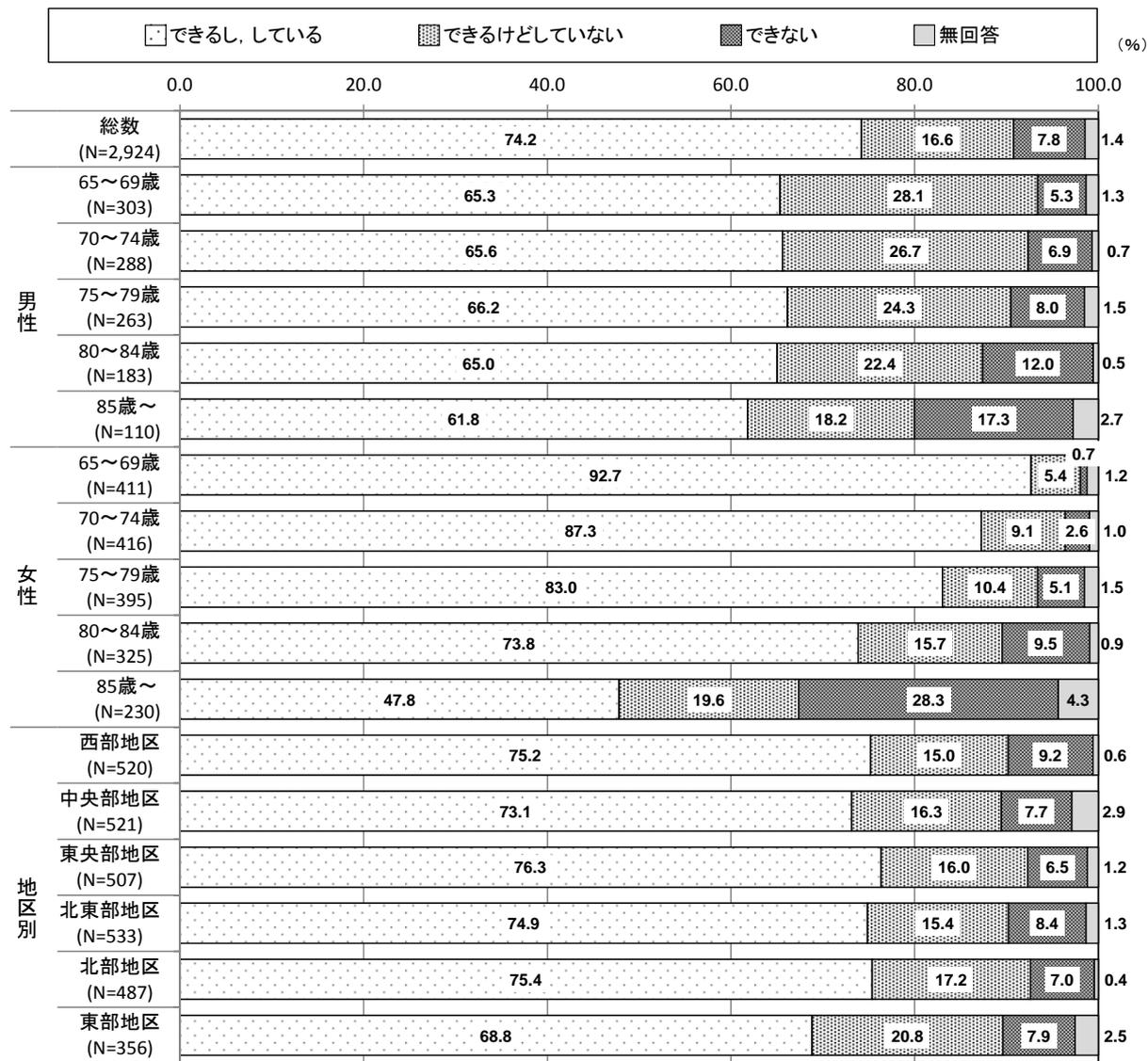
問6Q4. 請求書の支払いをしていますか(総数; 2,924人)



問6 Q5. 預貯金の出し入れをしていますか

市全体で見ると、「できるし、している」の割合が 74.2%、「できるけどしていない」の割合が 16.6%、「できない」の割合が 7.8%となっています。

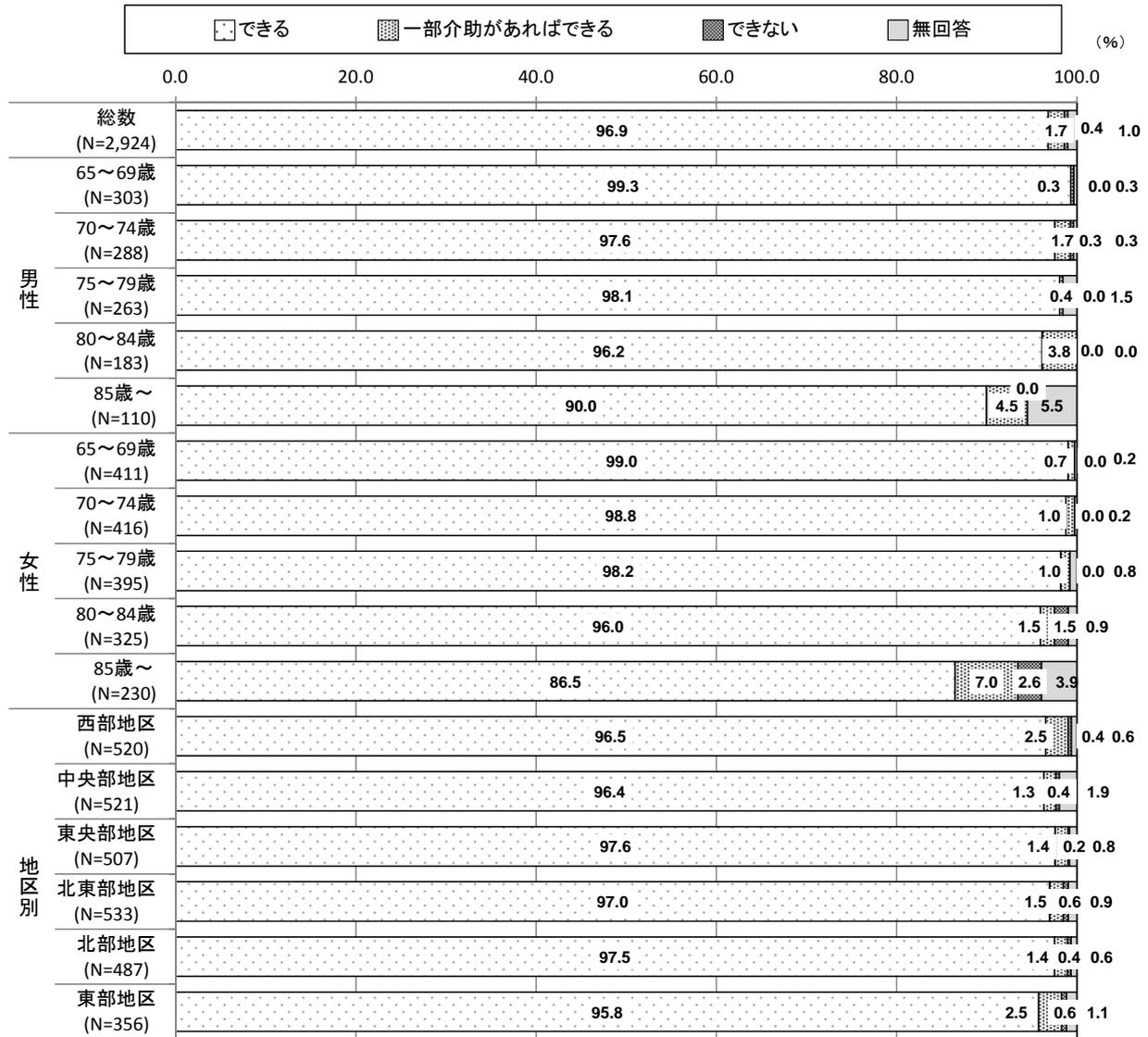
問6Q5. 預貯金の出し入れをしていますか(総数; 2,924人)



**問6** Q6. 食事は自分で食べられますか

市全体で見ると、「できる」の割合が 96.9%、「一部介助があればできる」の割合が 1.7%、「できない」の割合が 0.4%となっています。

問6Q6. 食事は自分で食べられますか(総数; 2,924人)



**問6** Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

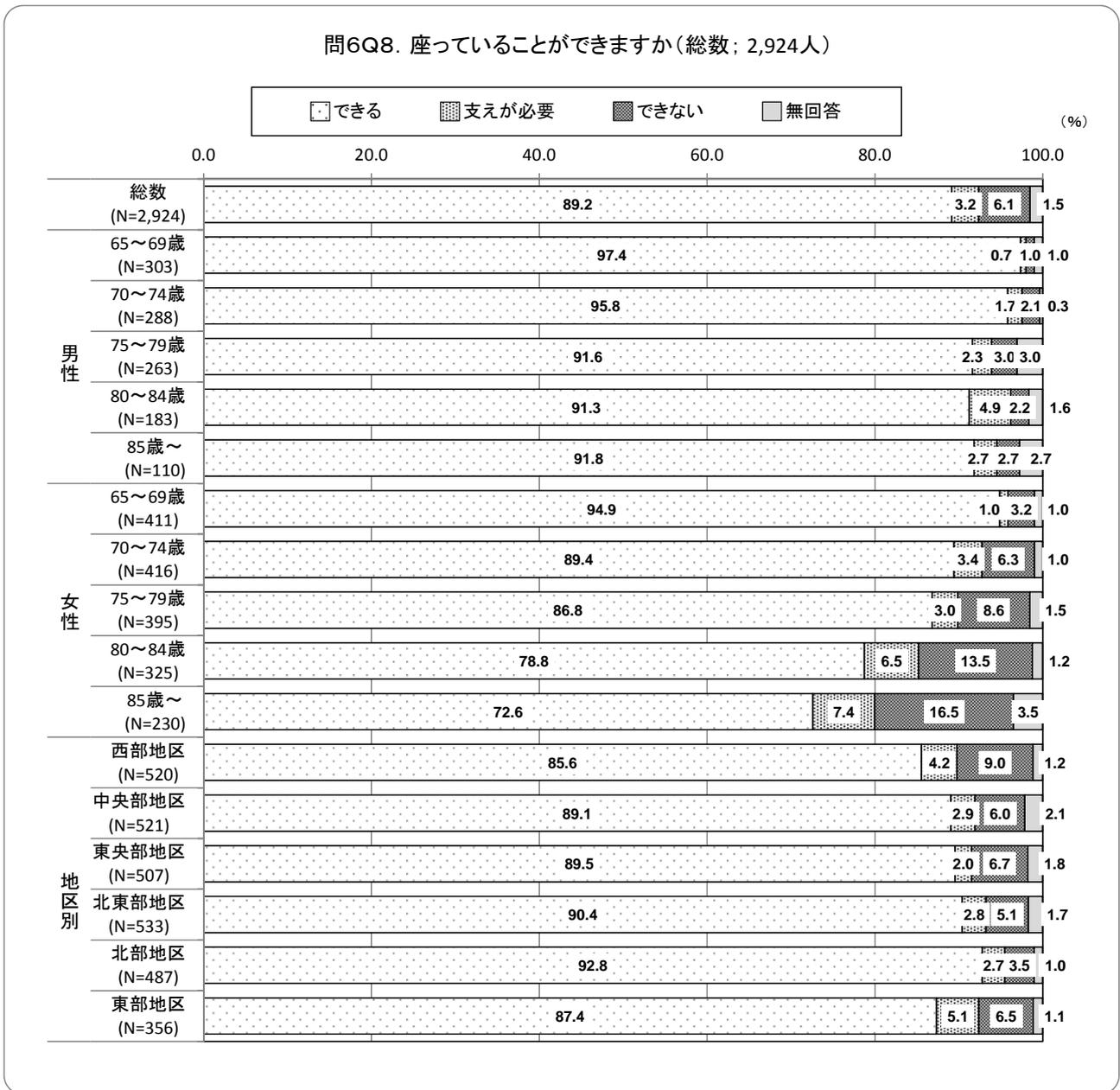
市全体で見ると、「受けない」の割合が95.6%となっています。

問6Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか(総数; 2,924人)



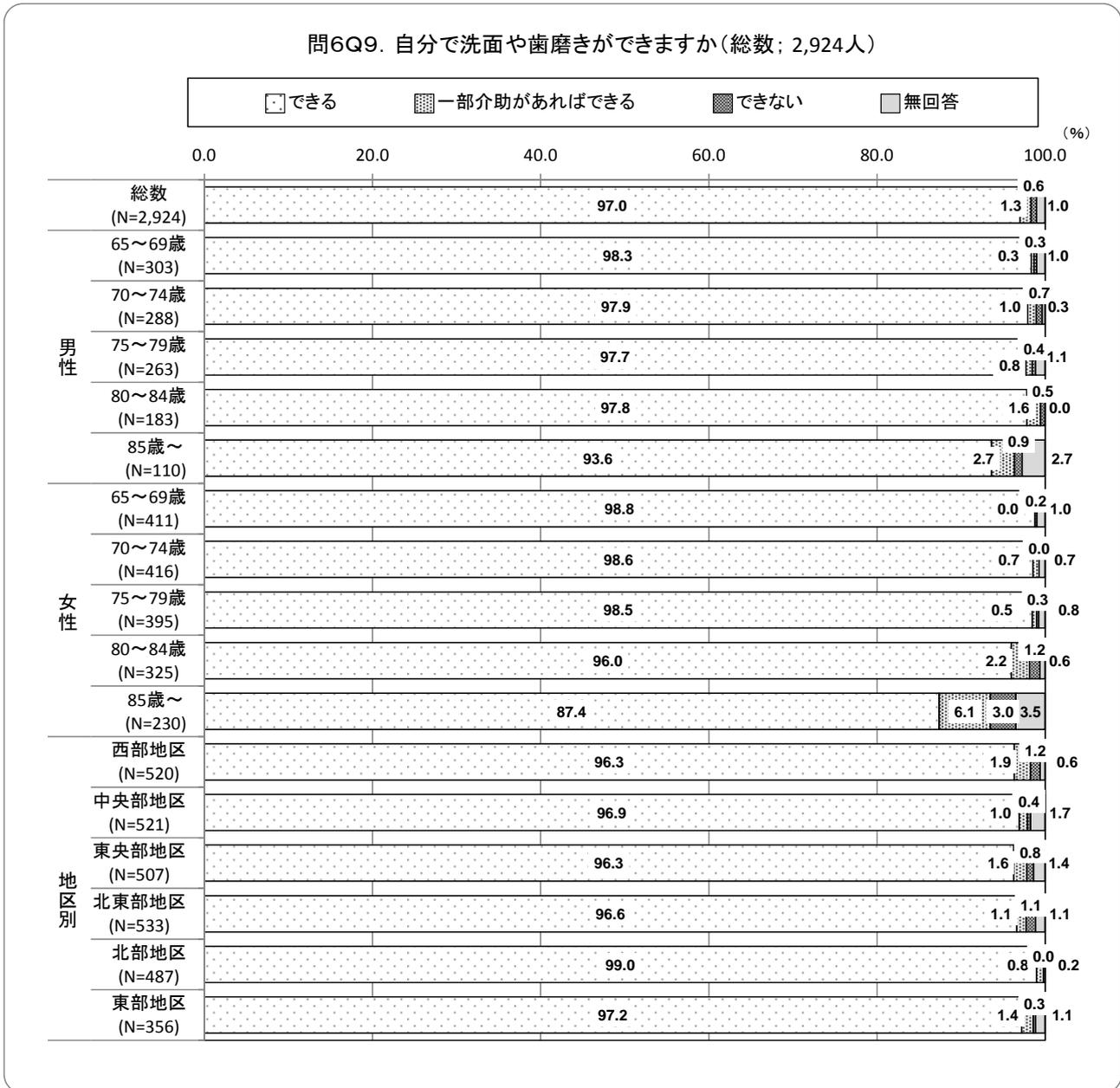
**問6** Q8. 座っていることができますか

市全体で見ると、「できる」の割合が89.2%となっています。



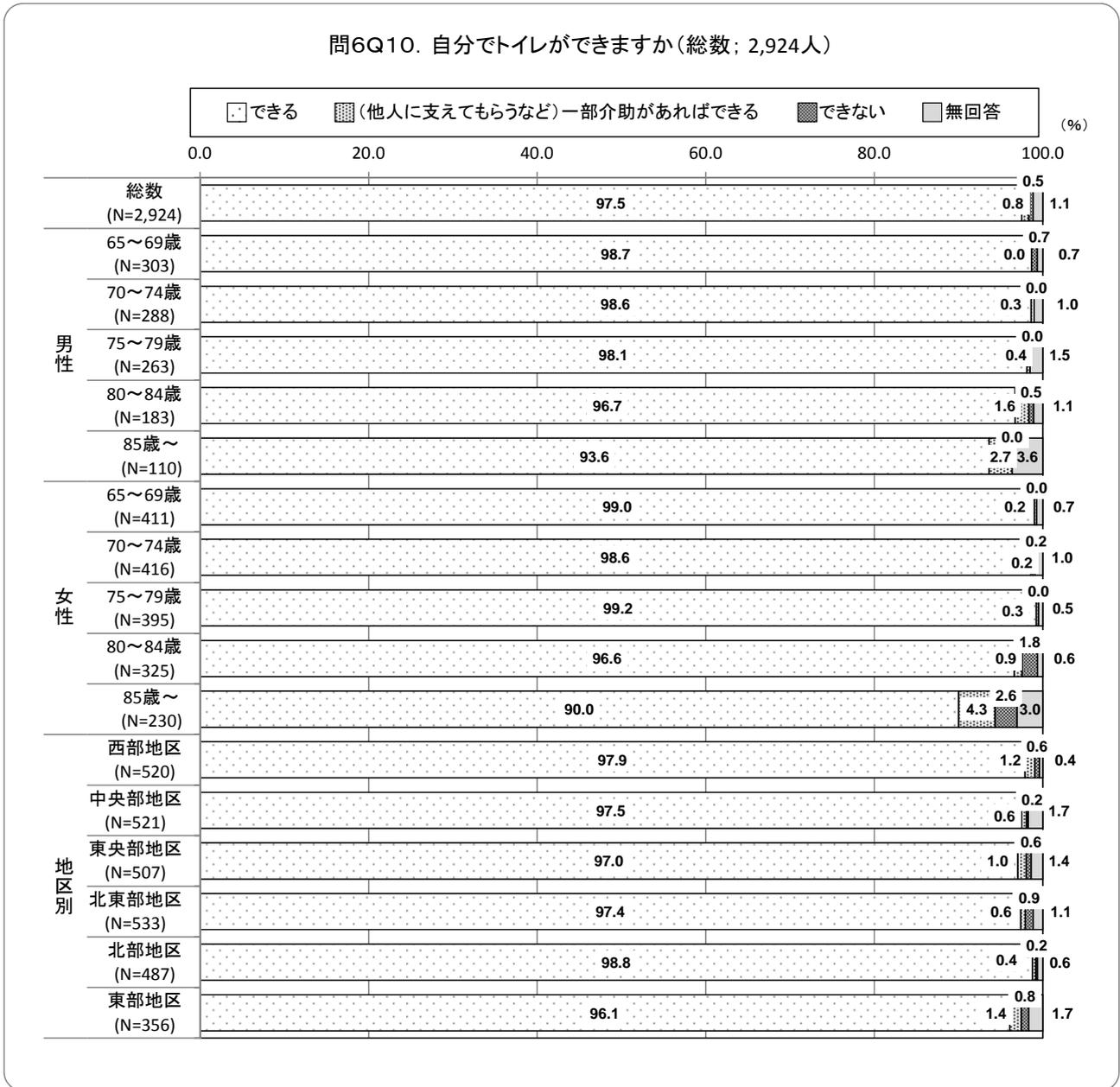
**問6** Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか

市全体で見ると、「できる」の割合が97.0%となっています。



問6 Q10. 自分でトイレができますか

市全体で見ると、「できる」の割合が97.5%となっています。



問6 Q11. 自分で入浴ができますか

市全体で見ると、「できる」の割合が92.4%となっています。

問6Q11. 自分で入浴ができますか(総数; 2,924人)



問6 Q12. 50m以上歩けますか

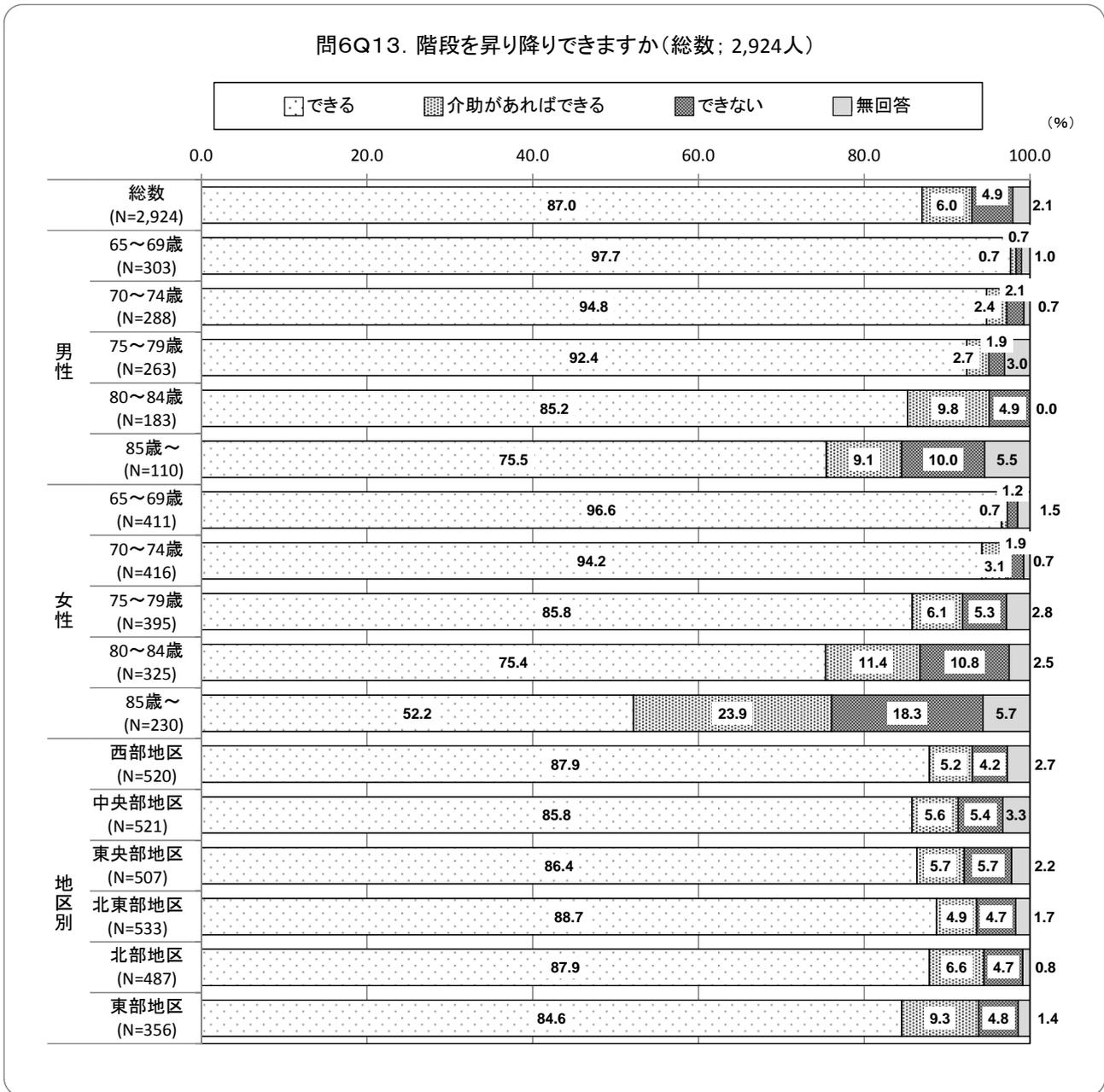
市全体で見ると、「できる」の割合が88.4%となっています。

問6Q12. 50m以上歩けますか(総数; 2,924人)



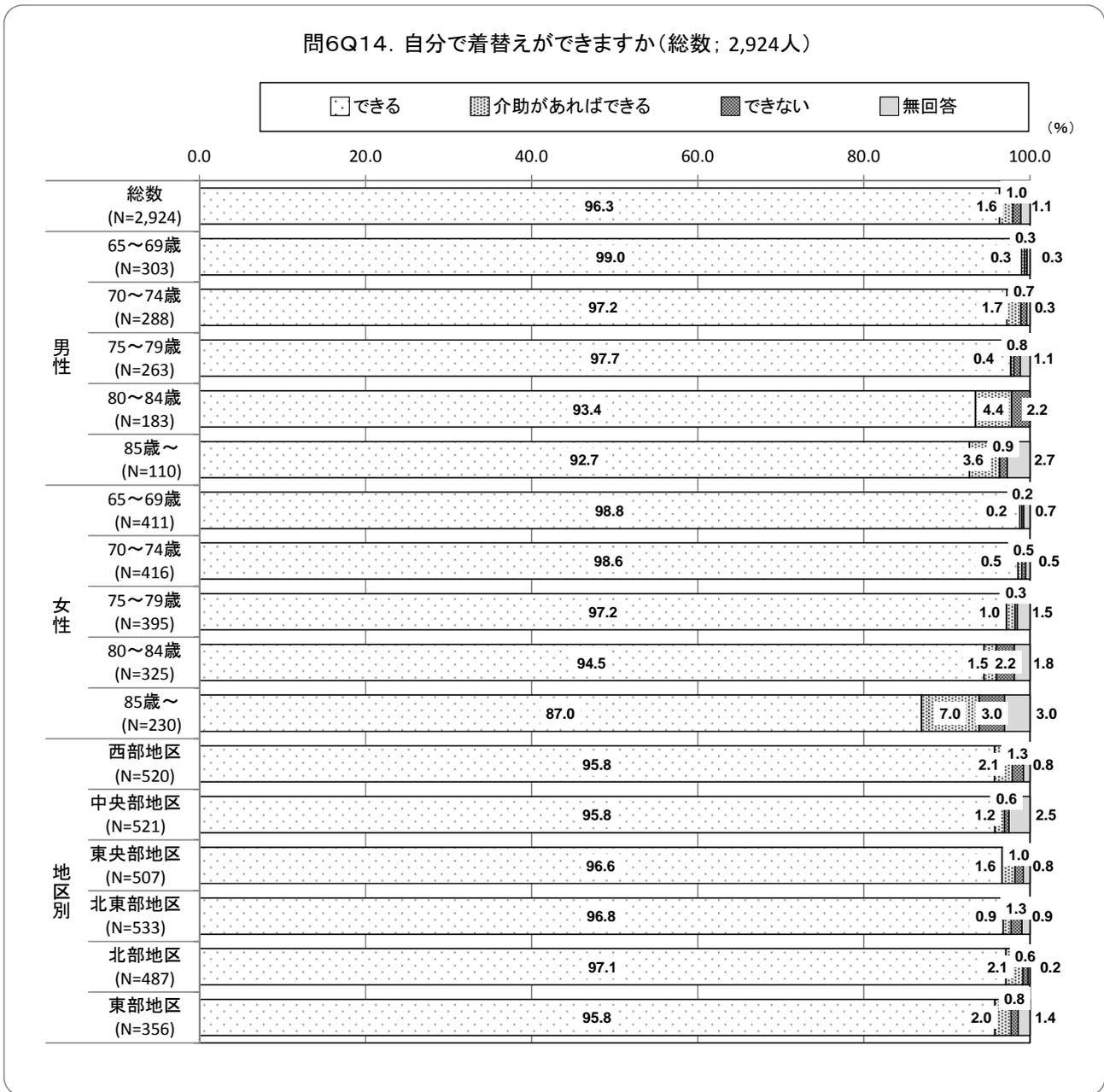
問6 Q13. 階段を昇り降りできますか

市全体で見ると、「できる」の割合が87.0%となっています。



**問6** Q14. 自分で着替えができますか

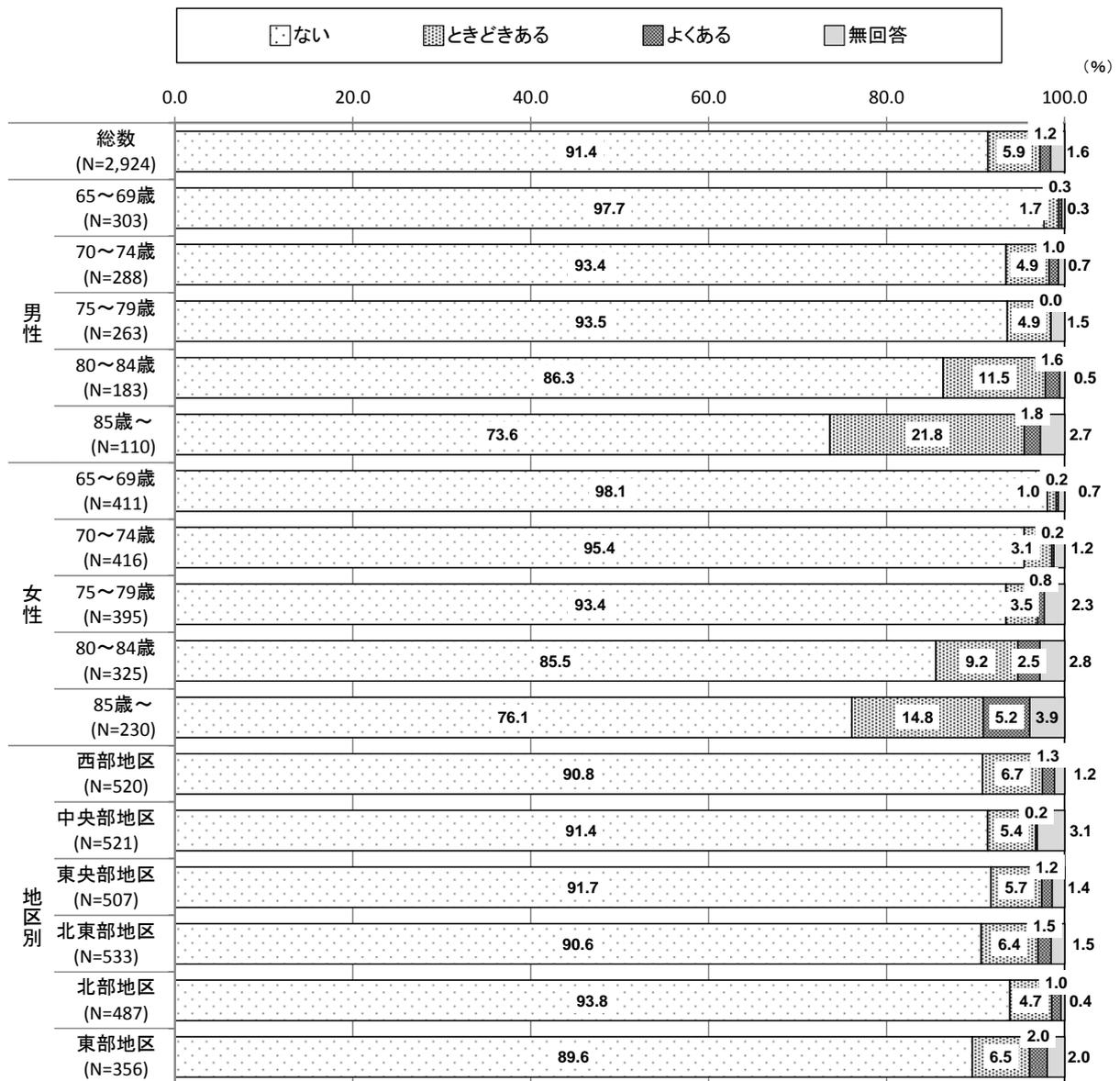
市全体で見ると、「できる」の割合が96.3%となっています。



問6 Q15. 大便の失敗がありますか

市全体で見ると、「ない」の割合が91.4%となっています。

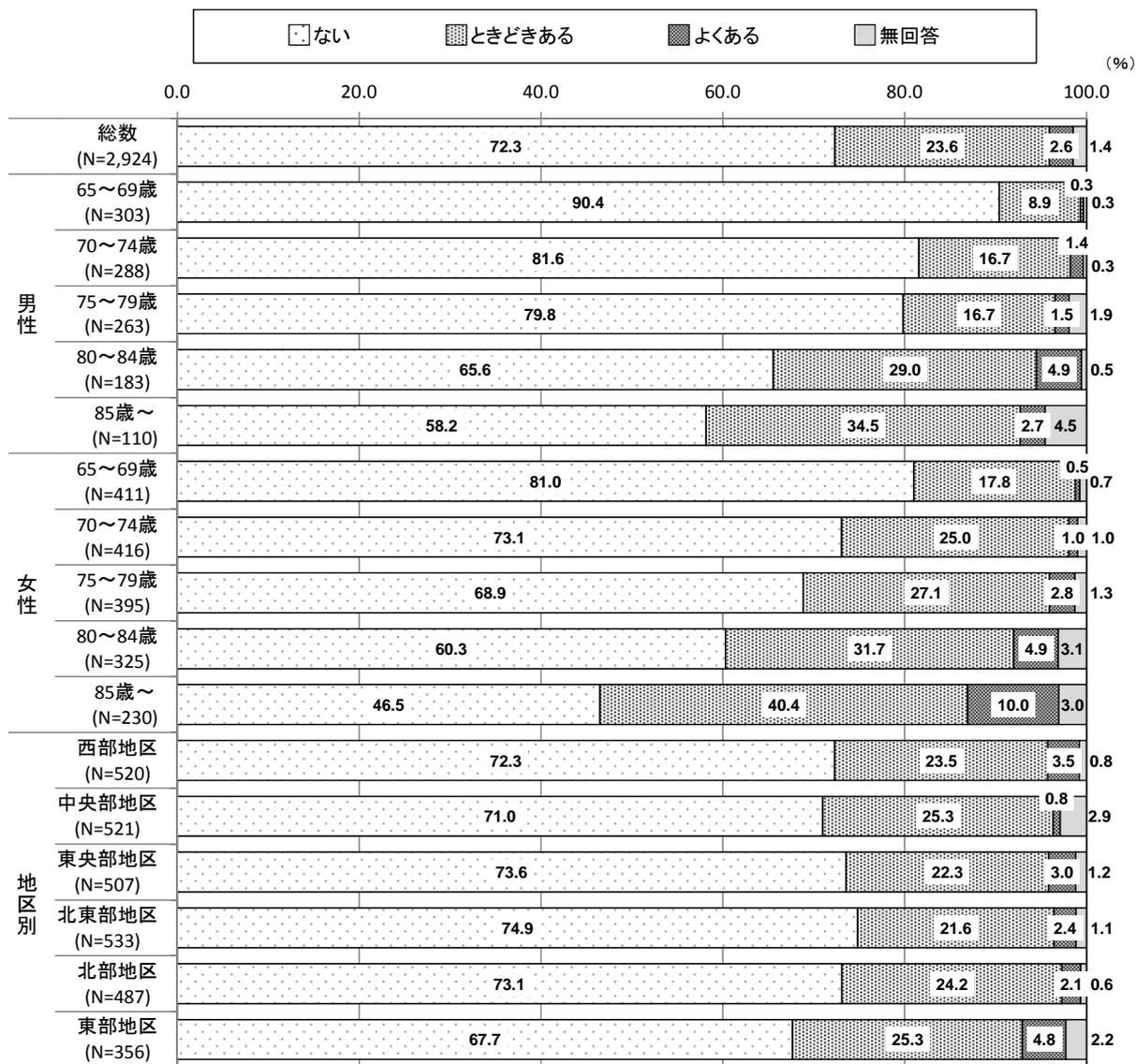
問6Q15. 大便の失敗がありますか(総数; 2,924人)



問6 Q16. 尿もれや尿失禁がありますか

市全体で見ると、「ない」の割合が72.3%となっています。

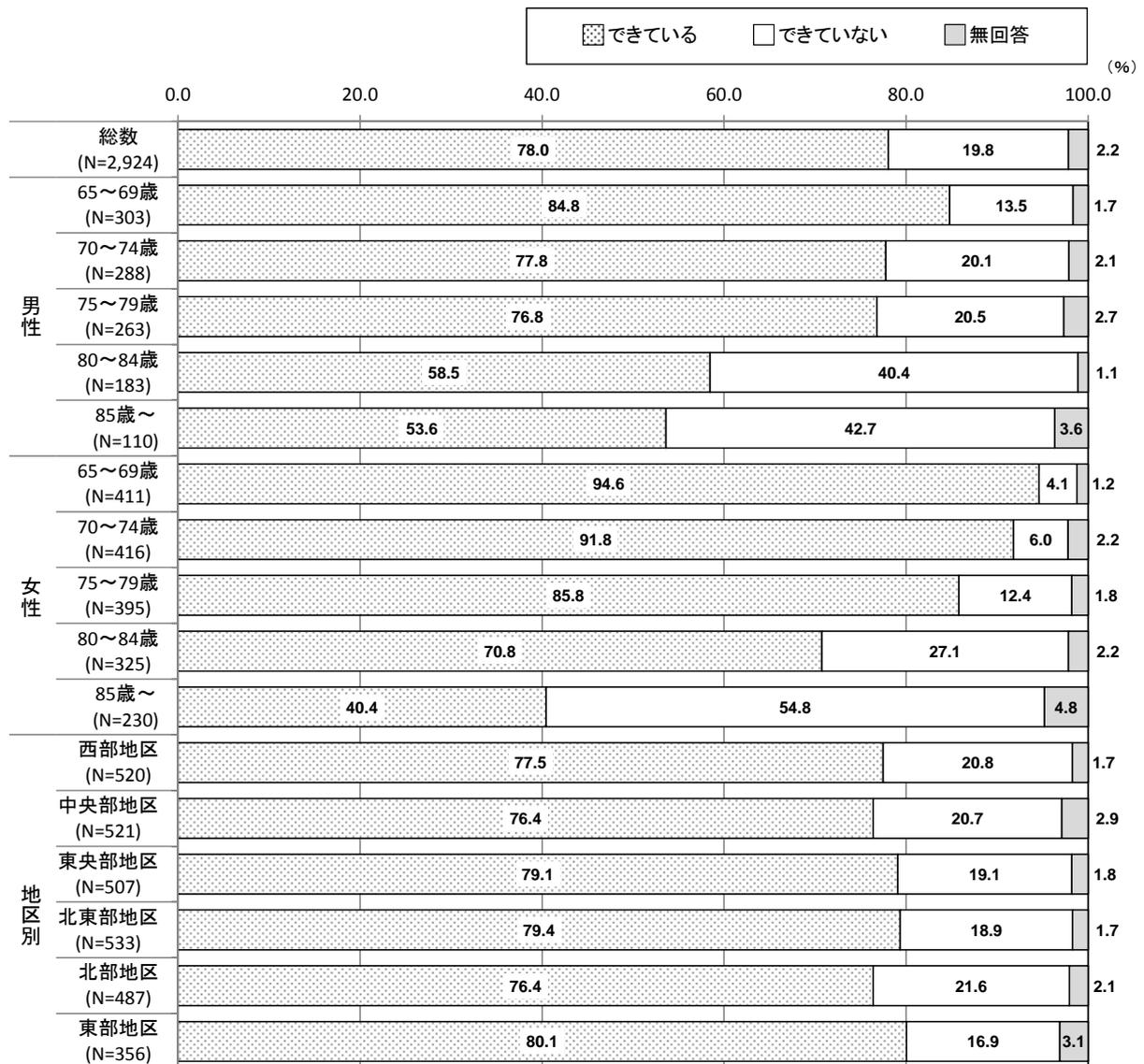
問6Q16. 尿もれや尿失禁がありますか(総数; 2,924人)



**問6** Q17. 家事全般ができていますか

市全体で見ると、「できていない」の割合が19.8%となっています。

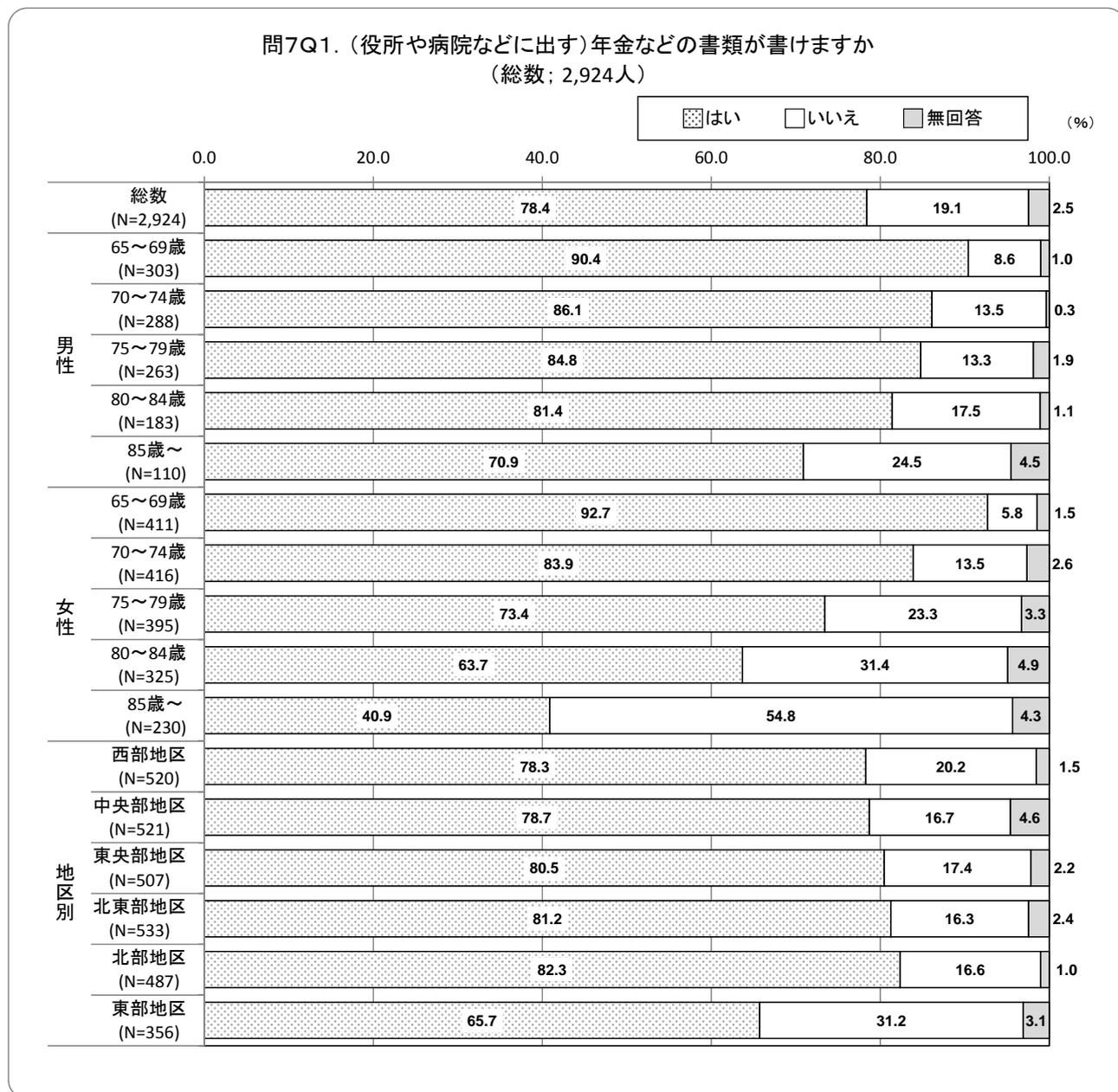
問6Q17. 家事全般ができていますか(総数; 2,924人)



## 問7 社会参加について

### 問7Q1. (役所や病院などに出す) 年金などの書類が書けますか

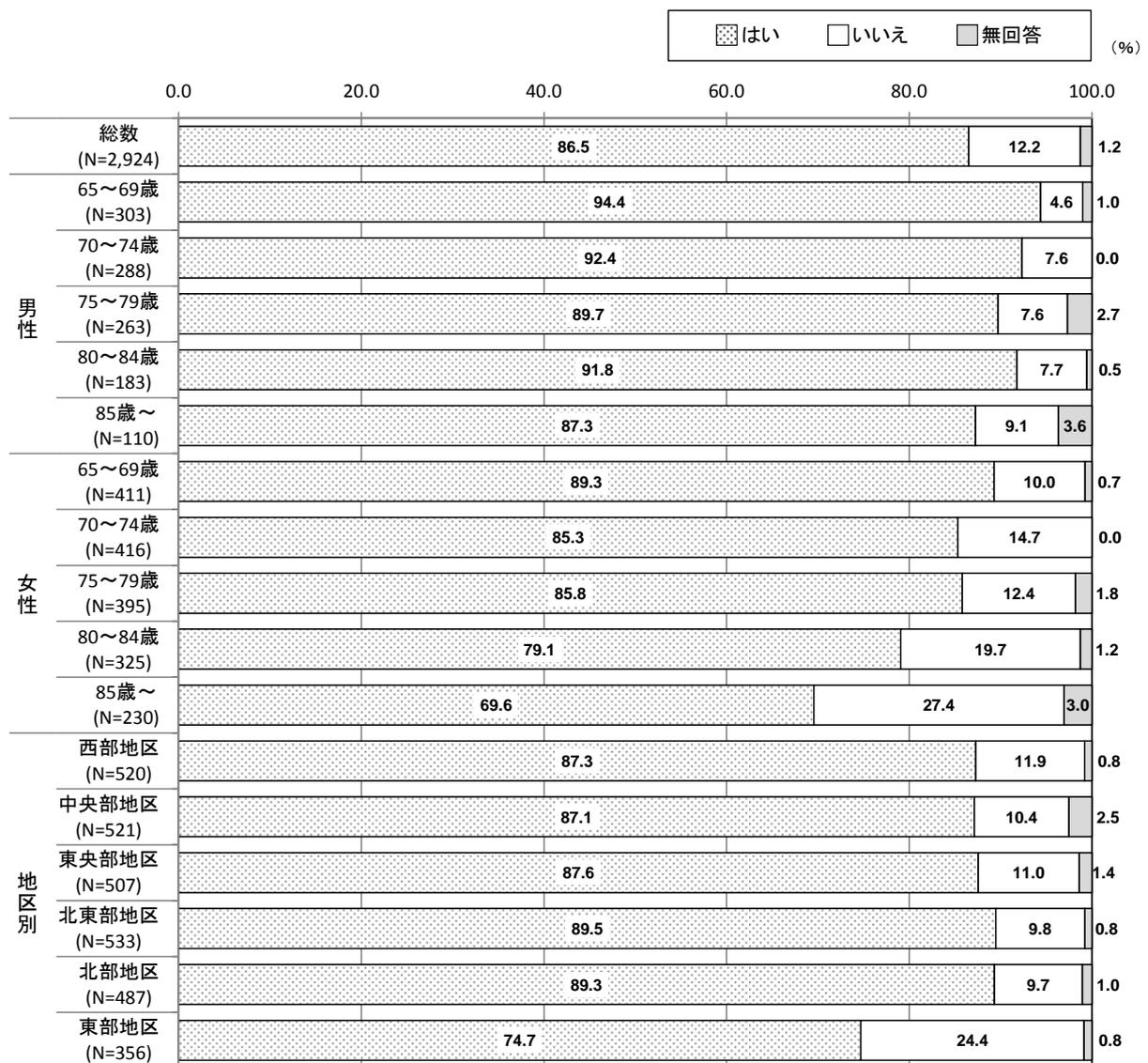
市全体で見ると、「はい」の割合が78.4%となっています。



## 問7 Q2. 新聞を読んでいますか

市全体で見ると、「はい」の割合が86.5%となっています。

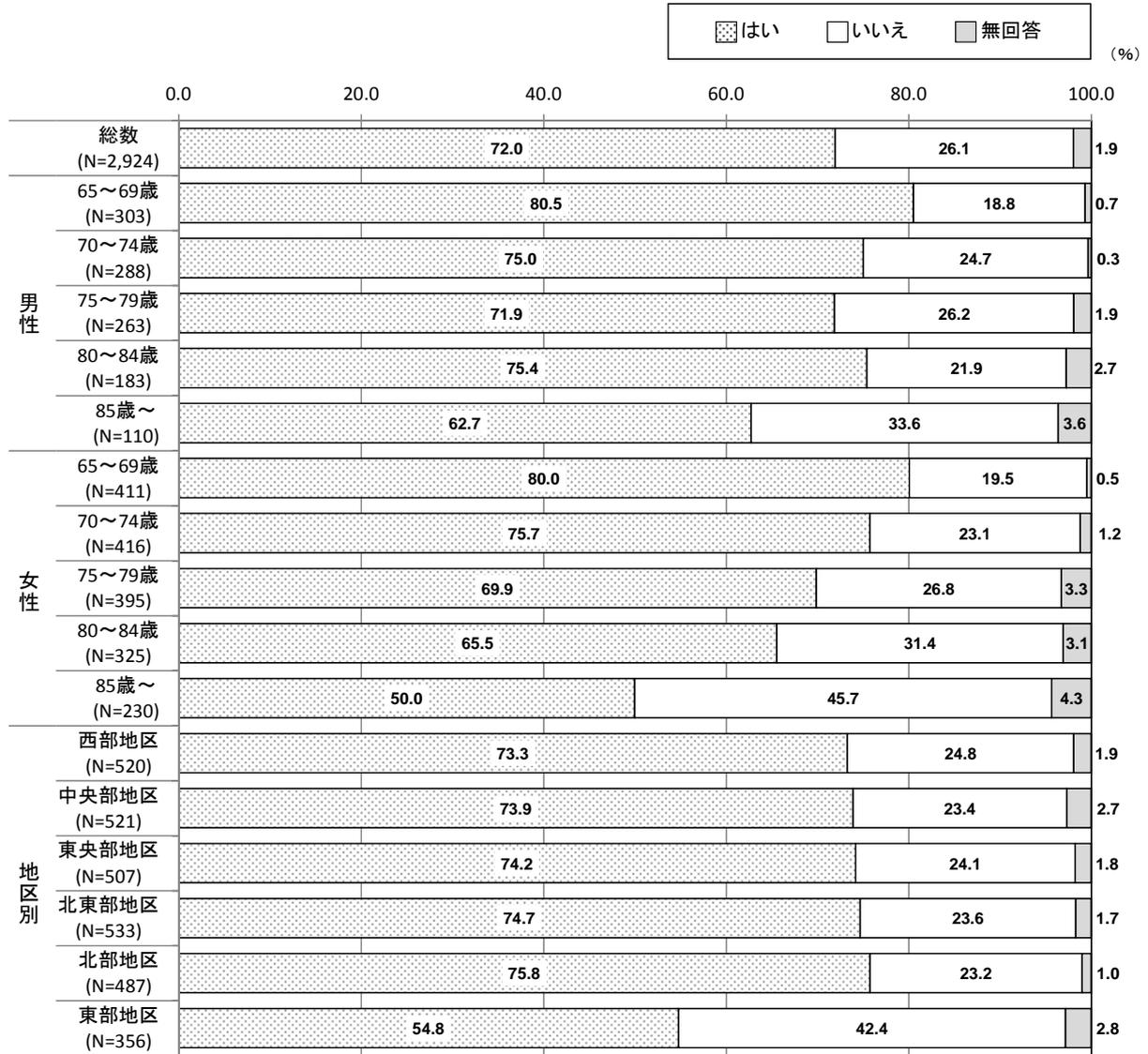
問7Q2. 新聞を読んでいますか(総数; 2,924人)



問7 Q3. 本や雑誌を読んでいますか

市全体で見ると、「はい」の割合が72.0%となっています。

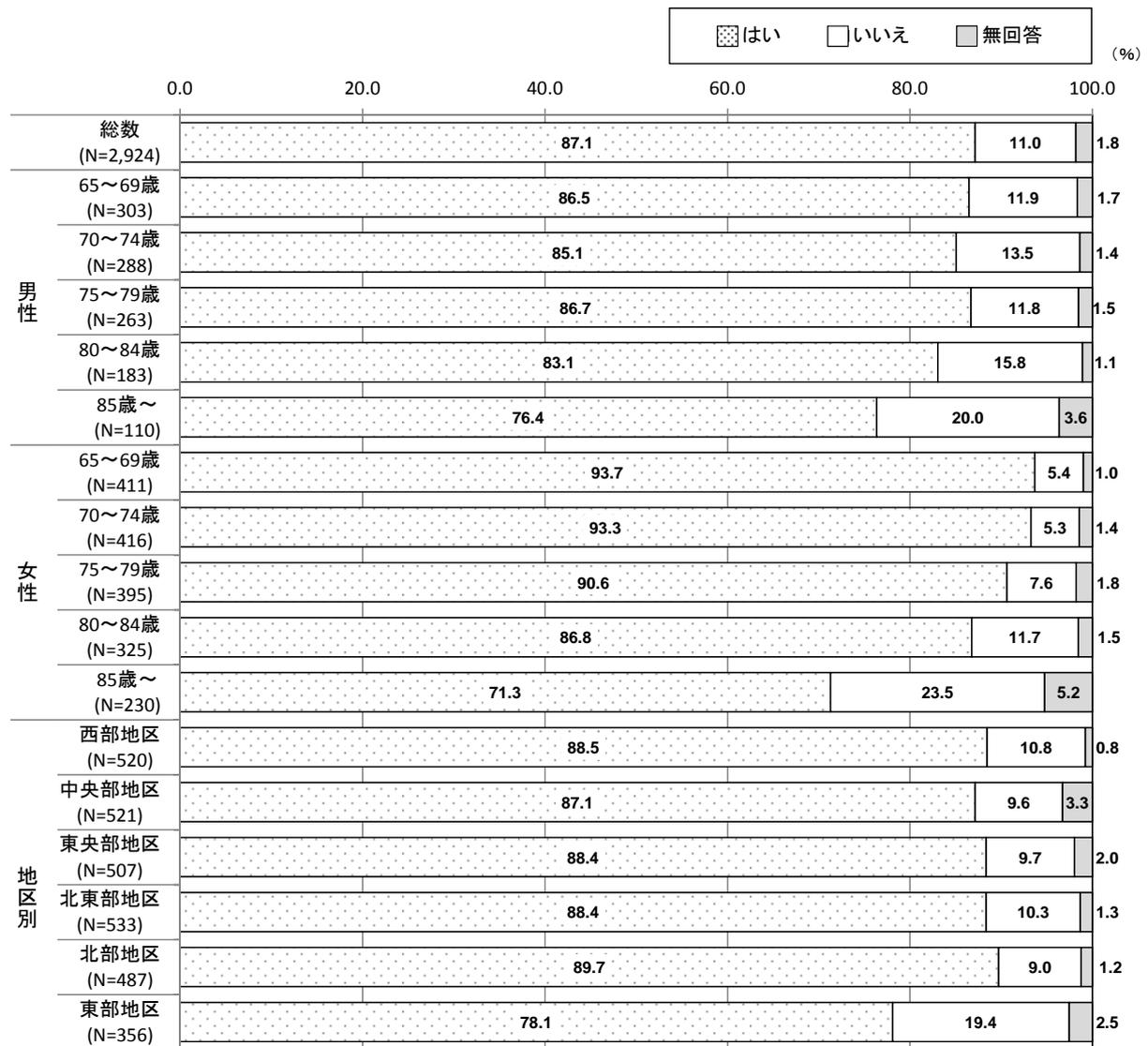
問7Q3. 本や雑誌を読んでいますか(総数: 2,924人)



**問7** Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか

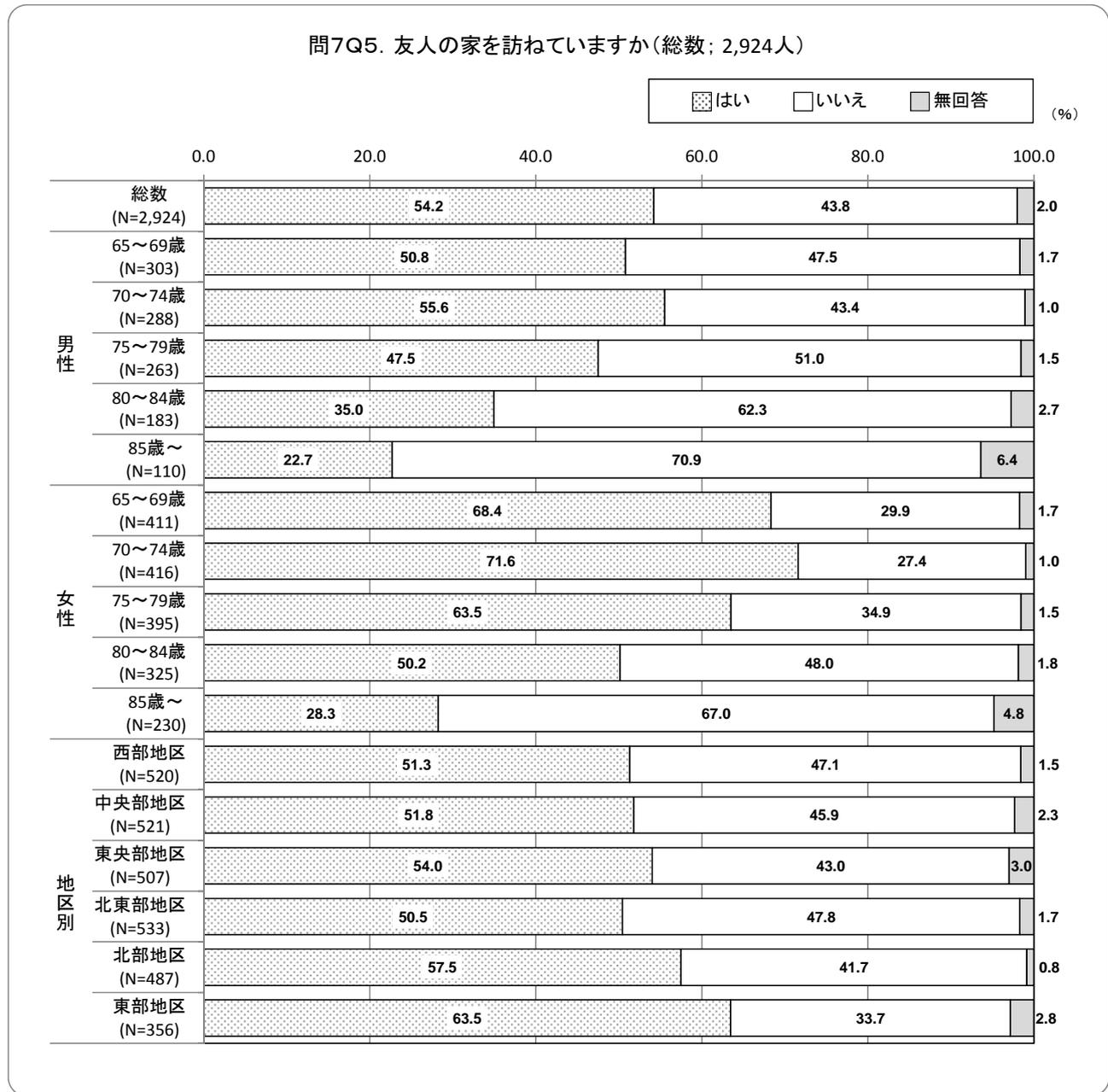
市全体で見ると、「はい」の割合が87.1%となっています。

問7Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか(総数; 2,924人)



**問7** Q5. 友人の家を訪ねていますか

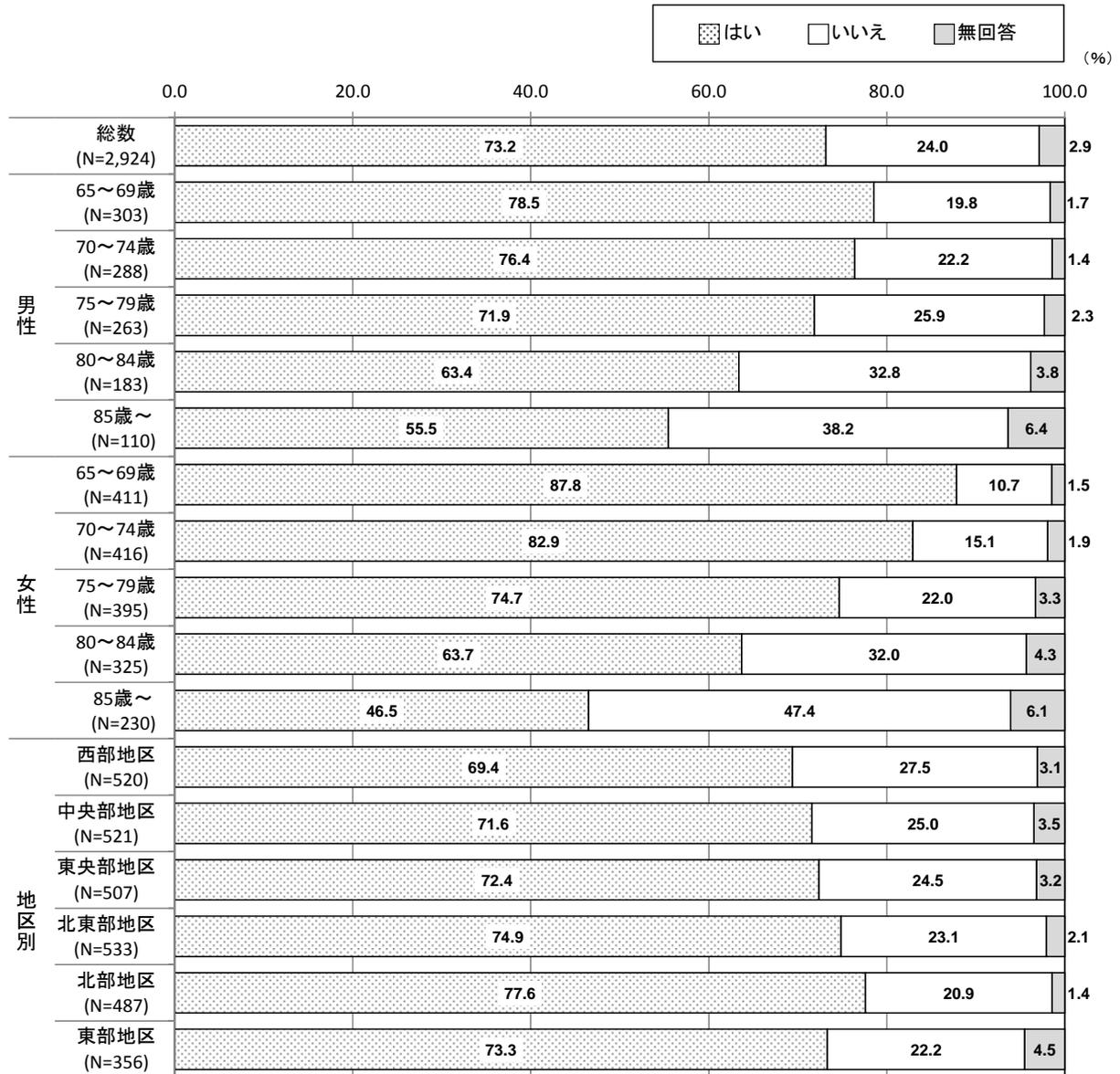
市全体で見ると、「はい」の割合が 54.2%、「いいえ」の割合が 43.8%となっています。



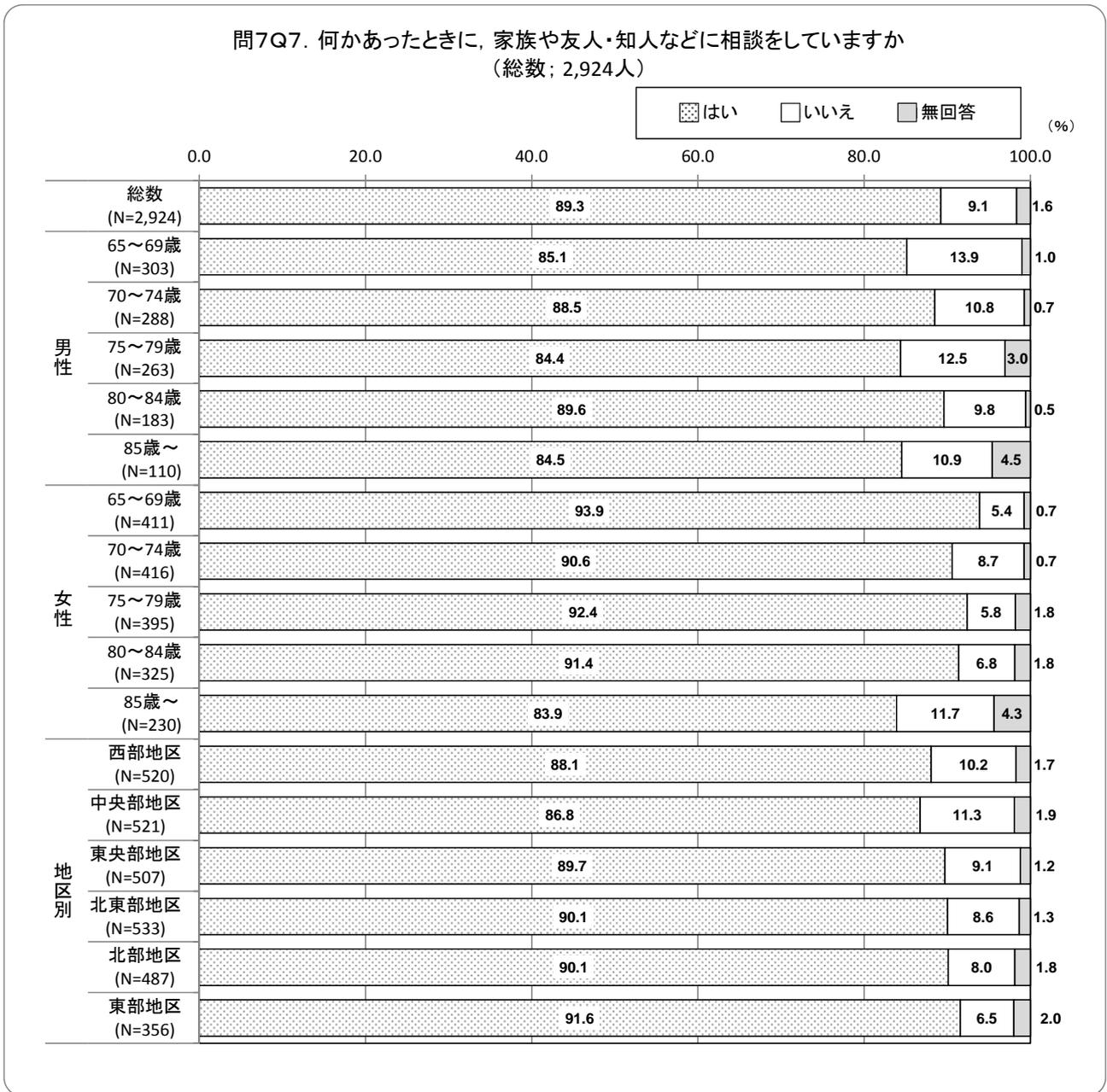
**問7** Q6. 家族や友人の相談にのっていますか

市全体で見ると、「はい」の割合が 73.2%、「いいえ」の割合が 24.0%となっています。

問7Q6. 家族や友人の相談にのっていますか(総数: 2,924人)



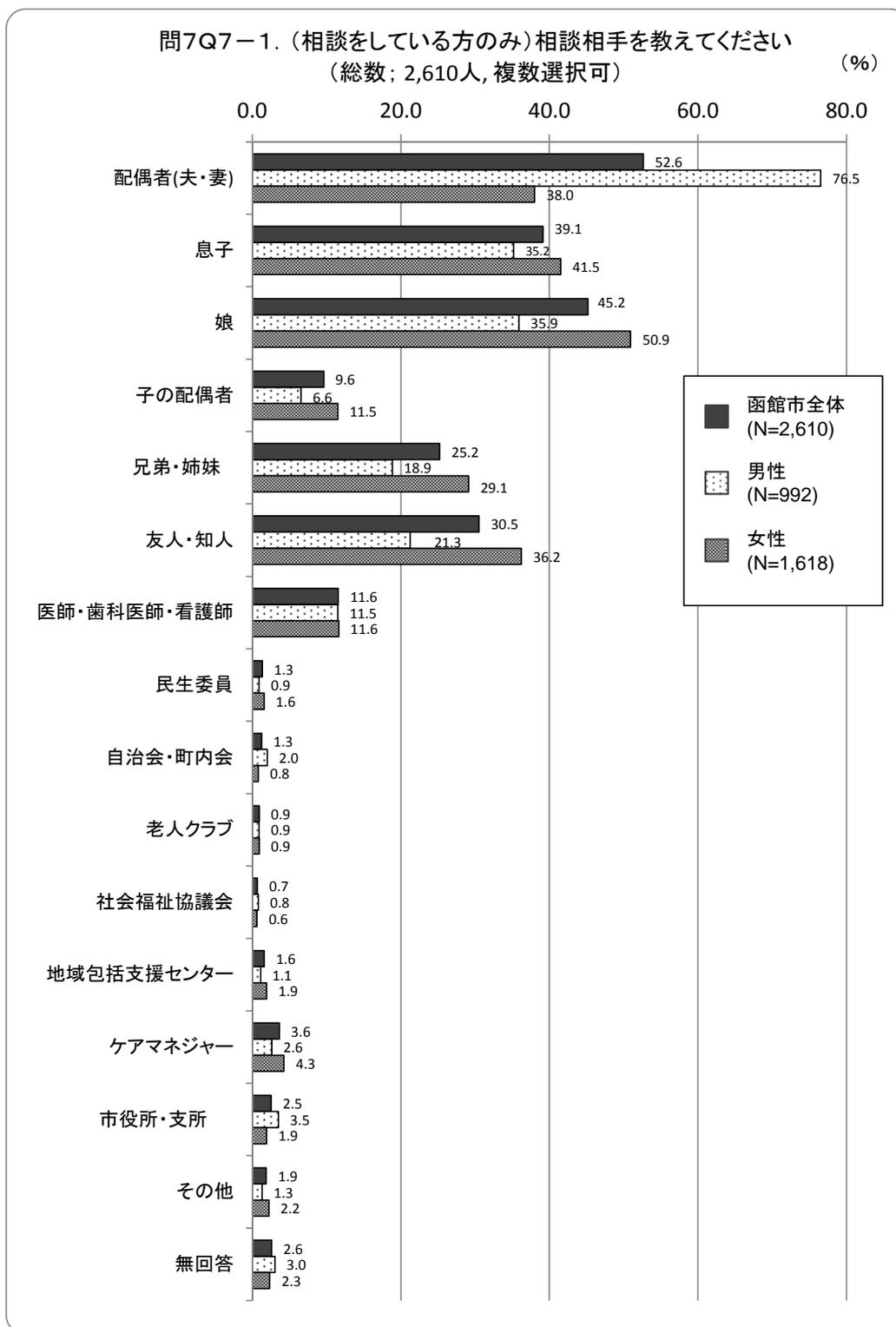
**問7** Q7. 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか  
 市全体で見ると、「はい」の割合が89.3%となっています。



**問7** Q7-1. (相談をしている方のみ) 相談相手を教えてください(複数選択可)

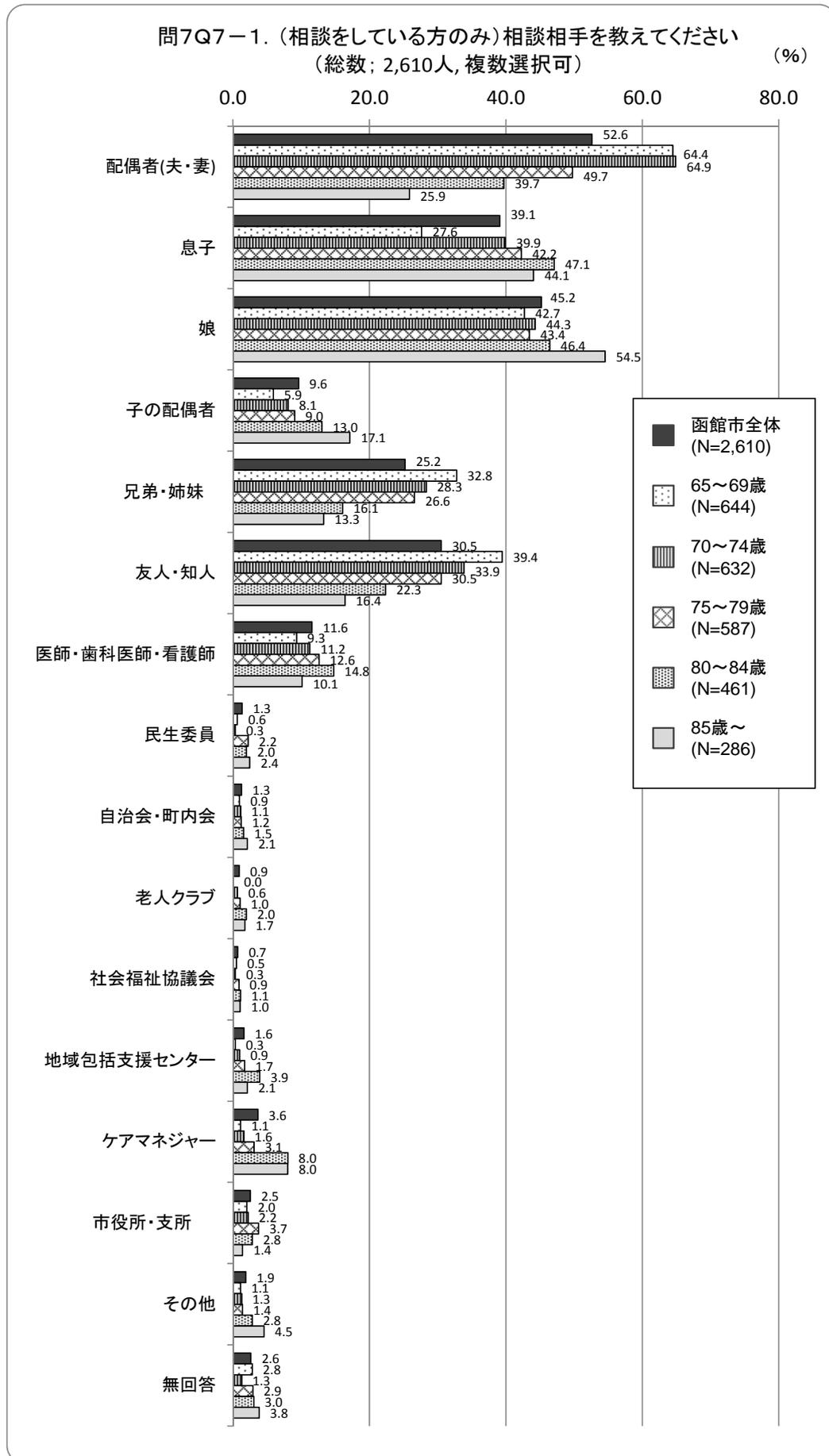
市全体で見ると、「配偶者(夫・妻)」の割合が52.6%と最も高く、次いで「娘」(45.2%)、および「息子」(39.1%)等の割合が高くなっています。

(性別)

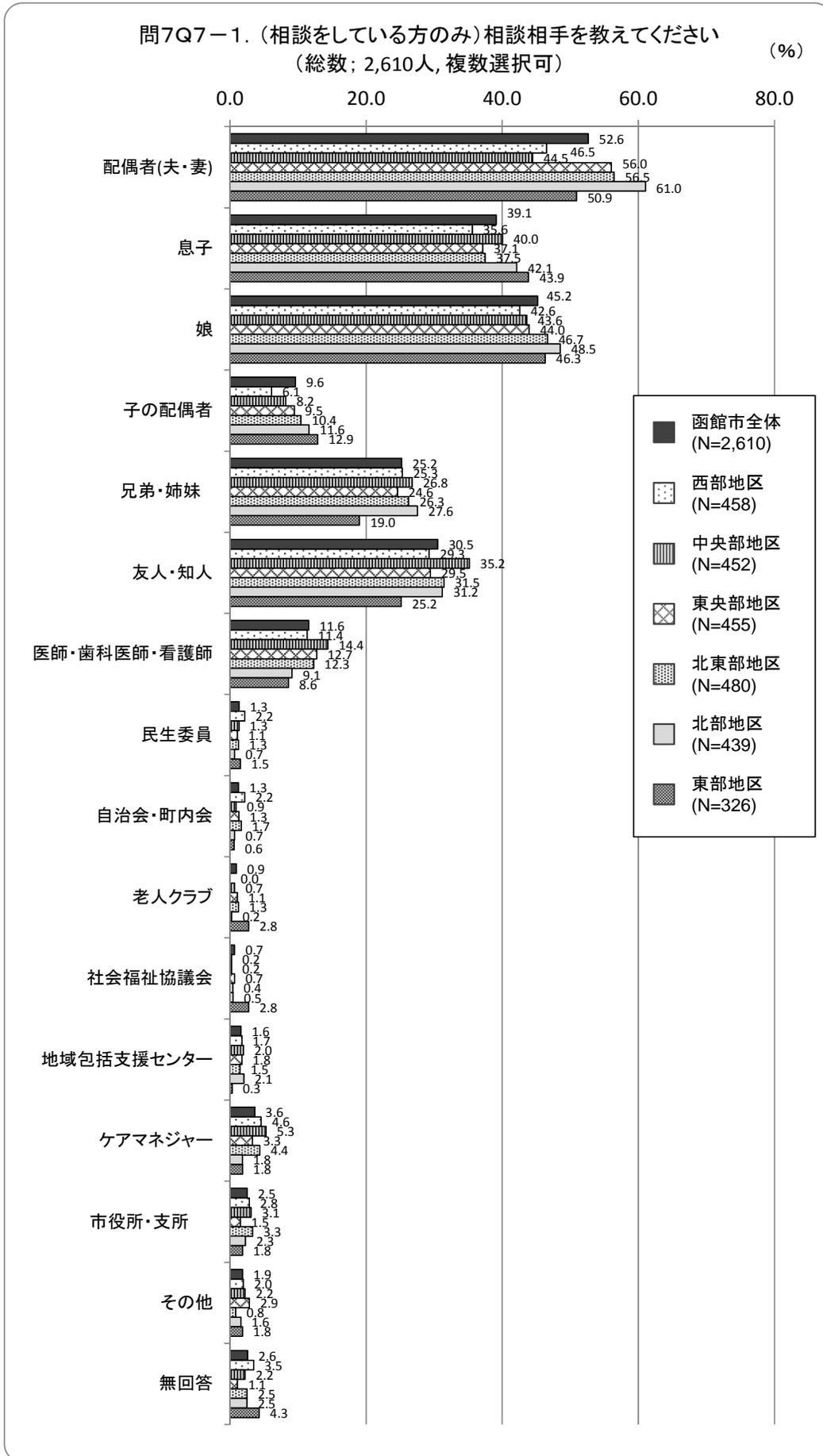


その他は「甥，姪」，「孫」，「近所の友人」，「心理療法士」などとなっています。

(年齢別)



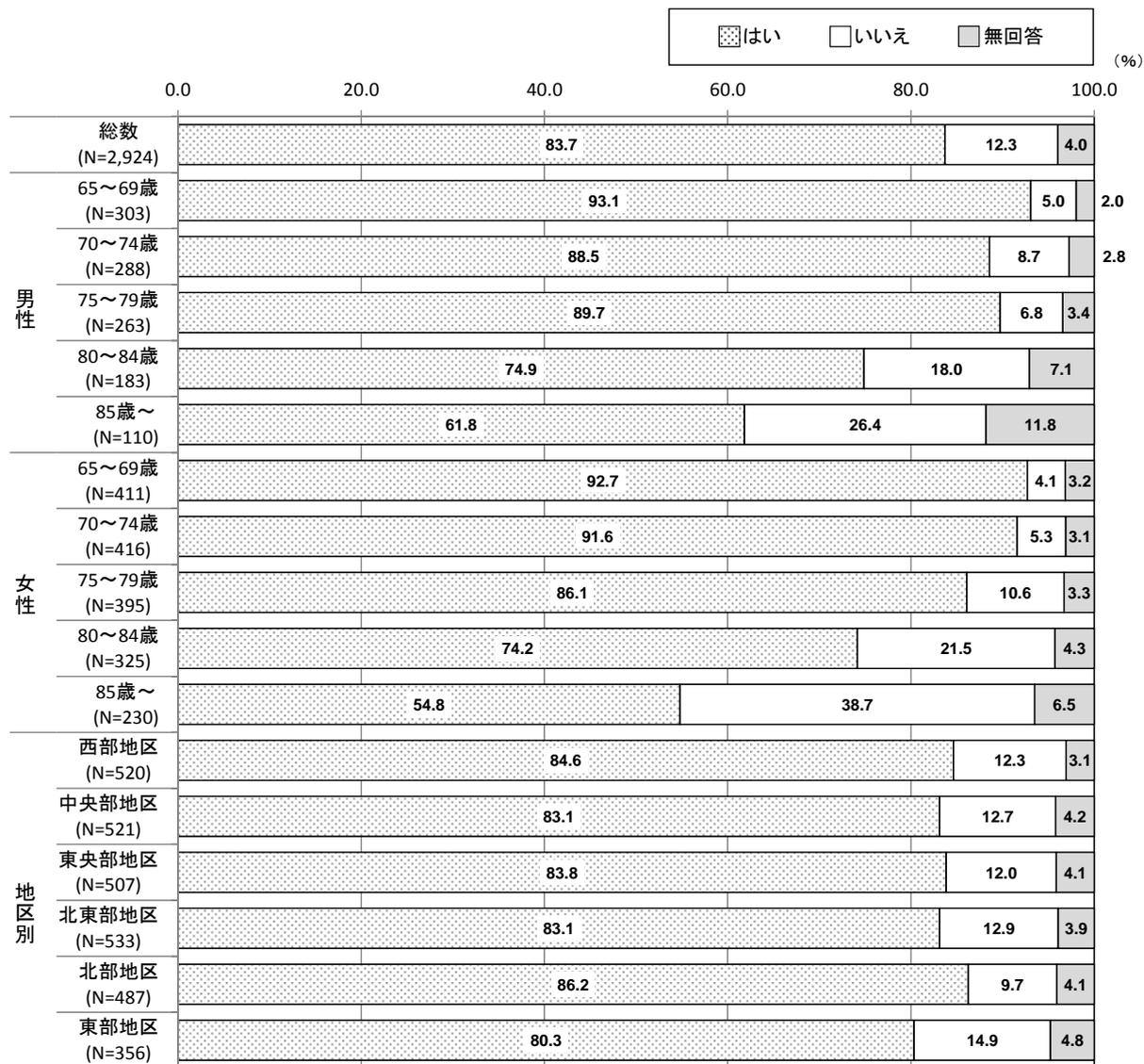
( 地区別 )



問7 Q8. 病人を見舞うことができますか

市全体で見ると、「はい」の割合が83.7%となっています。

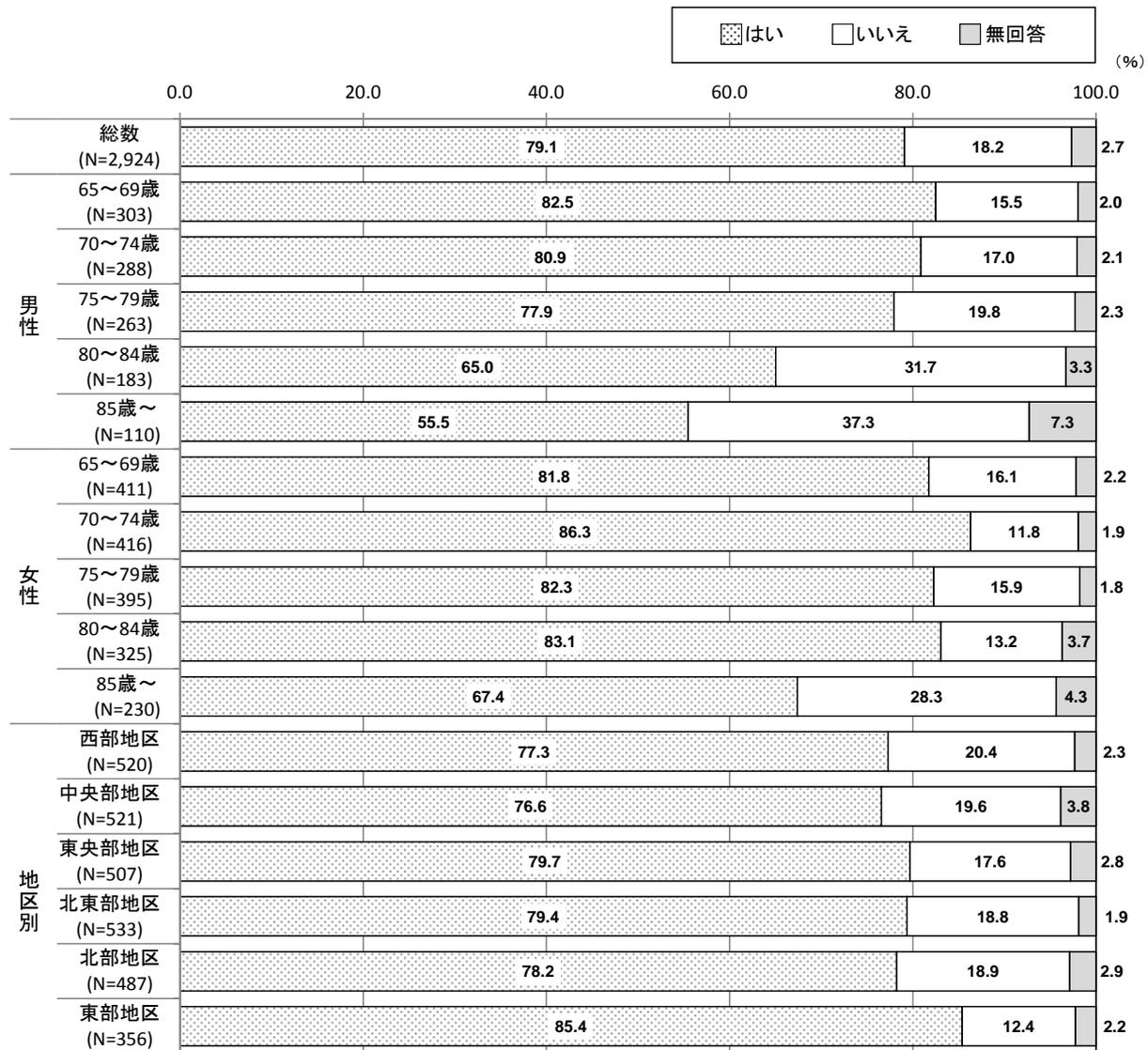
問7Q8. 病人を見舞うことができますか(総数; 2,924人)



**問7** Q9. 若い人に自分から話しかけることがありますか

市全体で見ると、「はい」の割合が79.1%となっています。

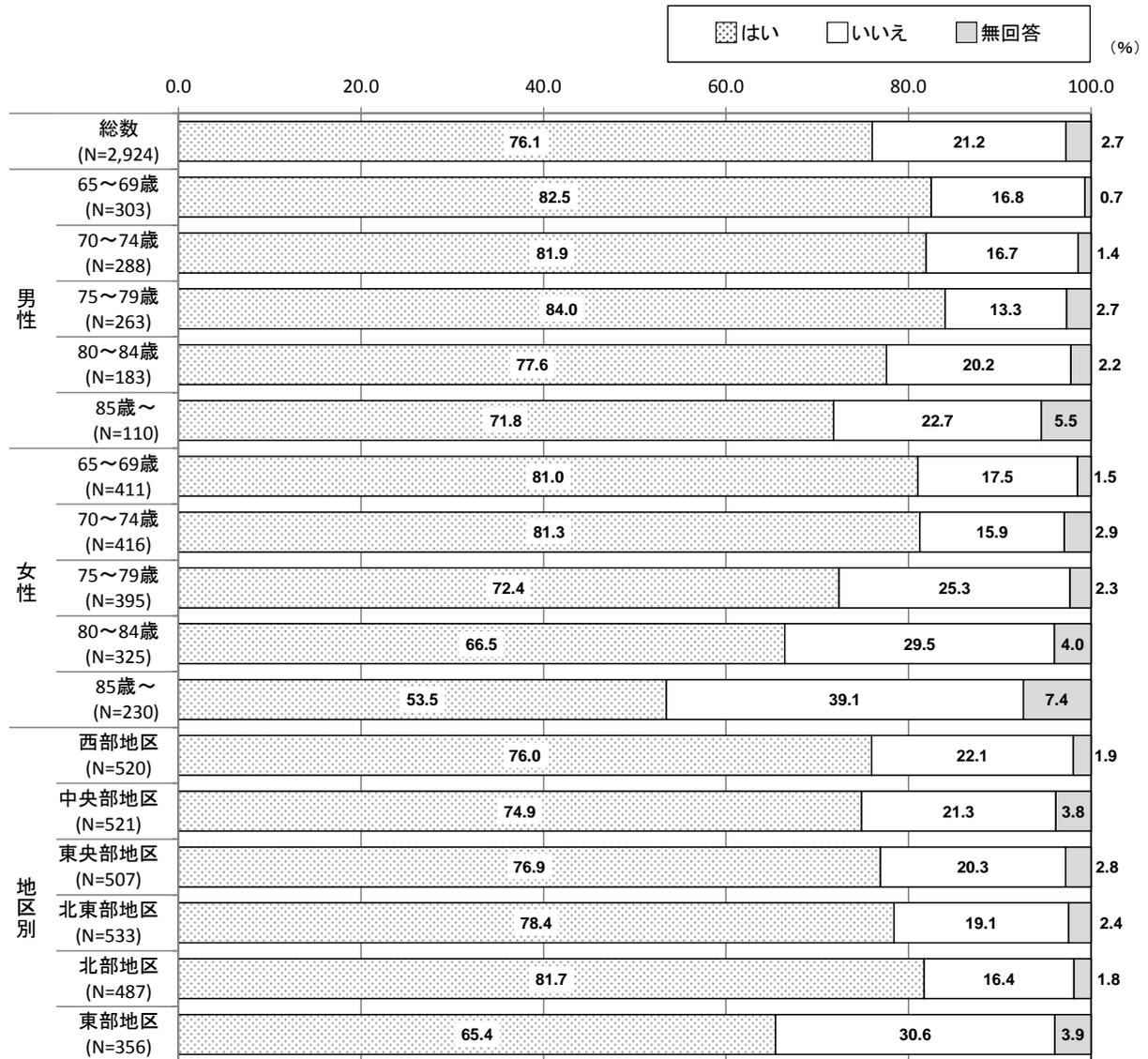
問7Q9. 若い人に自分から話しかけることがありますか(総数; 2,924人)



問7 Q10. 趣味はありますか

市全体で見ると、「いいえ」の割合が21.2%となっています。

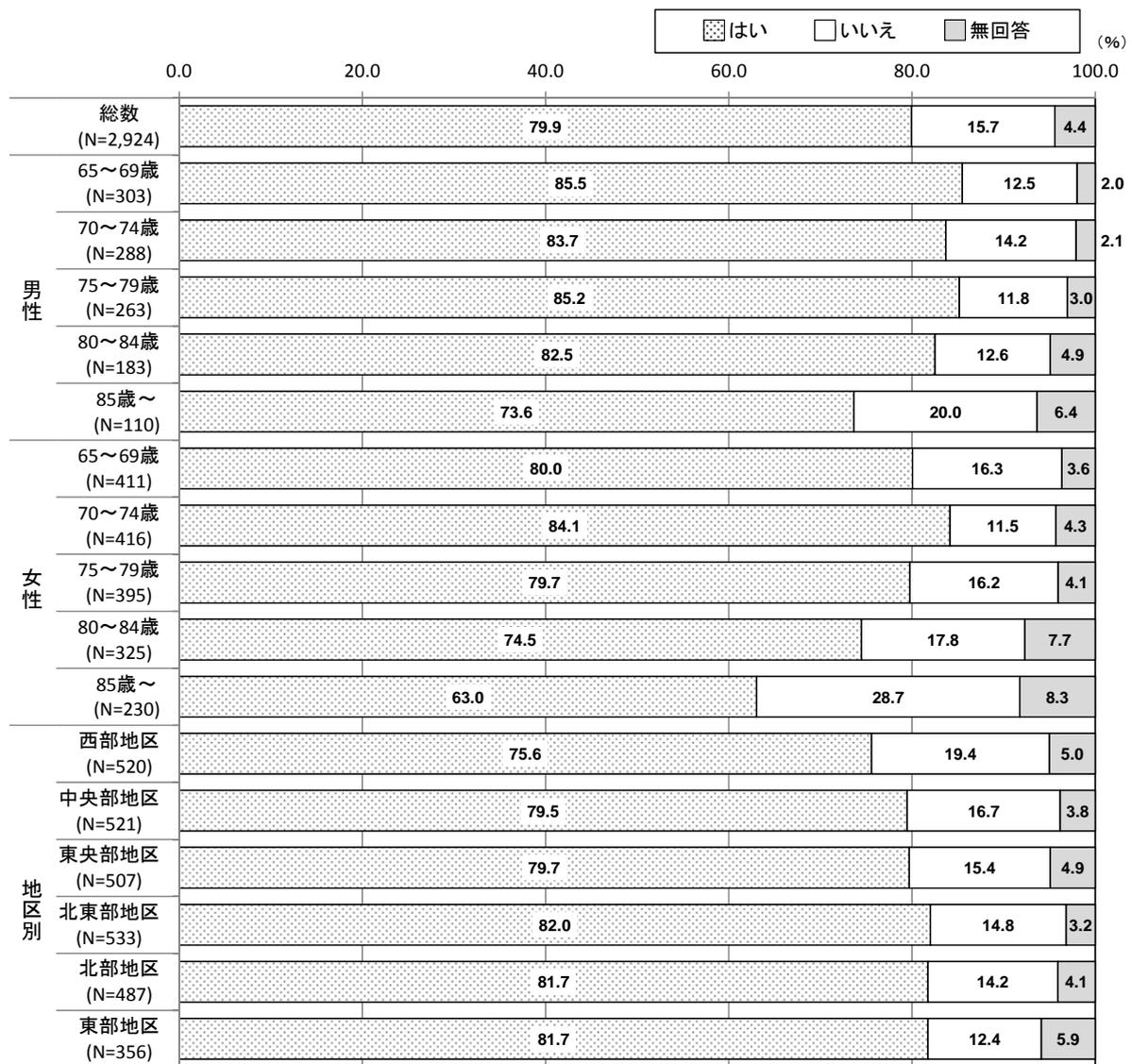
問7Q10. 趣味はありますか(総数; 2,924人)



問7 Q11. 生きがいがありますか

市全体で見ると、「いいえ」の割合が15.7%となっています。

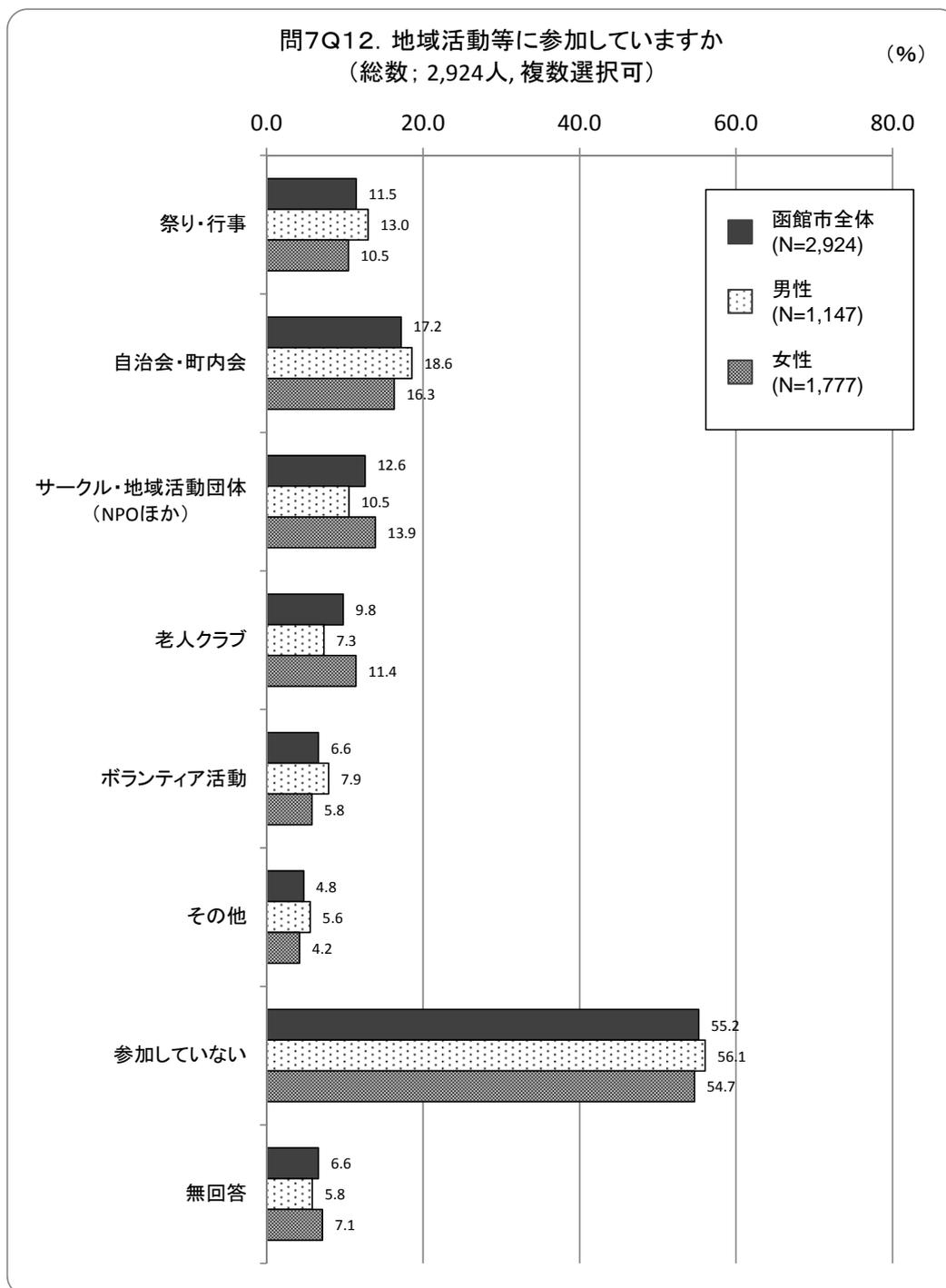
問7Q11. 生きがいがありますか(総数; 2,924人)



**問7** Q12. 地域活動等に参加していますか(複数選択可)

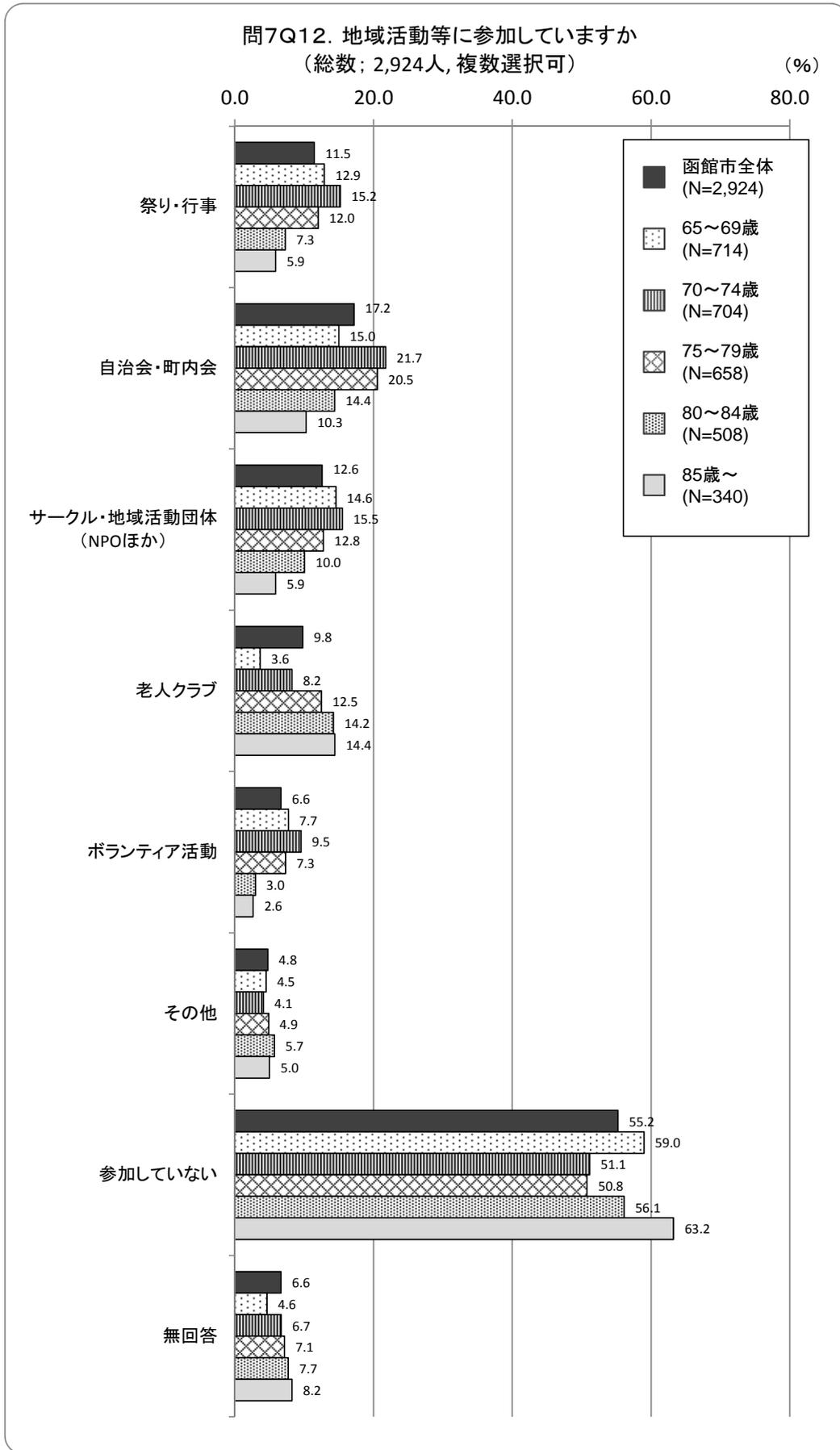
市全体で見ると、地域活動等に「参加していない」の割合が55.2%となっています。様々な地域活動への参加の状況を見ると、「自治会・町内会」(17.2%)、「サークル・地域活動団体」(12.6%)等の割合が高くなっています。

(性別)

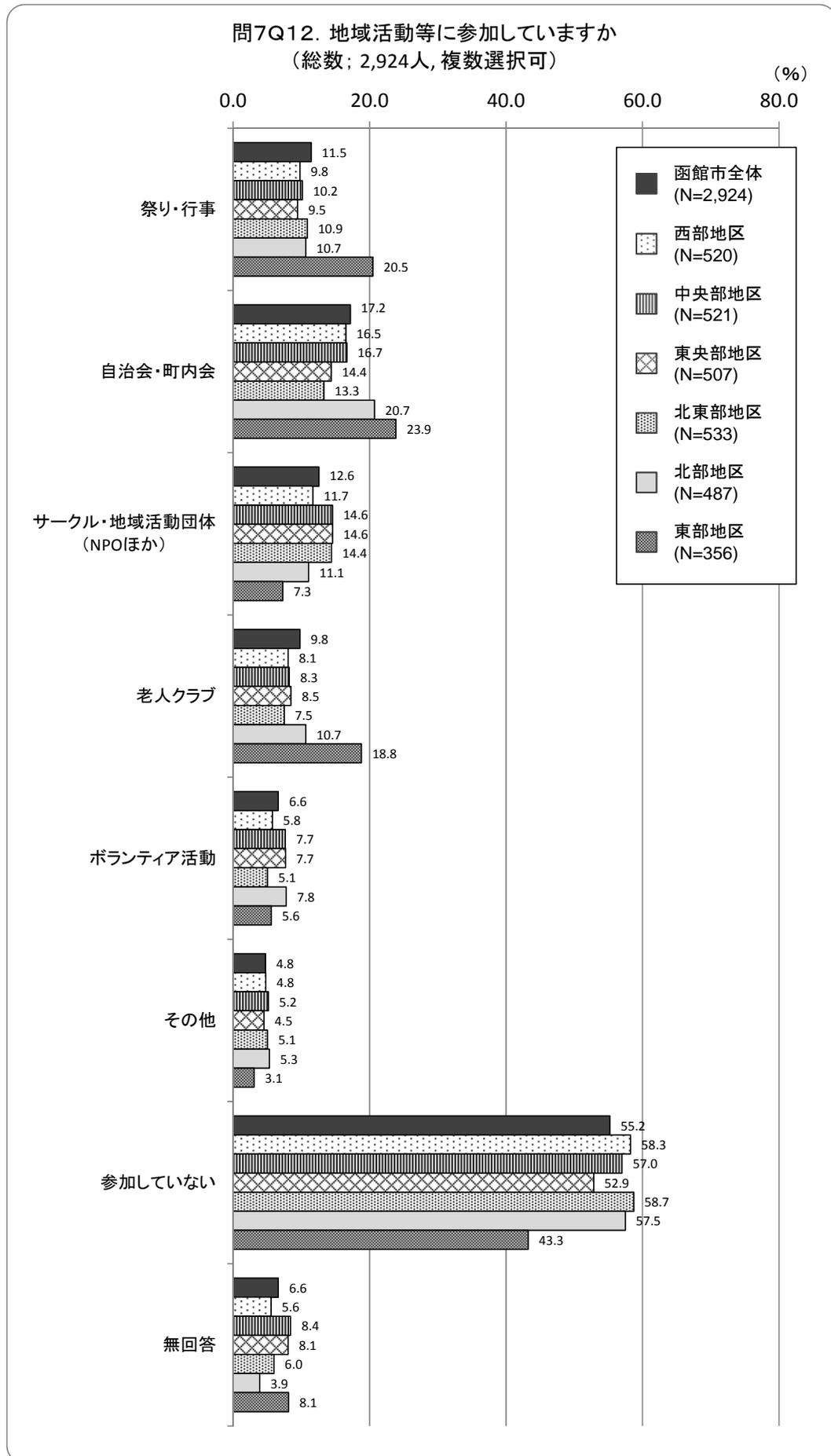


その他は「カラオケ」、「パークゴルフ」などとなっています。

(年齢別)



( 地区別 )

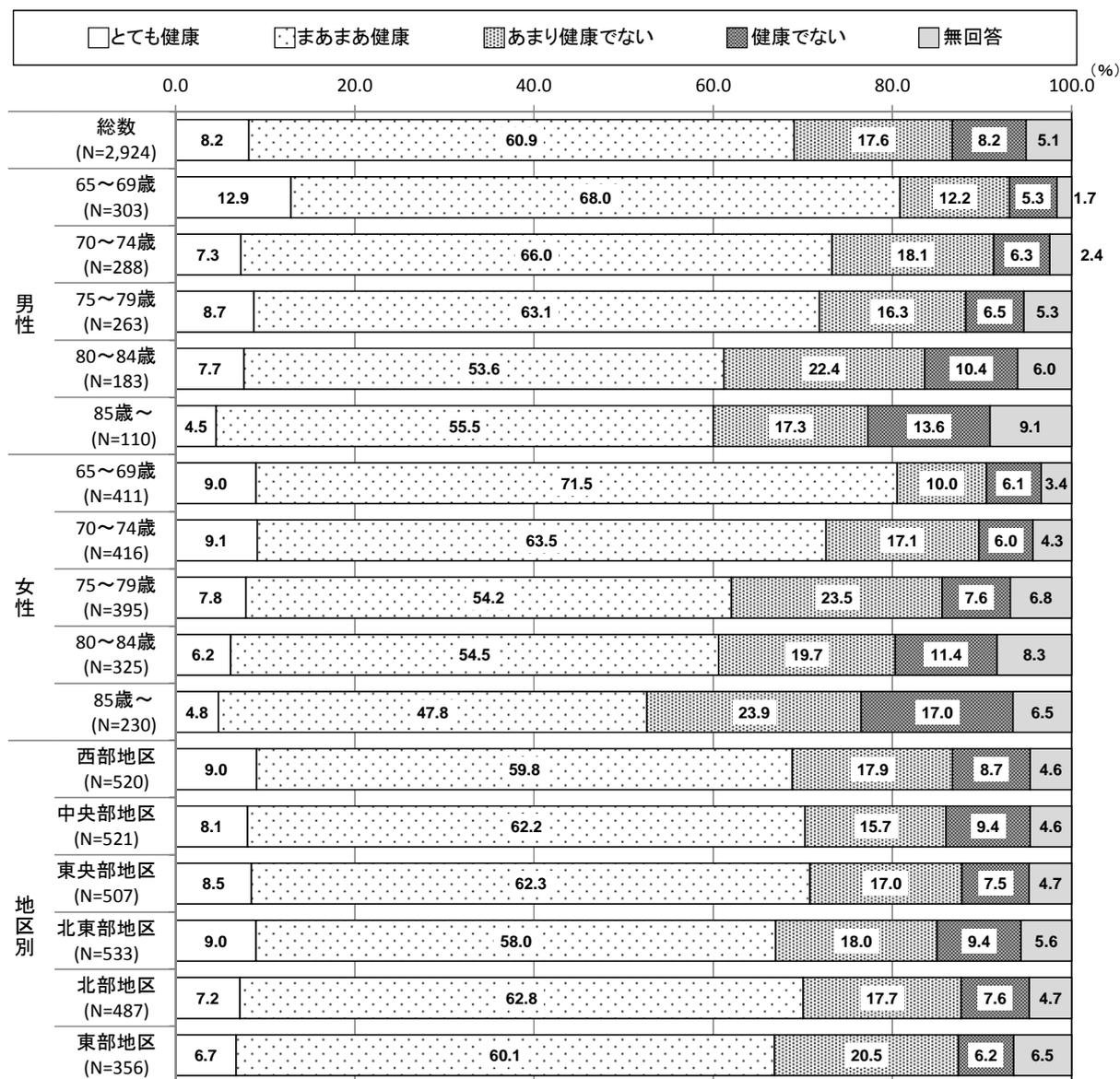


## 問8 健康について

### 問8Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか

市全体で見ると、「あまり健康でない」の割合が17.6%、「健康でない」の割合が8.2%となっています。

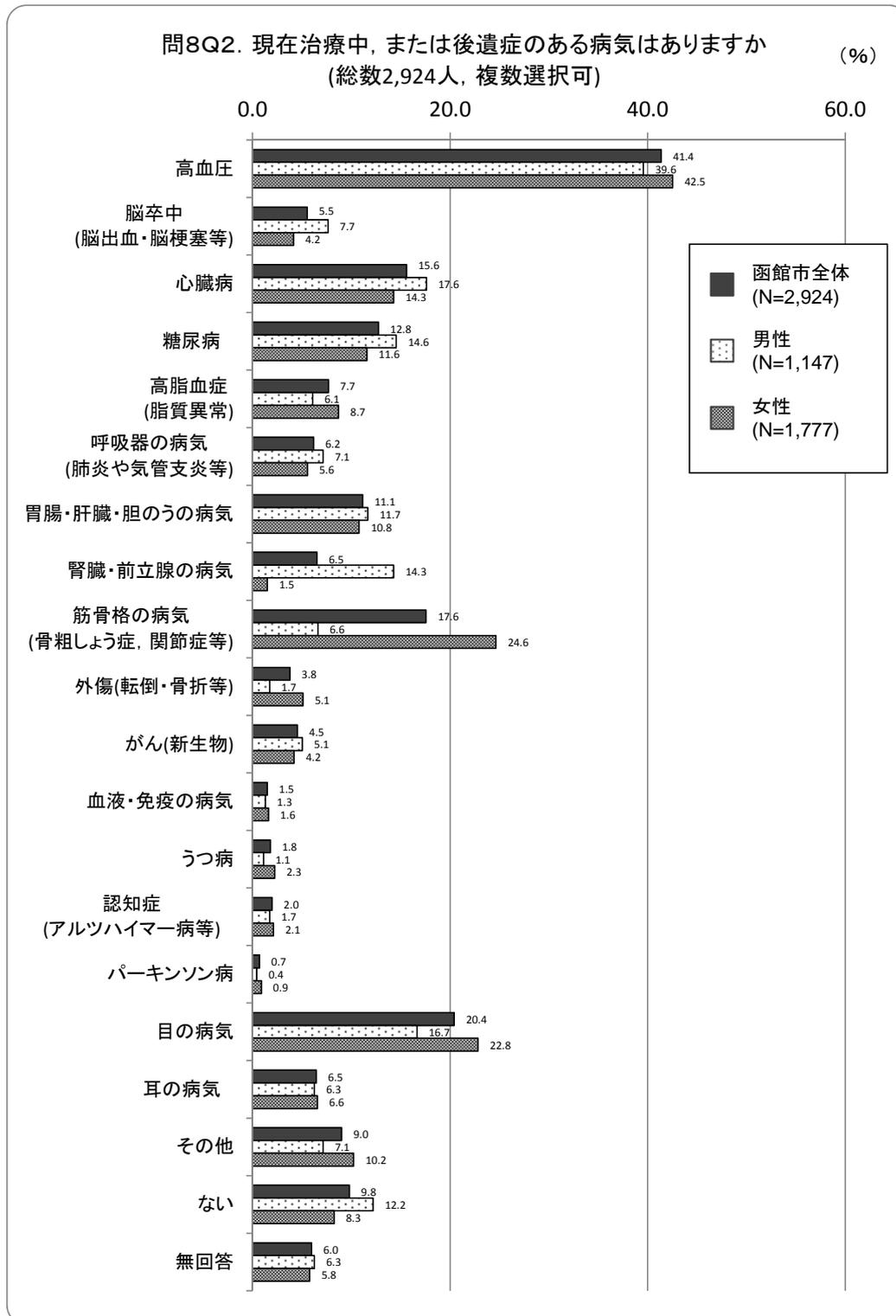
問8Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか(総数: 2,924人)



**問8 Q2. 現在治療中, または後遺症のある病気はありますか(複数選択可)**

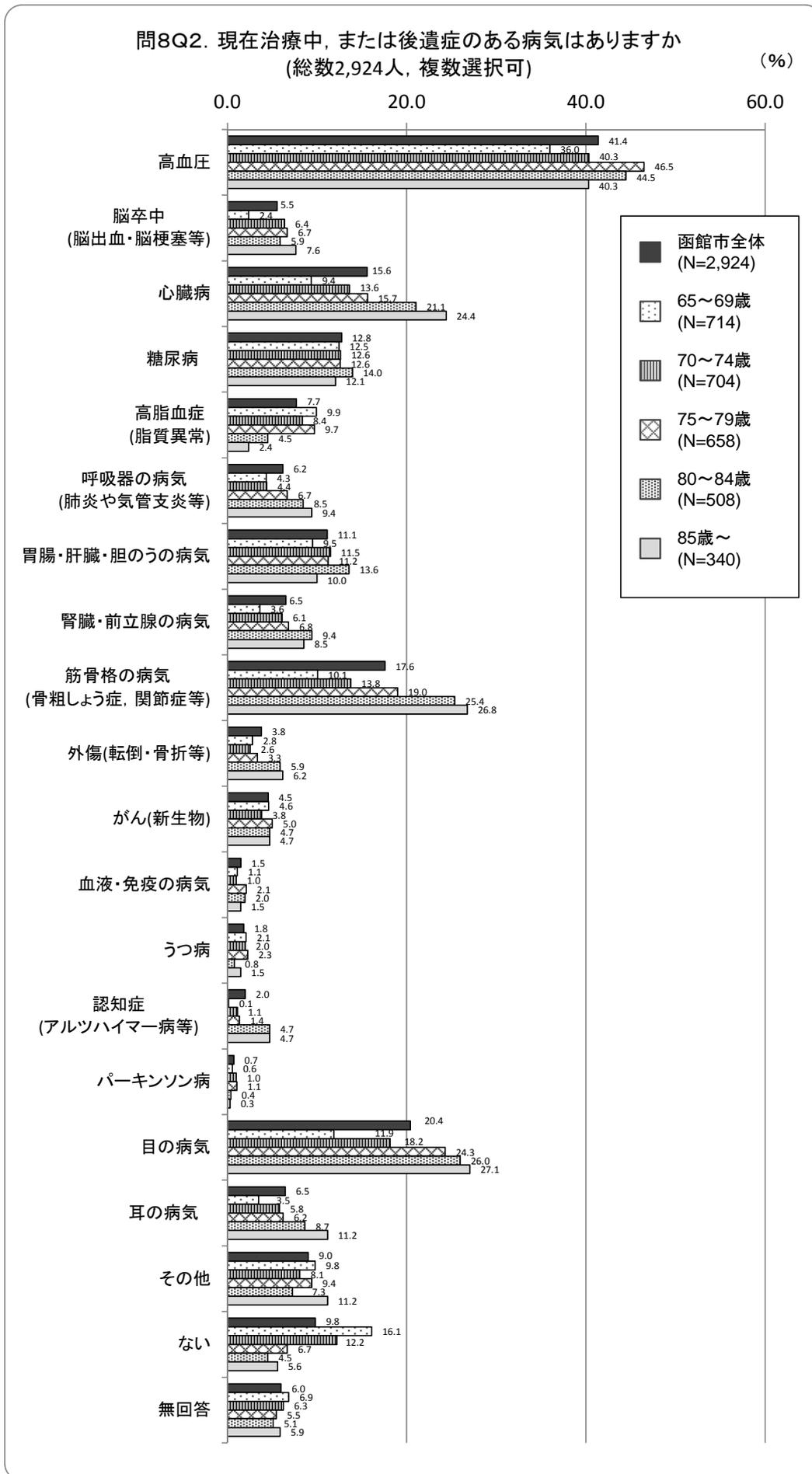
市全体で見ると,「高血圧」の割合が41.4%と最も高くなっています。次いで「目の病気」(20.4%),および「筋骨格の病気」(17.6%)等の割合が高くなっています。また,「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が2.0%となっています。

(性別)

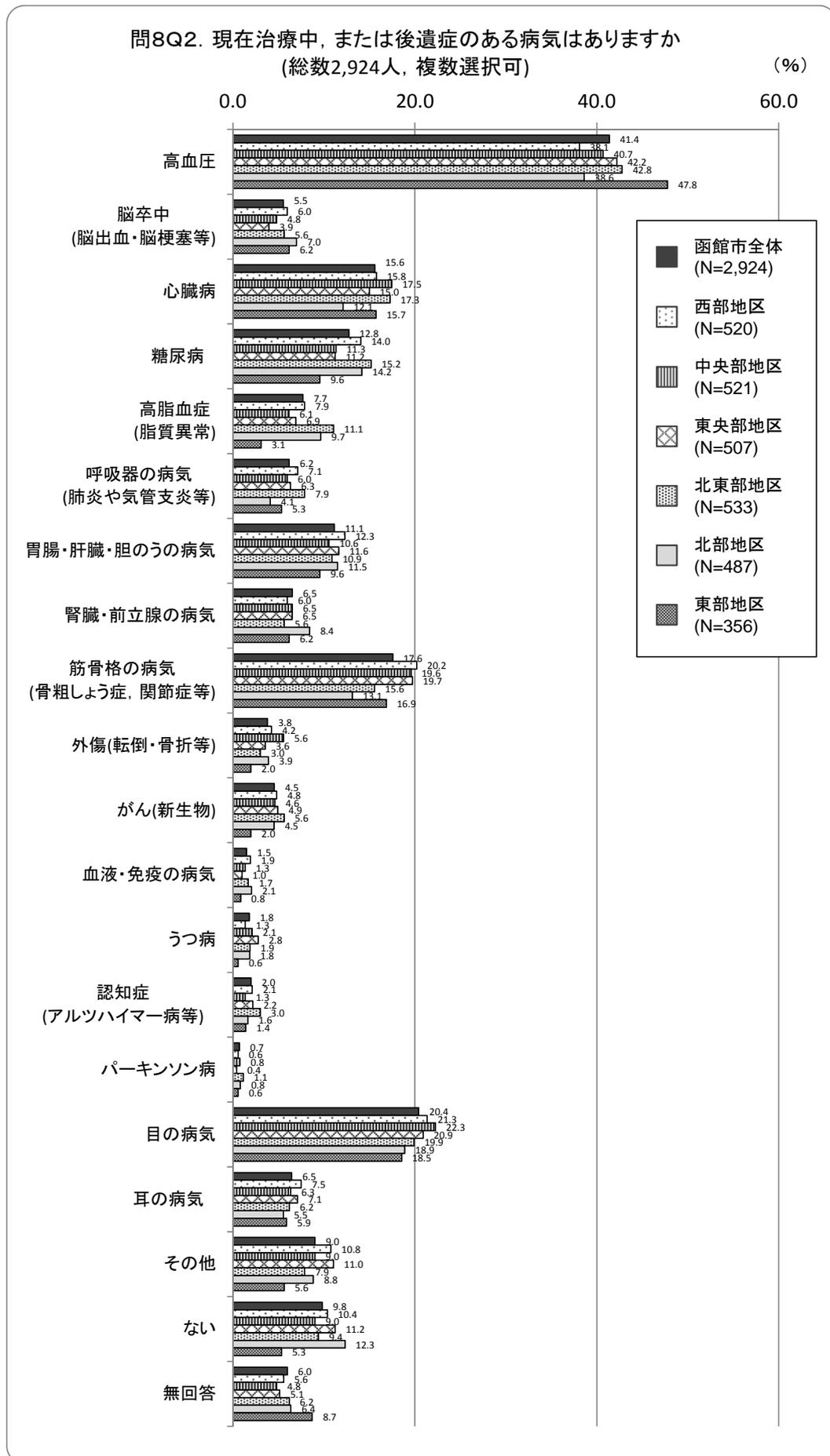


その他は「腰痛」, 「甲状腺」などとなっています。

(年齢別)



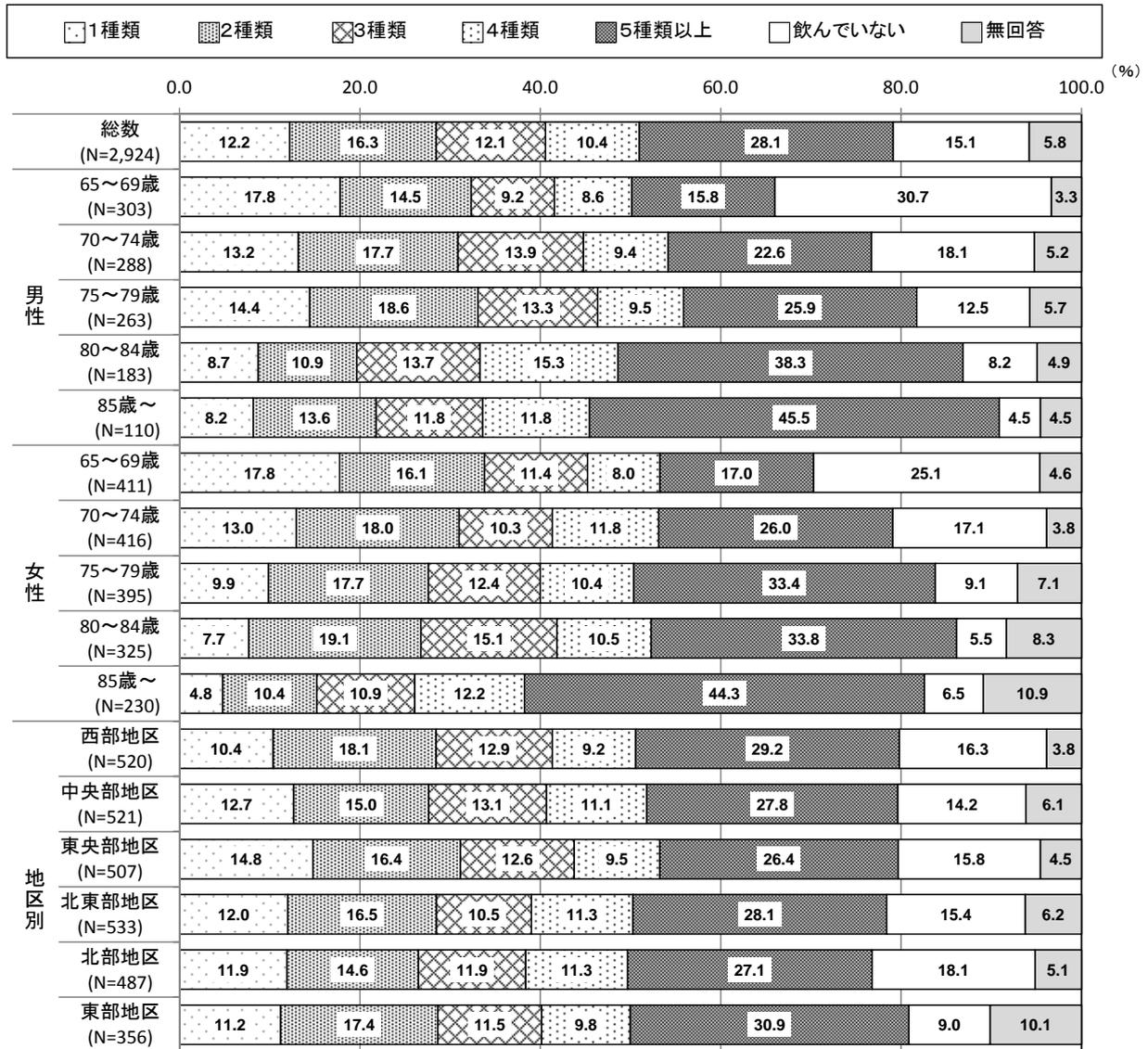
( 地区別 )



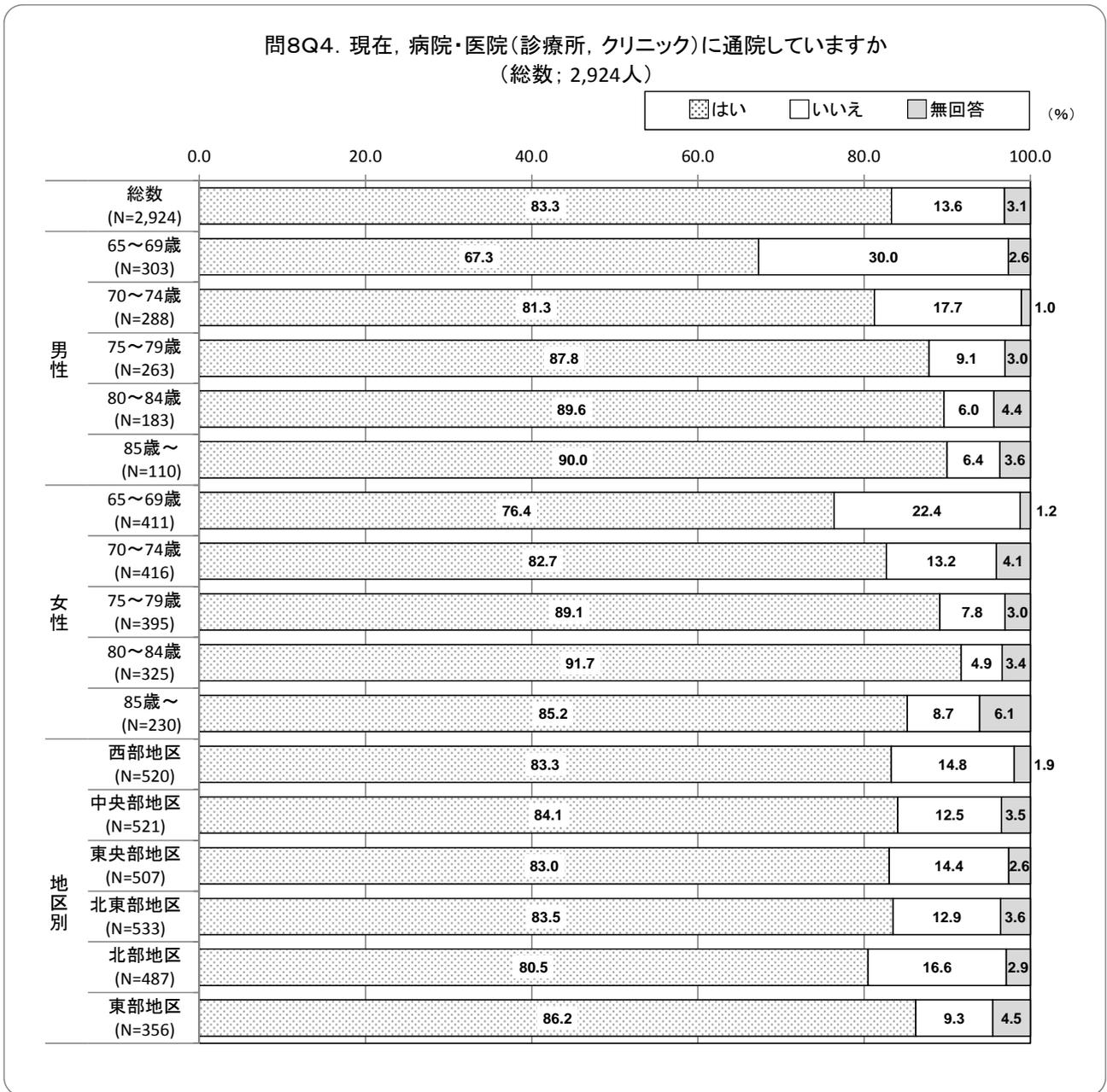
問8 Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか

市全体で見ると、「5種類以上」の割合が28.1%となっています。

問8Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか(総数; 2,924人)



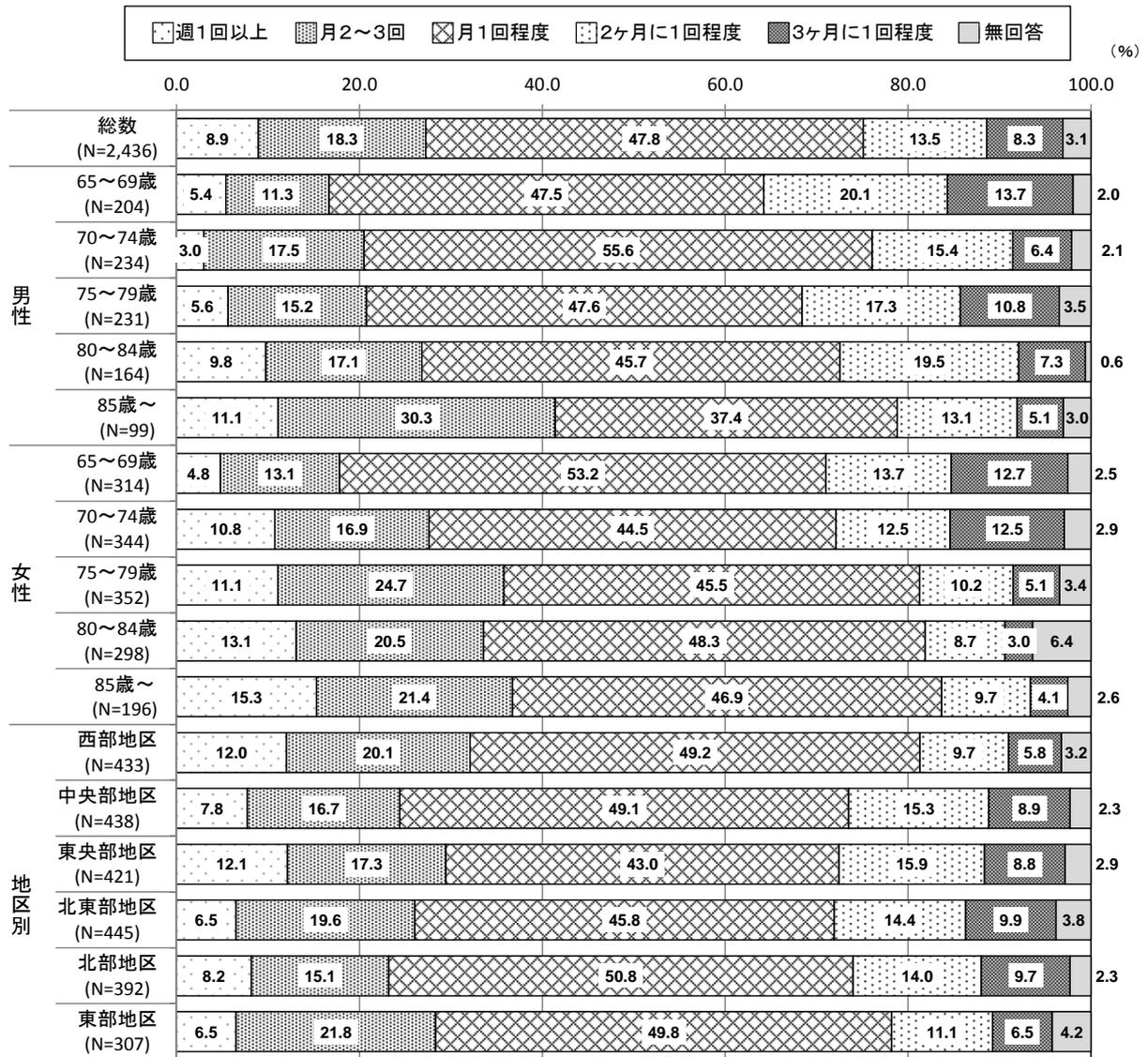
**問8** Q4. 現在、病院・医院（診療所，クリニック）に通院していますか  
市全体で見ると，「はい」の割合が 83.3%となっています。



**問8** Q4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか

市全体で見ると、「週1回以上」の割合が8.9%、「月2～3回」の割合が18.3%となっています。

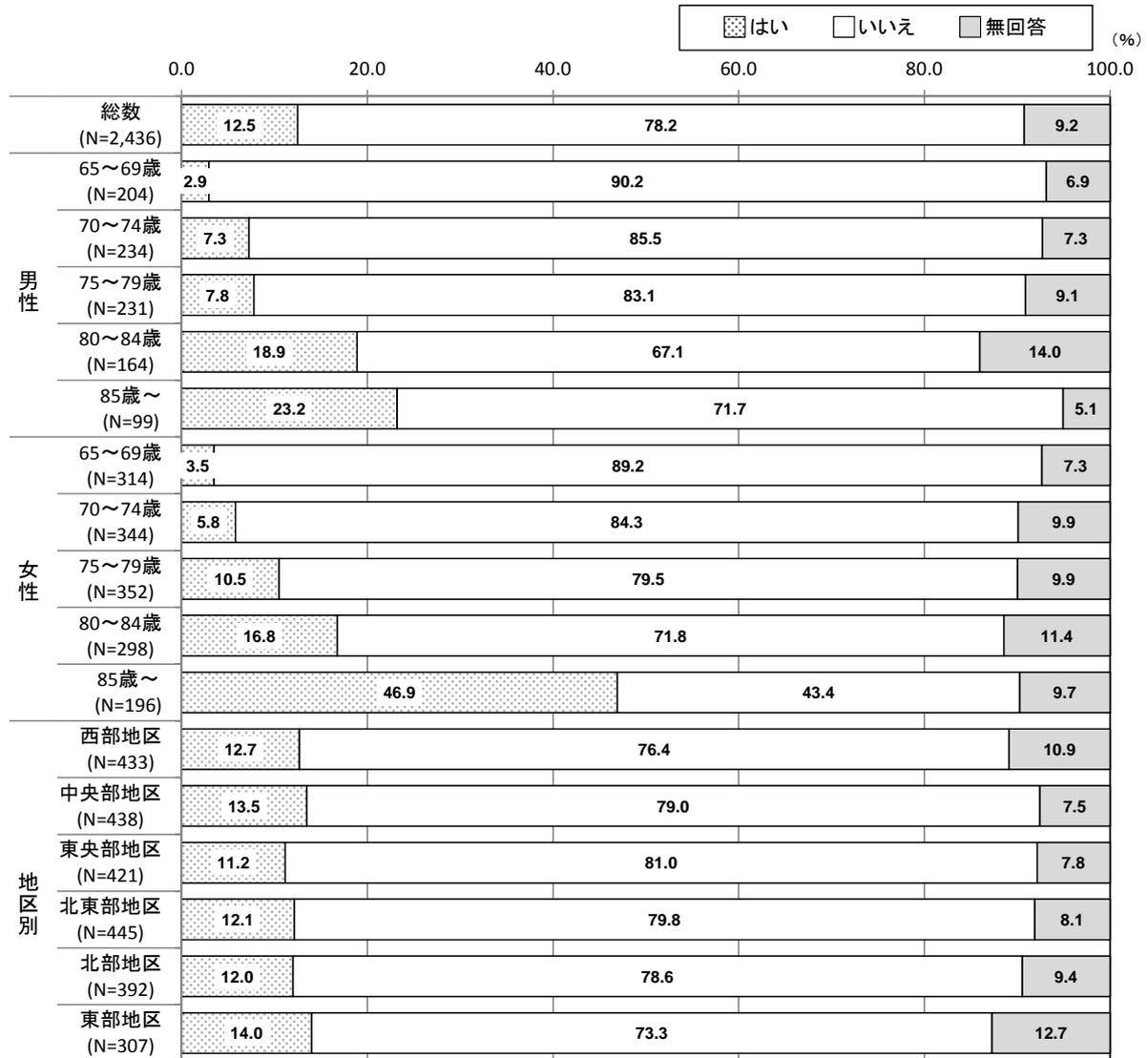
問8Q4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか(総数: 2,436人)



問8 Q4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか

市全体で見ると、「はい」の割合が12.5%となっています。

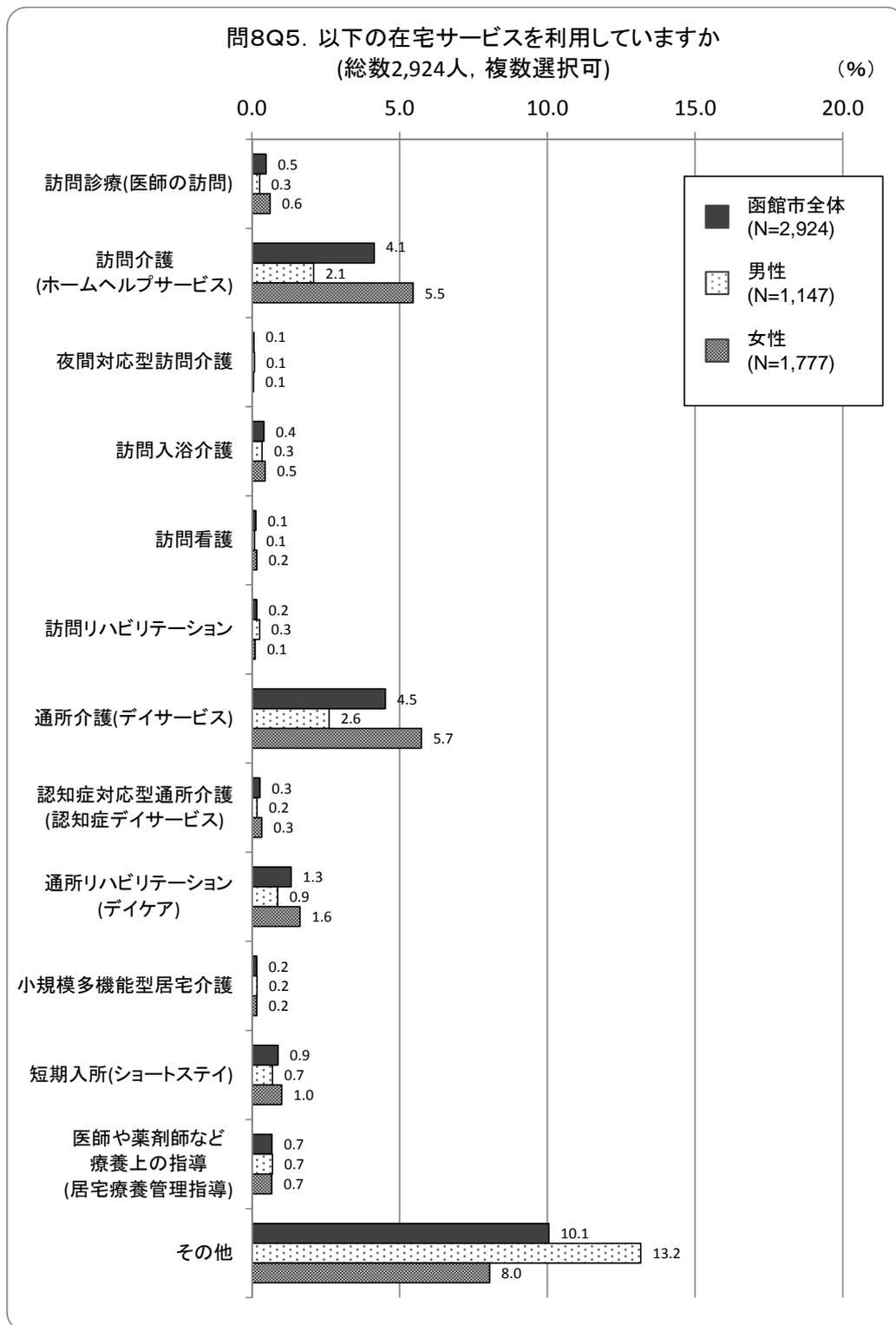
問8Q4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか(総数; 2,436人)



**問8** Q5. 以下の在宅サービスを利用していますか(複数選択可)

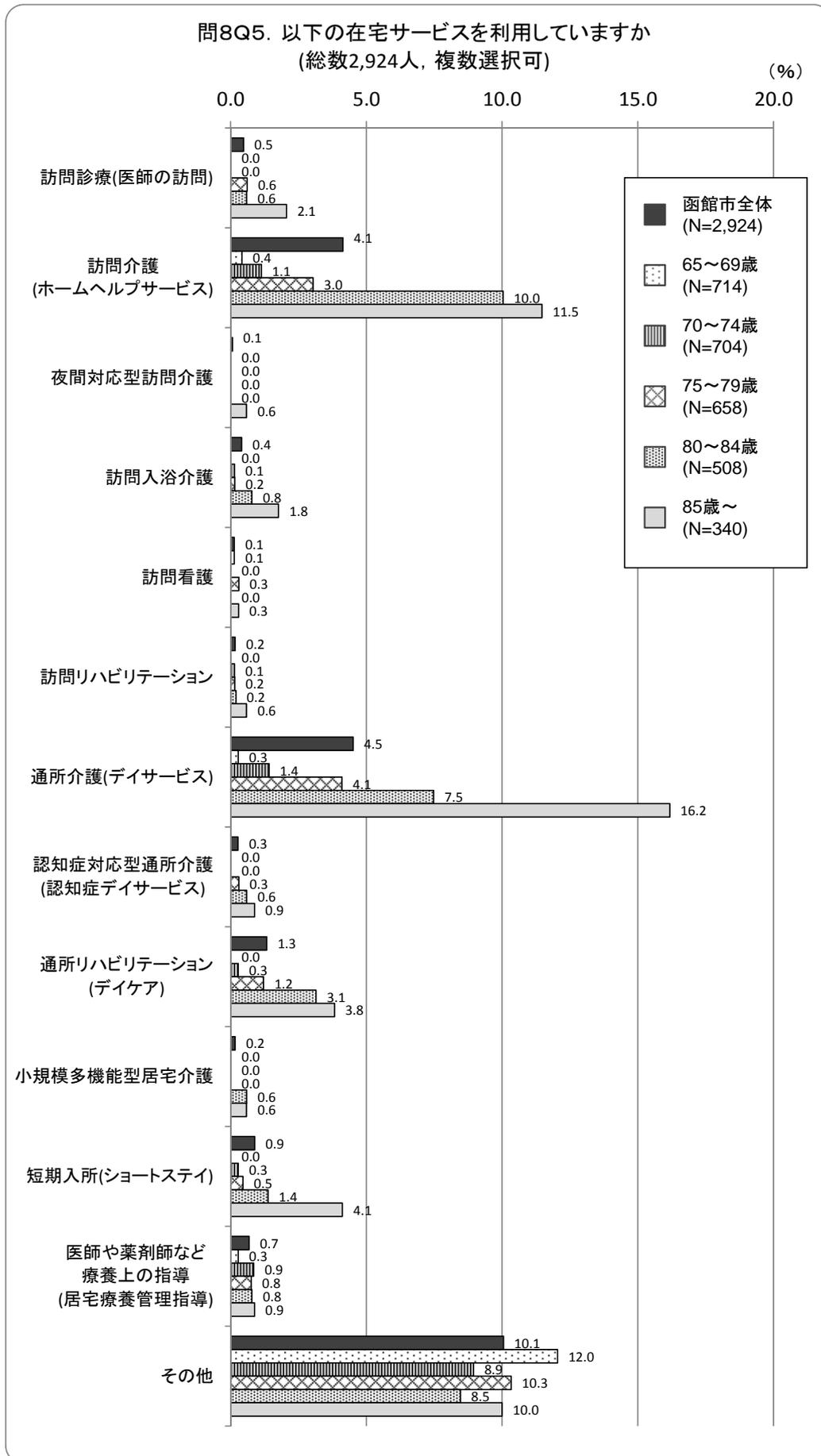
市全体で見ると,様々な在宅サービスのうち,「通所介護(デイサービス)」(4.5%),「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(4.1%)の割合が高くなっています。

(性別)

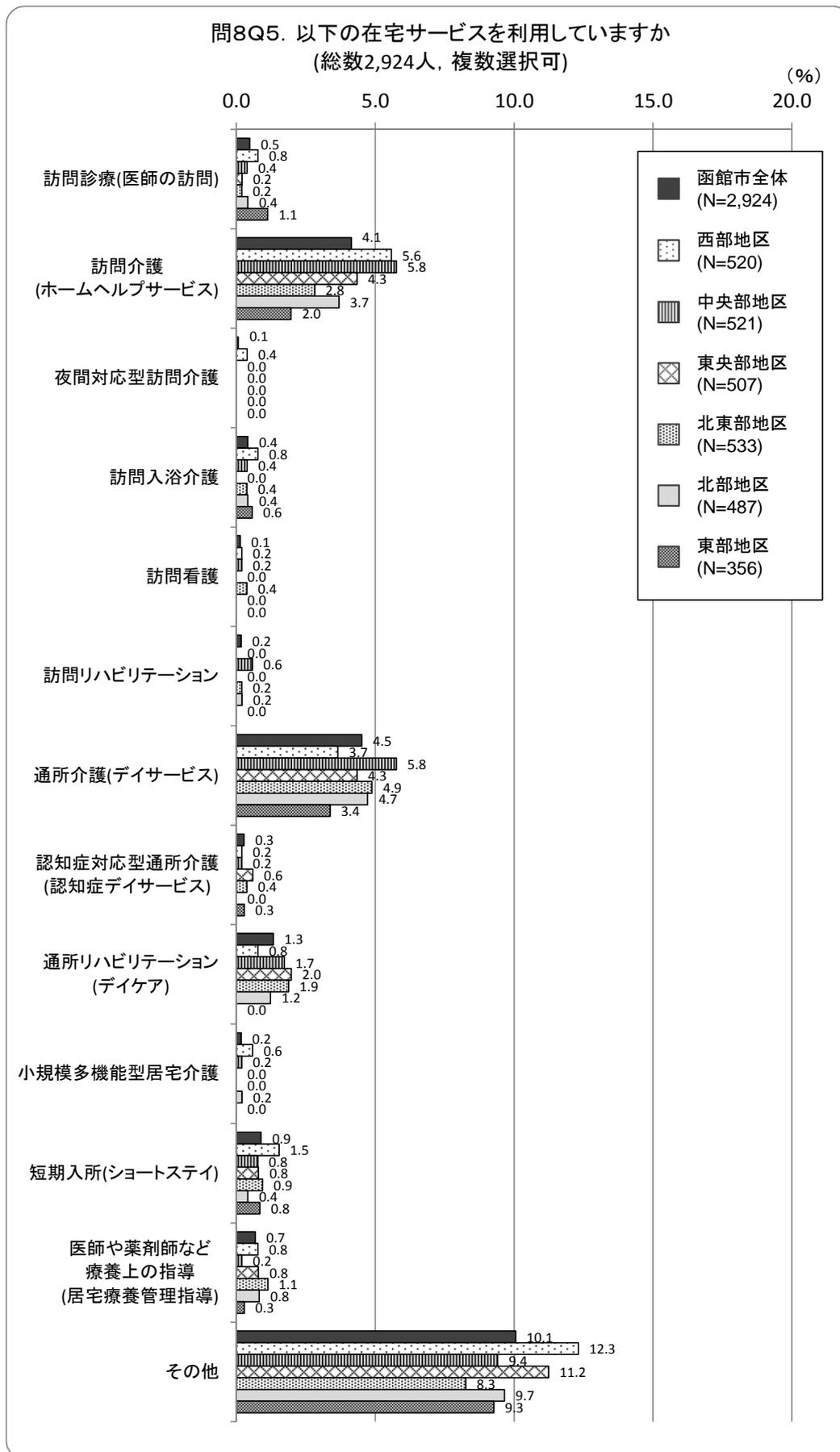


その他は「利用していない」などとなっています。

(年齢別)

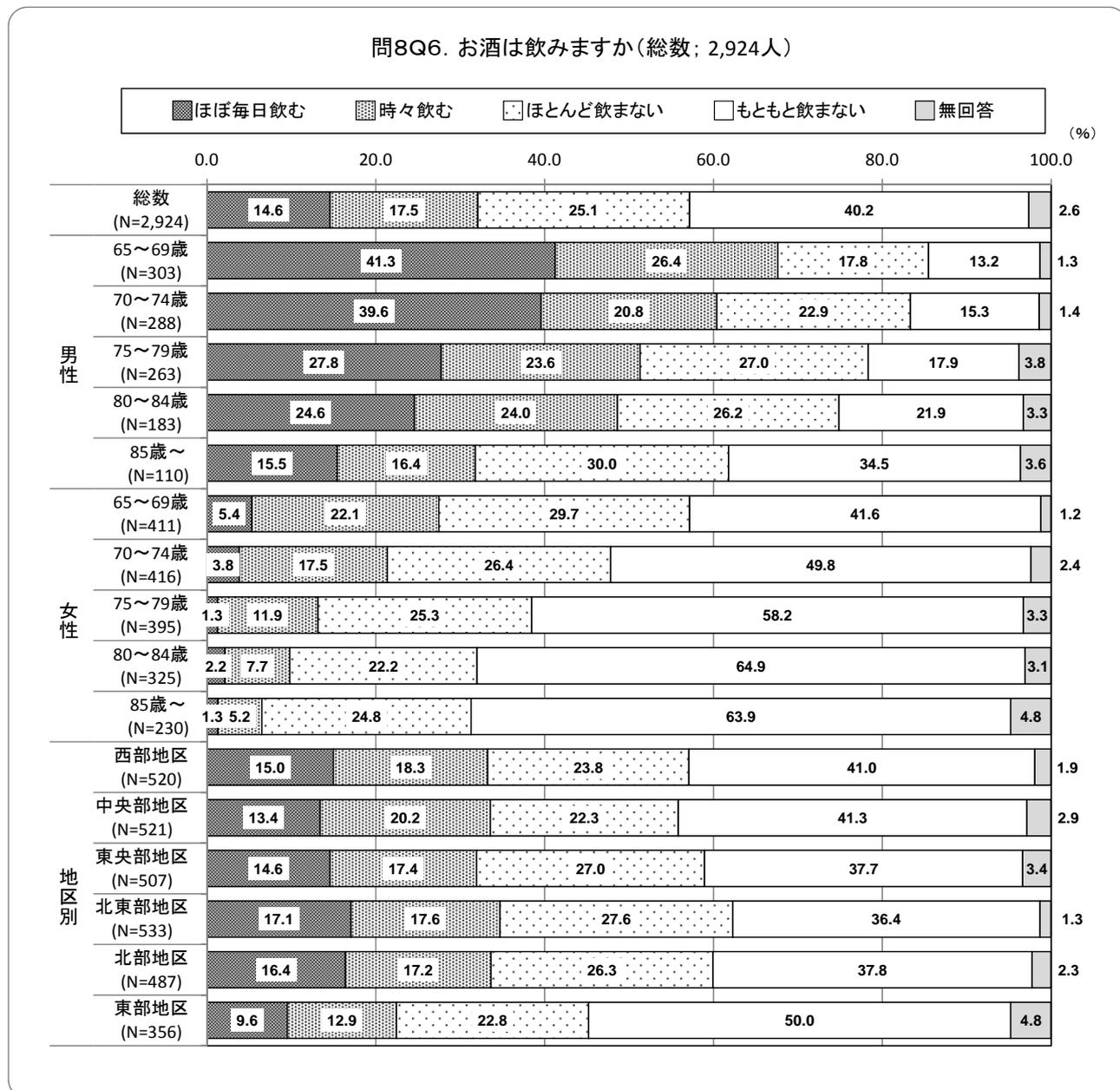


( 地区別 )



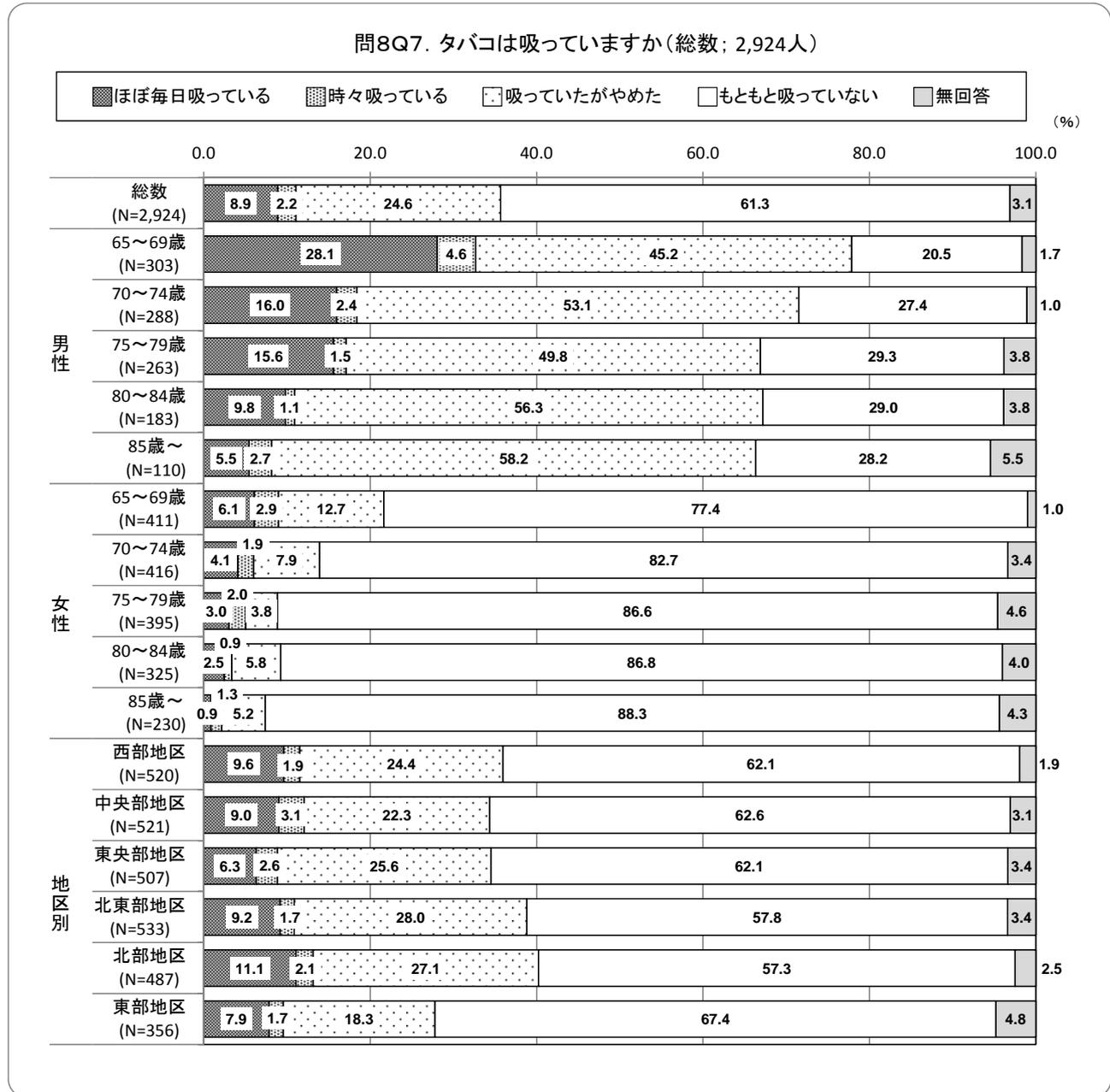
### 問8 Q6. お酒は飲みますか

市全体で見ると、「ほぼ毎日飲む」の割合が 14.6%、「時々飲む」の割合が 17.5% となっています。



**問8** Q7. タバコは吸っていますか

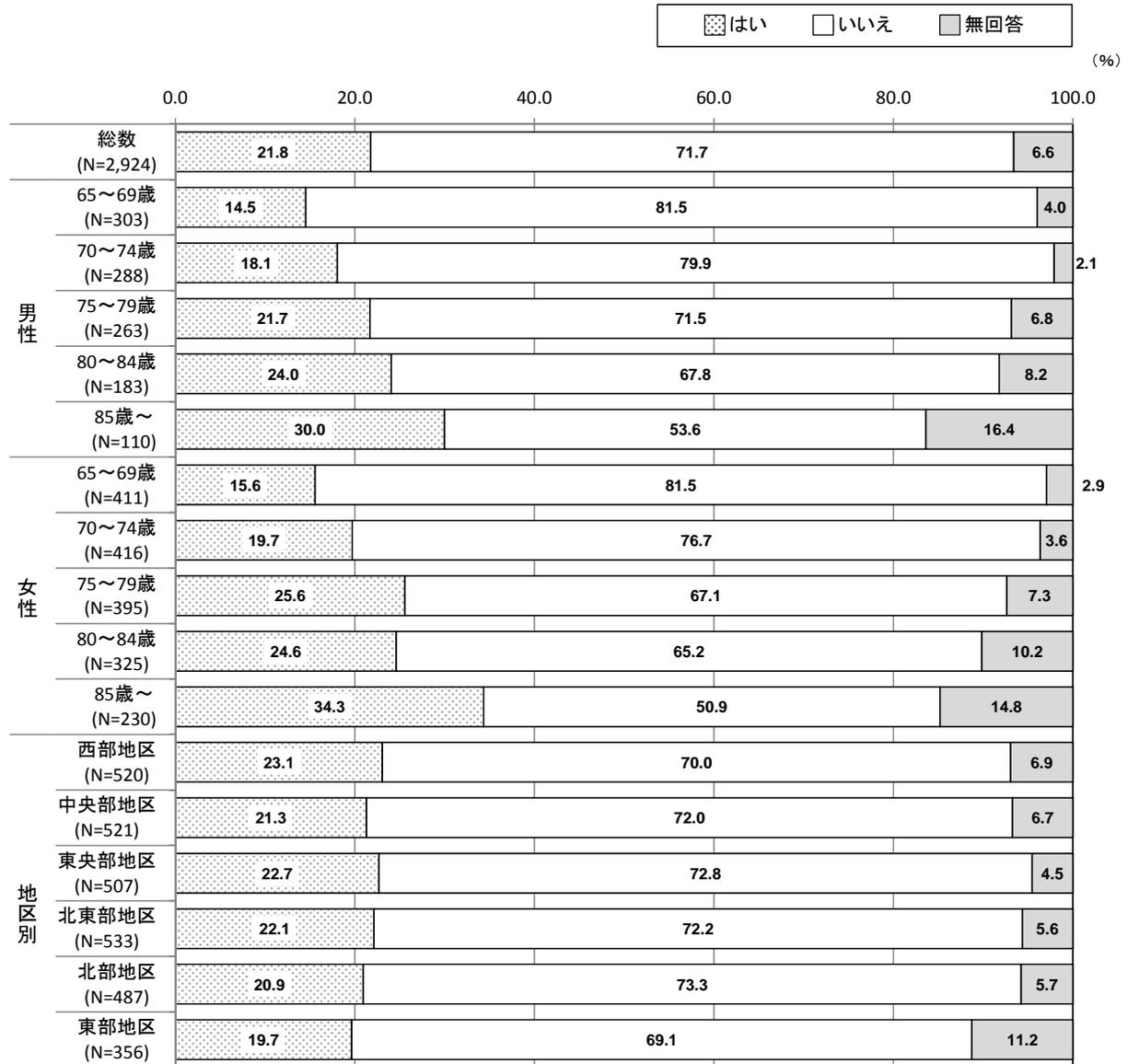
市全体で見ると、「ほぼ毎日吸っている」の割合が 8.9%、「時々吸っている」の割合が 2.2%となっています。



問8 Q8. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない

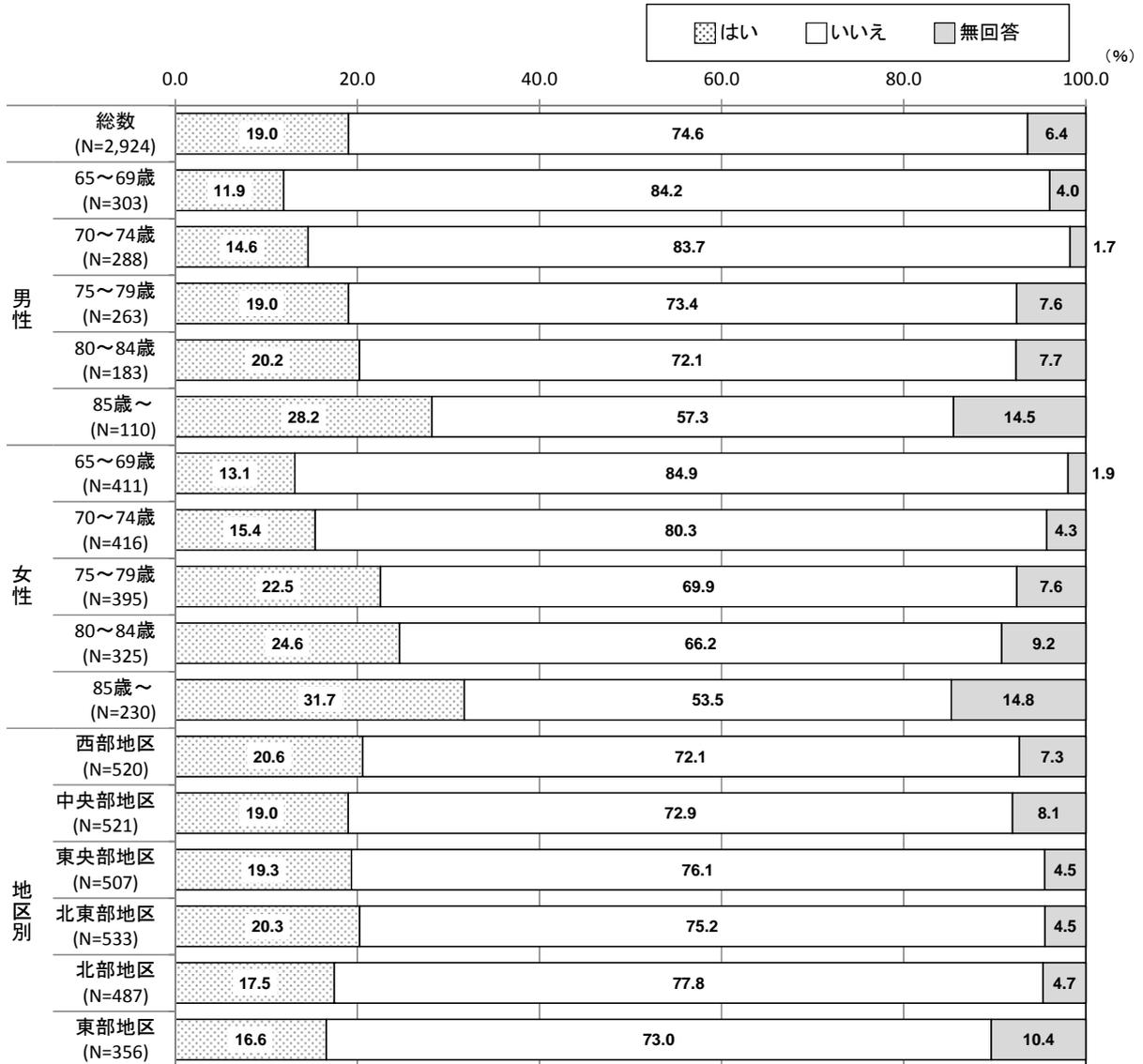
市全体で見ると、「はい」の割合が21.8%となっています。

問8Q8. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない(総数; 2,924人)



**問8** Q9. (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった  
市全体で見ると、「はい」の割合が19.0%となっています。

問8Q9. (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった  
(総数; 2,924人)



**問8** Q10. (ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる

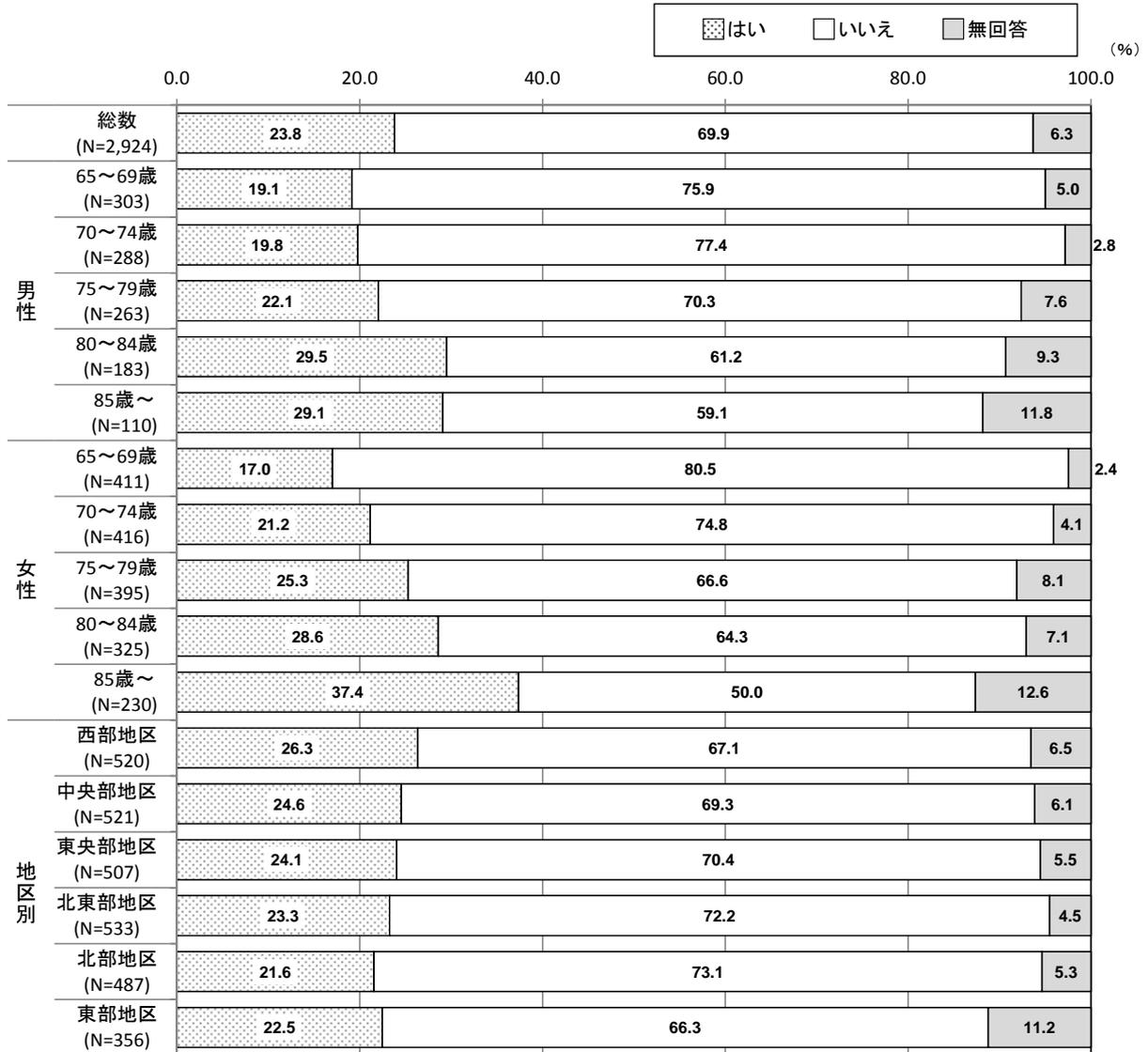
市全体で見ると、「はい」の割合が37.7%となっています。



**問8** Q11. (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない

市全体で見ると、「はい」の割合が23.8%となっています。

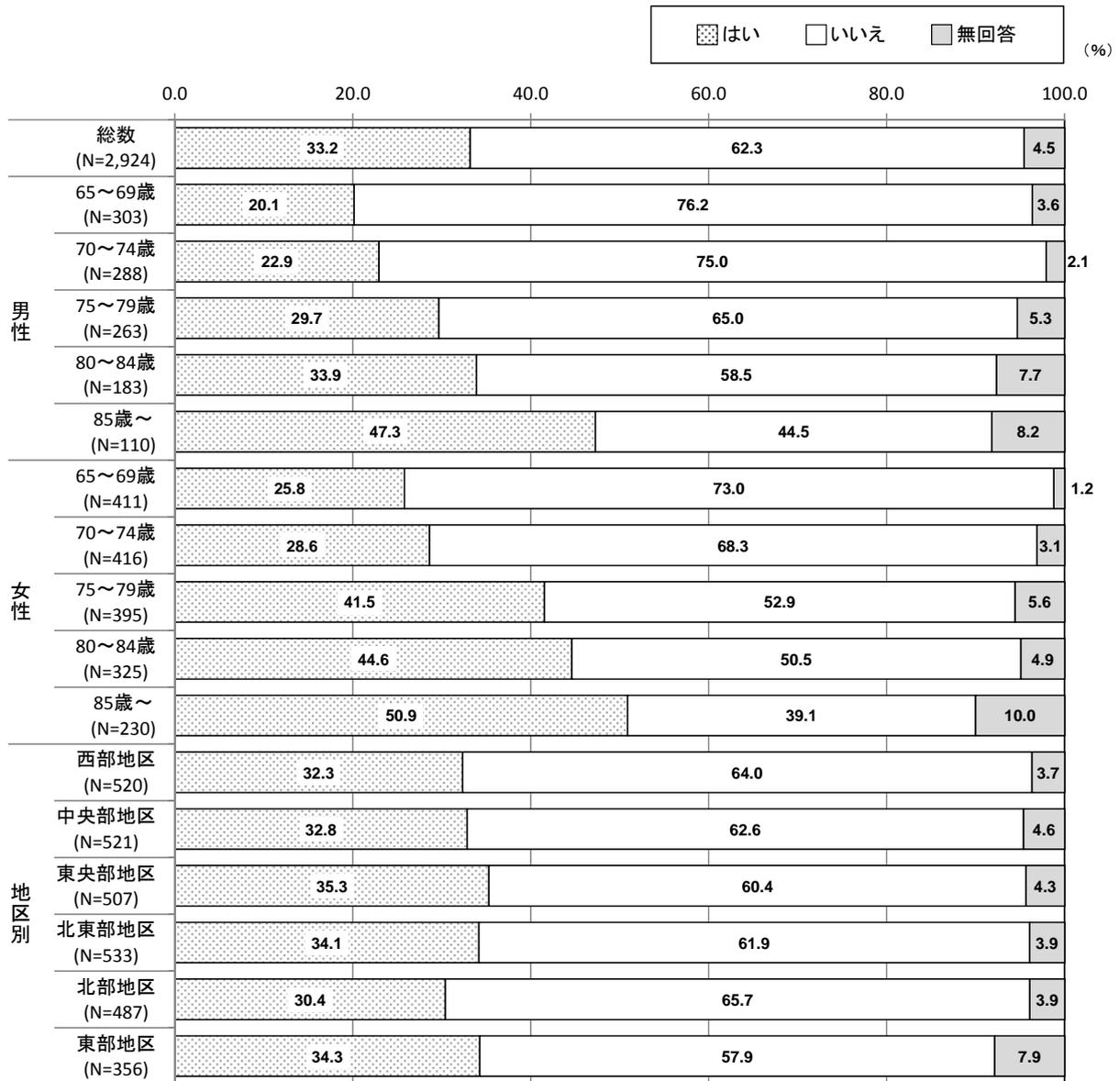
問8Q11. (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない  
(総数; 2,924人)



**問8** Q12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする

市全体で見ると、「はい」の割合が33.2%となっています。

問8Q12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする(総数; 2,924人)



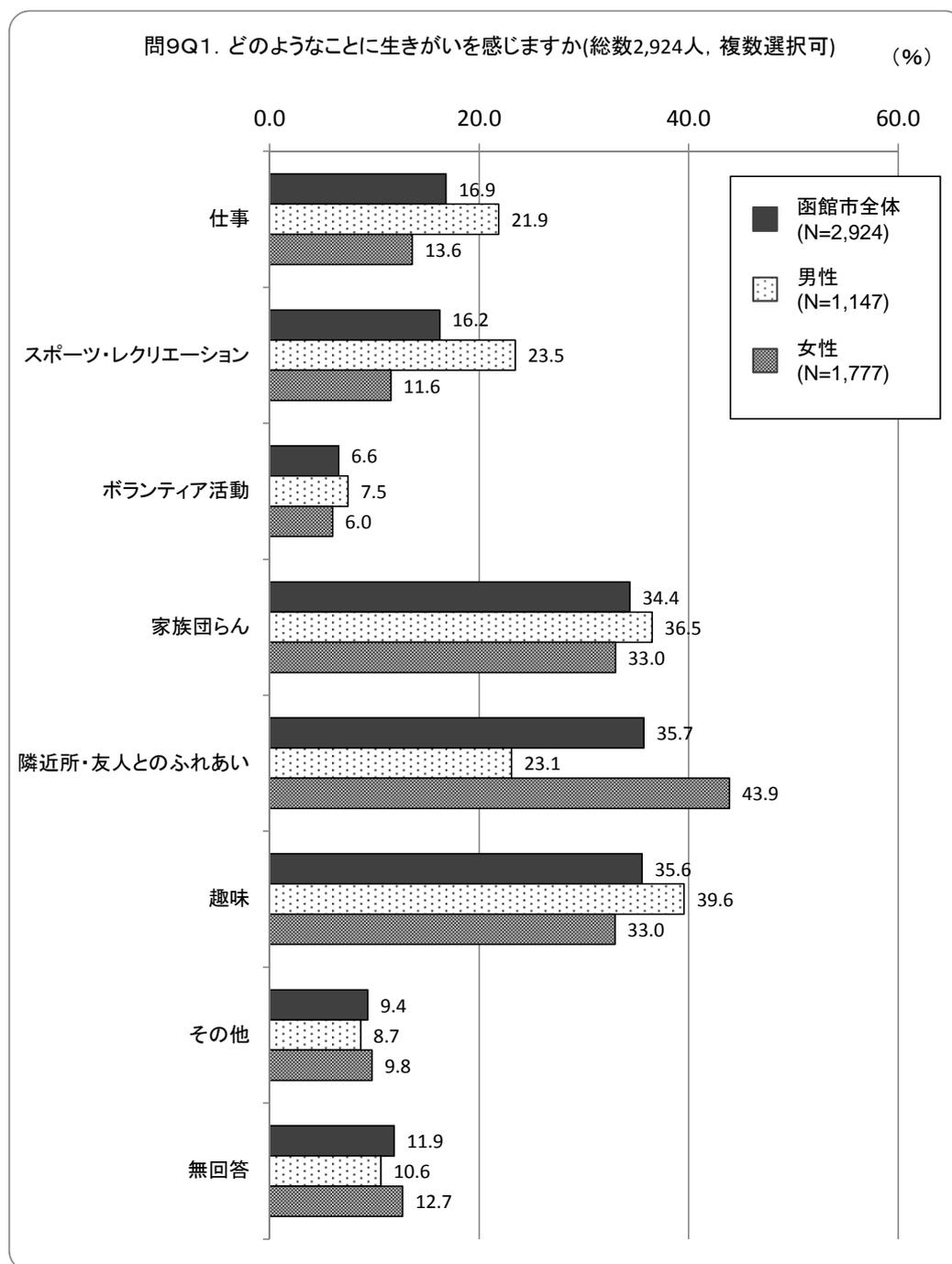
## 問9 生きがいについて

### 問9 Q1. どのようなことに生きがいを感じますか(複数選択可)

市全体で見ると、「隣近所・友人とのふれあい」(35.7%)、「趣味」(35.6%)、「家族団らん」(34.4%)の割合が高くなっています。

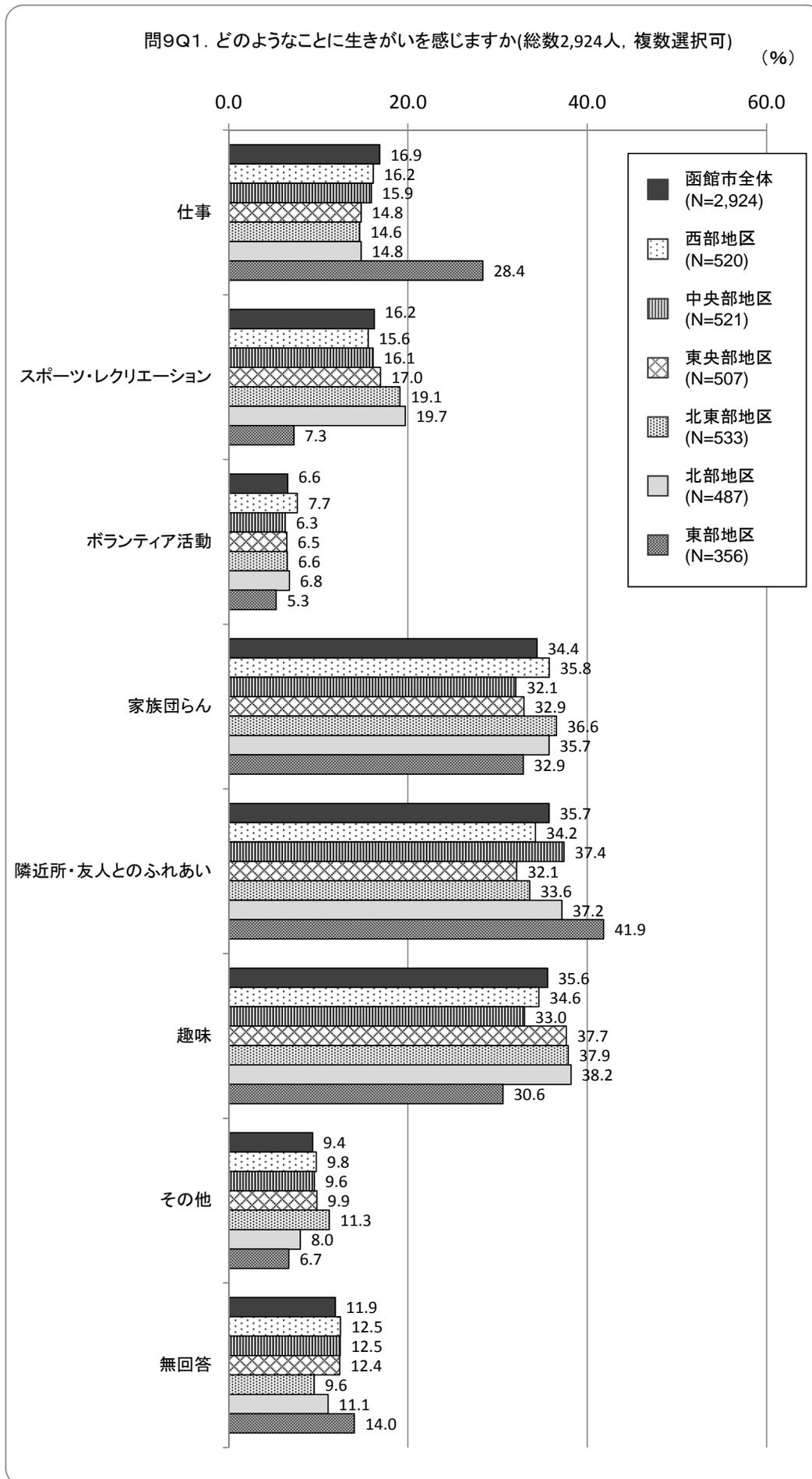
地区別に見ると、東部地区では「仕事」の割合が28.4%と比較的高くなっています。

(性別)



その他は「カラオケ」、「手芸」、「庭いじり、菜園」、「読書」、「孫とのふれあい」などとなっています。

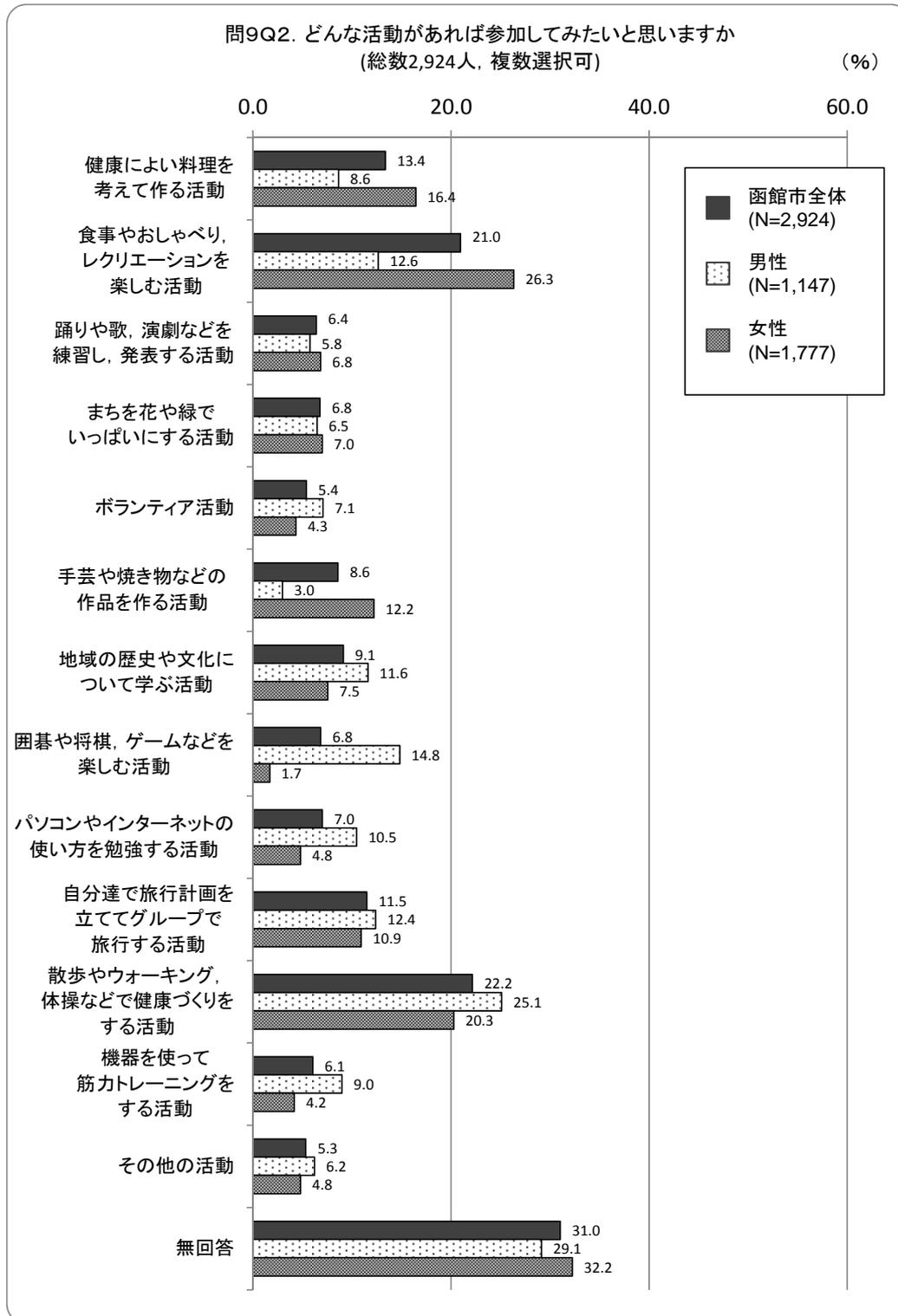
( 地区別 )



**問9 Q2. どんな活動があれば参加してみたいと思いますか(複数選択可)**

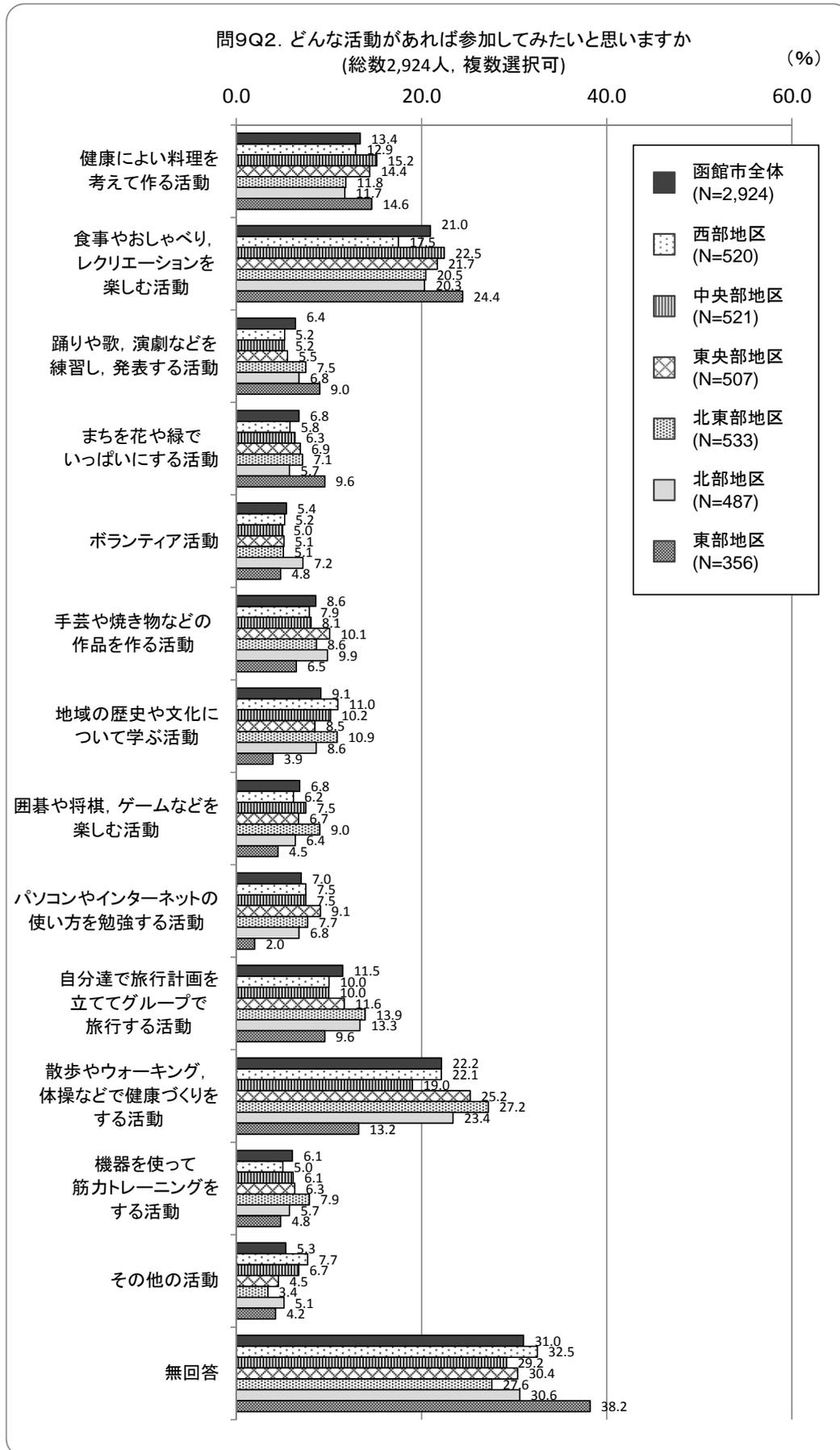
市全体で見ると，様々な活動のうち，「散歩やウォーキング，体操などで健康づくりをする活動」(22.2%)，「食事やおしゃべり，レクリエーションを楽しむ活動」(21.0%)の割合が高くなっています。

(性別)

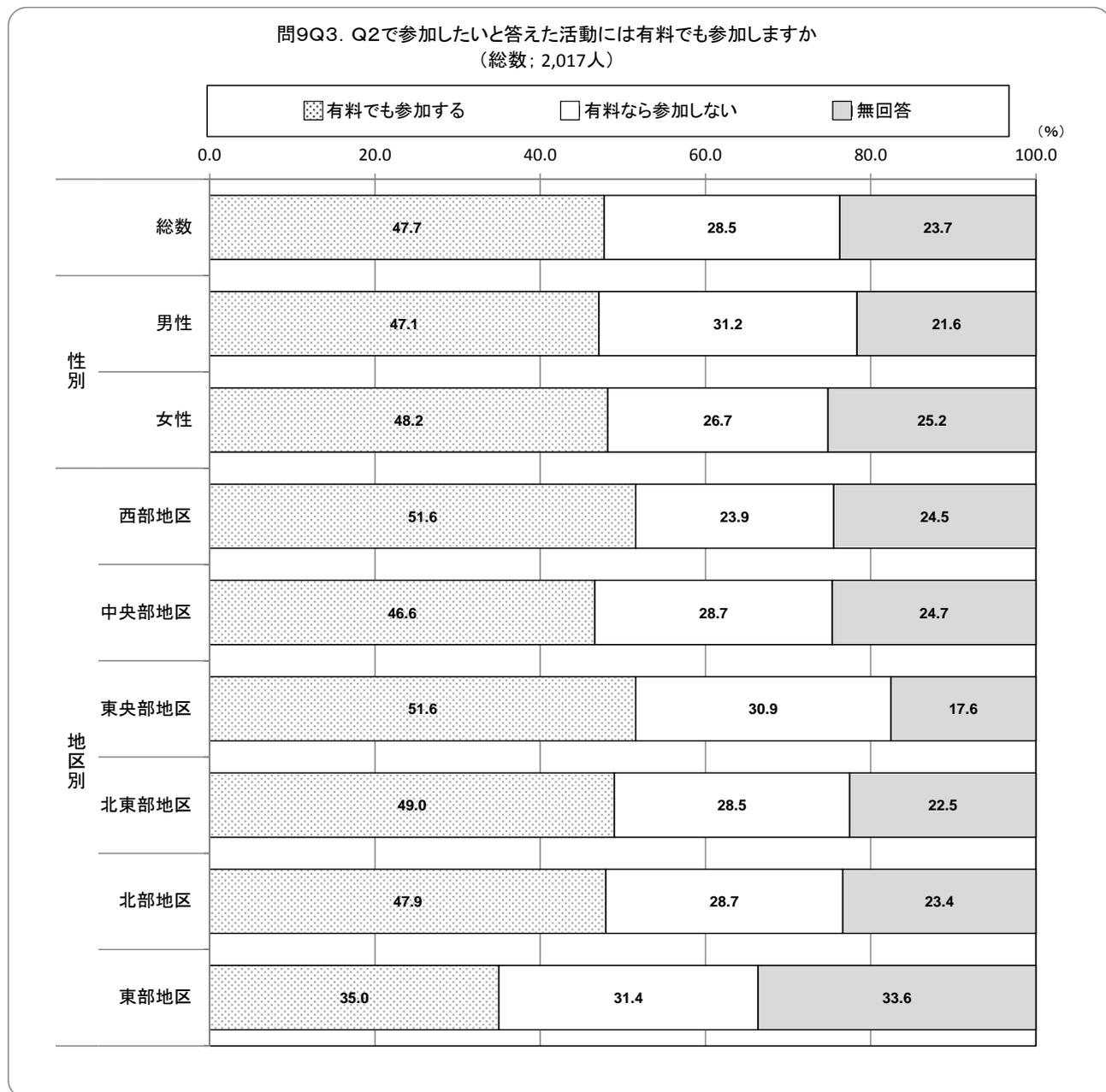


その他は「パークゴルフ」，「特になし」などとなっています。

( 地区別 )



**問9** Q3. Q2で参加したいと答えた活動には有料でも参加しますか  
 市全体で見ると、「有料でも参加する」の割合が47.7%と高くなっています。



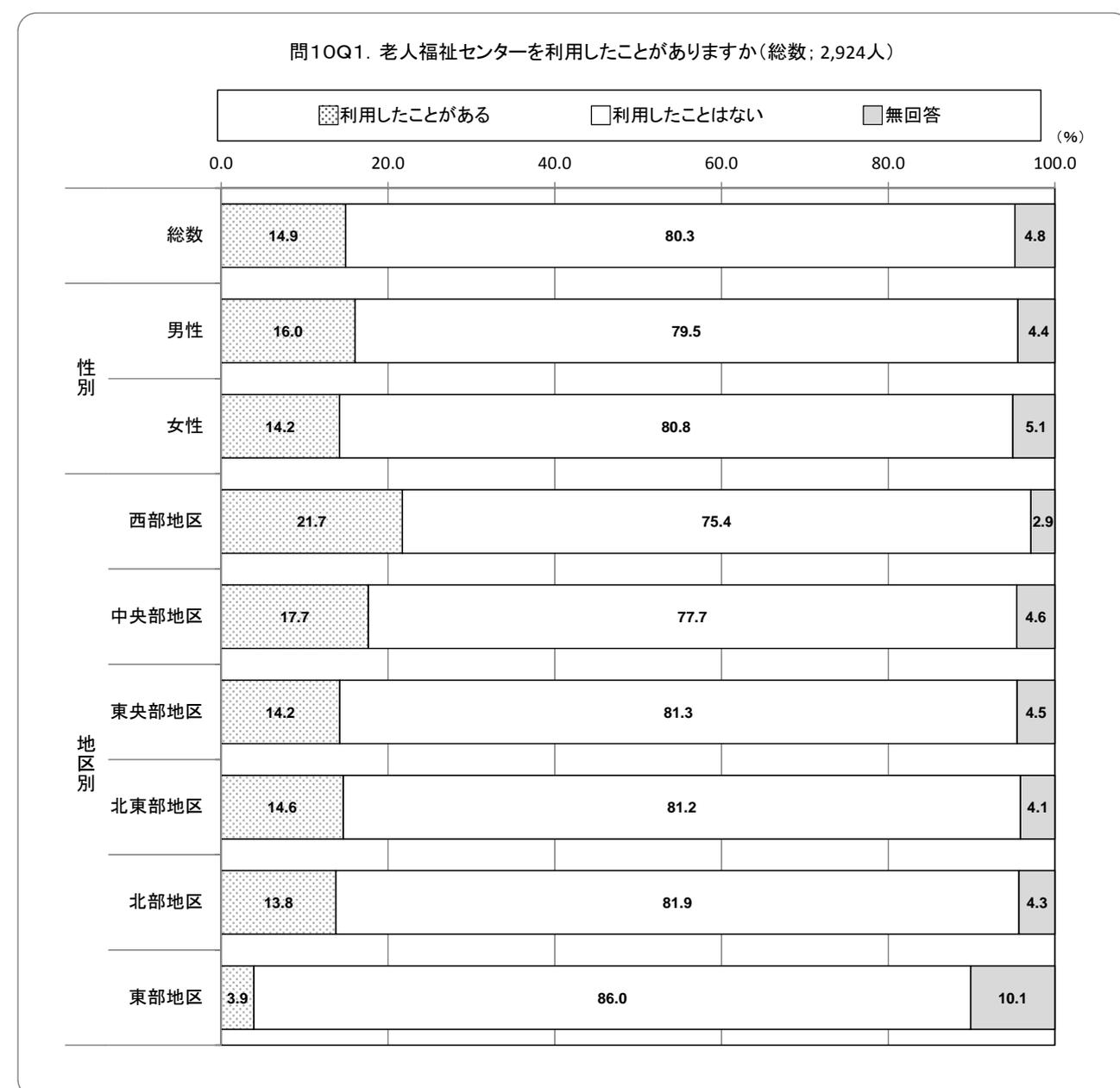
## 問10 函館市の老人福祉センターについて

### 問10Q1. 老人福祉センターを利用したことがありますか

市全体で見ると、「利用したことがある」の割合が14.9%、「利用したことはない」の割合が80.3%となっています。

性別に見ると、男性では「利用したことがある」の割合が16.0%、「利用したことはない」の割合が79.5%となっています。女性では「利用したことがある」の割合が14.2%、「利用したことはない」の割合が80.8%となっています。

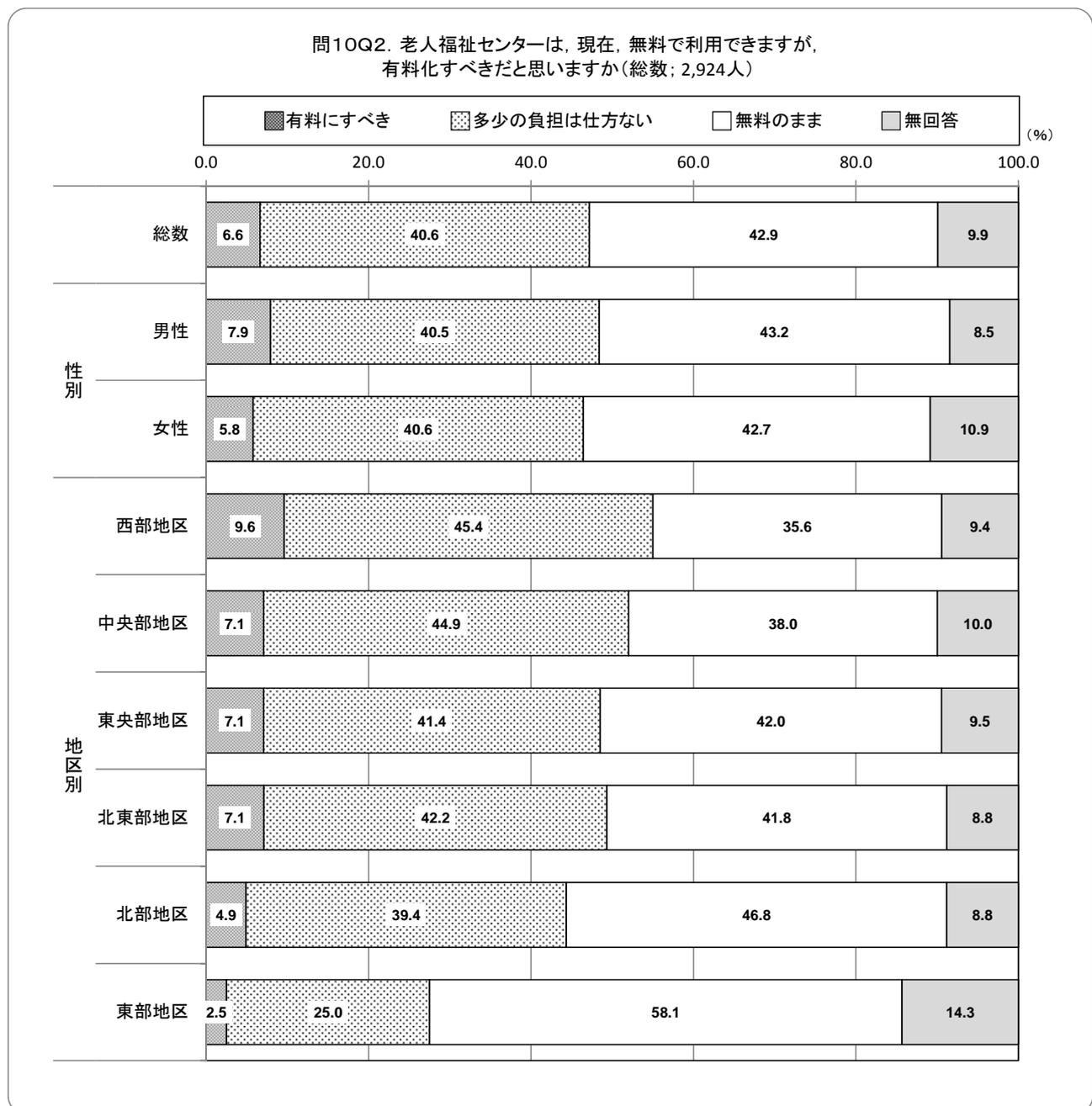
地区別に見ると、東部地区では「利用したことがある」の割合が3.9%となっています。



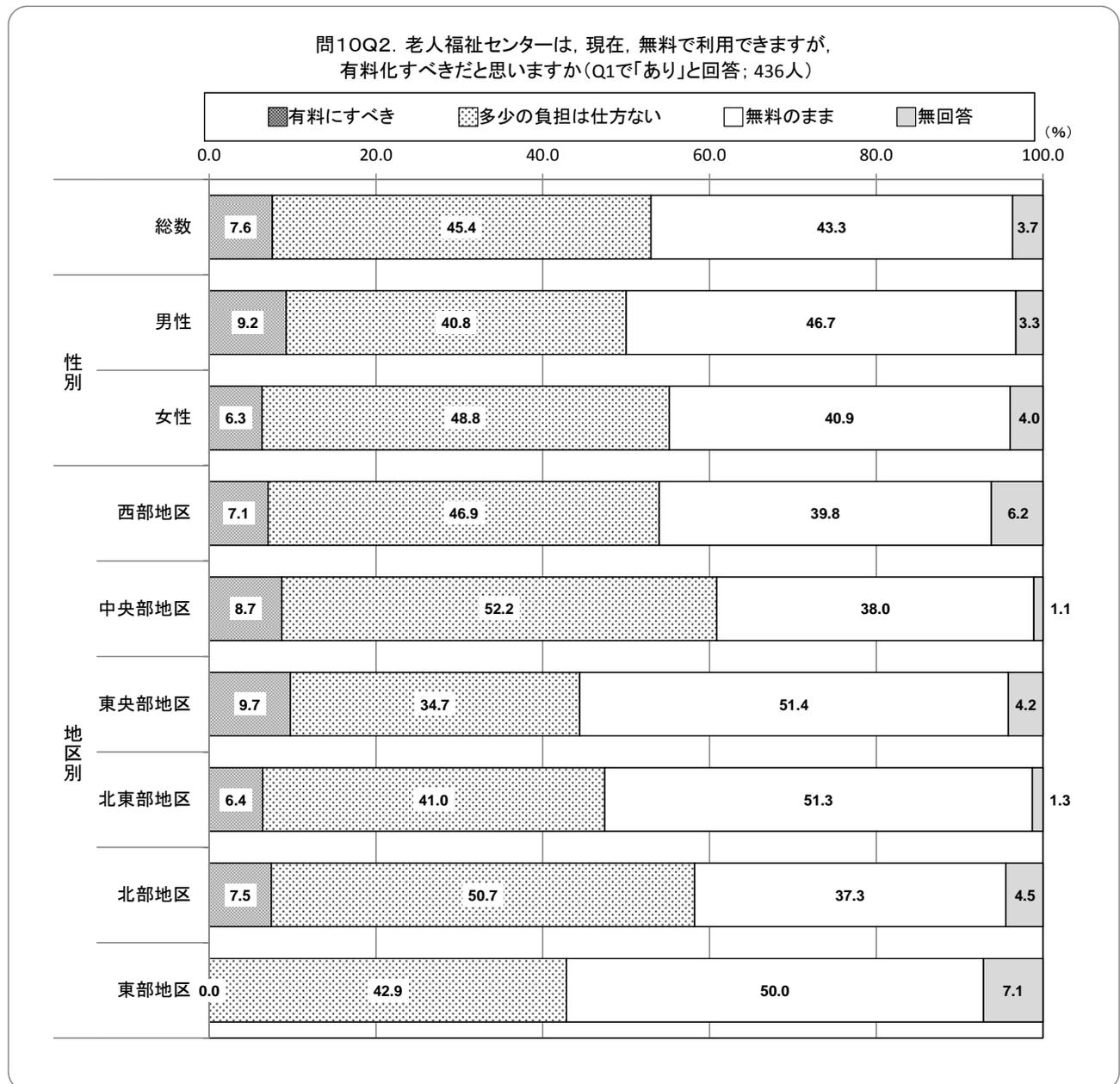
**問10 Q2. 老人福祉センターは、現在、無料で利用できますが、有料化すべきだと思いますか**

市全体で見ると、「有料にすべき」(6.6%)と「多少の負担は仕方ない」(40.6%)を合わせ、有料化を肯定する割合が47.2%、「無料のまま」の割合が42.9%となっています。

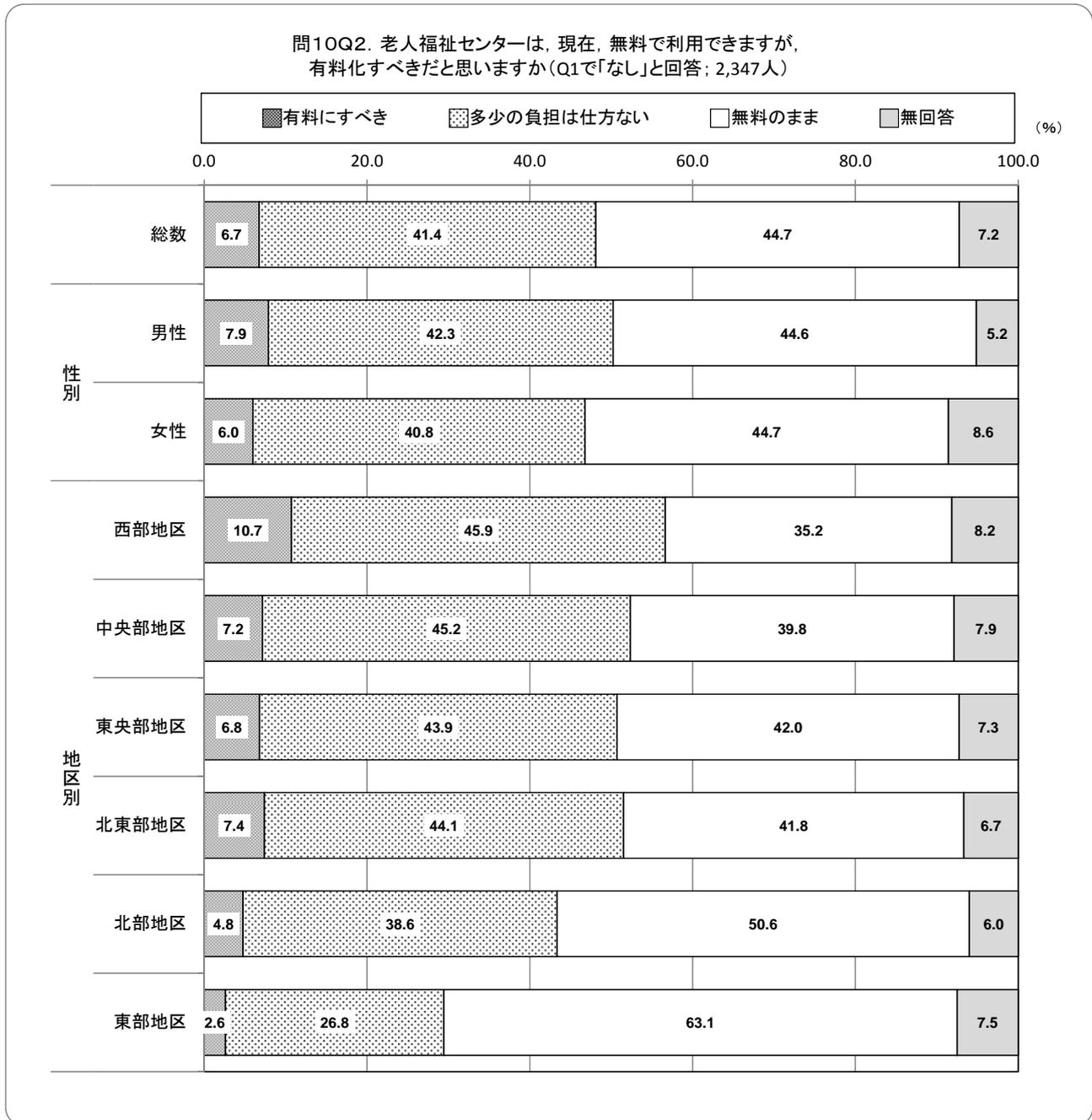
性別に見ると、男性では、「有料にすべき」(7.9%)と「多少の負担は仕方ない」(40.5%)を合わせ、有料化を肯定する割合が48.4%、「無料のまま」の割合が43.2%となっています。女性では、「有料にすべき」(5.8%)と「多少の負担は仕方ない」(40.6%)を合わせ、有料化を肯定する割合が46.4%、「無料のまま」の割合が42.7%となっています。



Q1で「利用したことがある」と回答した方について集計したところ、「有料にすべき」(7.6%)と「多少の負担は仕方ない」(45.4%)を合わせ、有料化を肯定する割合が53.0%、「無料のまま」の割合が43.3%となっています。

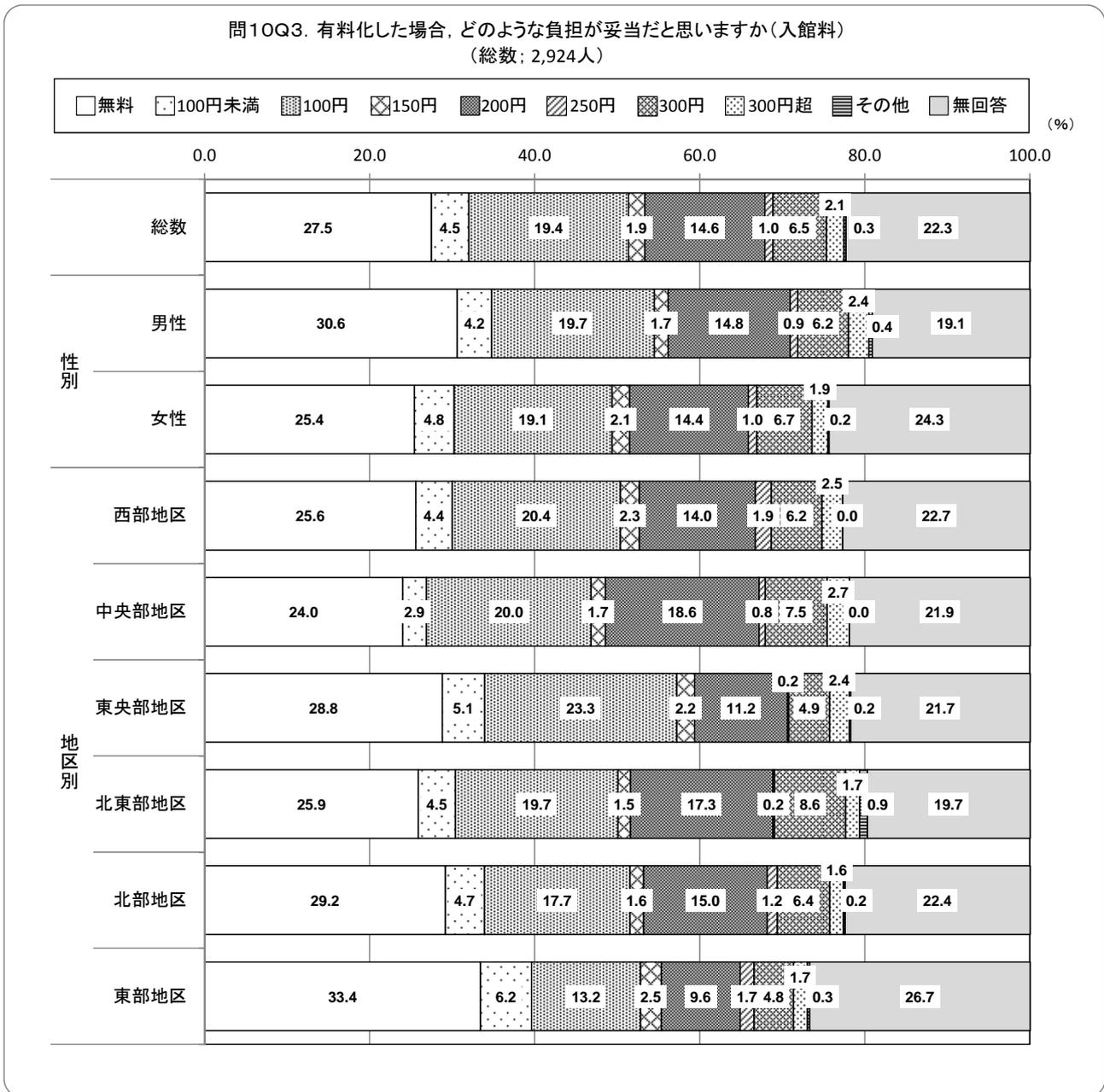


Q1で「利用したことがない」と回答した方について集計したところ、「有料にすべき」(6.7%)と「多少の負担は仕方ない」(41.4%)を合わせ、有料化を肯定する割合が48.1%、「無料のまま」の割合が44.7%となっています。



**問10 Q3. 有料化した場合，どのような負担が妥当だと思いますか**

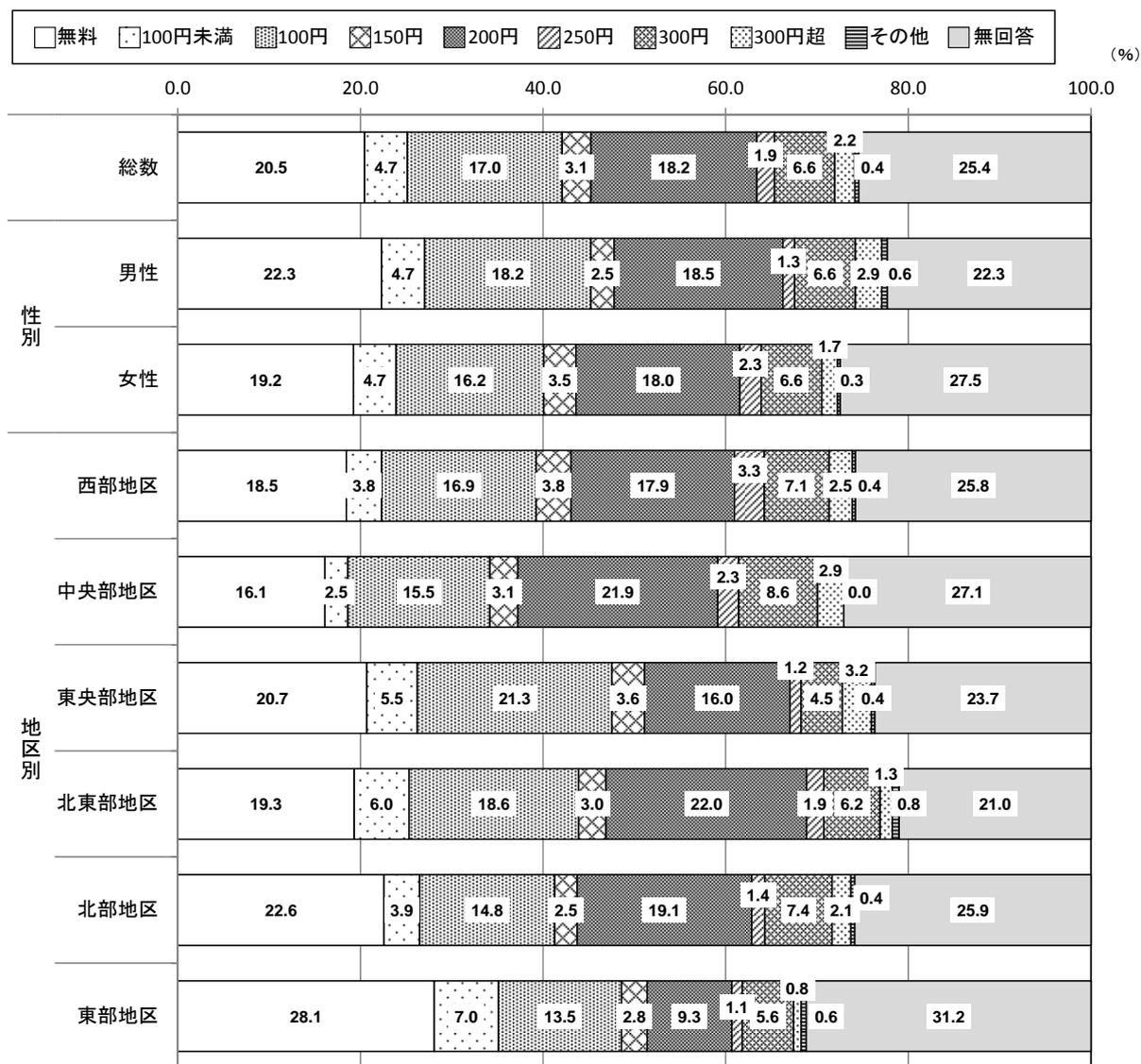
入館料について，市全体で見ると，「無料」と回答した人の割合が27.5%と最も高く，次いで「100円」(19.4%)，「200円」(14.6%)となっています。



その他のうち「50円」，「500円」といった回答は，グラフ作成上，あてはまるものに該当させましたが，無記入の「その他」については「その他」の集計に残しました。

入浴料について、市全体で見ると、「無料」と回答した人の割合が 20.5%と最も高く、次いで「200 円」(18.2%)、「100 円」(17.0%)となっています。

問10Q3. 有料化した場合, どのような負担が妥当だと思いますか(入浴料)  
(総数: 2,924人)



その他のうち「50 円」, 「500 円」といった回答は、グラフ作成上、あてはまるものに該当させましたが、無記入の「その他」については「その他」の集計に残しました。

## 6. 各種サービスの対象者数の推計

今回のニーズ調査結果を用いて、平成23年6月1日現在、65歳以上で「要支援・要介護認定を受けていない方」61,188人と「在宅の要支援1,2および要介護1,2の方」9,171人（施設入所者等を除く）をもとに各種サービスの対象者数を推計しました。

### 6-1. 介護サービスについて

各種介護サービスを必要とする方の割合について、ニーズ調査結果から構成比を算出し、対象者数の推計をしました。

#### 対象者数の推計

##### < タイプ別認定者数 >

区分	合計	認定状況		地区別(要介護1・2, 要支援1・2)					
		要介護 1・2	要支援 1・2	西部 地区	中央部 地区	東中部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
総数(人)	398	135	263	77	81	68	63	68	41
■実数(人)									
脳卒中	68	34	34	14	11	11	10	13	9
認知症(リスク)	197	77	120	41	35	37	35	29	20
高齢による衰弱	81	29	52	15	14	18	8	19	7
筋骨格系	163	42	121	30	42	29	24	25	13
外傷等	78	23	55	8	23	10	9	17	11
糖尿病・心臓病	157	47	110	34	35	31	23	20	14
■構成比(%)									
脳卒中	17.1	25.2	12.9	18.2	13.6	16.2	15.9	19.1	22.0
認知症(リスク)	49.5	57.0	45.6	53.2	43.2	54.4	55.6	42.6	48.8
高齢による衰弱	20.4	21.5	19.8	19.5	17.3	26.5	12.7	27.9	17.1
筋骨格系	41.0	31.1	46.0	39.0	51.9	42.6	38.1	36.8	31.7
外傷等	19.6	17.0	20.9	10.4	28.4	14.7	14.3	25.0	26.8
糖尿病・心臓病	39.4	34.8	41.8	44.2	43.2	45.6	36.5	29.4	34.1

筋骨格系：関節疾患など、外傷等：転倒・骨折、脊椎損傷など

##### < タイプ別認定者数推計 >

区分	地区別(要介護1・2, 要支援1・2)						合計
	西部 地区	中央部 地区	東中部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区	
総数(人)	1,097	2,173	2,277	2,503	723	398	9,171
■推計値(人)							
脳卒中	200	296	369	398	138	88	1,489
認知症(リスク)	584	939	1,239	1,392	308	194	4,656
高齢による衰弱	214	376	603	318	202	68	1,781
筋骨格系	428	1,128	970	954	266	126	3,872
外傷等	114	617	335	358	181	107	1,712
糖尿病・心臓病	485	939	1,038	914	213	136	3,725

複数のリスクを持つ方がいるため、推計値の合計は総数を超えるものとなっています。

評価に用いた設問等

リスク内容	評価に用いた設問等
脳卒中	問1 Q2 - 1 「介護・介助が必要になった主な原因」 問8 Q2 「現在治療中，または後遺症のある病気」 のいずれかで「脳卒中」に回答
認知症（リスク）	以下のいずれかの場合に「認知症有り」，それ以外の場合に「認知症無し」としました。 - 問1 Q2 - 1 ，問8 Q2 で，要介護・介助の原因または現在治療中・後遺症として「認知症（アルツハイマー病等）」と回答した場合 問1 Q2 - 1 （介護・介助が必要な方のみ）介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数選択可） 問8 Q2 現在治療中，または後遺症のある病気はありますか（複数選択可） - 認知機能障害程度区分（C P S）で，要支援では「境界的（1レベル）」以上，要介護では「軽度（2レベル）」以上に該当した場合
高齢による衰弱	問1 Q2 - 1 「介護・介助が必要になった主な原因」で「高齢による衰弱」に回答
筋骨格系	問1 Q2 - 1 「介護・介助が必要になった主な原因」で「関節の病気（リウマチ等）」に回答，あるいは， 問8 Q2 「現在治療中，または後遺症のある病気」で「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」に回答
外傷等	問1 Q2 - 1 「介護・介助が必要になった主な原因」で「骨折・転倒」あるいは「脊椎損傷」に回答，あるいは， 問8 Q2 「現在治療中，または後遺症のある病気」で「外傷（転倒・骨折等）」に回答
糖尿病・心臓病	問1 Q2 - 1 「介護・介助が必要になった主な原因」 問8 Q2 「現在治療中，または後遺症のある病気」 のいずれかで「糖尿病」あるいは「心臓病」に回答

リスクに対する想定されるサービスの類型

リスク内容	対応サービス
脳卒中，高齢による衰弱， 筋骨格系，外傷等	通所介護，訪問介護，通所リハビリテーション，短期入所生活介護 等
認知症（リスク）	認知症対応型通所介護，認知症対応型共同生活介護，小規模多機能居宅介護 等
糖尿病・心臓病	通所介護，訪問介護，訪問看護，居宅療養管理指導 等

## 6-2. 認定者・非認定者における日常生活動作（ADL）の状況について

要支援・要介護の認定者の中にも比較的健康な方がいる一方，非認定者の中にもリスクの高い人がいる状況にあります。

### A D L の高い認定者（ADL 得点 100 点）

区分	合計	認定状況		地区別(要介護1・2, 要支援1・2)					
		要介護 1・2	要支援 1・2	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
総数(人)	398	135	263	77	81	68	63	68	41
■実数(人)									
ADL得点100点	89	20	69	17	16	21	14	13	8
■構成比(%)									
ADL得点100点	22.4	14.8	26.2	22.1	19.8	30.9	22.2	19.1	19.5

### < 推計 >

区分	地区別(要介護1・2, 要支援1・2)						合計
	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区	
総数(人)	1,097	2,173	2,277	2,503	723	398	9,171
■推計値(人)							
ADL得点100点	242	430	704	556	138	78	2,148

### A D L の低い一般高齢者・二次予防対象者（ADL 得点 60 点以下）

区分	合計	認定状況		地区別(非認定)					
		二次予防	一般高齢者	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
総数(人)	2,526	910	1,616	443	440	439	470	419	315
■実数(人)									
ADL得点60点以下	24	23	1	6	3	3	7	1	4
■構成比(%)									
ADL得点60点以下	1.0	2.5	0.1	1.4	0.7	0.7	1.5	0.2	1.3

### < 推計 >

区分	地区別(非認定)						合計
	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区	
総数(人)	6,065	12,651	14,044	19,716	4,554	4,158	61,188
■推計値(人)							
ADL得点60点以下	85	89	98	296	9	54	631

### 6-3. 非認定者における二次予防事業について

非認定者における二次予防事業を必要とする割合について，ニーズ調査結果から構成比を算出し，対象者数を推計しました。

#### 対象者数の推計

##### < タイプ別非認定者数 >

区分	合計	認定状況		地区別(非認定)					
		二次予防	一般高齢者	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区
総数(人)	2,526	910	1,616	443	440	439	470	419	315
■実数(人)									
運動器	548	548	0	85	109	106	84	59	105
栄養	37	37	0	8	13	6	4	3	3
口腔	586	586	0	102	121	101	111	85	66
閉じこもり	239	178	61	36	43	32	33	34	61
認知(物忘れ)	927	477	450	156	177	159	148	149	138
うつ	793	477	316	146	138	141	149	113	106
■構成比(%)									
運動器	21.7	60.2	0.0	19.2	24.8	24.1	17.9	14.1	33.3
栄養	1.5	4.1	0.0	1.8	3.0	1.4	0.9	0.7	1.0
口腔	23.2	64.4	0.0	23.0	27.5	23.0	23.6	20.3	21.0
閉じこもり	9.5	19.6	3.8	8.1	9.8	7.3	7.0	8.1	19.4
認知(物忘れ)	36.7	52.4	27.8	35.2	40.2	36.2	31.5	35.6	43.8
うつ	31.4	52.4	19.6	33.0	31.4	32.1	31.7	27.0	33.7

##### < タイプ別非認定者数の推計 >

区分	地区別(非認定)						合計
	西部 地区	中央部 地区	東央部 地区	北東部 地区	北部 地区	東部 地区	
総数(人)	6,065	12,651	14,044	19,716	4,554	4,158	61,188
■推計値(人)							
運動器	1,164	3,137	3,385	3,529	642	1,385	13,242
栄養	109	380	197	177	32	42	937
口腔	1,395	3,479	3,230	4,653	924	873	14,554
閉じこもり	491	1,240	1,025	1,380	369	807	5,312
認知(物忘れ)	2,135	5,086	5,084	6,211	1,621	1,821	21,958
うつ	2,001	3,972	4,508	6,250	1,230	1,401	19,362

複数のリスクを持つ方がいるため，推計値の合計は総数を超えるものとなっています。

評価に用いた設問等

評価項目別集計の P 4 ~ P 1 4 と同様。

リスクに対する想定されるサービスの類型

リスク内容	対応サービス
運動器	通所型介護予防事業 等
栄養	
口腔	
閉じこもり	訪問型介護予防事業 等
認知（物忘れ）	
うつ	

## 7. 参考

### 7-1. 函館市における日常生活圏域の設定

函館市では日常生活圏域として、以下に示す6つの地区を設定しています。

	それぞれの地区に該当する町名
西部地区	入舟町，船見町，弥生町，弁天町，大町，末広町，元町，青柳町，谷地頭町，住吉町，宝来町，東川町，豊川町，大手町，栄町，旭町，東雲町，大森町，松風町，若松町
中央部地区	千歳町，新川町，上新川町，海岸町，大縄町，松川町，万代町，亀田町，大川町，田家町，白鳥町，八幡町，宮前町，中島町，千代台町，堀川町，高盛町，宇賀浦町，日乃出町，的場町，時任町，杉並町，本町，梁川町，五稜郭町，柳町，松陰町，人見町，金堀町，乃木町，柏木町
東央部地区	川原町，深堀町，駒場町，広野町，湯浜町，湯川町1～3丁目，戸倉町，榎本町，花園町，日吉町1～4丁目，上野町，高丘町，滝沢町，見晴町，鈴蘭丘町，上湯川町，銅山町，旭岡町，西旭岡町1～3丁目，鱒川町，寅沢町，三森町，紅葉山町，庵原町，亀尾町，米原町，東畑町，鉄山町，蛾眉野町，根崎町，高松町，志海苔町，瀬戸川町，赤坂町，銭亀町，中野町，新湊町，石倉町，古川町，豊原町，石崎町，鶴野町，白石町
北東部地区	富岡町1～3丁目，中道1～2丁目，山の手1～3丁目，本通1～4丁目，鍛冶1～2丁目，陣川町，陣川1～2丁目，神山町，神山1～3丁目，東山町，東山1～3丁目，美原1～5丁目，赤川町，赤川1丁目，亀田中野町，北美原1～3丁目，水元町，亀田大森町，石川町，昭和1～4丁目，亀田本町
北部地区	浅野町，吉川町，北浜町，港町1～3丁目，追分町，桔梗町，桔梗1～5丁目，西桔梗町，昭和町，亀田港町
東部地区	小安町，小安山町，釜谷町，汐首町，瀬田来町，弁才町，泊町，館町，浜町，新二見町，原木町，丸山町，日浦町，吉畑町，豊浦町，大潤町，中浜町，女那川町，川上町，日和山町，高岱町，日ノ浜町，古武井町，恵山町，柏野町，御崎町，恵山岬町，元村町，富浦町，島泊町，新恵山町，絵紙山町，新八幡町，新浜町，銚子町，古部町，木直町，尾札部町，川汲町，安浦町，白尻町，豊崎町，大船町，双見町，岩戸町

## 7-2. 地域包括支援センターについて

地域包括支援センターは、市内各地区の介護予防の拠点として、高齢者の生活を総合的に支えていくための機能を備え、設置されています。

高齢者が住み慣れた地域で生活していけるよう、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が中心となって、介護予防等に関する相談をはじめとする高齢者への総合的な支援を行っています。

施設名	住所	運営者	設立年	地区名
地域包括支援センターあさひ	旭町 4-12	医療) 聖仁会	H18.4.1	西部地区
地域包括支援センターこん	時任町 35-24	医療) 大庚会	H18.4.1	中央部地区
地域包括支援センターランチこん	海岸町 6-13	医療) 大庚会	H18.4.1	
地域包括支援センター厚生院	高丘町 3-1	社福) 函館厚生院	H18.4.1	東中央部地区
地域包括支援センターランチ花園	花園町 31-4	社福) 函館厚生院	H18.4.1	
地域包括支援センター西堀	中道 2-6-11	医社) 仁生会	H18.4.1	北東部地区
地域包括支援センターランチ西堀	神山 1-25-9	医社) 仁生会	H18.4.1	
地域包括支援センターよろこび	港町 2-2-25	医社) 向仁会	H18.4.1	北部地区
地域包括支援センター社協	浜町 538-2	社福) 函館市社会福祉協議会	H18.4.1	東部地区
地域包括支援センターかやべ	川汲町 1481-2	社福) 函館市社会福祉協議会	H18.4.1	

## 7-3. 老人福祉センターについて

老人福祉センターは市内 4 箇所に整備され、地域の高齢者の憩いの場となっていますが、施設の老朽化などの問題を抱えていることから、平成 22 年度の事業レビュー（再点検）において、受益者負担を導入すべきとの指摘があり、入館料や入浴料の有料化などが検討されています。

そこで本調査では、国から提案された調査票の設問に加え、「生きがい」と「老人福祉センター」についての設問を独自に加えることとしました。

施設名	住所	運営者	設立年	地区名
谷地頭老人福祉センター	谷地頭町 13-18	市	S49.1.19	西部地区
総合福祉センター内老人福祉センター	若松町 33-6	社福) 函館市社会福祉協議会	H6.4.1	
湯川老人福祉センター	湯川町 1-7-26	市	S45.4.1	東中央部地区
美原老人福祉センター	美原 1-29-19	市	S56.4.8	北東部地区

## 7-4. 調査票

(宛名ラベル)

### ★日常生活圏域高齢者ニーズ調査★

## 【調査票】

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、8月19日(金)までに投函してください。

記入日	平成 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 _____)	
3. その他	

※以下はあて名のご本人の情報を記入してください。

電話番号	—
年齢・性別	( ) 歳 男 ・ 女
生年月日	明治・大正・昭和 年 月 日

函館市福祉部介護高齢福祉課

管理担当

## はじめに

市民の皆様には日頃から市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、3年に一度「函館市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、これをもとに事業の適切な運営に努めているところであります。

このたび、平成24年度から平成26年度までを計画期間とした計画策定に向け、高齢者の皆様の生活状態に合った介護サービスなど各種福祉サービスを提供するための基礎資料としてアンケート調査を実施させていただくことになりました。

今回の調査は、本市在住の65歳以上の方の中から、4,400名を無作為に抽出し実施いたします。

項目数が多くお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

**調査にご協力いただいた方には、ご自身の健康に関するアドバイス票をお送りいたします。**

## 記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、平成23年6月1日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例、

	6	2
--	---	---

 kg）でご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。  
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態  
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5. 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

## 個人情報の取扱い

この調査により収集した個人情報については、函館市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。

## お問い合わせについて

この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

問い合わせ先	函館市福祉部介護高齢福祉課 管理担当まで
電話（直通）	（0138）21-3022

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

Q1. 家族構成をお教えてください

1. 一人暮らし 2. 家族などと同居(二世帯住宅を含む) 3. その他(施設入居など)  
⇒Q2△ ⇒Q1-1、1-2△ ⇒Q2△

Q1-1. (家族などと同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか 人  
また、同居されている方はどなたですか(いくつでも)

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. その他

Q1-2. (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか

1. よくある 2. たまにある 3. ない

Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない⇒Q3△  
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない⇒Q2-1△  
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)  
⇒Q2-1、Q2-2、Q2-3△

Q2-1. (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物)  
4. 呼吸器の病気(肺炎・肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等)  
7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 視覚・聴覚障害 10. 骨折・転倒 11. 脊椎損傷  
12. 高齢による衰弱 13. その他( ) 14. 不明

Q2-2. (介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹  
7. 介護サービスのヘルパー 8. その他( )

Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

1. 65歳未満 2. 65～74歳 3. 75～84歳 4. 85歳以上

Q3. 年金の種類は次のどれですか

1. 国民年金 2. 厚生年金(企業年金あり) 3. 厚生年金(企業年金なし)  
4. 共済年金 5. 無年金 6. その他

Q4. 現在、収入のある仕事をしていますか

1. はい 2. いいえ

Q5. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 苦しい 2. やや苦しい 3. ややゆとりがある 4. ゆとりがある

Q6. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

1. 一戸建て 2. 集合住宅

Q7. お住まいは、次のどれにあたりますか

1. 持家 2. 民間賃貸住宅 3. 公営賃貸住宅(市営・道営・都市機構(旧公団)・公社等)  
4. 借間 5. その他

Q8. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか

1. はい ⇒Q8-1△ 2. いいえ ⇒問2△

Q8-1. (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか 1. はい 2. いいえ

**問2 運動・閉じこもりについて**

Q1. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 5m以上歩けますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 外出を控えていますか	1. はい ⇒Q7-1へ 2. いいえ ⇒Q8へ	
Q7-1. (外出を控えている方のみ)外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも) 1. 病気 2. 障がい(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) 6. 目の障がい 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. その他( )		
Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか(それぞれ1つ)	A. 買物 … 1. ほぼ毎日 2. 週4、5日 3. 週2、3日 4. 週1日 5. 週1日未満 B. 散歩 … 1. ほぼ毎日 2. 週4、5日 3. 週2、3日 4. 週1日 5. 週1日未満	
Q9. 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 市電 7. JR 8. 路線バス 9. 病院や施設のバス 10. 車いす 11. 電動車いす(カート) 12. 歩行器・シルバーカー 13. タクシー 14. その他( )	

**問3 転倒予防について**

Q1. (雪のない時期) この1年間に転んだことがありますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	2. いいえ
Q3. 背中が丸くなってきましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 杖を使っていますか	1. はい	2. いいえ

**問4 口腔・栄養について**

Q1. 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ
Q2. 身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg (右詰めでご記入ください)		
Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか	1. はい	2. いいえ
Q8. 入れ歯を使用していますか	1. はい	⇒Q8-1、2へ
	2. いいえ	⇒問5へ
Q8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか	1. はい	2. いいえ
Q8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい	2. いいえ

**問5 物忘れについて**

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるとされますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 5分前のことが思い出せますか	1. はい	2. いいえ
Q5. その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか		
1. 困難なくできる		
2. いくらか困難であるが、できる		
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要		
4. ほとんど判断できない		
Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか		
1. 伝えられる		
2. いくらか困難であるが、伝えられる		
3. あまり伝えられない		
4. ほとんど伝えられない		

**問6 日常生活について**

Q1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q2. 日用品の買い物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q3. 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q4. 請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q5. 預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q6. 食事は自分で食べられますか

1. できる 2. (おかずを切ってもらうなど) 一部介助があればできる 3. できない

Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要

Q8. 座っていることができますか

1. できる 2. 支えが必要 3. できない

Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか

1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない

Q10. 自分でトイレができますか

1. できる 2. (他人に支えてもらうなど) 一部介助があればできる 3. できない

Q11. 自分で入浴ができますか

1. できる 2. (他人に支えてもらうなど) 一部介助があればできる 3. できない

Q12. 50m以上歩けますか

1. できる 2. (他人に支えてもらうなど) 一部介助があればできる 3. できない

Q13. 階段を昇り降りできますか 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q14. 自分で着替えができますか 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q15. 大便の失敗がありますか 1. ない 2. ときどきある 3. よくある

Q16. 尿もれや尿失禁がありますか 1. ない 2. ときどきある 3. よくある

Q17. 家事全般ができていますか 1. できている 2. できていない



## 問8 健康について

Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか

1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない

Q2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病  
 5. 高脂血症(脂質異常) 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
 8. 腎臓・前立腺の病気 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等)  
 11. がん(新生物) 12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症(アルツハイマー病等)  
 15. パーキンソン病 16. 目の病気 17. 耳の病気  
 18. その他( ) 19. ない

Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか

1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない

Q4. 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか 1. はい ⇒ Q4-1、4-2へ  
 2. いいえ ⇒ Q5へ

Q4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか

1. 週1回以上 2. 月2～3回 3. 月1回程度 4. 2ヶ月に1回程度 5. 3ヶ月に1回程度

Q4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか

1. はい 2. いいえ

Q5. 以下の在宅サービスを利用していますか (いくつでも)

1. 訪問診療(医師の訪問) 2. 訪問介護(ホームヘルプサービス) 3. 夜間対応型訪問介護  
 4. 訪問入浴介護 5. 訪問看護 6. 訪問リハビリテーション  
 7. 通所介護(デイサービス) 8. 認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)  
 9. 通所リハビリテーション(デイケア) 10. 小規模多機能型居宅介護  
 11. 短期入所(ショートステイ) 12. 医師や薬剤師など療養上の指導(居宅療養管理指導)  
 13. その他( )

Q6. お酒は飲みますか

1. ほほ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

Q7. タバコは吸っていますか

1. ほほ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

Q8. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない

1. はい 2. いいえ

Q9. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

1. はい 2. いいえ

Q10. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる

1. はい 2. いいえ

Q11. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない

1. はい 2. いいえ

Q12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする

1. はい 2. いいえ

## 問9 生きがいについて

Q1. どのようなことに生きがいを感じますか (いくつでも)

- |           |                  |             |
|-----------|------------------|-------------|
| 1. 仕事     | 2. スポーツ・レクリエーション | 3. ボランティア活動 |
| 4. 家族団らん  | 5. 隣近所・友人とのふれあい  |             |
| 6. 趣味 ( ) | 7. その他 ( )       |             |

Q2. どんな活動があれば参加してみたいと思いますか (いくつでも)

- 健康によい料理を考えて作る活動
- 食事やおしゃべり、レクリエーションを楽しむ活動
- 踊りや歌、演劇などを練習し、発表する活動
- まちを花や緑でいっぱいにする活動
- ボランティア活動
- 手芸や焼き物などの作品を作る活動
- 地域の歴史や文化について学ぶ活動
- 囲碁や将棋、ゲームなどを楽しむ活動
- パソコンやインターネットの使い方を勉強する活動
- 自分達で旅行計画を立ててグループで旅行する活動
- 散歩やウォーキング、体操などで健康づくりをする活動
- 機器を使って筋力トレーニングをする活動
- その他の活動 ( )

Q3. Q2で参加したいと答えた活動には有料でも参加しますか

- 有料でも参加する
- 有料なら参加しない

## 問10 函館市の老人福祉センターについて

函館市には、湯川老人福祉センター、谷地頭老人福祉センター、美原老人福祉センター、総合福祉センター内老人福祉センター(若松町)があります。

Q1. 老人福祉センターを利用したことがありますか

(ひとつだけ○をつけてください)

- 利用したことがある
- 利用したことはない

Q2. 老人福祉センターは、現在、無料で利用できますが、有料化すべきだと思いますか

(ひとつだけ○をつけてください)

- 有料にすべき
- 多少の負担は仕方ない
- 無料のまま

Q3. 有料化した場合、どのような負担が妥当だと思いますか

(それぞれひとつだけ○をつけてください)

### ◆入館料

- |         |           |          |            |         |
|---------|-----------|----------|------------|---------|
| 1. 無料   | 2. 100円未満 | 3. 100円  | 4. 150円    | 5. 200円 |
| 6. 250円 | 7. 300円   | 8. 300円超 | 9. その他 ( ) | 円)      |

### ◆入浴料

- |         |           |          |            |         |
|---------|-----------|----------|------------|---------|
| 1. 無料   | 2. 100円未満 | 3. 100円  | 4. 150円    | 5. 200円 |
| 6. 250円 | 7. 300円   | 8. 300円超 | 9. その他 ( ) | 円)      |

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て(表紙も含みます)を3つ折りにして同封した返信用封筒に切手を貼らずに投函してください。